

履修要項

(人文学部編)

2020 年度

2017 年度以降 入学生用

武蔵大学

学習支援ポータルサイト Musashi Study Support System (3S) について

教務上の伝達事項(授業、試験、休講、行事予定等)は、3 Sにてお知らせします。掲示した事項については、すべて承知したものと扱いますので、毎日機会あるごとに3 Sにアクセスして確認してください。なお、内容に疑問がある場合は、教務課に問い合わせてください。

3 Sへのアクセスは、大学ホームページにアクセスし、画面右上にある

「3 S学内向け」のバナーをクリックしてください。

3 Sのログイン画面が表示されます。

<https://www.musashi.ac.jp/> (武蔵大学ホームページ)

ログイン画面には、3 Sのマニュアルも掲載されています。

User ID とパスワードは、入学時に学生証と一緒に配布しています。

質問は教務課までお願いします。

【Musashi-ID・パスワードの貸し借りは禁止です！】

自分の Musashi-ID とパスワードを他人に教えること、あるいは、他人の Musashi-ID とパスワードを教えてもらうことは、厳禁です。

※ルールを違反した場合は、Musashi-ID の停止、利用資格の制限など、処分や懲戒の対象になります。また、法律に抵触する可能性があります。

履修要項の取り扱いについて

履修要項は武蔵大学 公式 Web サイトから閲覧可能です。

また、コンピューター教室の PC から閲覧することができます。

(掲載場所)

武蔵大学 公式 Web サイト：TOP>武蔵の学び>履修要項

コンピューター教室の PC：デスクトップのショートカット

※ 武蔵大学 公式 Web サイトへの掲載は、2020 年度 5 月頃を予定しております。

※ 各学部の履修要項は、2021 年度以降は原則として入学時のみ配布します。翌年度以降は、公式 Web サイトを参照してください。

履修要項（人文学部編） 目次

はじめに	1
1 教育目標	2
2 ディプロマ・ポリシー（学位授与の基本方針）	2
3 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）	2
第1章 授業科目の履修	5
【英語英米文化学科】	
1 英語英米文化学科 卒業要件	8
2 英語英米文化学科 コース制度	9
3 英語英米文化学科 総合科目	10
4 英語英米文化学科 外国語科目	14
5 英語英米文化学科 専門科目（共通専門科目）	23
6 英語英米文化学科 専門科目（専攻科目）	31
7 英語英米文化学科 卒業論文履修資格	37
【ヨーロッパ文化学科】	
1 ヨーロッパ文化学科 卒業要件	40
2 ヨーロッパ文化学科 コース制度	41
3 ヨーロッパ文化学科 総合科目	42
4 ヨーロッパ文化学科 外国語科目	46
5 ヨーロッパ文化学科 専門科目（共通専門科目）	55
6 ヨーロッパ文化学科 専門科目（専攻科目）	61
7 ヨーロッパ文化学科 卒業論文履修資格	68
8 ヨーロッパ文化学科 グローバル・スタディーズコース（ドイツ語／フランス語）	70
9 ヨーロッパ文化学科 GSC（ドイツ語／フランス語）アソシエイトプログラム	78
【日本・東アジア文化学科】	
1 日本・東アジア文化学科 卒業要件	82
2 日本・東アジア文化学科 コース制度	83
3 日本・東アジア文化学科 総合科目	84
4 日本・東アジア文化学科 外国語科目	88
5 日本・東アジア文化学科 専門科目（共通専門科目）	98
6 日本・東アジア文化学科 専門科目（専攻科目）	104
7 日本・東アジア文化学科 卒業論文履修資格	110
8 日本・東アジア文化学科 グローバル・スタディーズコース（中国語／韓国・朝鮮語）	112
9 日本・東アジア文化学科 GSC（中国語／韓国・朝鮮語）アソシエイトプログラム	116
【グローバル・スタディーズコース（英語プログラム）】	
1 グローバル・スタディーズコース（英語）卒業要件	120
2 グローバル・スタディーズコース（英語）総合科目	122
3 グローバル・スタディーズコース（英語）外国語科目	126
4 グローバル・スタディーズコース（英語）専門科目（共通専門科目）	134
5 グローバル・スタディーズコース（英語）専門科目（専攻科目）	146

6 グローバル・スタディーズコース（英語）Capstone Project	156
7 グローバル・スタディーズコース（英語）コース所属資格	158
8 グローバル・スタディーズコース（英語）コース変更について	159
9 グローバル・スタディーズコース（英語）褒賞制度について	159

【3 学科共通】

1 環境・自然 / 人間科学（スポーツ） / 教育学 / 心理学分野での卒業論文の執筆について	162
2 学修プログラム	164
3 留学・国際交流関連科目	168
4 人権問題への理解を深める授業の履修について	171

第 2 章 教職課程、学芸員課程 173

はじめに

1 教育目標

人文学部は、大学の教育の基本目標に基づき、広く深い教養、言語能力及び国際感覚を培い、人文学の各分野における専門的知識と応用力を修得させることを教育研究上の目的とし、現代的な課題の解決に主体的に取り組む人物を育成することを人材養成の目的とします。

2 ディプロマ・ポリシー（学位授与の基本方針）

人文学部は、武蔵大学の教育の基本目標を実現するために、本学部が設定した履修すべき科目と卒業必要単位 124 単位を修得し、以下の知識・技能、態度等を身につけた学生に学士（人文学）の学位を授与します。

- (1) 幅広い教養、グローバルな視野、人間尊重および他者との協調の精神を身につけていること
- (2) 外国語の実践的な運用能力を身につけていること
- (3) 言語・文学・歴史・民俗・思想・芸術・社会等の分野に関する専門的かつ横断的な知識を修得していること
- (4) 各個人またはグループで主体的にテーマを選んで調べ、データの整理・分析・総合をおこない、文章を論理的に構成し、現代的ツールを用いて能動的に表現し、自説の客観性を高めるために対話する力を身につけていること
- (5) 現代社会の特徴である多文化・多言語環境のなかで異文化間の理解・共感・連帯を求め、在学中に得た知識や技能をグローバルな枠組みで社会生活に応用しうる力を身につけていること

3 カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

人文学部の教育課程は、学位授与方針に掲げる知識・技能、態度等を修得させるために全学のカリキュラム・ポリシーに基づき総合科目、外国語科目、専門科目の3区分で編成されています。総合科目では幅広い教養を、外国語科目では自らの考えを様々な言語で表現することができる外国語運用能力を、専門科目では、専門的な知識・技能、手法を修得するための「専攻科目」と所属の専門分野以外の知識・技能等を修得する「共通専門科目」を1年次から4年次まで体系的に配置し、ゼミナールによって問題解決力や思考力・判断力・表現力を修得します。

【学科共通】

- (1) 総合科目は、総合的視野と教養を得させるために「情報とコミュニケーション」「歴史と文化」「現代社会」「自然と環境」「心と体」「ライフマネジメントとキャリアデザイン」の各分野にわたり、1年次から4年次にかけて卒業までに修得すべき単位を定める
- (2) 各学科での学びに必要な外国語科目を1～2年次を中心に設ける
- (3) ゼミナールの履修は、1年次から4年次まで必修とし、学修の根幹とする
- (4) 初年次に各自が専攻する地域文化について学ぶための基礎的な技術・方法（資料収集、発表・議論の方法、論文の書き方等）を習得する「基礎ゼミナール」を設ける
- (5) 2～3年次に学科ごとに「専門ゼミナール」を設けて高度な調査研究能力を得させ、4年次の「卒業論文ゼミナール」において卒業論文の技法を身につけさせ、執筆のための具体的指導をおこなう
- (6) 4年次に「卒業論文」を必修とし、学部教育の集大成と位置づける
- (7) 講義科目は、各自の研究テーマを深めるために必要な幅広い知識を修得するための科目を配し、ゼミナールを補完する
- (8) 共通専門科目は、専攻分野やコースの枠組みを超えて多様な専門領域に接することで、多元的な学びを可能にするとともに、講義だけでなく「課題解決型国際ゼミナールプロジェクト」や「人文フィールドワーク入門」等の能動的な学修を行うことで主体性と協調性を培う
- (9) 他学部・他分野の科目を学ぶことができる「全学対象専門科目」を設ける
- (10) 教職課程科目を専門科目のなかに組み込み、教員免許状の取得を促進している。また、学芸員課程科目についても専門教育と位置づける

- (11) 「グローバル・リレーションズ（国際関係）」「グローバル文学」「グローバル日本学」という3分野を軸にしたグローバル・スタディーズコース（GSC）英語プログラムを設置し、英語によって行われるゼミナール科目及び講義科目からなる集中的な英語カリキュラムにより高度な英語力を身につけさせる
- (12) GSC 英語プログラムでは、1年間または半年間の留学を経て、4年次に「Capstone Project」を完成させる
- (13) ナンバリングにより積み上げ式の学修を促し、科目を体系的に配置して履修系統図を提示する
- (14) 学修成果については、科目種別により、①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性・協調性等を総合的に評価する。評価方法については、シラバス等に当該授業で問われる知識と力、配点等を明らかにし、具体的な評価手段として、小テスト、各種の中間課題、発表、実地調査、学期終了時の試験やレポート等を用い、同時に各要素の評価割合を提示する。なお、卒業論文に関しては、最終の成果（GSC 英語プログラムの「Capstone Project」の場合はプレゼンテーションを含む）について、評価方法をシラバスや履修要項で提示する

【英語英米文化学科】

- (1) 実践的な言語運用能力を習得するとともに、専門学修に必要な英語力を身につけるため、1年次から2年次にかけて外国語科目として英語を必修科目とする
- (2) 英語力向上の観点から、技能別・学習目標別の実習科目を選択科目として設け、留学の契機となるように1・2年次に到達度判定試験を実施する
- (3) 多言語・多文化学習の推進のために、ドイツ語・フランス語・スペイン語を選択外国語として設置する
- (4) 1年次に「基礎ゼミナール」に加えて、スピーキング・ライティング両技能を高めるための実習科目「英語ワークショップ」を必修科目とし、2年次以降の専門学修に必要な基礎力を養成する
- (5) 専門分野を意識し、体系的な学修を進めるため「言語・言語教育」「文学・芸術」「歴史・社会・文化」という3コースを設け、履修モデルとして学生に提示する
- (6) 専門分野の学修は、4年次必修の卒業論文が集大成となるよう、講義科目とゼミナール科目を連関させて配置する
- (7) 講義科目については、各自の学修分野を明確にするため、上記（5）に示した3つの領域に多様な分野やテーマに関する科目を設ける
- (8) 2～3年次のゼミナール科目は、講義で学んだ知識をもとに、自ら調べ、考えた内容をまとめ、報告する力を養成する

【ヨーロッパ文化学科】

- (1) 外国語科目として、1～2年次にドイツ語・フランス語のいずれかを学習させ、その言語を専門的な研究に活用する能力を身につけさせる。2年次以降では、会話、読解、論述の力を伸ばす実習を設ける
- (2) 1年次に実践的な言語運用能力の習得のため英語を必修科目とする
- (3) 2年次に多言語・多文化学習の推進のために、英語・ドイツ語・フランス語・イタリア語を選択外国語として設置する
- (4) 1年次に「基礎ゼミナール」に加えて、複数教員のリレー形式による「ヨーロッパ文化入門講座」を設け、ヨーロッパ文化に関する基礎的知識を多角的に習得する機会を設ける
- (5) 専門分野を意識し、体系的な学修を進めるため「言語と文学」「芸術と生活」「歴史と思想」「環境と社会」という4つのコースを設け、履修モデルとして学生に提示する
- (6) 専門分野の学修は、4年次必修の卒業論文が集大成となるよう、講義科目とゼミナール科目を連関させて配置する
- (7) 講義科目については、上記（5）に示した4つの領域に多様な分野やテーマに関する科目を設ける
- (8) 2年次に「中級ゼミナール」を設け、ヨーロッパ文化の研究に必要な発展的な知識、調査・分析能力等を養成する
- (9) 3年次の「専門ゼミナール」では、講義で習得した内容をもとに、自ら選択した関心分野について主体的に調べ、考えた内容をまとめ、報告する力を養成する
- (10) 留学に必要な高度な語学力の獲得と語学検定試験の高スコア取得を目的とし、正課の授業と授業外の個別指導を組み合わせた特別コースとして、グローバル・スタディーズコース（GSC）ドイツ語プログラム／

フランス語プログラムを設置する

【日本・東アジア文化学科】

- (1) 外国語科目として、1～2年次に実践的な英語運用能力の習得のために、英語を必修科目とする
- (2) 1～2年次に中国語・韓国・朝鮮語・ドイツ語・フランス語・日本語（外国人学生特別入学試験入学者等）のなかから1つを選択させ、多言語・多文化に触れる機会を設ける
- (3) 1年次に「基礎ゼミナール」を必修科目とし、文献や資料の調べ方、テキストの読み方、フィールドワークの方法、発表の技法など、基礎的な能力を養成する
- (4) 研究対象地域を意識した学修を進めるため、「日本文化コース」「東アジア文化コース」「比較・交流文化コース」という3コースを設置し、履修モデルとして学生に提示する
- (5) 専門分野の学修は、4年次必修の卒業論文が集大成となるよう、講義科目とゼミナール科目を連関させて配置する
- (6) 講義科目とゼミナール科目が一对になっており、講義で習得された知識が演習形式でより深く理解され、体得されるカリキュラム編成とする
- (7) 講義科目については、各自の学修分野を明確にするため「ことば・文学・思想」「芸術・身体・環境」「歴史・民俗・宗教」の3つの領域に多様な分野やテーマに関する科目を設置する
- (8) 2年次以降のゼミナール科目は、講義科目に設けた上記(7)で示した3つの領域に「スキル科目」を加え、4つの領域で編成する。スキル科目は、専攻の基礎となるスキルの習得や語学の熟達を促す
- (9) 留学に必要な高度な語学力の獲得と語学検定試験の高スコア取得を目的とし、正課の授業と授業外の個別指導を組み合わせた特別コースとして、グローバル・スタディーズコース（GSC）中国語プログラム／韓国・朝鮮語プログラムを設置する

第1章 授業科目の履修

【科目表の見方】

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
分野	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
① 情報とコミュニケーション	他者理解とコミュニケーション	2	1～4	欠講	講義	
	情報技術と人間社会	2	1～4	開講	講義	
	知識社会の情報学	2	1～4	開講	講義	
	データ分析の基礎	2	1～4	開講	講義	
	データ分析の応用	2	1～4	欠講	講義	
	Information Technology and Global Communication	2	1～4	開講	講義	* ※ (1)

- ① 分野 区分（総合科目、外国語科目、専門科目）ごとに分野やジャンルに分類されています。
- ② 科目名 授業科目名 → 授業内容については、シラバスを参照してください。
- ③ 単位 科目ごとに単位数が決められています。卒業要件をよく読み、必要な単位を修得してください。
- ④ 配当年次 科目ごとに履修可能年次が指定されています。
- ⑤ 開欠講 開講 ⇒ 今年度が開講される科目です。 欠講 ⇒ 今年度は開講されません。
- ⑥ 授業形態 履修要項（共通編）14 頁参照
- ⑦ 備考 その科目に対する条件・案内等が記載されています。
- 【* 印および年度について】
- ・備考欄に * 印のない科目は、原則として毎年開講する予定の科目です。
 - ・備考欄に * 印のある科目は、原則として 2 年に一度開講する予定の科目です。このため開講された翌年度は欠講となる可能性があります。ただし、履修の便宜のため、年度により、2 年連続で開講される場合もあります。
 - ・年度が表記されている科目は、次回は、その年度に開講する予定です。
 - ・実際の開欠講については、⑤開欠講欄および 3S で確認してください。
- 【その他】
- ・上記以外に注意すべき条件・案内等が記載されています。備考欄に直接記載されているものと、* 印がついて欄外に説明が記載されているものがあります。

英語英米文化学科

1 英語英米文化学科 卒業要件

本学に4年以上在学し、履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。10頁以降に各区分の履修方法が記載されていますので、よく読んで間違いのないように履修してください。

また、4年次の必修科目である「卒業論文」を履修するには、3年の在学期間を充足した上で、必要な科目と単位を修得しなければなりません。詳細は37頁に記載してあります。このことにも注意して計画的に単位を修得してください。

[英語英米文化学科]

区分	修得すべき 単位数	内訳			
総合科目	20単位	6分野（A～F）からセクションを問わず最低2単位を修得し（計12単位）、かつ分野を問わずさらに8単位以上修得し、かつ分野を問わず実践セクションの科目を必ず1科目（1単位）以上含むこと。			
外国語科目	14単位	必修外国語（英語）	12単位		
	（自由選択）	選択外国語Ⅰ（学科指定） ドイツ語、フランス語、スペイン語	2単位		
		選択外国語Ⅱ（修得単位は総合科目の「分野を問わない8単位」に含めることができる） 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語	－		
専門科目	20単位	（指定された人文学部の他学科の専攻科目、他学部の専門科目などより選択） ※「学芸員課程関連科目」の修得単位のうち、8単位まで共通専門科目に算入することができる			20単位
		専攻基礎科目 14単位	必修科目	英語英米文化基礎ゼミナール1	2単位
	英語英米文化基礎ゼミナール2			2単位	
			英語ワークショップ1	1単位	
		英語ワークショップ2	1単位		
		コミュニケーション・ゼミナール1	2単位		
		コミュニケーション・ゼミナール2	2単位		
		選択科目（実習）			4単位
	70単位	専攻専門科目 56単位	必修科目	卒業論文	4単位
卒業論文ゼミナール1				2単位	
卒業論文ゼミナール2				2単位	
		選択科目（講義）	40単位	48単位	
	①言語・言語教育 4単位以上 ②文学・芸術 4単位以上 ③歴史・社会・文化 4単位以上 ※[教職に関する概説科目]を除く				
		選択科目（ゼミナール科目）	8単位		
合計	124単位				

※ 専攻専門科目・選択科目のゼミナール科目に関しては、同じ科目を重複して履修することができます。重複履修をした場合、2度目以降の修得単位も卒業要件に算入できます。

注意：表の合計124単位は最小限必要な単位数であり、これ以上の単位を余裕をもって履修することを勧めます。

2 英語英米文化学科 コース制度

人文学部では学科ごとに複数のコースが用意されています。これらのコースは、自分の興味や関心がどこに向いているかを自覚し、その関心に従って科目履修や卒業論文のテーマ選択をしていく際に参照すべき学修上の指針（履修モデル）と考えてください。

いったんコースを決めても、その後の関心の変化によってコースを変更することは自由です（但し、グローバル・スタディーズコース〔英語プログラム〕については別規則あり）、特定のコースによって履修できない科目が生じるということもありませんので、安心して選択をおこなってください。

1. 開講コース

英語英米文化学科では、卒業までの学習計画を立てる際の一助となるように、自分の興味・関心に基づいてコースを選択します。各コースの概要は以下のとおりです。専門科目（講義科目・ゼミナール科目）の3つの領域に対応していますが、どのコースを選択した場合でも、コース区分を越えて自由に科目を履修できます。

◇ 言語・言語教育コース

英語をはじめとする言語学、言語教育学の観点から学びます。言語の諸相、英語教育、第二言語習得、異文化コミュニケーションなど様々なテーマの科目が用意されています。最終的には自分が興味をもったテーマで日本語または英語による卒業論文を作成します。

◇ 歴史・社会・文化コース

アメリカ・イギリスをはじめとする英語圏の国々の、歴史、社会、文化、観光、思想について学びます。最終的には自分が興味をもったテーマで日本語または英語による卒業論文を作成します。

◇ 文学・芸術コース

アメリカ・イギリスをはじめとする英語圏の国々の、文学、芸術について学びます。最終的には自分が興味をもったテーマで日本語または英語による卒業論文を作成します。

◆ グローバル・スタディーズコース（英語プログラム）は、上記の3コースとは別の特別コース（119頁以降参照）。

2. コース選択手続き日程（詳細は3Sにて周知します）

コース希望届を1年次後期に提出します。正式に所属コースが決まるのは2年次4月です。

注意

- ① 原則は本人の希望にしたがってコース配属をおこなうため、選考はありません。
- ② コース希望届未提出者は、歴史・社会・文化コースに配属されます。

3. コース変更について

手続き方法と時期：所属コース決定後に変更を希望する場合は、所定の用紙にて教務課に願い出てください。手続期間は毎年度4月、履修登録期間開始前までを締め切りとします。

コース変更は個人の判断でおこなえますが、必要に応じて指導教授や教務委員に相談してください。

3 英語英米文化学科 総合科目

1. 目的と特徴

総合科目は幅広い教養と知識、豊かな人間性と良識、柔軟な思考力、判断力、そして創造的な実践力を養うことを目的としています。総合科目の特徴は、全学部および関係するセンターが協力して企画、運営している共通科目（スタンダード科目）であること、全学部の学生が同じ教室で受講することです。総合科目は、価値の多様化、異文化およびダイバーシティ理解、男女共同参画をはじめとする 21 世紀を生きる私たちが直面している状況や取り組むべき課題を具体的に意識して精選されたものです。

なお、それぞれの授業群における独自の目標を、以下のように定めています。

- (A) 情報とコミュニケーション : 情報化社会で学び、生活し、仕事をするための知識と力を養う
- (B) 歴史と文化 : 日本と世界各地の伝統文化や思想、宗教などへの理解を深める
- (C) 現代社会 : 政治、法、経済、社会構造など、多様な視点から現代をとらえる
- (D) 自然と環境 : 地球環境や生物環境の基礎知識を身につけ、自然と人間の共生を考える
- (E) 心と体 : 人間の心と体をトータルにとらえ、健康づくりのスキルと姿勢を身につける
- (F) ライフマネジメントとキャリアデザイン : 大学卒業後の進路に夢を描き、具体化するための力を養う

2. 学年配当

ほとんどの科目は 1 年次から 4 年次までいつでも履修できますが、学年が限定されている科目も一部にありますので、一覧表をよく確認してください。

3. 授業科目の編成、分類、単位数など

総合科目は 6 分野（A～F）からなり、それぞれの授業科目は講義セクションと実践セクションに分かれています。講義セクションには総合的内容の講義（講義科目）が置かれ、実践セクションには演習・実習・実技・実験その他の体験授業（実践科目）が置かれています。講義セクションで得た知識を実践的レベルでも追究したい場合に実践セクションの科目を履修すると効果的です。それぞれの分野は、知と実践（知ることとおこなうこと）の循環・統合を実感できるように構成されています。ただし、総合科目の授業内容は、一部のセット科目を除いてそれぞれ独立していますので、各人の興味と必要に応じて、セクションを気にせずに個々に履修することもできます。単位数については授業の形態や密度、学修時間に応じて 1 単位・2 単位の区別があります。一覧表でよく確認してください。

4. 修得すべき単位数

6 分野（A～F）すべてからセクションを問わず最低 2 単位を修得し（計 12 単位）、かつ分野を問わずさらに 8 単位以上を修得すること。ただし、実践セクションの科目を 1 単位以上含めなければなりません（総合科目全体として合計 20 単位以上が卒業に必要な条件です）。なお、後述する外国語科目の選択外国語Ⅱを 8 単位まで「分野を問わない 8 単位」に含めることができます。

注意

同一科目（同一名称の科目）を履修した場合、2 度目以降は自由科目の扱いになるため卒業に必要な単位に算入することができません（履修要項（共通編）16 頁）。ただし同一名称でありながら、記号や番号で区別がなされている科目については別科目として扱う場合があります。詳細については教務課に問い合わせてください。

区分	修得すべき単位数	詳細		注意
総合科目	20 単位	(A) 情報とコミュニケーション	2 単位以上	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野最低 2 単位（合計 12 単位）と分野を問わず 8 単位、合わせて 20 単位を修得すること。 ・分野を問わず実践セクションの科目を最低 1 単位以上含めること。 ・「分野を問わない 8 単位」の中に、選択外国語Ⅱを 8 単位まで算入できる。
		(B) 歴史と文化	2 単位以上	
		(C) 現代社会	2 単位以上	
		(D) 自然と環境	2 単位以上	
		(E) 心と体	2 単位以上	
		(F) ライフマネジメントとキャリアデザイン	2 単位以上	

5. 英語でおこなわれる科目について

総合科目のうち、科目名が英語で表記されているものは、英語で授業がおこなわれます。備考欄に記載されている英語力に関する推奨条件をよく確認したうえで、履修登録をおこなってください。また履修者数に制限が設定されている場合がありますので、その点にも注意が必要です。なお、一部の例外を除きこれらの科目は、人文学部の学修プログラムの一つ「GSC（英語）アソシエイトプログラム」（165頁）の認定に必要な科目に含まれています。

6. 「(E) 心と体」分野のスポーツ実践

総合科目のうち、**スポーツ実践**を履修する際には以下の事項に注意してください。

- ① 成績評価にあたっては、授業への参加度および履修態度（平常点）を主要なものとし、欠席数が多い場合や履修態度が著しく悪い場合は不合格となり、単位の認定がおこなわれません（遅刻1回、見学1回は0.5回の欠席に換算します）。ただし、特別な事情がある場合は別に考慮することがあるので、その旨を申し出てください。
- ② 春の健康診断を受けていない場合は不合格となり、単位の認定がおこなわれません。やむを得ない理由で健康診断を受けられなかった場合には、速やかに大学保健室および身体運動科学研究室に申し出て、指示を受けてください。
- ③ スポーツ実践は体育の実技です。必ず運動に適した服装で授業を受けてください。
- ④ 実技科目であるため、履修者数を制限します。

7. 実践セクションの特殊な履修手続きについて

実践セクションの授業のうちF群の「海外フィールド実習」は、通常の履修登録の手続きとは異なり、ガイダンスを実施するなどしたのちに、授業担当者に直接履修登録の申請をおこないます。通常の履修登録期間・履修取消期間外におこなわれるため、履修取消の対象外ですので、注意してください。

総合科目は、下表の通りです。

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考	
(A) 情報とコミュニケーション	講義	GEO02010	他者理解とコミュニケーション	2	1～4	開講	講義	
		GEO02020	情報技術と人間社会	2	1～4	開講	講義	
		GEO02030	知識社会の情報学	2	1～4	開講	講義	
		GEO02040	データ分析の基礎	2	1～4	開講	講義	
		GEO12040	データ分析の応用	2	1～4	開講	講義	
		GEO02050	Information Technology and Global Communication	2	1～4	開講	講義	* ※ (1)
	実践	GEO01010	表現技法とインタラクション	2	1～4	開講	演習	
		GEO01020	問題解決とコンピューティング	2	1～4	開講	演習	
		GEO01030	デジタル協働学	2	1～4	開講	演習	
		GEO01040	データマイニング入門	2	1～4	開講	演習	
		GEO01050	インターネット・イングリッシュ	2	1～4	開講	演習	
		GEO01060	クリエイティブ・ライティング	2	1～4	開講	演習	
		GEO01070	アカデミック・ディベート	2	1～4	開講	演習	
		GEO01100	Introduction to Critical Thinking	2	1～4	開講	演習	※ (2)
(B) 歴史と文化	講義	GEB02010	グローバル時代の歴史認識	2	1～4	開講	講義	
		GEB02020	20世紀の世界	2	1～4	開講	講義	
		GEB02030	20世紀の日本	2	1～4	開講	講義	
		GEB02040	社会思想の歴史	2	1～4	開講	講義	*
		GEB02050	世界の言語と文化	2	1～4	開講	講義	
		GEB02060	日本と世界の宗教	2	1～4	開講	講義	
		GEB02070	日本の伝統と文化	2	1～4	開講	講義	
		GEB02080	現代世界の人と生活	2	1～4	開講	講義	
		GEB02090	多文化共生の現在	2	1～4	開講	講義	
	GEB02100	Introduction to Global History	2	1～4	開講	講義	※ (1)	
	実践	GEB01010	世界の名著	2	1～4	開講	演習	
		GEB01020	日本の名著	2	1～4	開講	演習	
		GEB01030	文化財リサーチプロジェクト	2	1～4	開講	演習	
		GEB01040	学園史 100年プロジェクト	2	1～4	開講	演習	
(C) 現代社会	講義	GEC02010	日本国憲法	2	1～4	開講	講義	
		GEC02020	現代社会と政治	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02030	現代社会と法	2	1～4	開講	講義	
		GEC02040	現代社会と経済	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02050	現代社会と人権	2	1～4	開講	講義	
		GEC02060	現代社会と環境	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02070	現代社会とジェンダー	2	1～4	欠講	講義	*
		GEC02080	現代社会とアート	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02090	国際社会における紛争と協調	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02100	グローバリズムと21世紀	2	1～4	欠講	講義	*
		GEC02110	現代日本の課題	2	1～4	開講	講義	
		GEC02120	Introduction to Global Studies	2	1～4	開講	講義	※ (1)
		GEC02130	Understanding the Contemporary Global Economy	2	1～4	開講	講義	* ※ (1)
	GEC02140	Introduction to Human Rights	2	1～4	欠講	講義	* ※ (1)	
	実践	GEC01010	経済ニュース・リーディング	2	1～4	開講	演習	*
		GEC01020	人権ワークショップ	2	1～4	開講	演習	
		GEC01030	現代アート・ワークショップ	2	1～4	開講	演習	
(D) 自然と環境	講義	GED02010	地球の自然史	2	1～4	開講	講義	
		GED02020	地球環境	2	1～4	開講	講義	
		GED02030	人間と環境	2	1～4	開講	講義	
		GED02040	数学の世界	2	1～4	開講	講義	
		GED02050	自然と生活のなかの物理	2	1～4	開講	講義	
		GED02060	化学と現代社会	2	1～4	開講	講義	
		GED02070	生命の進化	2	1～4	開講	講義	
		GED02080	人の進化	2	1～4	開講	講義	
		GED02090	人間と科学技術の歩み	2	1～4	開講	講義	
		GED02100	先進の科学技術	2	1～4	開講	講義	
		GED02110	Global Environmental Issues	2	1～4	開講	講義	* ※ (1)
		GED02120	Introduction to Human Geography	2	1～4	欠講	講義	* ※ (1)
	実践	GED01010	武蔵・環境フィールドワーク	2	1～4	開講	演習	
		GED06010	自然科学集中プロジェクト A	1	1～4	開講	実習	集中
		GED06020	自然科学集中プロジェクト B	1	1～4	開講	実習	集中
		GED06030	物理学ラボワーク A	1	1～4	開講	実験・講義	
		GED06040	物理学ラボワーク B	1	1～4	開講	実験・講義	
		GED06050	化学ラボワーク A	1	1～4	開講	実験・講義	
GED06060	化学ラボワーク B	1	1～4	開講	実験・講義			
GED06070	生物学ラボワーク A	1	1～4	開講	実験・講義			
GED06080	生物学ラボワーク B	1	1～4	開講	実験・講義			

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考	
(E) 心と体	講義	GEE02010	こころの科学と健康	2	1～4	開講	講義	
		GEE02020	臨床心理学と人間理解	2	1～4	開講	講義	
		GEE02030	スポーツと健康の科学	2	1～4	開講	講義	
		GEE02040	スポーツの哲学	2	1～4	開講	講義	
		GEE02050	スポーツの歴史と文化	2	1～4	開講	講義	
		GEE02060	スポーツの社会環境	2	1～4	開講	講義	
		GEE02070	スポーツの心理学	2	1～4	開講	講義	
		GEE02080	Introduction to Personal Health and Wellness	2	1～4	開講	講義	※(1)
	実践	GEE01010	心理学ワークショップ	2	1～4	開講	演習	
		GEE01020	アダプテッドスポーツ・ワークショップ	2	1～4	開講	演習	
		GEE06010	スポーツ実践1(バレーボール)	1	1～4	開講	実技	
		GEE06020	スポーツ実践2(バスケットボール)	1	1～4	開講	実技	
		GEE06030	スポーツ実践3(ファンランニング)	1	1～4	開講	実技	*
		GEE06040	スポーツ実践4(フットサル)	1	1～4	開講	実技	
GEE06050		スポーツ実践5(バドミントン)	1	1～4	開講	実技		
GEE06060		スポーツ実践6(卓球)	1	1～4	開講	実技		
GEE06070		スポーツ実践7(アドバンストゴルフ)	1	1～4	開講	実技	*	
GEE06080		スポーツ実践8(ベーシックゴルフ)	1	1～4	開講	実技		
GEE06090		スポーツ実践9(水泳)	1	1～4	開講	実技		
GEE06100		スポーツ実践10(エアロビクス&フィットネス)	1	1～4	開講	実技		
GEE06110		スポーツ実践11(リラクゼーション&ウォーキング)	1	1～4	開講	実技		
GEE06120	スポーツ実践12(護身術と柔道)	1	1～4	開講	実技			
GEE06130	スポーツ実践13(スキー)	1	1～4	開講	実技	*		
GEE06140	スポーツ実践14(スノーボード)	1	1～4	開講	実技	*		
(F) キャリアデザイン	講義	GEF02010	自己理解の哲学	2	1～4	開講	講義	
		GEF02020	キャリアデザイン論A	2	1～4	開講	講義	
		GEF02030	キャリアデザイン論B	2	1～4	開講	講義	
		GEF22010	キャリア対策科目	2	2～4	開講	講義	
		GEF02040	ライフサイクルと生涯学習	2	1～4	開講	講義	
		GEF02050	心理学と社会	2	1～4	開講	講義	
		GEF02060	Career Design in a Global Age	2	1～4	開講	講義	※(1)
	実践	GEF21010	キャリアデザイン演習	2	2～4	開講	演習	
		GEF31010	インターンシップ特講	1	3・4	開講	演習	
		GEF46010	インターンシップ	1	3・4	開講	実習	
		GEF01040	キャリア形成認定科目	2	-	開講	-	資格認定科目
		GEF01010	海外調査方法論	2	1～4	開講	演習	
		GEF06010	海外フィールド実習	1	1～4	開講	実習	*
		GEF06020	ボランティア実習	1	1～4	開講	実習	*

注意事項

※(1) 授業で用いられる主要言語は英語です。授業内容をシラバスで良く確認したうえで、履修を決定してください。

※(2) 履修者は人文学部のグローバル・スタディーズコース(英語プログラム)所属学生に限ります。

4 英語英米文化学科 外国語科目

卒業に必要な外国語科目の単位は以下のとおりです。外国語科目は特に出席が重視され、授業回数の3分の1以上を欠席した場合、単位が与えられません。また、外国語科目を指定された年次で修得できない場合、専門科目の履修に制限を受けたり、卒業論文履修資格を得ることができなかつたりと、卒業に支障をきたすこともあるので注意してください。

TOEIC® L&R IP テスト（学内試験）について

1年次生、2年次生全員を対象に12月にテストを実施します。マークシート方式の英語実力判定試験です。自らの英語力の把握に役立つだけでなく、最近では企業への就職の際にスコアの提出が求められる場合も多くなっているため、大学での英語学習のひとつの重要な軸として、このテストを必ず受験してください。なお、結果は各自に通知されます（詳細は3Sで別途指示します）。

1. 必修外国語と選択外国語 I

◇ 外国語修得必要単位数

必修外国語（英語）	12 単位	計 14 単位
選択外国語 I（ドイツ語、フランス語、スペイン語から 1 言語）	2 単位	

= クラス編成表 =

- ① 1年次では、英語は二つのクラスで、選択外国語は一つのクラスで下表の授業数を履修します。
- ② 2年次では、英語は新たに編成されるクラスのもとで、下表の授業数を履修します。
- ③ 選択外国語ではクラスを増やすことがあります。そのときはクラス名に - 1、- 2 を付記します。〈例 A1G - 2〉

種類 履修年次	クラス名	必修外国語 授業名（必要数）	クラス名	必修外国語 授業名（必要数）	クラス名	選択外国語 I 授業名（必要数）
1 年次	A1A	英語 I (2 授業 2 単位)	A1a	英語 I (4 授業 4 単位)	A1G	ドイツ語 I (2 授業 2 単位)
	A1B		A1b		A1F	フランス語 I (2 授業 2 単位)
	A1C		A1c		A1S	スペイン語 I (2 授業 2 単位)
	A1D		A1d			
			A1e			
			A1f			
2 年次			A2a	英語 II (6 授業 6 単位)		
			A2b			
			A2c			
			A2d			
			A2e			
			A2f			

外国語科目の履修にあたっては以下の注意をよく読んでください

- ① 必修外国語と選択外国語 I は、必ず自分の配属されているクラスで履修してください。
- ② 必修外国語と選択外国語 I は、必要な単位を超えて履修することはできません。
- ③ 外国語の授業は出席が特に重視されるので注意してください。
- ④ 高等学校等ですでにドイツ語、フランス語、スペイン語を履修した者については、本人の希望に基づき審査を経て、他の科目を履修してその単位を読み替えることを認めます。希望者はガイダンス終了時に、教務課に申し出て指示を受けてください。

◆ 2年次外国語クラスへ進むための条件

◎ 1年次必修外国語（英語）6授業（6単位）と選択外国語Ⅰ（ドイツ語/フランス語/スペイン語）2授業（2単位）のうち、6授業（6単位）以上を修得していること。

1年次終了の段階で条件を充たしていない場合は、2年次外国語クラスへ進むことができません。翌年度に再び1年次クラスで未修得の授業を履修しなければなりません。なお、履修すべき授業は年度初めに指定します。また、2年次外国語クラスに進むまでは、専攻専門科目のうち、ゼミナールを履修することはできません。ただし講義科目や実習については履修制限はありません。

◆ 2年次外国語クラスへ進んだ学生の未修得授業の再履修について

必修外国語（英語）および選択外国語Ⅰ未修得単位は、年度初めに指定されるクラスで修得しなければなりません。

2. 選択外国語Ⅱ

- ① 以下の表に示されているのは「選択外国語Ⅱ」と呼ばれる科目群です。
- ② 卒業のために単位修得が必要とされる科目ではありませんが、最大8単位まで総合科目の履修単位として、卒業必要単位に算入することができます。
- ③ 春季・夏季休暇を利用して短期留学を実施する外国語現地実習（英語）は英語の学習にとって重要ですので、積極的に履修してください。
- ④ 外国語科目として日本語を履修できるのは、協定留学生や外国人学生特別入学試験によって入学した学生、外国語の高校を卒業した学生、グローバル・スタディーズコース所属の留学生などに限定されています。詳細は「留学・国際交流関連科目」のEAS科目一覧の注（168頁）を参照してください。

言語	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
英語	ブラクティカル・イングリッシュ1	1	1～4	開講	実習（外国語）	
	ブラクティカル・イングリッシュ2	1	1～4	開講	実習（外国語）	
	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング1	1	1～4	開講	実習（外国語）	
	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング2	1	1～4	開講	実習（外国語）	
	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ1	1	1～4	開講	実習（外国語）	*
	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ2	1	1～4	開講	実習（外国語）	*
	ディスカッション・ディベート英語1	1	1～4	開講	実習（外国語）	
	ディスカッション・ディベート英語2	1	1～4	開講	実習（外国語）	
	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ1	1	1～4	開講	実習（外国語）	*
	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ2	1	1～4	開講	実習（外国語）	*
	ビジネス・コミュニケーション英語1	1	1～4	開講	実習（外国語）	
	ビジネス・コミュニケーション英語2	1	1～4	開講	実習（外国語）	
	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ1	1	1～4	開講	実習（外国語）	
	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ2	1	1～4	開講	実習（外国語）	
ドイツ語	ドイツ語入門1	1	1～4	開講	実習（外国語）	
	ドイツ語入門2	1		開講	実習（外国語）	
	ドイツ語中級1	1	2～4	欠講	実習（外国語）	*
	ドイツ語中級2	1		欠講	実習（外国語）	*
	ドイツ語コミュニケーション1	1		開講	実習（外国語）	*
ドイツ語コミュニケーション2	1	開講	実習（外国語）	*		
フランス語	フランス語入門1	1	1～4	開講	実習（外国語）	
	フランス語入門2	1		開講	実習（外国語）	
	フランス語中級1	1	2～4	欠講	実習（外国語）	*
	フランス語中級2	1		欠講	実習（外国語）	*
	フランス語コミュニケーション1	1		開講	実習（外国語）	*
フランス語コミュニケーション2	1	開講	実習（外国語）	*		
スペイン語	スペイン語入門1	1	1～4	開講	実習（外国語）	
	スペイン語入門2	1		開講	実習（外国語）	
	スペイン語中級1	1	2～4	開講	実習（外国語）	*
	スペイン語中級2	1		開講	実習（外国語）	*
	スペイン語コミュニケーション1	1		欠講	実習（外国語）	*
スペイン語コミュニケーション2	1	欠講	実習（外国語）	*		
中国語	中国語入門1	1	1～4	開講	実習（外国語）	
	中国語入門2	1		開講	実習（外国語）	
	中国語中級1	1	2～4	欠講	実習（外国語）	*
	中国語中級2	1		欠講	実習（外国語）	*
	中国語コミュニケーション1	1		開講	実習（外国語）	*
中国語コミュニケーション2	1	開講	実習（外国語）	*		

第1章 授業科目の履修

言語	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語入門1	1	1～4	開講	実習(外国語)	
	韓国・朝鮮語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	韓国・朝鮮語中級1	1	2～4	開講	実習(外国語)	*
	韓国・朝鮮語中級2	1		開講	実習(外国語)	*
	韓国・朝鮮語コミュニケーション1	1		欠講	実習(外国語)	*
	韓国・朝鮮語コミュニケーション2	1		欠講	実習(外国語)	*
イタリア語	イタリア語入門1	1	1～4	開講	実習(外国語)	
	イタリア語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	イタリア語中級1	1	2～4	欠講	実習(外国語)	*
	イタリア語中級2	1		欠講	実習(外国語)	*
	イタリア語コミュニケーション1	1		開講	実習(外国語)	*
	イタリア語コミュニケーション2	1		開講	実習(外国語)	*
ロシア語	ロシア語入門1	1	1～4	開講	実習(外国語)	
	ロシア語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	ロシア語中級1	1	2～4	開講	実習(外国語)	*
	ロシア語中級2	1		開講	実習(外国語)	*
	ロシア語コミュニケーション1	1		欠講	実習(外国語)	*
	ロシア語コミュニケーション2	1		欠講	実習(外国語)	*
現地実習	外国語現地実習(英語)1	2	1～4	開講	実習	
	外国語現地実習(英語)2	2		開講	実習	
	外国語現地実習(ドイツ語)1	2		開講	実習	
	外国語現地実習(ドイツ語)2	2		開講	実習	
	外国語現地実習(フランス語)1	2		開講	実習	
	外国語現地実習(フランス語)2	2		開講	実習	
	外国語現地実習(中国語)1	2		開講	実習	
	外国語現地実習(中国語)2	2		開講	実習	
	外国語現地実習(韓国・朝鮮語)1	2		開講	実習	
	外国語現地実習(韓国・朝鮮語)2	2		開講	実習	
日本語	日本語(コンプリートビギナー)1	1	1～4	欠講	実習(外国語)	
	日本語(コンプリートビギナー)2	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(入門)1	1		開講	実習(外国語)	*
	日本語(入門)2	1		欠講	実習(外国語)	*
	日本語(初級)1	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(初級)2	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(初中級)1	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(初中級)2	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(中級)1	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(中級)2	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(上級)1	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(上級)2	1		開講	実習(外国語)	

※ 各国語の入門1・2(「○○語入門1」「○○語入門2」)以外の科目は、履修に先だって、当該外国語の初級文法の学習を終えていることが条件となります。初級文法授業とは、各学部学科の当該外国語の1年次配当授業のうち初級文法の内容を含むもの、全学共通の入門授業、もしくは高等学校や大学等で入学前に受けた授業(初級文法を含むと判断できるもの)です。1年次生や編転入学者など、入学1年目の学生については、入学前に受けた初級文法授業がある場合のみ、申請によって履修登録をおこなうことができます。

※ 「中国語コミュニケーション1」「中国語コミュニケーション2」、「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」は入門を終えた人が履修する会話の授業です。学習歴2年目以上の学生を対象としています。

3. 外国語学習の手引き

(1) 英語について

大学で学ぶ英語は、入学時まで学習してきた内容を確認なものとするという側面と、それをふまえてより発展的な学習をおこなうという二つの性格をあわせ持っています。様々な学習・研究のなかで英語文献や資料を読む必要が出てくる場合に備えて、的確に英文の内容をつかむことができるだけの英語力を身につけておかなければなりません。それと同時に、異文化コミュニケーションの現場で必要とされる英語を聞く力・話す力の養成も重視するという観点から、実践的な英語力をつけるための学習にも力をいれるようにしてください。

まず、入学時に英語クラス分け試験を受験し、その結果に基づいて配属された到達度別クラスで授業を受けます。授業のための学習、及び自主学習の成果をはかるために、1年次、2年次の後期には全員がTOEIC® L&R IPを受験します。この検定は、就職活動の際にスコアを要求されることもある英語能力試験TOEIC®の団体受験制度によって行われ、テスト結果の有効性は通常公開テストと同等であると判断されています。これにより、皆さんは自分の英語能力を知ることができ、その後の進路選択や学習計画に活用することができます。

英語英米文化学科における専攻の学習・研究や、実社会において異文化間のコミュニケーションをおこなうのに必要な英語力を身につけるため、以下のような英語学習プログラムが用意されています。

① 1年次：

- ・CALL教室を利用しておこなうリスニング力アップのためのクラス前期、後期それぞれ週1回、合計2授業（2単位）
- ・リーディングとライティングの力をつけるための少人数クラス前期、後期それぞれ週2回、合計4授業（4単位）
- ・「英語ワークショップ1」「英語ワークショップ2」（プレゼンテーションに基づくディスカッションを通じ、2年次のコミュニケーション・ゼミナールに向けた基礎的スキルを身につける）前期、後期それぞれ週1回、合計2授業（2単位）

② 2年次：

- ・ネイティブ・スピーカーによるスピーキング・リスニング学習用少人数クラス 前期、後期それぞれ週1回、合計2授業（2単位）
- ・リーディングとライティングの力をつけるための少人数クラス前期、後期それぞれ週2回、合計4授業（4単位）
- ・「コミュニケーション・ゼミナール1」「コミュニケーション・ゼミナール2」（発表技能の定着・向上とそれを可能にする語彙・文法知識の増強を柱とする発信型英語能力養成の授業）前期、後期それぞれ週1回、合計2授業（4単位）

③実習：英会話、英作文、発音練習など英語の実践的能力を高めるために設けられた少人数構成の授業。主に2年次から履修可能（※一部1年次から履修できます。「第1章6 英語英米文化学科専門科目（専攻科目）」の「1年次生のための履修案内」を参照）。

④1・2年次の後期に全学の学生がTOEIC® L&R IPテスト（学内試験）を受験し、日頃の英語学習の成果をTOEIC®のスコアの形で把握するシステムとなっていますが、英語英米文化学科の学生は、上記①～③の学習をすることがそのままTOEIC®の準備をすることにもなると理解してください。さらにTOEIC®向けの学習をしたい人のためには実習科目「TOEIC イングリッシュ1」「TOEIC イングリッシュ2」が設けられています。

◇ 選択外国語科目Ⅱとしての英語

必修科目としての英語の他に、選択外国語科目Ⅱとしての英語科目である「プラクティカル・イングリッシュ1」「プラクティカル・イングリッシュ2」、「イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング1」「イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング2」「イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ1」「イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ2」「ディスカッション・ディベート英語1」「ディスカッション・ディベート英語2」「クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ1」「クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ2」「ビジネス・コミュニケーション英語1」「ビジネス・コミュニケーション英語2」「イングリッシュ・ライティング・ワークショップ1」「イングリッシュ・ライティング・ワークショップ2」「外国語現地実習（英語）1」「外国語現地実習（英語）2」を履修することができます。選択外国語科目Ⅱ全体で8単位まで卒業単位の総合科目20単位の中に入めることができます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座科目」の英語

「グローバル・コミュニケーション1」「グローバル・コミュニケーション2」、「留学のための英語講座A1」「留学のための英語講座A2」「留学のための英語講座B1」「留学のための英語講座B2」など留学を希望する学生、あるいはより高い英語学習を求める学生のためのクラスが設けられています（A1・A2がTOEFL対策、B1・B2がIELTS対策のクラスです）。

(2) ドイツ語について

ドイツ語はほとんどの学生にとって大学ではじめて学ぶ言語です。英語英米文化学科では、教養の深化、国際的視野の拡大のため英語以外の外国語による初歩的な情報収集能力・読解力を身につける授業を展開しています。

選択外国語Iとして1年次には前期・後期合わせて2授業(2単位)履修します(週1回)。内容は、主に文法読本です。アルファベット・単語の発音から始めて、1年間でドイツ語の基礎を身につけます。

なお、選択外国語Iのドイツ語を履修し終えて、さらに上のレベルに進みたい場合は、選択外国語IIの「ドイツ語中級1」「ドイツ語中級2」「ドイツ語コミュニケーション1」「ドイツ語コミュニケーション2」を履修できます。

◇ 選択外国語IIのドイツ語

「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」:

はじめてドイツ語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語Iとしてドイツ語を履修していない人が、第3の外国語としてドイツ語を学べるようになっています。

「ドイツ語中級1」「ドイツ語中級2」:

上記の「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」ないし選択外国語Iのドイツ語初級文法授業の単位を修得した人のための読解授業です。内容は文学や芸術に関わるものから社会的な事象まで、担当者によって異なります。

「ドイツ語コミュニケーション1」「ドイツ語コミュニケーション2」:

上記の「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」ないし選択外国語Iのドイツ語初級文法授業の単位を修得した人のための会話授業です。

「外国語現地実習(ドイツ語)1」「外国語現地実習(ドイツ語)2」:

選択外国語IまたはIIとしてドイツ語を履修した人にお勧めします。「外国語現地実習(ドイツ語)1」は春季に、「外国語現地実習(ドイツ語)2」は夏季にドイツで実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座科目」のドイツ語

「ドイツ語論述実習1」「ドイツ語論述実習2」、「ドイツ語圏の社会と文化1」「ドイツ語圏の社会と文化2」:

ドイツに長期留学したい人や高度なドイツ語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業はドイツ語を母語とする教員がドイツ語でおこないます。

(3) フランス語について

フランス語は、ほとんどの学生にとってはじめて出会う外国語ですから、基礎から学びます。多言語理解に基づく広い国際的な視野を養います。歴史的に英語とフランス語は深く関係しているので、英語の理解にとってもフランス語の知識は大変役立ちます。

選択外国語Iとして1年次には前期・後期合わせて2授業(2単位)履修します(週1回)。内容は、初級文法読本で、前期1授業、後期1授業あります。文法、発音、簡単な文章の読解、会話表現など、フランス語の基礎を学びます。

なお、選択外国語Iのフランス語を履修し終えて、さらに上のレベルに進みたい場合は、選択外国語IIの「フランス語中級1」「フランス語中級2」「フランス語コミュニケーション1」「フランス語コミュニケーション2」を履修できます。

◇ 選択外国語Ⅱのフランス語

「フランス語入門1」「フランス語入門2」:

はじめてフランス語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語Ⅰとしてフランス語を履修していない人が、第3の外国語として学べるようになっています。

「フランス語中級1」「フランス語中級2」:

上記の「フランス語入門1」「フランス語入門2」ないし選択外国語Ⅰのフランス語を履修し終えた人のための読解授業です。内容的には、時事関係、現代社会の諸問題など様々なテーマを取り上げます。

「フランス語コミュニケーション1」「フランス語コミュニケーション2」:

上記の「フランス語入門1」「フランス語入門2」ないし選択外国語Ⅰのフランス語を履修し終えた人のための会話授業です。

「外国語現地実習(フランス語)1」「外国語現地実習(フランス語)2」:

選択外国語ⅠまたはⅡとしてフランス語を履修した人にお勧めします。「外国語現地実習(フランス語)1」は春季に、「外国語現地実習(フランス語)2」は夏季に集中的にフランスで実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座科目」のフランス語

「フランス語論述実習1」「フランス語論述実習2」、「フランスの歴史と社会1」「フランスの歴史と社会2」:

フランスに長期留学したい人、また高度なフランス語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業はフランス語を母語とする教員がフランス語でおこないます。

(4) スペイン語について

スペイン語はドイツ語、フランス語とならんで英語英米文化学科の選択外国語Ⅰの1つで、教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

選択外国語Ⅰとして1年次には前期・後期合わせて2授業(2単位)履修します(週1回)。内容は、主に文法読本です。アルファベット・単語の発音から始めて、1年間でスペイン語の基礎を身につけます。

◇ 選択外国語Ⅱのスペイン語

「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」:

はじめてスペイン語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語Ⅰとしてスペイン語を履修していない人が、第3の外国語としてスペイン語を学べるようになっています。

「スペイン語中級1」「スペイン語中級2」:

上記の「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」ないし選択外国語Ⅰのスペイン語の初級文法授業の単位を修得した人のための読解授業です。

「スペイン語コミュニケーション1」「スペイン語コミュニケーション2」:

上記の「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」ないし選択外国語Ⅰのスペイン語の初級文法授業の単位を修得した人のための会話授業です。

(5) 中国語について

英語英米文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱの中国語です。

◇ 選択外国語Ⅱの中国語

「中国語入門1」「中国語入門2」「中国語中級1」「中国語中級2」「中国語コミュニケーション1」「中国語コミュニケーション2」は、第3の外国語として中国語も学習したいという学生のために開設されている、それぞれ週1回の授業です。「外国語現地実習(中国語)1」「外国語現地実習(中国語)2」は、春季および夏季に中国または台湾でおこなわれる短期留学です。

「中国語入門1」「中国語入門2」:

はじめて中国語を学ぶ人のための初級クラス（初学者＝学習歴1年目の学生を対象）。

「中国語中級1」「中国語中級2」:

入門を終えた人が履修する中級レベルの授業（学習歴2年目の学生を対象）。

「中国語コミュニケーション1」「中国語コミュニケーション2」:

入門を終えた人が履修する会話の授業（学習歴2年以上の学生を対象）。

「外国語現地実習（中国語）1」「外国語現地実習（中国語）2」:

選択外国語Ⅱとして中国語を履修した人にお勧めします。武蔵大学の中国語のカリキュラムで1年間学習した学生ならば、これに参加できる能力が充分についているでしょう。「外国語現地実習（中国語）1」「外国語現地実習（中国語）2」は、春季および夏季に中国または台湾で集中的に実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座」の中国語

「中国の社会と文化1」「中国の社会と文化2」「中国語論述実習1」「中国語論述実習2」:

中国に長期留学したい人や高度な中国語能力を身につけたい人のための授業です。授業は中国語を母語とする教員が中国語でおこないます。

(6) 韓国・朝鮮語について

英語英米文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱの韓国・朝鮮語です。

◇ 選択外国語Ⅱの韓国・朝鮮語

「韓国・朝鮮語入門1」「韓国・朝鮮語入門2」「韓国・朝鮮語中級1」「韓国・朝鮮語中級2」「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」は、第3の外国語として韓国・朝鮮語も学習したいという学生のために開設されている、それぞれ週1回の授業です。「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」は、春季および夏季に韓国現地でおこなわれる短期留学です。

「韓国・朝鮮語入門1」「韓国・朝鮮語入門2」:

はじめて韓国・朝鮮語を学ぶ人のための初級クラス（初学者＝学習歴1年目の学生を対象）。

「韓国・朝鮮語中級1」「韓国・朝鮮語中級2」:

入門を終えた人が履修する中級レベルの授業（学習歴2年目の学生を対象）。

「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」:

入門を終えた人が履修する会話の授業（学習歴2年以上の学生を対象）。

「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」:

選択外国語Ⅱとして韓国・朝鮮語を履修した人にお勧めします。武蔵大学の韓国・朝鮮語のカリキュラムで1年間学習した学生ならば、これに参加できる能力が充分についているでしょう。「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」は春季に、「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」は夏季に集中的に韓国現地で開催されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座」の韓国・朝鮮語

「韓国・朝鮮の社会と文化1」「韓国・朝鮮の社会と文化2」「韓国・朝鮮語論述実習1」「韓国・朝鮮語論述実習2」:

韓国に長期留学したい人や高度な韓国語能力を身につけたい人のための授業です。授業は韓国語を母語とする教員が韓国語でおこないます。

(7) イタリア語について

英語英米文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱのイタリア語です。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

◇ 選択外国語Ⅱのイタリア語

「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」:

はじめてイタリア語を学ぶ人のための初級文法の授業です。第3の外国語として学べるようになっています。

「イタリア語中級1」「イタリア語中級2」:

上記の「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」を履修し終えた人のための読解授業です。

「イタリア語コミュニケーション1」「イタリア語コミュニケーション2」:

上記の「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」を履修し終えた人のための会話授業です。

(8) ロシア語について

英語英米文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱのロシア語です。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」:

はじめてロシア語を学ぶ人のための初級文法の授業です。

「ロシア語中級1」「ロシア語中級2」:

上記の「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」の単位を修得した人のための読解授業です。

「ロシア語コミュニケーション1」「ロシア語コミュニケーション2」:

上記の「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」の単位を修得した人のための会話授業です。

【注意】

選択外国語Ⅱの科目は、どの言語のどの科目を履修しても8単位までは卒業単位の総合科目20単位の中に含めることができます。

(9) グローバル教育センターによる外国語学習プログラム他

グローバル教育センターでは、以下のような様々な外国語学習の機会を用意しています。正課の授業で基礎力を確保し、さらにそれを発展させるような機会を積極的に利用して、実力をアップさせていくことが望まれます。

(1) 課外講座

TOEIC® および IELTS™ の得点アップを希望する意欲ある学生を対象に、試験対策の課外講座等を有料で提供しています。

① TOEIC® L&R スコアアッププログラム

TOEIC® L&R テストのスコアアップを目指すプログラム「TOEIC700点突破コース」と「TOEIC550点突破コース」を開講します。詳細は3Sで確認してください。

② IELTS™ 対策講座

英語圏への留学の際に必要な IELTS™ のスコアアップをめざす IELTS™ 対策講座を企画しています。詳細は3Sでご確認ください。

(2) 武蔵大学外国語学習褒賞・勸奨制度

対象の言語は、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語（日本語教育能力検定試験）等です。それぞれの基準や条件については、3Sや武蔵大学ウェブサイトを確認してください。

(3) Musashi Communication Village (MCV)

MCV とは、英語をはじめとする外国語や外国の文化を楽しみながら学ぶための課外学習施設で、1号館3階にあり、以下のプログラムやイベントを提供しています。外国語があふれる環境に身をおき、そこで実際に外国語を使うことによってコミュニケーション力をアップしてゆくことができます。「キャンパス内留学」の場として、積極的に活用してください。

① 英会話レッスン

少人数の英会話レッスンをおこなっています。

② フリートーク

外国人スタッフや学生スタッフといつでも気軽な会話を楽しめます。

③ 外国語学習カウンセリング

一人ひとりに合った学習方法などを相談することができます。

④ 異文化体験イベント

外国語力向上や異文化理解を目的としたイベントを開催しています。季節のイベント、各国語のイベントや様々なテーマのイベント、学生スタッフ主催のイベント等を開催しています。

⑤ 講演会

国際理解・異文化交流・外国語学習 についての理解を深めるための講演会を年に 1～2 回、開催しています。

⑥ クッキングクラス（英語）

英会話をしながら料理をつくります。

⑦ アクティビティ

外国語を使いながら、楽しく遊べるアクティビティを外国人スタッフや学生スタッフが毎日実施しています。

⑧ 日本語チューター制度

日本語チューターが留学生の日本語学習をお手伝いします。

【注意】

MCV でおこなわれるプログラムは年度ごとに変ります。プログラムの詳細やスケジュールについては MCV に向いて確認してください。

(4) MITC / English JAM

MITC は、自由参加形式の英語集中合宿（春季、夏季）です。合宿中は英語だけを使って進めるグループ学習が主体で、学生が計画・運営にあたります。英語の使い手になるための様々なトレーニングを経験できます。English JAM は、MITC と同じ趣旨の活動を土曜日の午後に学内でおこなうものです。問合せは、10 号館 2 階 English JAM Room まで。

4. 外国語現地実習

「現地実習」は海外でおこなう語学の集中授業です。イギリス、オーストラリア、フィリピン、ドイツ、フランス、中国、台湾、韓国において、集中授業として実施します。実施時期が春季と夏季の 2 種類あり、春季集中授業は次年度の前期科目、夏季集中授業は実施年度の後期科目となります。授業内容についてはシラバスを参照してください。

外国語現地実習の授業科目には、「外国語現地実習（英語）1」「外国語現地実習（英語）2」、「外国語現地実習（ドイツ語）1」「外国語現地実習（ドイツ語）2」、「外国語現地実習（フランス語）1」「外国語現地実習（フランス語）2」、「外国語現地実習（中国語）1」「外国語現地実習（中国語）2」、「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」があります。

(1) 外国語現地実習の履修条件

これらの科目を履修するには、グローバル教育センターの定めた規則に従い、参加の手続きをグローバル教育センターでとるとともに、履修の詳細、スケジュールに注意して履修登録をしなければなりません。規則を守れない場合、履修登録は完了せず、すでに登録していたとしても無効となりますので、十分注意してください。

(2) 外国語現地実習の履修の詳細

下記（5）外国語現地実習のスケジュール（予定）を参照してください。各科目は履修取消し制度および履修登録科目制限の対象外とします。なお、履修期に休学、退学をすると、単位認定はおこなわれません。

(3) 外国語現地実習の成績評価

成績評価は「P」を合格とし、単位は2単位です。帰国後に提出するレポートと現地での学習成果に基づいて評価します。

(4) 外国語現地実習のガイダンス

履修を希望する場合はグローバル教育センターのガイダンスに出席してください。

(5) 外国語現地実習のスケジュール (予定)

① 夏季集中授業スケジュール

- | | |
|-------|--|
| 4月 | グローバル教育センターによる募集ガイダンス |
| 5～7月 | 参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス |
| 6月 | 履修登録確認
(履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください。) |
| 8～9月 | 現地実習
レポート提出 |
| 翌3月下旬 | 成績確認(4年次生については3月初旬) |

② 春季集中授業スケジュール

単位認定を希望する4年次生の春季現地実習への参加は認められませんので、注意してください。

- | | |
|-------|--|
| 10月 | グローバル教育センターによる募集ガイダンス |
| 11～1月 | 参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス |
| 2～3月 | 現地実習 |
| 4月 | 履修登録確認
(履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください。)
レポート提出 |
| 9月 | 成績確認 |

5 英語英米文化学科 専門科目 (共通専門科目)

人文学部では、所属学科の専門分野にとどまらず、幅広く深い知識を修得できるよう、人文学部他学科およびグローバル・スタディーズコース(英語)の専攻専門科目、学部横断型のプロジェクト科目、他学部の専門科目(全学対象専門科目)、留学・国際交流関連科目、学芸員課程関連科目を共通専門科目に指定し、定められた数の単位修得を求めています。科目によっては特別な履修条件が定められていますので、記されている注意事項を良く読んでください。

卒業に必要な共通専門科目単位	
英語英米文化学科	20 単位

◆ 共通専門科目

◇ 学部共通科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考	
① 比較文化と異文化交流	OTH21010	課題解決型国際ゼミナールプロジェクト	2	2～4	欠講	演習	*	
	OTH11010	人文フィールドワーク入門	2	2～4	開講	演習	*	
	LIT02390	比較文学論(日欧)	2	2～4	開講	講義	*	
	HST02340	ヨーロッパ対外交流史	2	2～4	開講	講義	*	
	ART02380	比較芸術論1	2	2～4	開講	講義	*	
	ART02390	比較芸術論2	2	2～4	開講	講義	*	
	ART02400	イメージ文化論	2	2～4	開講	講義	*	
	ART22410	比較建築空間論	2	2～4	欠講	講義	*	
	ART22420	音響文化論	2	2～4	開講	講義	*	
	PHI02370	比較思想(日欧)	2	2～4	欠講	講義	*	
	EUS02350	テクノロジー文化論	2	2～4	開講	講義	*	
	EUS02360	観光文化論(ヨーロッパ)	2	2～4	欠講	講義	*	
	IAS02610	イスラーム文化論1	2	2～4	開講	講義		
	IAS02620	イスラーム文化論2	2	2～4	欠講	講義		
	IAS21610	イスラーム文化演習1	2	2～4	開講	演習		
	IAS21620	イスラーム文化演習2	2	2～4	開講	演習		
	GLS02310	越境文化論	2	2～4	開講	講義	*	
	ANT02610	文化人類学概論1	2	2～4	欠講	講義		
	ANT02620	文化人類学概論2	2	2～4	開講	講義		
	HST02710	東アジアの美術工芸史1	2	2～4	開講	講義		
	HST02720	東アジアの美術工芸史2	2	2～4	開講	講義		
	ARE02610	環日本海文化論1	2	2～4	欠講	講義		
	ARE02620	環日本海文化論2	2	2～4	欠講	講義		
	OTH02040	文化財科学	2	1～4	開講	講義		
	(言語・文学) ② 欧米の文化	LIT02350	ヨーロッパ古典文学	2	2～4	開講	講義	*
		LIT02360	ヨーロッパの文学1	2	2～4	欠講	講義	*
LIT02370		ヨーロッパの文学2	2	2～4	開講	講義	*	
LNG02370		ギリシア語学1	2	2～4	開講	講義	*	
LNG02380		ギリシア語学2	2	2～4	開講	講義	*	
LNG02350		ラテン語学1	2	2～4	欠講	講義	*	
LNG02360		ラテン語学2	2	2～4	欠講	講義	*	
LNG02310		ドイツ語学1	2	2～4	開講	講義	*	
LNG02320		ドイツ語学2	2	2～4	欠講	講義	*	
LNG02330		フランス語学1	2	2～4	開講	講義	*	
LNG02340		フランス語学2	2	2～4	開講	講義	*	
LIT02310		ドイツ文学史1	2	2～4	開講	講義	*	
LIT02320		ドイツ文学史2	2	2～4	開講	講義	*	
LIT02330		フランス文学史1	2	2～4	欠講	講義	*	
LIT02340	フランス文学史2	2	2～4	欠講	講義	*		
LNG12050	Introduction to Applied Linguistics	2	2～4	開講	講義	*		
(芸術・思想・宗教) ③ 欧米の文化	ART02310	ドイツ語圏の芸術	2	2～4	開講	講義	*	
	ART02320	フランスの芸術1	2	2～4	開講	講義	*	
	ART02330	フランスの芸術2	2	2～4	欠講	講義	*	
	EUS02370	ヨーロッパの神話と伝説1	2	2～4	開講	講義	*	
	EUS02380	ヨーロッパの神話と伝説2	2	2～4	開講	講義	*	
	ART02340	ヨーロッパの芸術	2	2～4	開講	講義	*	
	PHI02360	ヨーロッパ思想史	2	2～4	開講	講義	*	
	PHI02310	ドイツ語圏の思想と文化1	2	2～4	欠講	講義	*	
	PHI02320	ドイツ語圏の思想と文化2	2	2～4	開講	講義	*	
	PHI02330	フランス思想史1	2	2～4	開講	講義	*	
	PHI02340	フランス思想史2	2	2～4	開講	講義	*	
	PHI02350	ヨーロッパの哲学	2	2～4	開講	講義	*	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
④ 欧米の歴史と現在	HST02350	ギリシア・ローマ史	2	2～4	開講	講義	*
	HST02310	ドイツ中世史	2	2～4	欠講	講義	*
	HST02320	ドイツ近現代史	2	2～4	開講	講義	*
	HST02330	フランス史	2	2～4	開講	講義	*
	GLS02320	地中海文明論	2	2～4	開講	講義	*
	ARE02310	北欧文化論	2	2～4	開講	講義	*
	ARE02320	オーストリア・東欧文化論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02390	ヨーロッパ統合論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02400	ヨーロッパ都市論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02410	現代ヨーロッパ論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02430	ユダヤ文化論	2	2～4	開講	講義	*
	HST02360	ヨーロッパ形成史	2	2～4	開講	講義	*
	HST02370	ヨーロッパ交流史	2	2～4	欠講	講義	*
	EUS02420	ルネサンス文化論	2	2～4	開講	講義	*
	FRS02310	フランス語圏の文化と社会	2	2～4	開講	講義	*
⑤ 東アジアの文化と社会	LIT02710	中国文学史 1	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02720	中国文学史 2	2	2～4	開講	講義	*
	CHS02630	中国の民族と社会 1	2	2～4	欠講	講義	
	CHS02640	中国の民族と社会 2	2	2～4	開講	講義	
	PHI02650	中国思想史 1	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02660	中国思想史 2	2	2～4	開講	講義	*
	CHS02610	現代中国論 1	2	2～4	開講	講義	
	CHS02620	現代中国論 2	2	2～4	開講	講義	
	KOS02710	現代韓国論 1	2	2～4	開講	講義	
	KOS02720	現代韓国論 2	2	2～4	開講	講義	
	KOS02730	朝鮮文化論 1	2	2～4	開講	講義	*
	KOS02740	朝鮮文化論 2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02730	朝鮮文学史 1	2	2～4	欠講	講義	*
LIT02740	朝鮮文学史 2	2	2～4	欠講	講義	*	
⑥ 日本の歴史と文化	LNG02610	日本の言語文化 1	2	2～4	開講	講義	
	LNG02620	日本の言語文化 2	2	2～4	開講	講義	
	LIT02610	日本古典文学史 1	2	2～4	開講	講義	
	LIT02620	日本古典文学史 2	2	2～4	開講	講義	
	LIT02630	日本近現代文学史 1	2	2～4	開講	講義	
	LIT02640	日本近現代文学史 2	2	2～4	開講	講義	
	HST02690	日本芸能史 1	2	2～4	欠講	講義	*
	HST02700	日本芸能史 2	2	2～4	欠講	講義	*
	JPS02610	日本文化論 1	2	2～4	開講	講義	
	JPS02620	日本文化論 2	2	2～4	開講	講義	
	HST02670	日本美術工芸史 1	2	2～4	欠講	講義	
	HST02680	日本美術工芸史 2	2	2～4	欠講	講義	
	HST02630	日本建築史 1	2	2～4	開講	講義	
	HST02640	日本建築史 2	2	2～4	開講	講義	
	FOL02630	民俗宗教論 1	2	2～4	開講	講義	*
	FOL02640	民俗宗教論 2	2	2～4	開講	講義	*
	FOL02610	日本民俗史 1	2	2～4	開講	講義	
	FOL02620	日本民俗史 2	2	2～4	開講	講義	
	HST02610	日本服飾文化史 1	2	2～4	欠講	講義	
	HST02620	日本服飾文化史 2	2	2～4	欠講	講義	
	JPS02630	日本の身体文化 1	2	2～4	開講	講義	*
	JPS02640	日本の身体文化 2	2	2～4	開講	講義	*
	AST02610	琉球文化論 1	2	2～4	開講	講義	
	AST02620	琉球文化論 2	2	2～4	開講	講義	
	LIT02690	日本幻想文学論 1	2	2～4	開講	講義	
	LIT02700	日本幻想文学論 2	2	2～4	開講	講義	
	PHI02610	日本思想史 1	2	2～4	開講	講義	
PHI02620	日本思想史 2	2	2～4	開講	講義		
RELO2610	日本の仏教 1	2	2～4	開講	講義		
RELO2620	日本の仏教 2	2	2～4	開講	講義		

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
⑦ 人間科学と環境	OTH02020	現代スポーツ論	2	1～4	開講	講義	
	OTH02070	スポーツ身体論	2	1～4	欠講	講義	*
	OTH02030	スポーツイメージ文化論	2	1～4	開講	講義	*
	OTH02050	保全生物学	2	1～4	開講	講義	
	OTH02060	動物社会学	2	1～4	開講	講義	
	ENV12310	地球環境シミュレーション	2	1～4	開講	講義	
	OTH02010	宇宙観の歴史	2	1～4	開講	講義	
	ENV02320	都市環境論	2	1～4	開講	講義	
	ENV02310	ヨーロッパ環境論	2	2～4	開講	講義	*
	THE31020	人間・環境ゼミナール A	2	3	開講	演習	
	THE41050	人間・環境ゼミナール B	2	4	欠講	演習	*
	THE41060	人間・環境ゼミナール C	2	4	開講	演習	*
	MCC11010	人文情報リテラシー	2	1～4	開講	演習	
⑧ Global Studies	GLS22010	Introduction to Global Civics 1	2	2～4	開講	講義	
	GLS22020	Introduction to Global Civics 2	2	2～4	開講	講義	
	GLS22030	Introduction to Global Futures Studies 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22040	Introduction to Global Futures Studies 2	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22050	Transnational Issues 1	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS22060	Transnational Issues 2	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS22070	Political Communication 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22080	Political Communication 2	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22090	Global Literatures in English 1	2	2～4	開講	講義	
	GLS22100	Global Literatures in English 2	2	2～4	開講	講義	
	GLS22110	Introduction to Cultural Studies 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22120	Introduction to Cultural Studies 2	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22130	Migration and Literature 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22140	Migration and Literature 2	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22150	World Englishes 1	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS22160	World Englishes 2	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS22170	Japanese Cultural History in Global Perspective 1	2	2～4	開講	講義	
	GLS22180	Japanese Cultural History in Global Perspective 2	2	2～4	開講	講義	
	GLS22190	Contemporary Japanese Culture 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22200	Contemporary Japanese Culture 2	2	2～4	開講	講義	*
GLS22210	Topics in Japanese Culture A 1	2	2～4	欠講	講義	*	
GLS22220	Topics in Japanese Culture A 2	2	2～4	欠講	講義	*	
GLS22230	Topics in Japanese Culture B 1	2	2～4	開講	講義	*	
GLS22240	Topics in Japanese Culture B 2	2	2～4	開講	講義	*	
GLS22250	Global Fieldwork	2	2～4	開講	演習	*	
⑨ プロジェクト科目	CRO21010	学部横断型課題解決プロジェクト	4	1～4	開講	演習	1年次は後期からとする。

◆ 全学対象専門科目

◇ 経済学部提供科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
国際経済・経営	ECO22040	アジア経済1	2	3・4	欠講	講義	*
	ECO22050	アジア経済2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22060	アメリカ経済1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22070	アメリカ経済2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22610	ヨーロッパ経済1	2	3・4	欠講	講義	*
	ECO22620	ヨーロッパ経済2	2	3・4	欠講	講義	*
	ECO32010	開発経済学1	2	3・4	欠講	講義	*
	ECO32020	開発経済学2	2	3・4	欠講	講義	*
	ECO22850	国際法1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22860	国際法2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22460	世界経済1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22470	世界経済2	2	3・4	開講	講義	
	経済学と現代経済	ECO22260	ゲーム理論入門	2	3・4	開講	講義
ECO22200		経済政策1	2	3・4	開講	講義	*
ECO22210		経済政策2	2	3・4	開講	講義	*
ECO22290		憲法1	2	3・4	開講	講義	
ECO22300		憲法2	2	3・4	開講	講義	
ECO22270		現代政治経済学1	2	3・4	開講	講義	
ECO22280		現代政治経済学2	2	3・4	開講	講義	
ECO22100		行政法1	2	3・4	開講	講義	*
ECO22110		行政法2	2	3・4	開講	講義	*
ECO22370		産業組織論1	2	3・4	開講	講義	*
ECO22380		産業組織論2	2	3・4	開講	講義	*
ECO22390		社会福祉1	2	3・4	開講	講義	*
ECO22400		社会福祉2	2	3・4	開講	講義	*
ECO22410		情報経済論1	2	3・4	開講	講義	*
ECO22420		情報経済論2	2	3・4	開講	講義	*
ECO22440		西洋経済史1	2	3・4	開講	講義	
ECO22450		西洋経済史2	2	3・4	開講	講義	
ECO32030		日本経済史1	2	3・4	開講	講義	
ECO32040	日本経済史2	2	3・4	開講	講義		
ビジネス	MAN22080	イノベーション論	2	3・4	開講	講義	
	MAN12020	経営管理論1	2	3・4	開講	講義	
	MAN22090	経営管理論2	2	3・4	開講	講義	
	MAN22130	国際経営論	2	3・4	開講	講義	
	MAN22150	人事管理論1	2	3・4	開講	講義	
	MAN22160	人事管理論2	2	3・4	開講	講義	*
	MAN22170	組織論1	2	3・4	開講	講義	
	MAN22180	組織論2	2	3・4	開講	講義	
MAN22140	多国籍企業論	2	3・4	欠講	講義	*	
ビジネスデザイン	MIS22040	ITマネジメント	2	3・4	開講	講義	
	MIS22030	情報ネットワーク基礎	2	3・4	開講	講義	
	MIS22090	コンピュータシステム基礎	2	3・4	開講	講義	
	MIS22010	サービスマネジメント	2	3・4	開講	講義	
	MAN22240	ベンチャー企業論1	2	3・4	開講	講義	
	MAN22250	ベンチャー企業論2	2	3・4	開講	講義	*
	MIS12010	経営情報基礎	2	2～4	開講	講義	
	MIS12020	情報と職業	2	2～4	開講	講義	*
企業会計	ACC22070	企業法	2	3・4	開講	講義	
	ACC12050	企業法基礎	2	2～4	開講	講義	
	ACC12020	簿記演習1	2	2～4	開講	講義	
	ECO22590	民法1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22600	民法2	2	3・4	開講	講義	*
	ACC12040	会計学基礎	2	2～4	開講	講義	
金融	FIN22010	ファイナンス1	2	3・4	開講	講義	
	FIN22020	ファイナンス2	2	3・4	開講	講義	
	FIN22030	財務報告論1	2	3・4	開講	講義	
	FIN22040	財務報告論2	2	3・4	開講	講義	
	FIN22050	証券市場論1	2	3・4	開講	講義	
	FIN22060	証券市場論2	2	3・4	開講	講義	
	FIN32150	信託論	2	3・4	開講	講義	*
	FIN32400	保険・年金論	2	3・4	開講	講義	

◇ 社会学部提供科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
社会問題とエンパワーメント	ANT33010	開発人類学	2	3・4	開講	講義	*
	ANT33020	多文化共生の人類学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33010	家族社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33020	教育社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33030	ケアの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33040	ジェンダーの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33050	仕事の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33060	社会問題の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33070	人口問題の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33080	福祉社会学	2	3・4	開講	講義	*
SOC33090	不平等の社会学	2	3・4	開講	講義	*	
文化とアイデンティティ	ANT33030	家族と結婚の人類学	2	3・4	開講	講義	*
	ANT33040	宗教人類学	2	3・4	開講	講義	*
	ANT33050	文化人類学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33100	アイデンティティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33110	カルチュラルスタディーズ	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33120	コミュニケーションの社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33130	消費社会論	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33140	身体社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33150	セクシュアリティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33160	文化の社会学	2	3・4	欠講	講義	*
SOC33170	若者文化の社会学	2	3・4	開講	講義	*	
国際社会とネットワーク	ANT33060	観光人類学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33180	エスニシティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33190	環境社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33200	グローバル化の社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33210	社会運動論	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33220	政治社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33230	地域とコミュニティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33240	都市社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33250	ナショナリズムの社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33260	ネットワークの社会学	2	3・4	開講	講義	*
SOC33270	歴史社会学	2	3・4	開講	講義	*	
メディアコミュニケーション	MCC33010	映画研究	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33020	エレクトリックメディア論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33030	グローバル化とメディア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33040	デジタル社会論	2	3・4	欠講	講義	*
	MCC33050	ポピュラー音楽論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33060	マスコミュニケーション論	2	3・4	開講	講義	*
	PSY33010	情報の社会心理学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33280	音楽文化の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33290	活字メディアの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33300	サブカルチャーの社会学	2	3・4	開講	講義	*
SOC33310	放送メディアの社会学	2	3・4	開講	講義	*	
パブリックコミュニケーション	MCC33070	Web システム論	2	2～4	開講	講義	*
	MCC33080	エスニックメディア論	2	3・4	欠講	講義	*
	MCC33090	NPO・NGO とメディア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33100	コーポレート・コミュニケーション論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33110	広告論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33120	広報論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33130	スポーツとメディア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33140	電子コミュニケーション論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33150	メディアリテラシー論	2	3・4	開講	講義	*
	PSY33020	ファッションと流行の社会心理	2	3・4	開講	講義	*
PSY33030	ライフスタイルの心理学	2	3・4	開講	講義	*	
メディアプロデュース	MCC33160	映像アーカイブ論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33170	映像メディア制作論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33180	国際ニュース研究	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33190	CM 企画・制作論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33200	市民メディア論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33210	ジャーナリズム論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33220	出版メディア制作論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33230	地域メディア論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33240	知的財産・著作権論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33250	ドキュメンタリー研究	2	3・4	開講	講義	*
MCC33260	メディア法制と倫理	2	3・4	開講	講義	*	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
社会学部特講	SOC35010	社会理論のフロンティア	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC35020	現代社会の諸相	2	3・4	開講	講義	*
	SOC35030	グローバル社会の諸相	2	3・4	開講	講義	*
	SOC35040	ホットトピック特別講義	2	3・4	開講	講義	*
	MCC35010	メディア研究のフロンティア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC35020	メディア社会の諸相	2	3・4	開講	講義	*
	MCC35030	文化研究のフロンティア	2	3・4	欠講	講義	*
	ISC35010	データサイエンス特別講義	2	3・4	開講	講義	*

◇ 留学・国際交流関連科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
EAS科目	AST02030	Business in East Asia	4	1～4	開講	講義	
	AST02060	Globalization and East Asian Economies	4	1～4	開講	講義	
	JPS02040	Japanese History	4	1～4	欠講	講義	*
	JPS02050	Japanese Culture and Society	4	1～4	欠講	講義	*
	JPS02060	Japanese Literature	4	1～4	開講	講義	*
	AST02040	East Asian Societies	4	1～4	開講	講義	*
	AST02050	East Asian Cultures and Histories	4	1～4	開講	講義	*
	JPS02080	Japan and International Society	4	1～4	開講	講義	
	JPS02090	Traditional Arts of Japan	2	1～4	開講	講義	*
	JPS02100	Modern Arts of Japan	2	1～4	開講	講義	*
	AST02080	East Asian Philosophies	4	1～4	欠講	講義	*
	AST02090	East Asian Literatures	4	1～4	開講	講義	*
	AST02100	Film Studies in East Asia	2	1～4	開講	講義	*
	AST02110	Media in East Asia	4	1～4	開講	講義	
	AST02120	Gender and Sexuality in East Asia	4	1～4	開講	講義	*
	AST02130	Ethnicity in East Asia	4	1～4	欠講	講義	*
	AST01010	Seminar in East Asian Studies	2	1～4	欠講	講義	*
	AST02140	East Asian Community in the 21st Century	4	1～4	開講	講義	
	AST02150	Global Issues in Southeast Asia	2	1～4	開講	講義	*
	AST02160	Environmental Issues in East Asia	4	1～4	開講	講義	
	AST02010	Global Issues in East Asia	2	1～4	欠講	講義	*
	JPS02010	Japanese Politics	2	1～4	開講	講義	*
	JPS02020	Japanese Economy	2	1～4	開講	講義	*
AST02020	Technology and Society in East Asia	2	1～4	欠講	講義	*	
JPS02030	Entrepreneurship in Japan	2	1～4	開講	講義	*	
留学準備講座	AMS02011	アメリカの社会と文化 1	2	1～4	開講	講義	
	AMS02012	アメリカの社会と文化 2	2	1～4	開講	講義	
	BRS02011	イギリスの社会と文化 1	2	1～4	開講	講義	
	BRS02012	イギリスの社会と文化 2	2	1～4	開講	講義	
	JPS02071	日本の社会と文化 1	2	1～4	開講	講義	*
	JPS02072	日本の社会と文化 2	2	1～4	開講	講義	*
	AST02071	東アジアの社会と文化 1	2	1～4	開講	講義	*
	AST02072	東アジアの社会と文化 2	2	1～4	開講	講義	*
	IRL02011	現代世界の諸問題 1	2	1～4	開講	講義	
	IRL02012	現代世界の諸問題 2	2	1～4	開講	講義	
	GES22310	ドイツ語圏の社会と文化 1	2	2～4	開講	講義	ドイツ語による授業
	GES22320	ドイツ語圏の社会と文化 2	2	2～4	開講	講義	ドイツ語による授業
	FRS22320	フランスの歴史と社会 1	2	2～4	開講	講義	フランス語による授業
	FRS22330	フランスの歴史と社会 2	2	2～4	開講	講義	フランス語による授業
	AST02171	中国の社会と文化 1	2	1～4	開講	講義	* 中国語による授業
	AST02172	中国の社会と文化 2	2	1～4	開講	講義	* 中国語による授業
	AST02181	韓国・朝鮮の社会と文化 1	2	1～4	欠講	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	AST02182	韓国・朝鮮の社会と文化 2	2	1～4	欠講	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	LED02011	インターカルチュラルスキル養成講座 1	2	1～4	開講	講義	
	LED02012	インターカルチュラルスキル養成講座 2	2	1～4	開講	講義	
	IRL02021	グローバル・リーダーシップ養成講座 1	2	1～4	開講	講義	
	IRL02022	グローバル・リーダーシップ養成講座 2	2	1～4	開講	講義	
	IRL01010	留学入門ゼミナール	2	1～4	開講	演習	
	IRL02030	多文化社会	2	1～4	開講	講義	*
	LED06011	グローバル・コミュニケーション 1	1	1～4	開講	実習	*
	LED06012	グローバル・コミュニケーション 2	1	1～4	開講	実習	*
	LED06041	留学のための英語講座 A1 (TOEFL)	1	1～4	開講	実習	
	LED06042	留学のための英語講座 A2 (TOEFL)	1	1～4	開講	実習	
LED06051	留学のための英語講座 B1 (IELTS)	1	1～4	開講	実習		
LED06052	留学のための英語講座 B2 (IELTS)	1	1～4	開講	実習		
GES26410	ドイツ語論述実習 1	1	2～4	開講	実習	ドイツ語による授業	
GES26420	ドイツ語論述実習 2	1	2～4	開講	実習	ドイツ語による授業	

第1章 授業科目の履修

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
留学準備講座	FRS26410	フランス語論述実習 1	1	2～4	開講	実習	フランス語による授業
	FRS26420	フランス語論述実習 2	1	2～4	開講	実習	フランス語による授業
	LED06061	中国語論述実習 1	1	1～4	欠講	実習	* 中国語による授業
	LED06062	中国語論述実習 2	1	1～4	欠講	実習	* 中国語による授業
	LED06071	韓国・朝鮮語論述実習 1	1	1～4	開講	実習	* 韓国・朝鮮語による授業
	LED06072	韓国・朝鮮語論述実習 2	1	1～4	開講	実習	* 韓国・朝鮮語による授業

* 留学準備講座で備考欄に記載がない科目は英語による授業となります。

◇ 学芸員課程関連科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
学芸員課程関連科目	CTP02010	生涯学習概論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02020	博物館概論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02030	博物館経営論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02040	博物館資料論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02050	博物館資料保存論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02060	博物館展示論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02070	博物館情報・メディア論	2	1～4	開講	講義	

<履修上の注意>

- * 「学芸員課程関連科目」の修得単位のうち、8単位まで共通専門科目として卒業に必要な単位に算入することができます。8単位を超えて修得した場合は自由科目扱いとなり、修得した単位を卒業に必要な単位の中に算入することはできません。
- * 「留学・国際交流関連科目」の分野である「EAS科目」および「留学準備講座科目」の履修についての詳細は、第1章【3学科共通】3留学・国際交流関連科目を参照してください。

6 英語英米文化学科 専門科目（専攻科目）

1. 履修上の注意

本学科の学生は、以下の条件に従って、卒業時まで専攻科目を70単位以上修得しなければなりません。履修に際しては配当年次に注意してください。

- ① 専攻基礎科目の必修科目「英語英米文化基礎ゼミナール1」「英語英米文化基礎ゼミナール2」「英語ワークショップ1」「英語ワークショップ2」は必ず1年次に履修しなければなりません。
- ② 専攻基礎科目の必修科目「コミュニケーション・ゼミナール1」「コミュニケーション・ゼミナール2」は、必ず2年次に履修しなければなりません。これらは指定されたクラスで受ける必修授業で、④のゼミナール科目には含まれません。
- ③ 専攻基礎科目の選択科目（実習）を、4単位以上修得しなければなりません。
- ④ 専攻専門科目・選択科目のゼミナール科目を、8単位以上修得しなければなりません。履修に際しては、留学など特別な理由がある場合をのぞき、2年次に4単位、3年次に4単位修得することを強く推奨します。なお、1つのゼミナールに履修登録できる人数には上限（原則20名程度まで）が定められています。各学生のゼミナールへの配属を決める方法は、年度当初のガイダンスで詳しく説明しますので、ガイダンスに必ず出席してください。
- ⑤ 専攻専門科目・選択科目の講義科目を、①「言語・言語教育」、②「文学・芸術」、③「歴史・社会・文化」の3領域から、各領域4単位以上、合計40単位以上を修得しなければなりません。
- ⑥ 専攻専門科目・必修科目の「卒業論文」および「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」は、4年次に必ず履修しなければなりません。ただしこれらの単位を卒業年次に修得したものの、卒業に必要な他の単位を修得できずに留年となった場合はその限りではありません。

2. 再履修と重複履修

◇ 再履修

履修した授業科目の成績評価が不合格となったために、再度同じ科目を履修することを再履修といいます。必修科目が不合格となった場合、必ず再履修し、単位を修得しなければ卒業することができませんので十分注意してください。再履修をする場合、クラス（授業科目）は事前に指定される場合があります。その場合には指定されたクラス（授業科目）を履修しなければなりません。他の必修科目と重なっているような場合には教務課に申し出て指示を受けてください。

◇ 重複履修

単位がすでに認定された授業科目を再び履修することを重複履修といいます。重複履修した場合、2回目以降に修得した単位は、原則として卒業要件に含まれません。ただし、実習科目およびゼミナール科目に関しては、同じ科目を重複して履修することができます。重複履修をした場合、2度目以降の修得単位も卒業要件に算入できます。

3. 年次別履修案内

◆ 1年次生のための履修案内

- ① 英語英米文化学科の学生は、下表の専攻基礎科目を指定されたクラスで履修し、合計6単位を1年次に必ず修得しなければなりません。これらの必修科目は、必要な単位数を超えて履修することはできません。また、いずれの科目についても、1年次に単位を修得できなかった場合には2年次に再履修しなければなりません。

専攻基礎科目	英語英米文化基礎ゼミナール1	2単位	1年次前期
	英語英米文化基礎ゼミナール2	2単位	1年次後期
	英語ワークショップ1	1単位	1年次前期
	英語ワークショップ2	1単位	1年次後期

- ② 専攻科目のうち講義科目と実習科目の一部は、1年次生も履修できます。外国語必修科目や①であげた必修科目の履修に支障がないかぎり、積極的に履修してかまいません。実習科目のなかで1年次生が履修できるのは、「英会話初級1」「英会話初級2」「発音クリニック1」「発音クリニック2」「リミディアル・イングリッシュ1」「リミディアル・イングリッシュ2」です。なお、実習科目は、各クラスとも人数制限がありますので、履修希望者は各クラスの授業案内の説明を熟読した上で、前期の初回の授業に必ず出席してください。
- ③ 「英語英米文化基礎ゼミナール1」「英語英米文化基礎ゼミナール2」以外の「ゼミナール」を1年次に履修することはできません。
- ④ 後期の終わりに、2年次から所属するコースを選択することになります。

◆ 2年次生のための履修案内

2年次の必修科目「コミュニケーション・ゼミナール1」「コミュニケーション・ゼミナール2」を履修すること。

◆ 3年次生のための履修案内

3年次後期には、自分の専門的な研究分野を明確にし、卒論指導教授（原則的に4年次の卒業論文ゼミナール指導教授となる）を選びます。

指導教授のもとで、テーマの設定や資料の調査など、卒業論文作成の具体的な準備を始めます。

3年次終了時点で「卒業論文」「卒業論文ゼミナール1」および「卒業論文ゼミナール2」の履修資格（37頁参照）がない場合、4年間では卒業できません。

◆ 4年次生のための履修案内

- ① 必修科目「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を履修すること。
- ② 「卒業論文」を指定の期日までに提出すること。
- ③ 卒業に必要な単位の修得を確認し、余裕をもって必要単位を確保するように履修すること。

英語英米文化学科卒業までの4年間

各項目の詳細（様式、配付、提出日、提出方法等）は3Sで掲示します。また、各ガイダンスにて指示します。

1年次

- 4月 英語クラス分け試験
- 4月 ガイダンス
- 12月 TOEIC® L&R IP テスト（学内試験）
- 1月 CASEC テスト（学内試験）
- 1月 コース選択希望届提出

2年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出
- 12月 TOEIC® L&R IP テスト（学内試験）
- 1月 CASEC テスト（学内試験）

3年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出
- 7月 卒業論文指導教授選択ガイダンス
- 9月 卒業論文指導教授選択希望届提出
- 1月 卒業論文仮題目届提出
- 1月 卒業論文報告会参加
- 3月 卒業論文履修有資格者発表

4年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出（卒業論文指導教授が未定の者および卒業論文指導教授が学科外の教員の場合のみ）
- 6月 卒業論文題目届（6月）提出
- 11月 卒業論文題目届（11月）提出
- 12月 卒業論文提出
- 1月 卒業論文口述試験
- 1月 卒業論文報告会
- 3月 卒業資格充足者発表
- 3月 卒業式

◆ 専攻基礎科目

◇ 必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
BAS11011	英語英米文化基礎ゼミナール1	2	1	開講	演習	
BAS11012	英語英米文化基礎ゼミナール2	2	1	開講	演習	
LNG16071	英語ワークショップ1	1	1	開講	実習	
LNG16082	英語ワークショップ2	1	1	開講	実習	
LNG21131	コミュニケーション・ゼミナール1	2	2	開講	演習	
LNG21132	コミュニケーション・ゼミナール2	2	2	開講	演習	

◇ 選択科目 ☆は1年次履修可能科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
LNG16010	☆ 英会話初級1	1	1～4	開講	実習	*
LNG16020	☆ 英会話初級2	1	1～4	開講	実習	*
LNG26010	英会話中級1	1	2～4	開講	実習	*
LNG26020	英会話中級2	1	2～4	開講	実習	*
LNG26030	英作文中級1	1	2～4	開講	実習	*
LNG26040	英作文中級2	1	2～4	開講	実習	*
LNG26110	English Composition (Advanced)1	1	2～4	欠講	実習	*
LNG26120	English Composition (Advanced)2	1	2～4	欠講	実習	*
LNG16030	☆ 発音クリニック1	1	1～4	開講	実習	*
LNG16040	☆ 発音クリニック2	1	1～4	開講	実習	*
LNG26050	通訳翻訳実習(英語)1	1	2～4	開講	実習	*
LNG26060	通訳翻訳実習(英語)2	1	2～4	開講	実習	*
LNG26070	TOEIC イングリッシュ1	1	2～4	開講	実習	*
LNG26080	TOEIC イングリッシュ2	1	2～4	開講	実習	*
LNG16050	☆ リミディアル・イングリッシュ1	1	1～4	開講	実習	*
LNG16060	☆ リミディアル・イングリッシュ2	1	1～4	開講	実習	*
LNG26090	ジャパノロジー・イングリッシュ1	1	2～4	開講	実習	*
LNG26100	ジャパノロジー・イングリッシュ2	1	2～4	開講	実習	*
LNG11050	☆ Listening and Note-taking	2	1～4	開講	実習	GSC (英語) 科目
LNG26130	Discussion and Presentation 1	1	2～4	開講	実習	
LNG26140	Discussion and Presentation 2	1	2～4	開講	実習	

◆ 専攻専門科目

◇ 必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
THE41011	卒業論文ゼミナール1	2	4	開講	演習	集中
THE41012	卒業論文ゼミナール2	2	4	開講	演習	集中
THE41030	卒業論文	4	4	開講	演習	集中

◇ 選択科目 ☆は1年次履修可能科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
① 言語・言語教育	LNG12030	☆ 英語学概論1	2	1～4	開講	講義	
	LNG12040	☆ 英語学概論2	2	1～4	開講	講義	
	LED12010	☆ 英語教育学1	2	1～4	開講	講義	
	LED12020	☆ 英語教育学2	2	1～4	開講	講義	
	LNG12010	☆ 異文化コミュニケーション論1	2	1～4	開講	講義	*
	LNG12020	☆ 異文化コミュニケーション論2	2	1～4	開講	講義	*
	LNG22010	言語(英語)文化特講1	2	2～4	開講	講義	*
	LNG22020	言語(英語)文化特講2	2	2～4	開講	講義	*
	LNG22050	第二言語習得論1	2	2～4	開講	講義	*
	LNG22060	第二言語習得論2	2	2～4	開講	講義	*
	LNG22030	英語音声学1	2	2～4	欠講	講義	*
	LNG22040	英語音声学2	2	2～4	欠講	講義	*
	LED22011	英語教育方法論1	2	2～4	開講	講義	
	LED22012	英語教育方法論2	2	2～4	開講	講義	
	LNG21010	英語学ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	
	LNG21020	英語学ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	
	LNG21030	Academic Presentation Seminar 1	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21050	Academic Presentation Seminar 2	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21070	Academic Writing Seminar 1	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21090	Academic Writing Seminar 2	2	2～4	開講	演習	*
	LED21030	英語教育ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	
	LED21040	英語教育ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	
	LNG21110	Applied Linguistics Seminar 1	2	2～4	開講	演習	*
LNG21120	Applied Linguistics Seminar 2	2	2～4	開講	演習	*	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
② 文学・芸術	LIT12010	☆ アメリカの文学 1	2	1～4	開講	講義	
	LIT12020	☆ アメリカの文学 2	2	1～4	開講	講義	
	LIT12030	☆ イギリスの文学 1	2	1～4	開講	講義	*
	LIT12040	☆ イギリスの文学 2	2	1～4	開講	講義	*
	LIT12050	☆ 英語圏文学入門 1	2	1～4	開講	講義	*
	LIT12060	☆ 英語圏文学入門 2	2	1～4	開講	講義	*
	REL12010	☆ 英語圏の宗教と文化 1	2	1～4	開講	講義	*
	REL12020	☆ 英語圏の宗教と文化 2	2	1～4	開講	講義	*
	ART12010	☆ 英米の芸術 1	2	1～4	開講	講義	*
	ART12020	☆ 英米の芸術 2	2	1～4	開講	講義	*
	LIT22010	英語圏文学特講 1	2	2～4	開講	講義	*
	LIT22020	英語圏文学特講 2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT21010	アメリカ文学ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	
	LIT21020	アメリカ文学ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	
	LIT21030	イギリス文学ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	LIT21040	イギリス文学ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
	LIT21050	英語圏文学ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	LIT21060	英語圏文学ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
	ART21010	英米の芸術ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
ART21020	英米の芸術ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*	
③ 歴史・社会・文化	PHI12010	☆ 英米の思想 1	2	1～4	開講	講義	*
	PHI12020	☆ 英米の思想 2	2	1～4	開講	講義	*
	HST12010	☆ アメリカ史 1	2	1～4	開講	講義	*
	HST12020	☆ アメリカ史 2	2	1～4	開講	講義	*
	HST12030	☆ イギリス史 1	2	1～4	開講	講義	*
	HST12040	☆ イギリス史 2	2	1～4	開講	講義	*
	AMS12010	☆ アメリカ文化論 1	2	1～4	開講	講義	*
	AMS12020	☆ アメリカ文化論 2	2	1～4	開講	講義	*
	BRS12010	☆ イギリス文化論 1	2	1～4	開講	講義	*
	BRS12020	☆ イギリス文化論 2	2	1～4	開講	講義	*
	BAS12010	☆ 観光文化論(英米)1	2	1～4	開講	講義	*
	BAS12020	☆ 観光文化論(英米)2	2	1～4	開講	講義	*
	HST22010	アメリカの歴史と社会 1	2	2～4	欠講	講義	*
	HST22020	アメリカの歴史と社会 2	2	2～4	欠講	講義	*
	HST22030	イギリスの歴史と社会 1	2	2～4	開講	講義	*
	HST22040	イギリスの歴史と社会 2	2	2～4	開講	講義	*
	BAS22010	英語圏文化特講 1	2	2～4	欠講	講義	*
	BAS22020	英語圏文化特講 2	2	2～4	欠講	講義	*
	BAS22030	英米の社会 1	2	2～4	開講	講義	*
	BAS22040	英米の社会 2	2	2～4	開講	講義	*
	HST21010	アメリカ史ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	HST21020	アメリカ史ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
	HST21030	イギリス史ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	HST21040	イギリス史ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21010	英語圏文化ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	
	BAS21020	英語圏文化ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	
	PHI21010	英米の思想ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	PHI21020	英米の思想ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
BAS21030	英米の社会ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*	
BAS21040	英米の社会ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*	
BAS21050	観光文化ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*	
BAS21060	観光文化ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*	

[教職に関する概説科目]

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
TCP12010	日本史概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12020	外国史概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12030	法律学概説 (国際法を含む)	2	1～4	開講	講義	
TCP12040	政治学概説 (国際政治を含む)	2	1～4	開講	講義	*
TCP12050	経済学概説 (国際経済を含む)	2	1～4	開講	講義	*
TCP12060	社会学概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12070	地誌概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12080	人文地理学概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12090	自然地理学概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12100	倫理学概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12110	宗教学概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12120	哲学概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12130	心理学概説	2	1～4	開講	講義	

※ [教職に関する概説科目] は、卒業要件に算入することはできません。

7 英語英米文化学科 卒業論文履修資格

「卒業論文」、「卒業論文ゼミナール1」および「卒業論文ゼミナール2」は、以下の条件を満たさない場合は、履修することができません。

- ① 大学に3年以上在学していること。
- ② 1年次必修外国語（英語）および選択外国語Ⅰの計8単位すべてと、2年次必修外国語（英語）6単位のうちの4単位を修得していること。
- ③ 専攻基礎科目（「英語英米文化基礎ゼミナール1」、「英語英米文化基礎ゼミナール2」、「英語ワークショップ1」、「英語ワークショップ2」、「コミュニケーション・ゼミナール1」、「コミュニケーション・ゼミナール2」）の計10単位を修得していること。

【注意】4年間で卒業するためには、留学時の修得単位を武蔵大学の単位に読み替えたものも含め、3年次終了までに76単位以上修得している必要があります。

卒業論文および卒業論文ゼミナールの履修に関する注意

1. 卒業論文の準備

卒業論文執筆のための具体的な準備作業を3年次後期に開始します、この準備は正課外の指導のかたちで実施されます。各自が卒業論文のテーマを決めるとともに、個別面談を経て卒業論文指導教授が決定され、その指導のもとで執筆準備にとりかかることになります。

【注意】

- ◇ 卒業論文指導教授は英語英米文化学科の専任教員の中から選びます。ただし一定の要件を満たした場合に限り、本学の基礎教育センター・教職課程専任教員のもとで卒業論文を執筆することが認められます（『履修要項』162、163頁参照）。
- ◇ 留学等の理由で卒業論文執筆準備のための指導を受けられない場合には、教務委員と相談のうえ、卒業論文指導教授決定の手続きをします。

2. 「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」の履修

卒業論文の執筆は、「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」において、3年次後期の卒業論文の準備の過程で決定された卒業論文指導教授に指導を受けながらおこないます。「卒業論文」（4単位）と「卒業論文ゼミナール1」（2単位）「卒業論文ゼミナール2」（2単位）は、専攻専門科目の必修科目として卒業のために修得すべき単位の中に入っていますので、卒業論文執筆の際には必ず「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を履修しなければなりません。

【注意】

- ◇ 本ゼミナールは卒業論文執筆のための授業です。しっかりと出席し、指導教授の指導を受けながら計画的に卒業論文の作成を進めてください。
- ◇ 卒業論文関連の提出物（題目届 [6月]・題目届 [11月]）を提出する際には事前に指導教授とよく相談してください。
- ◇ 卒業論文作成要領（基準枚数、用紙、文体、注釈、引用等）の詳細も同ゼミナールで指導を受けてください。
- ◇ 協定留学または認定留学により4年次前期に不在となる場合は、特例として、4年次後期に「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を同時履修することを認めます（4年次に1年間不在となる場合は、翌年度前期の同時履修を認めます）。希望する場合は、留学前に指導教授に相談の上、了承を得てください。また、帰国後は速やかに教務課にて手続きを行ってください。

3. 卒業論文の提出

卒業論文は、必ず3部（原本1部、副本1部、本人保管用1部）作成し、そのうち2部（原本と副本）を決められた期日の時間までに定められた提出場所に提出します。提出期限は公平性の確保のため厳格に定められており、原則としてそれ以降は受理できないので厳守してください。

【注意】

- ◇ 本人保管用は本人が所持し、卒業論文口述試験の際に持参してください。
- ◇ カラーの図版を使う場合は、正本だけでなく副本もカラーにしてください。
- ◇ 診断書や証明書等を提出しうる学校感染症等の急病、不慮の事故、不測の事態などによって締め切り日時までの本人による提出が困難な場合、または提出できなかった場合には、速やかに教務課に申し出て、指示を受けてください。考慮すべき特別の理由があると学部が認めた場合、代理人による提出や締め切り日後の提出を認めることがあります。

4. 卒業論文作成要領

卒業論文の作成要領（基準枚数、用紙、文体、注釈、引用等）については、4年次4月に配布される「英語英米文化学科 卒業論文マニュアル」をよく読み、「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」にて指導を受けながら卒業論文を作成するようにしてください。

5. 卒業論文報告会と『卒業論文成果報告書』

優秀ないし独創的な卒業論文は、卒業論文報告会での発表および当該年度の『卒業論文成果報告書』掲載の対象となります。発表・掲載が決まった論文は『卒業論文成果報告書』としてまとめられ、人文学部GSルームで閲覧に供されるとともに、オープンキャンパスなどにおいて人文学部の教育の成果として配布されます。

ヨーロッパ文化学科

1 ヨーロッパ文化学科 卒業要件

本学に4年以上在学し、履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。42頁以降に各区分の履修方法が記載されていますので、よく読んで間違いのないように履修してください。

また、4年次の必修科目である「卒業論文」「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を履修するには、3年の在学期間を充足した上で、必要な科目と単位を修得しなければなりません。詳細は68頁に記載してあります。このことにも注意して計画的に単位を修得してください。

[ヨーロッパ文化学科]

区分	修得すべき 単位数	内訳		
総合科目	20単位	6分野（A～F）すべてからセクションを問わず最低2単位を修得し（計12単位）、さらに分野を問わず8単位以上修得すること。ただし、実践セクションの科目を必ず1科目（1単位）以上含むこと。		
外国語科目	20単位	必修外国語（英語Ⅰ）	2単位	
		選択外国語Ⅰ（学科指定） （1）ドイツ語、フランス語 （2）英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語	14単位 4単位	
	（自由選択）	選択外国語Ⅱ（修得単位は総合科目の「分野を問わない8単位」に含めることができる） 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語		
専門科目	20単位	（指定された人文学部の他学科の専攻科目、他学部の専門科目などから選択） ※「学芸員課程関連科目」の修得単位のうち、8単位まで共通専門科目に算入することができる ※GSC（ドイツ語）基幹科目とGSC（フランス語）基幹科目の修得単位のうち、合計6単位まで共通専門科目に算入することができる		
		共通専門科目	20単位	
	64単位	専攻基礎科目 16単位	必修科目	ヨーロッパ文化入門講座 2単位 ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1 2単位 ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2 2単位 中級ゼミナール1 2単位 中級ゼミナール2 2単位
			選択科目（実習）	6単位
48単位	専攻専門科目 48単位	必修科目	卒業論文ゼミナール1 2単位 卒業論文ゼミナール2 2単位 卒業論文 4単位	
		選択科目	専門ゼミナール1、専門ゼミナール2、卒業論文準備ゼミナール 10単位 講義①～④ 30単位	
合計	124単位			

※ 共通専門科目のGSC（ドイツ語）基幹科目、GSC（フランス語）基幹科目に関しては、同じ科目を重複して履修することができます。重複履修をした場合、2度目以降の修得単位も卒業要件に算入できます。

【注意】

表中の単位数は最小限必要な単位数であり、余裕をもってより多くの科目を履修することを勧めます。

2 ヨーロッパ文化学科 コース制度

人文学部では学科ごとに複数のコースが用意されています。これらのコースは、自分の興味や関心がどこに向いているかを自覚し、その関心に従って科目履修や卒業論文のテーマ選択をしていく際に参照すべき学修上の指針（履修モデル）と考えてください。

いったんコースを決めても、その後の関心の変化によってコースを変更することは自由です（但し、グローバル・スタディーズコース〔英語〕については別規則あり）、特定のコースによって履修できない科目が生じるということもありませんので、安心して選択してください。

1. 開講コース

ヨーロッパ文化学科では、卒業までの学習計画を立てる際の一助となるように、自分の興味・関心に基づいてコースを選択します。専門科目（講義科目・ゼミナール科目）の分類に沿って、以下の4コースが用意されています。

◇ 言語と文学コース

フランス語学、ドイツ語学、ギリシア語・ラテン語学、ヨーロッパ各地の伝統的文学、現代文学、日欧比較文学などを中心に学ぶコースです。

◇ 芸術と生活コース

ヨーロッパの絵画や建築物、音楽、音響、映画、モダン・アート、生活文化等を研究対象とするコースです。

◇ 歴史と思想コース

ヨーロッパの古代から中世、近現代の歴史を学びます。神話や伝説、思想・宗教（キリスト教）に注目した研究もできます。

◇ 環境と社会コース

ヨーロッパの成り立ちや域内交流の歴史、EU 統合と拡大の現状など、ヨーロッパ社会全体にかかわる問題や、東欧、北欧、地中海などの地域研究、自然環境と文化のかかわりについて学ぶコースです。

【グローバル・スタディーズコース（GSC）】

特別コースとして以下の3つのコースが用意されています。この3コースは所属手続きが異なるので注意してください。

◆ グローバル・スタディーズコース（ドイツ語）*

ドイツ語の集中的な学習により留学や国際語学検定試験合格を目指す、ヨーロッパ文化学科の特別コースです。上記の4つのコースのいずれかと本コースの二重所属のかたちで学修を進めます（詳細は75頁以降参照）。

◆ グローバル・スタディーズコース（フランス語）*

フランス語の集中的な学習により留学や国際語学検定試験合格を目指す、ヨーロッパ文化学科の特別コースです。上記の4つのコースのいずれかと本コースの二重所属のかたちで学修を進めます（詳細は75頁以降参照）。

◆ グローバル・スタディーズコース（英語）

119頁以降参照。

2. コース選択手続き日程（詳細は3Sにて周知します）

コース希望届を1年次後期に提出します。正式に所属コースが決まるのは2年次4月です。

【注意】

- ① 原則的に本人の希望にしたがってコース配属をおこなうため、選考はありません。
- ② コース希望届未提出者は、いずれかのコースに自動配属されます。

* 「グローバル・スタディーズコース（ドイツ語プログラム）」「グローバル・スタディーズコース（フランス語プログラム）」が正式名称ですが、『履修要項』では便宜上、「グローバル・スタディーズコース（ドイツ語）」または「GSC（ドイツ語）」「グローバル・スタディーズコース（フランス語）」または「GSC（フランス語）」と略称を用います。

3. コース変更について

手続き方法と時期：所属コース決定後に変更を希望する場合は、所定の用紙にて教務課に願い出てください。手続期間は毎年度4月、履修登録期間開始前までとします。

コース変更は個人の判断でおこなえますが、必要に応じて指導教授や教務委員に相談してください。

3 ヨーロッパ文化学科 総合科目

1. 目的と特徴

総合科目は幅広い教養と知識、豊かな人間性と良識、柔軟な思考力、判断力、そして創造的な実践力を養うことを目的としています。総合科目の特徴は、全学部および関係するセンターが協力して企画、運営している共通科目（スタンダード科目）であること、全学部の学生が同じ教室で受講することです。総合科目は、価値の多様化、異文化およびダイバーシティ理解、男女共同参画をはじめとする21世紀を生きる私たちが直面している状況や取り組むべき課題を具体的に意識して精選されたものです。

なお、それぞれの授業群における独自の目標を、以下のように定めています。

- (A) 情報とコミュニケーション：情報化社会で学び、生活し、仕事をするための知識と力を養う
- (B) 歴史と文化：日本と世界各地の伝統文化や思想、宗教などへの理解を深める
- (C) 現代社会：政治、法、経済、社会構造など、多様な視点から現代をとらえる
- (D) 自然と環境：地球環境や生物環境の基礎知識を身につけ、自然と人間の共生を考える
- (E) 心と体：人間の心と体をトータルにとらえ、健康づくりのスキルと姿勢を身につける
- (F) ライフマネジメントとキャリアデザイン：大学卒業後の進路に夢を描き、具体化するための力を養う

2. 学年配当

ほとんどの科目は1年次から4年次までいつでも履修できますが、学年が限定されている科目も一部にありますので、一覧表をよく確認してください。

3. 授業科目の編成、分類、単位数など

総合科目は6分野（A～F）からなり、それぞれの授業科目は講義セクションと実践セクションに分かれています。講義セクションには総合的内容の講義（講義科目）が置かれ、実践セクションには演習・実習・実技・実験その他の体験授業（実践科目）が置かれています。講義セクションで得た知識を実践的レベルでも追究したい場合に実践セクションの科目を履修すると効果的です。それぞれの分野は、知と実践（知ることとおこなうこと）の循環・統合を実感できるように構成されています。ただし、総合科目の授業内容は、一部のセット科目を除いてそれぞれ独立していますので、各人の興味と必要に応じて、セクションを気にせず個々に履修することもできます。単位数については授業の形態や密度、学修時間に応じて1単位・2単位の区別があります。一覧表でよく確認してください。

4. 修得すべき単位数

6分野（A～F）すべてからセクションを問わず最低2単位を修得し（計12単位）、さらに分野を問わず8単位以上を修得すること。ただし実践セクションの科目を1単位以上含めなければなりません（総合科目全体として合計20単位以上が卒業に必要な条件です）。なお、後述する外国語科目の選択外国語Ⅱを8単位まで「分野を問わない8単位」に含めることができます。

【注意】

同一科目（同一名称の科目）を履修した場合、2度目以降は重複履修として自由科目の扱いになるため、卒業に必要な単位に算入することができません（履修要項（共通編）16頁）。ただし同一名称でありながら、記号や番号で区別がなされている科目については別科目として扱う場合があります。詳細については教務課に問い合わせてください。

区分	修得すべき単位数	詳細		注意
総合科目	20 単位	(A) 情報とコミュニケーション	2 単位以上	<ul style="list-style-type: none"> 各分野最低 2 単位（合計 12 単位）と分野を問わず 8 単位、合わせて 20 単位を修得すること。 分野を問わず実践セクションの科目を最低 1 単位以上含めること。 「分野を問わない 8 単位」の中に、選択外国語Ⅱを 8 単位まで算入できる。
		(B) 歴史と文化	2 単位以上	
		(C) 現代社会	2 単位以上	
		(D) 自然と環境	2 単位以上	
		(E) 心と体	2 単位以上	
		(F) ライフマネジメントとキャリアデザイン	2 単位以上	

5. 英語でおこなわれる科目について

総合科目のうち、科目名が英語で表記されているものは、英語で授業がおこなわれます。備考欄に記載されている英語力に関する推奨条件をよく確認したうえで、履修登録をおこなってください。また履修者数に制限が設定されている場合がありますので、その点にも注意が必要です。なお、一部の例外を除きこれらの科目は、人文学部の学修プログラムの一つ「GSC（英語）アソシエイトプログラム」（165 頁）の認定に必要な科目に含まれています。

6. 「(E) 心と体」分野のスポーツ実践

総合科目のうち、**スポーツ実践**を履修する際には以下の事項に注意してください。

- ① 成績評価にあたっては、授業への参加度および履修態度（平常点）を主要なものとし、欠席数が多い場合や履修態度が著しく悪い場合は不合格となり、単位の認定がおこなわれません（遅刻 1 回、見学 1 回は 0.5 回の欠席に換算します）。ただし、特別な事情がある場合は別に考慮することがあるので、その旨を申し出てください。
- ② 春の健康診断を受けていない場合は不合格となり、単位の認定がおこなわれません。やむを得ない理由で健康診断を受けられなかった場合には、速やかに大学保健室および身体運動科学研究室に申し出て、指示を受けてください。
- ③ スポーツ実践は体育の実技です。必ず運動に適した服装で授業を受けてください。
- ④ 実技科目であるため、履修者数を制限します。

7. 実践セクションの特殊な履修手続きについて

実践セクションの授業のうち F 群の「海外フィールド実習」は、通常の履修登録の手続きとは異なり、ガイダンスを実施するなどしたのちに、授業担当者に直接履修登録の申請をおこないます。通常の履修登録期間・履修取消期間外におこなわれるため、履修取消の対象外ですので、注意してください。

総合科目は、下表の通りです。

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考	
(A) 情報とコミュニケーション	講義	GEO02010	他者理解とコミュニケーション	2	1～4	開講	講義	
		GEO02020	情報技術と人間社会	2	1～4	開講	講義	
		GEO02030	知識社会の情報学	2	1～4	開講	講義	
		GEO02040	データ分析の基礎	2	1～4	開講	講義	
		GEO12040	データ分析の応用	2	1～4	開講	講義	
		GEO02050	Information Technology and Global Communication	2	1～4	開講	講義	* ※ (1)
	実践	GEO01010	表現技法とインタラクション	2	1～4	開講	演習	
		GEO01020	問題解決とコンピューティング	2	1～4	開講	演習	
		GEO01030	デジタル協働学	2	1～4	開講	演習	
		GEO01040	データマイニング入門	2	1～4	開講	演習	
		GEO01050	インターネット・イングリッシュ	2	1～4	開講	演習	
		GEO01060	クリエイティブ・ライティング	2	1～4	開講	演習	
		GEO01070	アカデミック・ディベート	2	1～4	開講	演習	
		GEO01100	Introduction to Critical Thinking	2	1～4	開講	演習	※ (2)
(B) 歴史と文化	講義	GEB02010	グローバル時代の歴史認識	2	1～4	開講	講義	
		GEB02020	20世紀の世界	2	1～4	開講	講義	
		GEB02030	20世紀の日本	2	1～4	開講	講義	
		GEB02040	社会思想の歴史	2	1～4	開講	講義	*
		GEB02050	世界の言語と文化	2	1～4	開講	講義	
		GEB02060	日本と世界の宗教	2	1～4	開講	講義	
		GEB02070	日本の伝統と文化	2	1～4	開講	講義	
		GEB02080	現代世界の人と生活	2	1～4	開講	講義	
		GEB02090	多文化共生の現在	2	1～4	開講	講義	
	GEB02100	Introduction to Global History	2	1～4	開講	講義	※ (1)	
	実践	GEB01010	世界の名著	2	1～4	開講	演習	
		GEB01020	日本の名著	2	1～4	開講	演習	
		GEB01030	文化財リサーチプロジェクト	2	1～4	開講	演習	
		GEB01040	学園史 100年プロジェクト	2	1～4	開講	演習	
(C) 現代社会	講義	GEC02010	日本国憲法	2	1～4	開講	講義	
		GEC02020	現代社会と政治	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02030	現代社会と法	2	1～4	開講	講義	
		GEC02040	現代社会と経済	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02050	現代社会と人権	2	1～4	開講	講義	
		GEC02060	現代社会と環境	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02070	現代社会とジェンダー	2	1～4	欠講	講義	*
		GEC02080	現代社会とアート	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02090	国際社会における紛争と協調	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02100	グローバリズムと21世紀	2	1～4	欠講	講義	*
		GEC02110	現代日本の課題	2	1～4	開講	講義	
		GEC02120	Introduction to Global Studies	2	1～4	開講	講義	※ (1)
		GEC02130	Understanding the Contemporary Global Economy	2	1～4	開講	講義	* ※ (1)
		GEC02140	Introduction to Human Rights	2	1～4	欠講	講義	* ※ (1)
	実践	GEC01010	経済ニュース・リーディング	2	1～4	開講	演習	*
		GEC01020	人権ワークショップ	2	1～4	開講	演習	
		GEC01030	現代アート・ワークショップ	2	1～4	開講	演習	
(D) 自然と環境	講義	GED02010	地球の自然史	2	1～4	開講	講義	
		GED02020	地球環境	2	1～4	開講	講義	
		GED02030	人間と環境	2	1～4	開講	講義	
		GED02040	数学の世界	2	1～4	開講	講義	
		GED02050	自然と生活のなかの物理	2	1～4	開講	講義	
		GED02060	化学と現代社会	2	1～4	開講	講義	
		GED02070	生命の進化	2	1～4	開講	講義	
		GED02080	人の進化	2	1～4	開講	講義	
		GED02090	人間と科学技術の歩み	2	1～4	開講	講義	
		GED02100	先進の科学技術	2	1～4	開講	講義	
		GED02110	Global Environmental Issues	2	1～4	開講	講義	* ※ (1)
		GED02120	Introduction to Human Geography	2	1～4	欠講	講義	* ※ (1)
	実践	GED01010	武蔵・環境フィールドワーク	2	1～4	開講	演習	
		GED06010	自然科学集中プロジェクト A	1	1～4	開講	実習	集中
		GED06020	自然科学集中プロジェクト B	1	1～4	開講	実習	集中
		GED06030	物理学ラボワーク A	1	1～4	開講	実験・講義	
		GED06040	物理学ラボワーク B	1	1～4	開講	実験・講義	
		GED06050	化学ラボワーク A	1	1～4	開講	実験・講義	
		GED06060	化学ラボワーク B	1	1～4	開講	実験・講義	
GED06070	生物学ラボワーク A	1	1～4	開講	実験・講義			
GED06080	生物学ラボワーク B	1	1～4	開講	実験・講義			

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考	
(E) 心と体	講義	GEE02010	こころの科学と健康	2	1～4	開講	講義	
		GEE02020	臨床心理学と人間理解	2	1～4	開講	講義	
		GEE02030	スポーツと健康の科学	2	1～4	開講	講義	
		GEE02040	スポーツの哲学	2	1～4	開講	講義	
		GEE02050	スポーツの歴史と文化	2	1～4	開講	講義	
		GEE02060	スポーツの社会環境	2	1～4	開講	講義	
		GEE02070	スポーツの心理学	2	1～4	開講	講義	
	GEE02080	Introduction to Personal Health and Wellness	2	1～4	開講	講義	※(1)	
	実践	GEE01010	心理学ワークショップ	2	1～4	開講	演習	
		GEE01020	アダプテッドスポーツ・ワークショップ	2	1～4	開講	演習	
		GEE06010	スポーツ実践1(バレーボール)	1	1～4	開講	実技	
		GEE06020	スポーツ実践2(バスケットボール)	1	1～4	開講	実技	
		GEE06030	スポーツ実践3(ファンランニング)	1	1～4	開講	実技	*
		GEE06040	スポーツ実践4(フットサル)	1	1～4	開講	実技	
GEE06050		スポーツ実践5(バドミントン)	1	1～4	開講	実技		
GEE06060		スポーツ実践6(卓球)	1	1～4	開講	実技		
GEE06070		スポーツ実践7(アドバンスゴルフ)	1	1～4	開講	実技	*	
GEE06080		スポーツ実践8(ベーシックゴルフ)	1	1～4	開講	実技		
GEE06090		スポーツ実践9(水泳)	1	1～4	開講	実技		
GEE06100		スポーツ実践10(エアロビクス&フィットネス)	1	1～4	開講	実技		
GEE06110		スポーツ実践11(リラクゼーション&ウォーキング)	1	1～4	開講	実技		
GEE06120	スポーツ実践12(護身術と柔道)	1	1～4	開講	実技			
GEE06130	スポーツ実践13(スキー)	1	1～4	開講	実技	*		
GEE06140	スポーツ実践14(スノーボード)	1	1～4	開講	実技	*		
(F) キャリアデザイン	講義	GEF02010	自己理解の哲学	2	1～4	開講	講義	
		GEF02020	キャリアデザイン論A	2	1～4	開講	講義	
		GEF02030	キャリアデザイン論B	2	1～4	開講	講義	
		GEF22010	キャリア対策科目	2	2～4	開講	講義	
		GEF02040	ライフサイクルと生涯学習	2	1～4	開講	講義	
		GEF02050	心理学と社会	2	1～4	開講	講義	
		GEF02060	Career Design in a Global Age	2	1～4	開講	講義	※(1)
	実践	GEF21010	キャリアデザイン演習	2	2～4	開講	演習	
		GEF31010	インターンシップ特講	1	3・4	開講	演習	
		GEF46010	インターンシップ	1	3・4	開講	実習	
		GEF01040	キャリア形成認定科目	2	-	開講	-	資格認定科目
		GEF01010	海外調査方法論	2	1～4	開講	演習	
		GEF06010	海外フィールド実習	1	1～4	開講	実習	*
		GEF06020	ボランティア実習	1	1～4	開講	実習	*

注意事項

※(1) 授業で用いられる主要言語は英語です。授業内容をシラバスで良く確認したうえで、履修を決定してください。

※(2) 履修者は人文学部のグローバル・スタディーズコース(英語プログラム)所属学生に限ります。

4 ヨーロッパ文化学科 外国語科目

本学科の卒業に必要な外国語科目の単位は以下のとおりです。外国語科目は特に出席が重視され、授業回数の3分の1以上を欠席した場合、単位が与えられません。また、外国語科目を指定された年次で修得できない場合、専門科目の履修に制限を受けたり、卒業論文履修資格を得ることができなかつたりと、卒業に支障をきたすこともあるので注意してください。

TOEIC® L&R IP テスト（学内試験）について

1年次生、2年次生全員を対象に12月にテストを実施します。マークシート方式の英語実力判定試験です。自らの英語力の把握に役立つだけでなく、最近では企業への就職の際にスコアの提出が求められる場合も多くなっているため、大学での英語学習のひとつの重要な軸として、このテストを必ず受験してください。なお、結果は各自に通知されます（詳細は3Sで別途指示します）。

1. 必修外国語と選択外国語 I

◇ 外国語修得必要単位数

必修外国語（英語）	2 単位	20 単位
選択外国語 I（1）（ドイツ語、フランス語から1言語）	14 単位	
選択外国語 I（2）（英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語から1言語）	4 単位	

= クラス編成表 =

- ① 1年次では、必修外国語（英語 I）と選択外国語 I（1）を履修します。英語 I は人文学部・経済学部・社会学部 合同の到達度別クラスで授業を受けます。
- ② 2年次では、選択外国語 I（1）2 授業 2 単位は持ち上がりクラスです。残りの 2 授業 2 単位は到達度別クラスです。選択外国語 I（2）は希望を踏まえて下表の授業を履修します。

	授業名	必修外国語 クラス名
1 年次	英語 I (2 授業 2 単位)	総合英語 (1)(2)

種類 履修年次	クラス名	選択外国語 I（1） 授業名（必要数）	クラス名	選択外国語 I（1） 授業名（必要数）
1 年次	Y1G-1	ドイツ語 I (8 授業 8 単位)	Y1G-a	ドイツ語 I (2 授業 2 単位)
	Y1G-2		Y1G-b	
	Y1G-3		Y1G-c	
	Y1F-1	フランス語 I (8 授業 8 単位)	Y2G-d	フランス語 I (2 授業 2 単位)
	Y1F-2		Y1F-a	
	Y1F-3		Y1F-b	
			Y1F-c	
			Y2F-d	

種類 履修年次	クラス名	選択外国語 I（1） 授業名（必要数）	クラス名	選択外国語 I（1） 授業名（必要数）	クラス名	選択外国語 I（2） 授業名（必要数）
2 年次	Y2G-1	ドイツ語 II (2 授業 2 単位)	Y2G-a	ドイツ語 II (2 授業 2 単位)	Y2A-1	英語（選択）（4 授業 4 単位）
	Y2G-2		Y2G-b		Y2A-2	英語（選択）（4 授業 4 単位）
	Y2G-3		Y2G-c		Y2B	ドイツ語（選択）（4 授業 4 単位） ※選択外国語 I（1）としてドイツ語を履修している人は選択できません。
	Y2F-1	フランス語 II (2 授業 2 単位)	Y2F-a	フランス語 II (2 授業 2 単位)	Y2C	フランス語（選択）（4 授業 4 単位） ※選択外国語 I（1）としてフランス語を履修している人は選択できません。
	Y2F-2		Y2F-b		Y2D-1	イタリア語（選択）（4 授業 4 単位）
	Y2F-3		Y2F-c		Y2D-2	イタリア語（選択）（4 授業 4 単位）

外国語科目の履修にあたっては以下の注意をよく読んでください

- ① 必修外国語と選択外国語Ⅰは、必ず自分の配属されているクラスで履修してください。
- ② 必修外国語と選択外国語Ⅰは、必要な単位を超えて履修することはできません。
- ③ 外国語の授業は出席が特に重視されるので注意してください。
- ④ 高等学校等ですでにドイツ語、フランス語を履修した者については、本人の希望に基づき審査を経て、選択外国語Ⅰ(1)の単位を他の関連科目等で読み替えることを認めます。1年次生の希望者は学科ガイダンス終了時に申し出て指示を受けてください。2年次生に関しては、該当者に教員から指示します。
- ⑤ 2年次に履修する選択外国語Ⅰ(2)は、以下の日程に従い手続きをしてください。

手続時期	手続内容	連絡等
1年次 6月中旬	履修希望届提出	希望届の提出に関する詳細は、別途3Sにて指示する
2年次 4月	所属発表	3Sにて

【2年次外国語クラスへ進むための条件】

- ◎ 1年次選択外国語Ⅰ(1) 10授業(10単位)のうち、6授業(6単位)以上を修得していること。

1年次終了の段階で条件を充たしていない場合は、2年次外国語クラスへ進むことができず、翌年度に再び1年次クラスで未修得の授業を履修しなければなりません。その際、履修すべき授業は翌年度初めに指定します。

【2年次外国語クラスへ進んだ学生の単位未修得授業の再履修について】

必修外国語(英語)および選択外国語Ⅰの単位未修得授業は、指定されるクラスで履修しなければなりません。

2. 選択外国語Ⅱ

- ① 以下の表に示されているのは「選択外国語Ⅱ」と呼ばれる科目群です。
- ② 卒業のために単位修得が必要とされる科目ではありませんが、最大8単位まで総合科目の履修単位として、卒業必要単位に算入することができます。ただし、選択外国語Ⅰ(1)と同一言語の科目は外国語現地実習を除き履修することができません。
- ③ 「外国語現地実習(ドイツ語)」・「外国語現地実習(フランス語)」は、ドイツ語・フランス語の学習にとって重要ですので、積極的に履修してください。
- ④ 日本語科目は主として外国人留学生のために開講されています。日本語を母語とする学生で履修を希望する者は教務課に問い合わせてください。外国語科目として日本語を履修できるのは、協定留学生や外国人学生特別入学試験によって入学した学生、外国語の高校を卒業した学生、グローバル・スタディーズコース所属の留学生などに限定されています。詳細は「留学・国際交流関連科目」のEAS科目一覧の注(168頁)を参照してください。

言語	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
英語	ブラクティカル・イングリッシュ1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	ブラクティカル・イングリッシュ2	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング2	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ1	1	1~4	開講	実習(外国語)	*
	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ2	1	1~4	開講	実習(外国語)	*
	ディスカッション・ディベート英語1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	ディスカッション・ディベート英語2	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ1	1	1~4	開講	実習(外国語)	*
	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ2	1	1~4	開講	実習(外国語)	*
	ビジネス・コミュニケーション英語1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	ビジネス・コミュニケーション英語2	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ2	1	1~4	開講	実習(外国語)	
ドイツ語	ドイツ語入門1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	ドイツ語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	ドイツ語中級1	1	2~4	欠講	実習(外国語)	*
	ドイツ語中級2	1		欠講	実習(外国語)	*
	ドイツ語コミュニケーション1	1		開講	実習(外国語)	*
ドイツ語コミュニケーション2	1	開講	実習(外国語)	*		
フランス語	フランス語入門1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	フランス語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	フランス語中級1	1	2~4	欠講	実習(外国語)	*
	フランス語中級2	1		欠講	実習(外国語)	*
	フランス語コミュニケーション1	1		開講	実習(外国語)	*
	フランス語コミュニケーション2	1	開講	実習(外国語)	*	

第1章 授業科目の履修

言語	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
スペイン語	スペイン語入門1	1	1～4	開講	実習(外国語)	
	スペイン語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	スペイン語中級1	1	2～4	開講	実習(外国語)	*
	スペイン語中級2	1		開講	実習(外国語)	*
	スペイン語コミュニケーション1	1		欠講	実習(外国語)	*
	スペイン語コミュニケーション2	1		欠講	実習(外国語)	*
中国語	中国語入門1	1	1～4	開講	実習(外国語)	
	中国語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	中国語中級1	1	2～4	欠講	実習(外国語)	*
	中国語中級2	1		欠講	実習(外国語)	*
	中国語コミュニケーション1	1		開講	実習(外国語)	*
	中国語コミュニケーション2	1		開講	実習(外国語)	*
韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語入門1	1	1～4	開講	実習(外国語)	
	韓国・朝鮮語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	韓国・朝鮮語中級1	1	2～4	開講	実習(外国語)	*
	韓国・朝鮮語中級2	1		開講	実習(外国語)	*
	韓国・朝鮮語コミュニケーション1	1		欠講	実習(外国語)	*
	韓国・朝鮮語コミュニケーション2	1		欠講	実習(外国語)	*
イタリア語	イタリア語入門1	1	1～4	開講	実習(外国語)	
	イタリア語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	イタリア語中級1	1	2～4	欠講	実習(外国語)	*
	イタリア語中級2	1		欠講	実習(外国語)	*
	イタリア語コミュニケーション1	1		開講	実習(外国語)	*
	イタリア語コミュニケーション2	1		開講	実習(外国語)	*
ロシア語	ロシア語入門1	1	1～4	開講	実習(外国語)	
	ロシア語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	ロシア語中級1	1	2～4	開講	実習(外国語)	*
	ロシア語中級2	1		開講	実習(外国語)	*
	ロシア語コミュニケーション1	1		欠講	実習(外国語)	*
	ロシア語コミュニケーション2	1		欠講	実習(外国語)	*
現地実習	外国語現地実習(英語)1	2	1～4	開講	実習	
	外国語現地実習(英語)2	2		開講	実習	
	外国語現地実習(ドイツ語)1	2		開講	実習	
	外国語現地実習(ドイツ語)2	2		開講	実習	
	外国語現地実習(フランス語)1	2		開講	実習	
	外国語現地実習(フランス語)2	2		開講	実習	
	外国語現地実習(中国語)1	2		開講	実習	
	外国語現地実習(中国語)2	2		開講	実習	
	外国語現地実習(韓国・朝鮮語)1	2		開講	実習	
	外国語現地実習(韓国・朝鮮語)2	2		開講	実習	
日本語	日本語(コンプリートビギナー)1	1	1～4	欠講	実習(外国語)	
	日本語(コンプリートビギナー)2	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(入門)1	1		開講	実習(外国語)	*
	日本語(入門)2	1		欠講	実習(外国語)	*
	日本語(初級)1	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(初級)2	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(初中級)1	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(初中級)2	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(中級)1	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(中級)2	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(上級)1	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(上級)2	1		開講	実習(外国語)	

※ 各国語の入門1・2(「〇〇語入門1」「〇〇語入門2」)以外の科目は、履修に先だって、当該外国語の初級文法の学習を終えていることが条件となります。初級文法授業とは、各学部学科の当該外国語の1年次配当授業のうち初級文法の内容を含むもの、全学共通の入門授業、もしくは高等学校や大学等で入学前に受けた授業(初級文法を含むと判断できるもの)です。1年次生や編転入学者など、入学1年目の学生については、入学前に初級文法授業を受けたことがある場合にのみ、申請によって履修登録をおこなうことができます。

※ 「中国語コミュニケーション1」「中国語コミュニケーション2」、「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」は入門を終えた人が履修する会話の授業です。学習歴2年目以上の学生を対象としています。

3. 外国語学習の手引き

(1) 英語について

大学で学ぶ英語は、入学時まで学習してきた内容を確認できるという側面と、それをふまえてより発展的な学習をおこなうという二つの性格をあわせ持っています。様々な学習・研究のなかで英語文献や資料を読む必要が出てくる場合に備えて、的確に英文の内容をつかむことができるだけの英語力を身につけておかなければなりません。それと同時に、異文化コミュニケーションの現場で必要とされる英語を聞く力・話す力の養成も重視するという観点から、実践的な英語力をつけるための学習にも力をいれるようにしてください。

まず、入学時に英語クラス分け試験を受験し、その結果に基づいて配属された到達度別クラスで授業を受けます。授業のための学習、及び自主学習の成果をはかるために、1年次、2年次の後期には全員がTOEIC® L&R IP 学内試験を受験します。この検定は、就職活動の際にスコアを要求されることもある英語能力試験 TOEIC® の団体受験制度によっておこなわれ、テスト結果の有効性は通常公開テストと同等であると判断されています。これにより、皆さんは自分の英語能力を知ることができ、その後の進路選択や学習計画に活用することができます。

1年次必修英語クラスとしては、全学で共通の「総合英語」を受講します。入学時に受験する英語クラス分け試験の成績に基づいたクラスに配属され、履修者の英語力の現状に応じた英語授業を受けることになります。

2年次に選択外国語Ⅰ(2)として英語を選択する人には、英語(選択)の4授業が用意されており、リーディングを中心とした総合英語の授業と、TOEIC®に対応する授業で英語学習を継続します。

◇ 選択外国語Ⅱとしての英語

必修科目、または学科指定の選択科目としての英語の他に、選択外国語Ⅱとして、「プラクティカル・イングリッシュ1」「プラクティカル・イングリッシュ2」、「イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング1」「イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング2」「イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ1」「イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ2」「ディスカッション・ディベート英語1」「ディスカッション・ディベート英語2」「クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ1」「クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ2」「ビジネス・コミュニケーション英語1」「ビジネス・コミュニケーション英語2」「イングリッシュ・ライティング・ワークショップ1」「イングリッシュ・ライティング・ワークショップ2」「外国語現地実習(英語)1」「外国語現地実習(英語)2」を履修することができます。8単位までは卒業単位の総合科目20単位の中に含めることが認められます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座科目」の英語

「グローバル・コミュニケーション1」「グローバル・コミュニケーション2」、「留学のための英語講座A1」「留学のための英語講座A2」「留学のための英語講座B1」「留学のための英語講座B2」など留学を希望する学生、あるいはより高い英語学習を求める学生のためのクラスが設けられています(A1・A2がTOEFL対策、B1・B2がIELTS対策のクラスです)。

(2) ドイツ語について

ドイツ語はほとんどの学生にとって大学ではじめて学ぶ言語です。ヨーロッパ文化学科では専門教育に応用できる高度な読解力・作文力・会話力を習得する授業編成をとっています。

選択外国語Ⅰ(1)としては、1年次に前期・後期あわせて10授業(10単位)を履修します。内容は文法4授業(同一担当者)、読解2授業、ドイツ語を母語とする教員による会話2授業、単語と表現の反復練習2授業です。単語・表現の授業は、ドイツ語を母語とする教員が担当する場合があります。2年次には選択外国語Ⅰ(1)の続きとして前期・後期あわせて4授業(4単位)を履修します。

選択外国語Ⅰ(2)として2年次にドイツ語を履修する場合は、前期・後期合わせて4授業(4単位)になります。内容は文法2授業、読解2授業です。

◇ 選択外国語Ⅱのドイツ語(選択外国語Ⅰ(1)としてドイツ語を履修している人は「外国語現地実習(ドイツ語)1」「外国語現地実習(ドイツ語)2」以外履修できません)

「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」:

はじめてドイツ語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語Ⅰ(1)としてフランス語を履修している人が、第3ないし第4の外国語としてドイツ語を学べるようになっています。

「ドイツ語中級1」「ドイツ語中級2」:

上記の「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」ないし選択外国語I(2)のドイツ語初級文法授業の単位を修得した人のための読解授業です。

「ドイツ語コミュニケーション1」「ドイツ語コミュニケーション2」:

上記の「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」ないし選択外国語I(2)のドイツ語初級文法授業の単位を修得した人のための会話授業です。

「外国語現地実習(ドイツ語)1」「外国語現地実習(ドイツ語)2」:

選択外国語IまたはIIとしてドイツ語を履修した人にお勧めします。「外国語現地実習(ドイツ語)1」は春季に、「外国語現地実習(ドイツ語)2」は夏季に集中的にドイツで実施されます。

◇ドイツ語による授業

「ドイツ語論述実習1」「ドイツ語論述実習2」、「ドイツ語圏の社会と文化1」「ドイツ語圏の社会と文化2」は、ドイツに長期留学したい人や高度なドイツ語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業はドイツ語を母語とする教員がドイツ語でおこないます。

(3) フランス語について

フランス語は、ほとんどの学生にとってはじめて出会う外国語ですから、基礎から学びます。ヨーロッパ文化学科では、専門の勉強につながる高度な語学力の修得を目指します。

1年次には、選択外国語I(1)として、前期・後期ともに各週5授業おこなわれ、発音、文法、読本、会話などを初歩から徹底的に学びます。前期・後期あわせて年間10授業になります。初級文法(4授業)では、文法の体系全体を概観します。読本(2授業)では、平易な文を読み、簡単なフランス語なら読めるようにします。会話(2授業)は、実際に話せるフランス語の習得を目指します。表現(2授業)は、よく使う簡単な言葉を覚えて、使えるようにします。

2年次には、選択外国語I(1)として、前期2授業、後期2授業、合計4授業(4単位)を履修します。

選択外国語I(2)として2年次にフランス語を履修する場合は、前期・後期あわせて4授業(4単位)になります。内容は文法2授業、読本2授業です。

◇選択外国語IIのフランス語(選択外国語I(1)としてフランス語を履修している人は「外国語現地実習(フランス語)1」「外国語現地実習(フランス語)2」以外は履修できません)

「フランス語入門1」「フランス語入門2」:

はじめてフランス語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語I(1)としてドイツ語を履修している人が、第3ないし第4の外国語として学べるようになっています。

「フランス語中級1」「フランス語中級2」:

上記の「フランス語入門1」「フランス語入門2」ないし選択外国語I(2)のフランス語を履修し終えた人のための読解授業です。内容的には、時事関係、現代社会の諸問題など様々なテーマを取り上げます。

「フランス語コミュニケーション1」「フランス語コミュニケーション2」:

上記の「フランス語入門1」「フランス語入門2」ないし選択外国語I(2)のフランス語を履修し終えた人のための会話授業です。

「外国語現地実習(フランス語)1」「外国語現地実習(フランス語)2」:

選択外国語IまたはIIとしてフランス語を履修した人にお勧めします。「外国語現地実習(フランス語)1」は春季に、「外国語現地実習(フランス語)2」は夏季に集中的にフランスで実施されます。

◇フランス語による授業

「フランス語論述実習1」「フランス語論述実習2」、「フランスの歴史と社会1」「フランスの歴史と社会2」は、フランスに長期留学したい人、また高度なフランス語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業はフランス語を母語とする教員がフランス語でおこないます。

(4) 中国語について

ヨーロッパ文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱの中国語です。

◇ 選択外国語Ⅱの中国語

「中国語入門1」「中国語入門2」:

はじめて中国語を学ぶ人のための初級クラス（初学者＝学習歴1年目の学生を対象）。

「中国語中級1」「中国語中級2」:

入門を終えた人が履修する中級レベルの授業（学習歴2年目の学生を対象）。

「中国語コミュニケーション1」「中国語コミュニケーション2」:

入門を終えた人が履修する会話の授業（学習歴2年目以上の学生を対象）。

「外国語現地実習（中国語）1」「外国語現地実習（中国語）2」:

選択外国語Ⅱとして中国語を履修した人にお勧めします。武蔵大学の中国語のカリキュラムで1年間学習した学生ならば、これに参加できる能力が充分についているでしょう。「外国語現地実習（中国語）1」「外国語現地実習（中国語）2」は、春季および夏季に中国または台湾で、集中的に実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座」の中国語

「中国の社会と文化1」「中国の社会と文化2」「中国語論述実習1」「中国語論述実習2」:

中国に長期留学したい人や高度な中国語能力を身につけたい人のための授業です。授業は中国語を母語とする教員が中国語でおこないます。

(5) 韓国・朝鮮語について

ヨーロッパ文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱの韓国・朝鮮語です。

◇ 選択外国語Ⅱの韓国・朝鮮語

「韓国・朝鮮語入門1」「韓国・朝鮮語入門2」「韓国・朝鮮語中級1」「韓国・朝鮮語中級2」「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」は、第3の外国語として韓国・朝鮮語も学習したいという学生のために開設されている、それぞれ週1回の授業です。「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」は、春季および夏季に韓国現地でおこなわれる短期留学です。

「韓国・朝鮮語入門1」「韓国・朝鮮語入門2」:

はじめて韓国・朝鮮語を学ぶ人のための初級クラス（初学者＝学習歴1年目の学生を対象）。

「韓国・朝鮮語中級1」「韓国・朝鮮語中級2」:

入門を終えた人が履修する中級レベルの授業（学習歴2年目の学生を対象）。

「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」:

入門を終えた人が履修する会話の授業（学習歴2年目以上の学生を対象）。

「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」:

選択外国語Ⅱとして韓国・朝鮮語を履修した人にお勧めします。武蔵大学の韓国・朝鮮語のカリキュラムで1年間学習した学生ならば、これに参加できる能力が充分についているでしょう。「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」は春季に、「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」は夏季に集中的に韓国現地で開催されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座」の韓国・朝鮮語

「韓国・朝鮮の社会と文化1」「韓国・朝鮮の社会と文化2」「韓国・朝鮮語論述実習1」「韓国・朝鮮語論述実習2」:

韓国に長期留学したい人や高度な韓国語能力を身につけたい人のための授業です。授業は韓国語を母語とする教員が韓国語でおこないます。

(6) イタリア語について

イタリア語は、英語、ドイツ語、フランス語とならんでヨーロッパ文化学科の選択外国語Ⅰ(2)の1つとして履修できます。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力の習得を目標としています。選択外国語Ⅱのイタリア語も履修できます。

選択外国語Ⅰ(2)としては、2年次に前期、後期合わせて4授業(4単位)あります。内容は文法2授業、初級の読解2授業です。文法の時間には初級文法の教科書を用い、アルファベット、単語の発音から始めて、1年間で文法の基礎知識を身につけます。読解の時間は、文法事項の確認と平易な例文・短い読み物からなる教科書を用い、読解の基礎を身につけます。

◇ 選択外国語Ⅱのイタリア語

「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」:

はじめてイタリア語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語Ⅰ(2)としてイタリア語を履修していない人が、第3ないし第4の外国語として学べるようになっています。

「イタリア語中級1」「イタリア語中級2」:

上記の「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」ないし選択外国語Ⅰ(2)のイタリア語の初級文法授業を履修し終えた人のための読解授業です。

「イタリア語コミュニケーション1」「イタリア語コミュニケーション2」:

上記の「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」ないし選択外国語Ⅰ(2)のイタリア語の初級文法授業を履修し終えた人のための会話授業です。

(7) スペイン語について

ヨーロッパ文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱのスペイン語です。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

◇ 選択外国語Ⅱのスペイン語

「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」:

はじめてスペイン語を学ぶ人のための初級文法の授業です。第3ないし第4の外国語としてスペイン語を学べるようになっています。

「スペイン語中級1」「スペイン語中級2」:

上記の「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」の単位を修得した人のための読解授業です。

スペイン語コミュニケーション1」「スペイン語コミュニケーション2」:

上記の「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」の単位を修得した人のための会話授業です。

(8) ロシア語について

ロシア語は選択外国語Ⅱの1つで、第3ないし第4の外国語として学ぶことができます。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」:

はじめてロシア語を学ぶ人のための初級文法の授業です。

「ロシア語中級1」「ロシア語中級2」:

上記の「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」の単位を修得した人のための読解授業です。

「ロシア語コミュニケーション1」「ロシア語コミュニケーション2」:

上記の「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」の単位を修得した人のための会話授業です。

(9) グローバル教育センターによる外国語学習プログラム他

グローバル教育センターでは、以下のような様々な外国語学習の機会を用意しています。正課の授業で基礎力を確保し、さらにそれを発展させるような機会を積極的に利用して、実力をアップさせていくことが望まれます。

(1) 課外講座

TOEIC® および IELTS™ の得点アップを希望する意欲ある学生を対象に、試験対策の課外講座等を有料で提供しています。

① TOEIC® L&R のスコアアッププログラム

TOEIC® L&R のスコアアップを目指すプログラム「TOEIC700点突破コース」と「TOEIC550点突破コース」を開講します。詳細は3Sでご確認ください。

② IELTS™ 対策講座

英語圏への留学の際に必要な IELTS™ のスコアアップをめざす IELTS™ 対策講座を企画しています。詳細は 3S でご確認ください。

(2) 武蔵大学外国語学習褒賞・勸奨制度

対象の言語は、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語（日本語教育能力検定試験）等です。それぞれの基準や条件については、3S や武蔵大学ウェブサイトでご確認ください。

(3) Musashi Communication Village (MCV)

MCV とは、英語をはじめとする外国語や外国の文化を楽しみながら学ぶための課外学習施設で、1号館3階にあり、以下のプログラムやイベントを提供しています。外国語があふれる環境に身をおき、そこで実際に外国語を使うことによってコミュニケーション力をアップしていくことができます。「キャンパス内留学」の場として、積極的に活用してください。

① 英会話レッスン

少人数の英会話レッスンをおこなっています。

② フリートーク

外国人スタッフや学生スタッフといつでも気軽な会話を楽しめます。

③ 外国語学習カウンセリング

一人ひとりに合った学習方法などを相談することができます。

④ 異文化体験イベント

外国語力向上や異文化理解を目的としたイベントを開催しています。季節のイベント、各国語のイベントや様々なテーマのイベント、学生スタッフ主催のイベント等を開催しています。

⑤ 講演会

国際理解・異文化交流・外国語学習 についての理解を深めるための講演会を年に1～2回、開催しています。

⑥ クッキングクラス（英語）

英会話をしながら料理をつくります。

⑦ アクティビティ

外国語を使いながら、楽しく遊べるアクティビティを外国人スタッフや学生スタッフが毎日実施しています。

⑧ 日本語チューター制度

日本語チューターが留学生の日本語学習をお手伝いします。

【注意】

MCVでおこなわれるプログラムは年度ごとに変わります。プログラムの詳細やスケジュールについては MCV に向いて確認してください。

(4) MITC / English JAM

MITC は、自由参加形式の英語集中合宿（春季・夏季）です。合宿中は英語だけを使って進めるグループ学習が主体で、学生が計画・運営にあたります。英語の使い手になるための様々なトレーニングを経験できます。English JAM は、MITC と同じ趣旨の活動を土曜日の午後に学内でおこなうものです。問い合わせは、10号館2階 English JAM Room まで。

4. 外国語現地実習

「外国語現地実習」は海外でおこなう語学の集中授業です。イギリス、オーストラリア、フィリピン、ドイツ、フランス、中国、台湾、韓国において、集中授業として実施します。実施時期が春季と夏季の2種類あり、春季集中授業は次年度の前期科目、夏季集中授業は実施年度の後期科目となります。授業内容についてはシラバスを参照してください。

外国語現地実習の授業科目には、「外国語現地実習（英語）1」「外国語現地実習（英語）2」、「外国語現地実習（ドイツ語）1」「外国語現地実習（ドイツ語）2」、「外国語現地実習（フランス語）1」「外国語現地実習（フランス語）2」、「外国語現地実習（中国語）1」「外国語現地実習（中国語）2」、「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」があります。

（1）外国語現地実習の履修条件

これらの科目を履修するには、グローバル教育センターの定めた規則に従い、参加の手続をグローバル教育センターでとるとともに、履修の詳細、スケジュールに注意して履修登録をしなければなりません。規則を守らない場合、履修登録が完了せず、すでに登録していても無効となるので、十分注意してください。

（2）外国語現地実習の履修の詳細

下記（5）外国語現地実習のスケジュール（予定）を参照してください。各科目は履修取消し制度および履修登録科目制限の対象外とします。なお、履修期に休学、退学をすると、単位認定はおこなわれません。

（3）外国語現地実習の成績評価

成績評価は「P」を合格とし、単位は2単位です。帰国後に提出するレポートと現地での学習成果に基づいて評価します。

（4）外国語現地実習のガイダンス

履修を希望する場合はグローバル教育センターのガイダンスに出席してください。

（5）外国語現地実習のスケジュール（予定）

① 夏季集中授業スケジュール

4月	グローバル教育センターによる募集ガイダンス
5～7月	参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス
6月	履修登録確認 (履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自登録内容を確認してください。)
8～9月	現地実習 レポート提出
翌3月下旬	成績確認（4年次生については3月初旬）

② 春季集中授業スケジュール

単位認定を希望する4年次生の春季現地実習への参加は認められないので、注意してください。

- | | |
|-------|---|
| 10月 | グローバル教育センターによる募集ガイダンス |
| 11～1月 | 参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス |
| 2～3月 | 現地実習 |
| 4月 | 履修登録確認
(履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自登録内容を確認してください。)
レポート提出 |
| 9月 | 成績確認 |

5 ヨーロッパ文化学科 専門科目 (共通専門科目)

人文学部では、所属学科の専門分野にとどまらず、幅広く深い知識を修得できるよう、人文学部他学科およびグローバル・スタディーズコース(英語)の専攻専門科目、グローバル・スタディーズコース(ドイツ語/フランス語)のプログラム基幹科目、学部横断型のプロジェクト科目、他学部の専門科目(全学対象専門科目)、留学・国際交流関連科目、学芸員課程関連科目を共通専門科目に指定し、定められた数の単位修得を求めています。科目によっては特別な履修条件が定められているので、記されている注意事項を良く読んでください。

卒業に必要な共通専門科目単位	
ヨーロッパ文化学科	20 単位

◆ 共通専門科目

◇ 学部共通科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
① 比較文化と異文化交流	OTH21010	課題解決型国際ゼミナールプロジェクト	2	2～4	欠講	演習	*
	OTH11010	人文フィールドワーク入門	2	2～4	開講	演習	*
	BAS12010	観光文化論(英米)1	2	2～4	開講	講義	*
	BAS12020	観光文化論(英米)2	2	2～4	開講	講義	*
	IAS02610	イスラーム文化論1	2	2～4	開講	講義	
	IAS02620	イスラーム文化論2	2	2～4	欠講	講義	
	IAS21610	イスラーム文化演習1	2	2～4	開講	演習	
	IAS21620	イスラーム文化演習2	2	2～4	開講	演習	
	ANT02610	文化人類学概論1	2	2～4	欠講	講義	
	ANT02620	文化人類学概論2	2	2～4	開講	講義	
	HST02710	東アジアの美術工芸史1	2	2～4	開講	講義	
	HST02720	東アジアの美術工芸史2	2	2～4	開講	講義	
	ARE02610	環日本海文化論1	2	2～4	欠講	講義	
	ARE02620	環日本海文化論2	2	2～4	欠講	講義	
OTH02040	文化財科学	2	1～4	開講	講義		
(言語・文学) ② 欧米の文化	LNG12030	英語学概論1	2	2～4	開講	講義	
	LNG12040	英語学概論2	2	2～4	開講	講義	
	LED12010	英語教育学1	2	2～4	開講	講義	
	LED12020	英語教育学2	2	2～4	開講	講義	
	LNG12010	異文化コミュニケーション論1	2	2～4	開講	講義	*
	LNG12020	異文化コミュニケーション論2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT12030	イギリスの文学1	2	2～4	開講	講義	*
	LIT12040	イギリスの文学2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT12010	アメリカの文学1	2	2～4	開講	講義	
	LIT12020	アメリカの文学2	2	2～4	開講	講義	
	LIT12050	英語圏文学入門1	2	2～4	開講	講義	*
LIT12060	英語圏文学入門2	2	2～4	開講	講義	*	
LNG12050	Introduction to Applied Linguistics	2	2～4	開講	講義	*	
(芸術・思想・宗教) ③ 欧米の文化	ART12010	英米の芸術1	2	2～4	開講	講義	*
	ART12020	英米の芸術2	2	2～4	開講	講義	*
	PHI12010	英米の思想1	2	2～4	開講	講義	*
	PHI12020	英米の思想2	2	2～4	開講	講義	*
	REL12010	英語圏の宗教と文化1	2	2～4	開講	講義	*
	REL12020	英語圏の宗教と文化2	2	2～4	開講	講義	*
④ 欧米の歴史と現在	HST12030	イギリス史1	2	2～4	開講	講義	*
	HST12040	イギリス史2	2	2～4	開講	講義	*
	HST12010	アメリカ史1	2	2～4	開講	講義	*
	HST12020	アメリカ史2	2	2～4	開講	講義	*
	BRS12010	イギリス文化論1	2	2～4	開講	講義	*
	BRS12020	イギリス文化論2	2	2～4	開講	講義	*
	AMS12010	アメリカ文化論1	2	2～4	開講	講義	*
	AMS12020	アメリカ文化論2	2	2～4	開講	講義	*
⑤ 東アジアの文化と社会	LIT02710	中国文学史1	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02720	中国文学史2	2	2～4	開講	講義	*
	CHS02630	中国の民族と社会1	2	2～4	欠講	講義	
	CHS02640	中国の民族と社会2	2	2～4	開講	講義	
	PHI02650	中国思想史1	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02660	中国思想史2	2	2～4	開講	講義	*
	CHS02610	現代中国論1	2	2～4	開講	講義	
	CHS02620	現代中国論2	2	2～4	開講	講義	
	KOS02710	現代韓国論1	2	2～4	開講	講義	
	KOS02720	現代韓国論2	2	2～4	開講	講義	
	KOS02730	朝鮮文化論1	2	2～4	開講	講義	*
	KOS02740	朝鮮文化論2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02730	朝鮮文学史1	2	2～4	欠講	講義	*
	LIT02740	朝鮮文学史2	2	2～4	欠講	講義	*
⑥ 日本の歴史と文化	LNG02610	日本の言語文化1	2	2～4	開講	講義	
	LNG02620	日本の言語文化2	2	2～4	開講	講義	
	LIT02610	日本古典文学史1	2	2～4	開講	講義	
	LIT02620	日本古典文学史2	2	2～4	開講	講義	
	LIT02630	日本近現代文学史1	2	2～4	開講	講義	
	LIT02640	日本近現代文学史2	2	2～4	開講	講義	
	HST02690	日本芸能史1	2	2～4	欠講	講義	*
	HST02700	日本芸能史2	2	2～4	欠講	講義	*

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考	
⑥ 日本の歴史と文化	JPS02610	日本文化論 1	2	2～4	開講	講義		
	JPS02620	日本文化論 2	2	2～4	開講	講義		
	HST02670	日本美術工芸史 1	2	2～4	欠講	講義		
	HST02680	日本美術工芸史 2	2	2～4	欠講	講義		
	HST02630	日本建築史 1	2	2～4	開講	講義		
	HST02640	日本建築史 2	2	2～4	開講	講義		
	FOL02630	民俗宗教論 1	2	2～4	開講	講義	*	
	FOL02640	民俗宗教論 2	2	2～4	開講	講義	*	
	FOL02610	日本民俗史 1	2	2～4	開講	講義		
	FOL02620	日本民俗史 2	2	2～4	開講	講義		
	HST02610	日本服飾文化史 1	2	2～4	欠講	講義		
	HST02620	日本服飾文化史 2	2	2～4	欠講	講義		
	JPS02630	日本の身体文化 1	2	2～4	開講	講義	*	
	JPS02640	日本の身体文化 2	2	2～4	開講	講義	*	
	AST02610	琉球文化論 1	2	2～4	開講	講義		
	AST02620	琉球文化論 2	2	2～4	開講	講義		
	LIT02690	日本幻想文学論 1	2	2～4	開講	講義		
	LIT02700	日本幻想文学論 2	2	2～4	開講	講義		
	PHI02610	日本思想史 1	2	2～4	開講	講義		
	PHI02620	日本思想史 2	2	2～4	開講	講義		
	RELO2610	日本の仏教 1	2	2～4	開講	講義		
	RELO2620	日本の仏教 2	2	2～4	開講	講義		
	⑦ 人間科学と環境	OTH02020	現代スポーツ論	2	1～4	開講	講義	
		OTH02070	スポーツ身体論	2	1～4	欠講	講義	*
OTH02030		スポーツイメージ文化論	2	1～4	開講	講義	*	
OTH02050		保全生物学	2	1～4	開講	講義		
OTH02060		動物社会学	2	1～4	開講	講義		
ENV12310		地球環境シミュレーション	2	1～4	開講	講義		
OTH02010		宇宙観の歴史	2	1～4	開講	講義		
ENV02320		都市環境論	2	1～4	開講	講義		
THE31020		人間・環境ゼミナール A	2	3	開講	演習		
THE41050		人間・環境ゼミナール B	2	4	欠講	演習	*	
THE41060	人間・環境ゼミナール C	2	4	開講	演習	*		
MCC11010	人文情報リテラシー	2	1～4	開講	演習			
⑧ Global Studies	GLS22010	Introduction to Global Civics 1	2	2～4	開講	講義		
	GLS22020	Introduction to Global Civics 2	2	2～4	開講	講義		
	GLS22030	Introduction to Global Futures Studies 1	2	2～4	開講	講義	*	
	GLS22040	Introduction to Global Futures Studies 2	2	2～4	開講	講義	*	
	GLS22050	Transnational Issues 1	2	2～4	欠講	講義	*	
	GLS22060	Transnational Issues 2	2	2～4	欠講	講義	*	
	GLS22070	Political Communication 1	2	2～4	開講	講義	*	
	GLS22080	Political Communication 2	2	2～4	開講	講義	*	
	GLS22090	Global Literatures in English 1	2	2～4	開講	講義		
	GLS22100	Global Literatures in English 2	2	2～4	開講	講義		
	GLS22110	Introduction to Cultural Studies 1	2	2～4	開講	講義	*	
	GLS22120	Introduction to Cultural Studies 2	2	2～4	開講	講義	*	
	GLS22130	Migration and Literature 1	2	2～4	開講	講義	*	
	GLS22140	Migration and Literature 2	2	2～4	開講	講義	*	
	GLS22150	World Englishes 1	2	2～4	欠講	講義	*	
	GLS22160	World Englishes 2	2	2～4	欠講	講義	*	
	GLS22170	Japanese Cultural History in Global Perspective 1	2	2～4	開講	講義		
	GLS22180	Japanese Cultural History in Global Perspective 2	2	2～4	開講	講義		
	GLS22190	Contemporary Japanese Culture 1	2	2～4	開講	講義	*	
	GLS22200	Contemporary Japanese Culture 2	2	2～4	開講	講義	*	
GLS22210	Topics in Japanese Culture A 1	2	2～4	欠講	講義	*		
GLS22220	Topics in Japanese Culture A 2	2	2～4	欠講	講義	*		
GLS22230	Topics in Japanese Culture B 1	2	2～4	開講	講義	*		
GLS22240	Topics in Japanese Culture B 2	2	2～4	開講	講義	*		
GLS22250	Global Fieldwork	2	2～4	開講	演習	*		
⑨ GSC 基幹科目 (ドイツ語)	GES06320	GSC 初級ドイツ語 1	1	1～4	開講	実習	GSC(独)プログラム所属学生のみ履修可能	
	GES06330	GSC 初級ドイツ語 2	1	1～4	開講	実習		
	GES06340	GSC 中級ドイツ語 1	1	1～4	開講	実習		
	GES06350	GSC 中級ドイツ語 2	1	1～4	開講	実習		
⑩ GSC 基幹科目 (フランス語)	FRS06320	GSC 初級フランス語 1	1	1～4	開講	実習	GSC(仏)プログラム所属学生のみ履修可能	
	FRS06330	GSC 初級フランス語 2	1	1～4	開講	実習		
	FRS06340	GSC 中級フランス語 1	1	1～4	開講	実習		
	FRS06350	GSC 中級フランス語 2	1	1～4	開講	実習		
⑪ ジェック ト科目	CRO21010	学部横断型課題解決プロジェクト	4	1～4	開講	演習	1年次は後期からとする。	

◆ 全学対象専門科目

◇ 経済学部提供科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
国際経済・経営	ECO22040	アジア経済1	2	3・4	欠講	講義	*
	ECO22050	アジア経済2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22060	アメリカ経済1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22070	アメリカ経済2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22610	ヨーロッパ経済1	2	3・4	欠講	講義	*
	ECO22620	ヨーロッパ経済2	2	3・4	欠講	講義	*
	ECO32010	開発経済学1	2	3・4	欠講	講義	*
	ECO32020	開発経済学2	2	3・4	欠講	講義	*
	ECO22850	国際法1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22860	国際法2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22460	世界経済1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22470	世界経済2	2	3・4	開講	講義	
経済学と現代経済	ECO22260	ゲーム理論入門	2	3・4	開講	講義	
	ECO22200	経済政策1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22210	経済政策2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22290	憲法1	2	3・4	開講	講義	
	ECO22300	憲法2	2	3・4	開講	講義	
	ECO22270	現代政治経済学1	2	3・4	開講	講義	
	ECO22280	現代政治経済学2	2	3・4	開講	講義	
	ECO22100	行政法1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22110	行政法2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22370	産業組織論1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22380	産業組織論2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22390	社会福祉1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22400	社会福祉2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22410	情報経済論1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22420	情報経済論2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22440	西洋経済史1	2	3・4	開講	講義	
	ECO22450	西洋経済史2	2	3・4	開講	講義	
ECO32030	日本経済史1	2	3・4	開講	講義		
ECO32040	日本経済史2	2	3・4	開講	講義		
ビジネス	MAN22080	イノベーション論	2	3・4	開講	講義	
	MAN12020	経営管理論1	2	3・4	開講	講義	
	MAN22090	経営管理論2	2	3・4	開講	講義	
	MAN22130	国際経営論	2	3・4	開講	講義	
	MAN22150	人事管理論1	2	3・4	開講	講義	
	MAN22160	人事管理論2	2	3・4	開講	講義	*
	MAN22170	組織論1	2	3・4	開講	講義	
	MAN22180	組織論2	2	3・4	開講	講義	
MAN22140	多国籍企業論	2	3・4	欠講	講義	*	
ビジネスデザイン	MIS22040	ITマネジメント	2	3・4	開講	講義	
	MIS22030	情報ネットワーク基礎	2	3・4	開講	講義	
	MIS22090	コンピュータシステム基礎	2	3・4	開講	講義	
	MIS22010	サービスマネジメント	2	3・4	開講	講義	
	MAN22240	ベンチャー企業論1	2	3・4	開講	講義	
	MAN22250	ベンチャー企業論2	2	3・4	開講	講義	*
	MIS12010	経営情報基礎	2	2～4	開講	講義	
MIS12020	情報と職業	2	2～4	開講	講義	*	
企業会計	ACC22070	企業法	2	3・4	開講	講義	
	ACC12050	企業法基礎	2	2～4	開講	講義	
	ACC12020	簿記演習1	2	2～4	開講	講義	
	ECO22590	民法1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22600	民法2	2	3・4	開講	講義	*
	ACC12040	会計学基礎	2	2～4	開講	講義	
金融	FIN22010	ファイナンス1	2	3・4	開講	講義	
	FIN22020	ファイナンス2	2	3・4	開講	講義	
	FIN22030	財務報告論1	2	3・4	開講	講義	
	FIN22040	財務報告論2	2	3・4	開講	講義	
	FIN22050	証券市場論1	2	3・4	開講	講義	
	FIN22060	証券市場論2	2	3・4	開講	講義	
	FIN32150	信託論	2	3・4	開講	講義	*
	FIN32400	保険・年金論	2	3・4	開講	講義	

◇社会学部提供科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
社会問題とエンパワーメント	ANT33010	開発人類学	2	3・4	開講	講義	*
	ANT33020	多文化共生の人類学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33010	家族社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33020	教育社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33030	ケアの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33040	ジェンダーの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33050	仕事の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33060	社会問題の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33070	人口問題の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33080	福祉社会学	2	3・4	開講	講義	*
SOC33090	不平等の社会学	2	3・4	開講	講義	*	
文化とアイデンティティ	ANT33030	家族と結婚の人類学	2	3・4	開講	講義	*
	ANT33040	宗教人類学	2	3・4	開講	講義	*
	ANT33050	文化人類学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33100	アイデンティティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33110	カルチュラルスタディーズ	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33120	コミュニケーションの社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33130	消費社会論	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33140	身体社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33150	セクシュアリティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33160	文化の社会学	2	3・4	欠講	講義	*
SOC33170	若者文化の社会学	2	3・4	開講	講義	*	
国際社会とネットワーク	ANT33060	観光人類学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33180	エスニシティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33190	環境社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33200	グローバリゼーションの社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33210	社会運動論	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33220	政治社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33230	地域とコミュニティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33240	都市社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33250	ナショナリズムの社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33260	ネットワークの社会学	2	3・4	開講	講義	*
SOC33270	歴史社会学	2	3・4	開講	講義	*	
メディアコミュニケーション	MCC33010	映画研究	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33020	エレクトリックメディア論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33030	グローバリゼーションとメディア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33040	デジタル社会論	2	3・4	欠講	講義	*
	MCC33050	ポピュラー音楽論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33060	マスコミュニケーション論	2	3・4	開講	講義	*
	PSY33010	情報の社会心理学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33280	音楽文化の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33290	活字メディアの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33300	サブカルチャーの社会学	2	3・4	開講	講義	*
SOC33310	放送メディアの社会学	2	3・4	開講	講義	*	
コミュニケーション パブリック	MCC33070	Web システム論	2	2～4	開講	講義	*
	MCC33080	エスニックメディア論	2	3・4	欠講	講義	*
	MCC33090	NPO・NGO とメディア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33100	コーポレート・コミュニケーション論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33110	広告論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33120	広報論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33130	スポーツとメディア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33140	電子コミュニケーション論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33150	メディアリテラシー論	2	3・4	開講	講義	*
	PSY33020	ファッションと流行の社会心理	2	3・4	開講	講義	*
PSY33030	ライフスタイルの心理学	2	3・4	開講	講義	*	
メディアプロデュース	MCC33160	映像アーカイブ論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33170	映像メディア制作論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33180	国際ニュース研究	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33190	CM 企画・制作論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33200	市民メディア論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33210	ジャーナリズム論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33220	出版メディア制作論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33230	地域メディア論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33240	知的財産・著作権論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33250	ドキュメンタリー研究	2	3・4	開講	講義	*
MCC33260	メディア法制と倫理	2	3・4	開講	講義	*	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
社会学部特講	SOC35010	社会理論のフロンティア	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC35020	現代社会の諸相	2	3・4	開講	講義	*
	SOC35030	グローバル社会の諸相	2	3・4	開講	講義	*
	SOC35040	ホットトピック特別講義	2	3・4	開講	講義	*
	MCC35010	メディア研究のフロンティア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC35020	メディア社会の諸相	2	3・4	開講	講義	*
	MCC35030	文化研究のフロンティア	2	3・4	欠講	講義	*
	ISC35010	データサイエンス特別講義	2	3・4	開講	講義	*

◇ 留学・国際交流関連科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
EAS科目	AST02030	Business in East Asia	4	1～4	開講	講義	
	AST02060	Globalization and East Asian Economies	4	1～4	開講	講義	
	JPS02040	Japanese History	4	1～4	欠講	講義	*
	JPS02050	Japanese Culture and Society	4	1～4	欠講	講義	*
	JPS02060	Japanese Literature	4	1～4	開講	講義	*
	AST02040	East Asian Societies	4	1～4	開講	講義	*
	AST02050	East Asian Cultures and Histories	4	1～4	開講	講義	*
	JPS02080	Japan and International Society	4	1～4	開講	講義	
	JPS02090	Traditional Arts of Japan	2	1～4	開講	講義	*
	JPS02100	Modern Arts of Japan	2	1～4	開講	講義	*
	AST02080	East Asian Philosophies	4	1～4	欠講	講義	*
	AST02090	East Asian Literatures	4	1～4	開講	講義	*
	AST02100	Film Studies in East Asia	2	1～4	開講	講義	*
	AST02110	Media in East Asia	4	1～4	開講	講義	
	AST02120	Gender and Sexuality in East Asia	4	1～4	開講	講義	*
	AST02130	Ethnicity in East Asia	4	1～4	欠講	講義	*
	AST01010	Seminar in East Asian Studies	2	1～4	欠講	講義	*
	AST02140	East Asian Community in the 21st Century	4	1～4	開講	講義	
	AST02150	Global Issues in Southeast Asia	2	1～4	開講	講義	*
	AST02160	Environmental Issues in East Asia	4	1～4	開講	講義	
	AST02010	Global Issues in East Asia	2	1～4	欠講	講義	*
	JPS02010	Japanese Politics	2	1～4	開講	講義	*
	JPS02020	Japanese Economy	2	1～4	開講	講義	*
AST02020	Technology and Society in East Asia	2	1～4	欠講	講義	*	
JPS02030	Entrepreneurship in Japan	2	1～4	開講	講義	*	
留学準備講座	AMS02011	アメリカの社会と文化1	2	1～4	開講	講義	
	AMS02012	アメリカの社会と文化2	2	1～4	開講	講義	
	BRS02011	イギリスの社会と文化1	2	1～4	開講	講義	
	BRS02012	イギリスの社会と文化2	2	1～4	開講	講義	
	JPS02071	日本の社会と文化1	2	1～4	開講	講義	*
	JPS02072	日本の社会と文化2	2	1～4	開講	講義	*
	AST02071	東アジアの社会と文化1	2	1～4	開講	講義	*
	AST02072	東アジアの社会と文化2	2	1～4	開講	講義	*
	IRL02011	現代世界の諸問題1	2	1～4	開講	講義	
	IRL02012	現代世界の諸問題2	2	1～4	開講	講義	
	GES22310	ドイツ語圏の社会と文化1◆	2	2～4	開講	講義	ドイツ語による授業
	GES22320	ドイツ語圏の社会と文化2◆	2	2～4	開講	講義	ドイツ語による授業
	FRS22320	フランスの歴史と社会1◆	2	2～4	開講	講義	フランス語による授業
	FRS22330	フランスの歴史と社会2◆	2	2～4	開講	講義	フランス語による授業
	AST02171	中国の社会と文化1	2	1～4	開講	講義	* 中国語による授業
	AST02172	中国の社会と文化2	2	1～4	開講	講義	* 中国語による授業
	AST02181	韓国・朝鮮の社会と文化1	2	1～4	欠講	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	AST02182	韓国・朝鮮の社会と文化2	2	1～4	欠講	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	LED02011	インターカルチュラルスキル養成講座1	2	1～4	開講	講義	
	LED02012	インターカルチュラルスキル養成講座2	2	1～4	開講	講義	
	IRL02021	グローバル・リーダーシップ養成講座1	2	1～4	開講	講義	
	IRL02022	グローバル・リーダーシップ養成講座2	2	1～4	開講	講義	
	IRL01010	留学入門ゼミナール	2	1～4	開講	演習	
	IRL02030	多文化社会	2	1～4	開講	講義	*
	LED06011	グローバル・コミュニケーション1	1	1～4	開講	実習	*
	LED06012	グローバル・コミュニケーション2	1	1～4	開講	実習	*
	LED06041	留学のための英語講座A1 (TOEFL)	1	1～4	開講	実習	
	LED06042	留学のための英語講座A2 (TOEFL)	1	1～4	開講	実習	
	LED06051	留学のための英語講座B1 (IELTS)	1	1～4	開講	実習	
	LED06052	留学のための英語講座B2 (IELTS)	1	1～4	開講	実習	
GES26410	ドイツ語論述実習1◆	1	2～4	開講	実習	ドイツ語による授業	
GES26420	ドイツ語論述実習2◆	1	2～4	開講	実習	ドイツ語による授業	

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
留学準備講座	FRS26410	フランス語論述実習1◆	1	2～4	開講	実習	フランス語による授業
	FRS26420	フランス語論述実習2◆	1	2～4	開講	実習	フランス語による授業
	LED06061	中国語論述実習1	1	1～4	欠講	実習	* 中国語による授業
	LED06062	中国語論述実習2	1	1～4	欠講	実習	* 中国語による授業
	LED06071	韓国・朝鮮語論述実習1	1	1～4	開講	実習	* 韓国・朝鮮語による授業
	LED06072	韓国・朝鮮語論述実習2	1	1～4	開講	実習	* 韓国・朝鮮語による授業

※ 留学準備講座で備考欄に記載がない科目は英語による授業となります。

◆「ドイツ語圏の社会と文化1・2」「フランスの歴史と社会1・2」「ドイツ語論述実習1・2」「フランス語論述実習1・2」は、ヨーロッパ文化学科の学生は共通専門としてではなく専攻科目として履修します。

◇学芸員課程関連科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
学芸員課程関連科目	CTP02010	生涯学習概論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02020	博物館概論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02030	博物館経営論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02040	博物館資料論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02050	博物館資料保存論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02060	博物館展示論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02070	博物館情報・メディア論	2	1～4	開講	講義	

<履修上の注意>

- ・「学芸員課程関連科目」の修得単位のうち、8単位までを共通専門科目として卒業に必要な単位に算入することができます。8単位を超えて修得した単位は自由科目扱いとなり、卒業に必要な単位の中に算入することはできません。
- ・「留学・国際交流関連科目」の分野である「EAS科目」および「留学準備講座科目」の履修についての詳細は、第1章【3学科共通】3留学・国際交流関連科目を参照してください。

6 ヨーロッパ文化学科 専門科目（専攻科目）

1. 履修上の注意

本学科の学生は、以下の条件に従って、卒業時まで専攻科目を64単位以上修得しなければなりません。履修に際しては配当年次に注意してください。

- ① 専攻基礎科目の必修科目「ヨーロッパ文化入門講座」および「ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1」「ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2」は必ず1年次に履修しなければなりません。
- ② 専攻基礎科目の必修科目「中級ゼミナール1」「中級ゼミナール2」は、2年次にそれぞれ2単位修得しなければなりません。各学生の「中級ゼミナール1」「中級ゼミナール2」への配属を決める方法は、2年次4月のガイダンスで詳しく説明しますので、ガイダンスに必ず出席してください。
- ③ 専攻基礎科目の選択科目を、6単位以上修得しなければなりません。
- ④ 専攻専門科目・選択科目のうち、「専門ゼミナール1」「専門ゼミナール2」「卒業論文準備ゼミナール」（後期・集中）の中から合計で10単位以上を、3年次に修得しなければなりません。各学生の「専門ゼミナール1」「専門ゼミナール2」「卒業論文準備ゼミナール」への配属を決める方法は、3年次4月のガイダンスで詳しく説明しますので、ガイダンスに必ず出席してください。
- ⑤ 専攻専門科目・選択科目の講義科目①～④から、合計30単位以上を修得しなければなりません。
- ⑥ 専攻専門科目・必修科目の「卒業論文」および「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」は、4年次に必ず履修しなければなりません。
- ⑦ 専攻基礎科目の「中級ゼミナール1」「中級ゼミナール2」、選択科目（実習）、および専攻専門科目の「専門ゼミナール1」「専門ゼミナール2」「卒業論文準備ゼミナール」は、履修登録者が多い場合、人数制限をおこなう場合があります。

2. 再履修と重複履修

◇ 再履修

履修した授業科目の成績評価が不合格となったために、再度同じ科目を履修することを再履修といいます。必修科目が不合格となった場合、必ず再履修し、単位を修得しなければ卒業することができないので十分注意してください。再履修をする場合、クラス（授業科目）は事前に指定される場合があります。その場合には指定されたクラス（授業科目）を履修しなければなりません。他の必修科目と曜日・時限が重なっている場合には速やかに教務課に申し出て指示を受けてください。

◇ 重複履修

単位がすでに認定された授業科目を再び履修することを重複履修といいます。重複履修した場合、2回目以降に修得した単位は、原則として卒業要件に含まれません。ただし、「専門ゼミナール1」「専門ゼミナール2」に関しては、科目名の末尾に付されるアルファベットが異なれば同じ科目を履修することができます。この場合、重複履修とはみなしません。

3. 年次別履修案内

◆ 1年次生のための履修案内

- ①「ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1」「ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2」について：大学で学ぶ上で役立つ基礎的知識を身につけ、また資料調査・資料読解・口頭発表・討論・レポート作成などの技法を学ぶ授業です。どのクラスに配属されるかは、事前に決められています。
- ②「ヨーロッパ文化入門講座」について：ヨーロッパ文化の諸相および異文化比較の具体的なテーマを論じるリレー講義です。1年生全員が必ず履修します。
- ③ 専攻専門科目の選択科目のなかには、1年次生も履修できる科目が多数あります。各自の興味にあわせ、少しずつ履修してください。ただし1年次生は、必修科目や外国語科目、総合科目の履修を優先するよう心がけましょう。

◆ 2年次生のための履修案内

必修科目として「中級ゼミナール1」「中級ゼミナール2」を履修すること。

◆ 3年次生のための履修案内

- ①「専門ゼミナール1」「専門ゼミナール2」「卒業論文準備ゼミナール」を選択して履修すること。
- ② 3年次終了時点で「卒業論文」および「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」の履修資格がない場合は、4年間では卒業できません。卒業論文履修資格の説明（68頁）をよく読み、履修計画を立てること。

◆ 4年次生のための履修案内

- ① 必修科目「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を履修すること。
- ②「卒業論文」を指定の期日までに提出すること。

ヨーロッパ文化学科卒業までの4年間

各項目の詳細（様式、配付、提出日、提出方法等）は3Sで掲示します。また、各ガイダンスにて指示します。

1年次

- 4月 英語クラス分け試験
- 4月 ガイダンス
- 6月 2年次選択外国語希望届提出
- 12月 TOEIC® L&R IP テスト（学内試験）
- 1月 コース選択希望届提出

2年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出
- 12月 TOEIC® L&R IP テスト（学内試験）

3年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出
- 7月 卒業論文準備ゼミナール希望届提出
- 9月 卒業論文準備ゼミナール希望届提出（未決定者）
- 1月 卒業論文・卒業論文ゼミナール1・2登録届
- 1月 卒業論文報告会への参加
- 3月 卒業論文履修資格充足者発表

4年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出（卒業論文指導教授が未定の者および卒業論文指導教授が学科外の教員の場合のみ）
- 6月 卒業論文題目届（6月）提出
- 11月 卒業論文題目届（11月）提出
- 12月 卒業論文提出
- 1月 卒業論文口述試験
- 1月 卒業論文報告会
- 3月 卒業資格充足者発表
- 3月 卒業式

◆ 専攻基礎科目

◇ 必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
EUS12310	ヨーロッパ文化入門講座	2	1	開講	講義	
EUS11311	ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1	2	1	開講	演習	
EUS11322	ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2	2	1	開講	演習	
EUS21311	中級ゼミナール1	2	2	開講	演習	
EUS21322	中級ゼミナール2	2	2	開講	演習	

◇ 選択科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
GES26310	ドイツ語 LL	1	2～4	開講	実習	
GES26320	初級ドイツ語会話1	1	2～4	開講	実習	
GES26330	初級ドイツ語会話2	1	2～4	開講	実習	
GES26340	中級ドイツ語会話1	1	2～4	開講	実習	
GES26350	中級ドイツ語会話2	1	2～4	開講	実習	
GES26360	初級ドイツ語作文1	1	2～4	開講	実習	
GES26370	初級ドイツ語作文2	1	2～4	開講	実習	
GES26380	中級ドイツ語作文1	1	2～4	開講	実習	
GES26390	中級ドイツ語作文2	1	2～4	開講	実習	
GES26400	ドイツ語メディアリテラシー	1	2～4	開講	実習	
GES06310	独検対策講座	1	1～4	開講	実習	
GES26410	ドイツ語論述実習1	1	2～4	開講	実習	留学準備講座 (ドイツ語による授業)
GES26420	ドイツ語論述実習2	1	2～4	開講	実習	留学準備講座 (ドイツ語による授業)
GES26430	上級ドイツ語講読1	1	2～4	開講	実習	*
GES26440	上級ドイツ語講読2	1	2～4	欠講	実習	*
FRS26310	フランス語 LL	1	2～4	開講	実習	
FRS26320	初級フランス語会話1	1	2～4	開講	実習	
FRS26330	初級フランス語会話2	1	2～4	開講	実習	
FRS26340	中級フランス語会話1	1	2～4	開講	実習	
FRS26350	中級フランス語会話2	1	2～4	開講	実習	
FRS26360	初級フランス語作文1	1	2～4	開講	実習	
FRS26370	初級フランス語作文2	1	2～4	開講	実習	
FRS26380	中級フランス語作文1	1	2～4	開講	実習	
FRS26390	中級フランス語作文2	1	2～4	開講	実習	
FRS26400	フランス語メディアリテラシー	1	2～4	開講	実習	
FRS06310	仏検対策講座	1	1～4	開講	実習	
FRS26410	フランス語論述実習1	1	2～4	開講	実習	留学準備講座 (フランス語による授業)
FRS26420	フランス語論述実習2	1	2～4	開講	実習	留学準備講座 (フランス語による授業)
FRS26430	上級フランス語講読1	1	2～4	開講	実習	*
FRS26440	上級フランス語講読2	1	2～4	欠講	実習	*
LNG26090	ジャパノロジー・イングリッシュ1	1	2～4	開講	実習	*
LNG26100	ジャパノロジー・イングリッシュ2	1	2～4	開講	実習	*

◆ 専攻専門科目

◇ 必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
THE41311	卒業論文ゼミナール1	2	4	開講	演習	集中
THE41312	卒業論文ゼミナール2	2	4	開講	演習	集中
THE41310	卒業論文	4	4	開講	演習	集中

◇ 選択科目 ①～④のうちの☆は1年次から履修可能な概説科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
ゼミナール	EUS31310	専門ゼミナール(言語と文化)1	2	3	開講	演習	
	EUS31320	専門ゼミナール(言語と文化)2	2	3	開講	演習	
	EUS31370	専門ゼミナール(文学と文化)1	2	3	開講	演習	
	EUS31390	専門ゼミナール(文学と文化)2	2	3	開講	演習	
	EUS31880	専門ゼミナール(芸術と文化)1	2	3	開講	演習	
	EUS31890	専門ゼミナール(芸術と文化)2	2	3	開講	演習	
	EUS31620	専門ゼミナール(歴史と文化)1	2	3	開講	演習	
	EUS31630	専門ゼミナール(歴史と文化)2	2	3	開講	演習	
	EUS31740	専門ゼミナール(宗教・思想と文化)1	2	3	開講	演習	
	EUS31750	専門ゼミナール(宗教・思想と文化)2	2	3	開講	演習	
	EUS31780	専門ゼミナール(社会と文化)1	2	3	開講	演習	
EUS31790	専門ゼミナール(社会と文化)2	2	3	開講	演習		
THE31310	卒業論文準備ゼミナール	2	3	開講	演習	集中	
① 言語と文学	LNG02310	☆ ドイツ語学 1	2	1～4	開講	講義	*
	LNG02320	☆ ドイツ語学 2	2	1～4	欠講	講義	*
	LIT02310	☆ ドイツ文学史 1	2	1～4	開講	講義	*
	LIT02320	☆ ドイツ文学史 2	2	1～4	開講	講義	*
	LNG02330	☆ フランス語学 1	2	1～4	開講	講義	*
	LNG02340	☆ フランス語学 2	2	1～4	開講	講義	*
	LIT02330	☆ フランス文学史 1	2	1～4	欠講	講義	*
	LIT02340	☆ フランス文学史 2	2	1～4	欠講	講義	*
	LED22311	ドイツ語教育方法論 1	2	2～4	欠講	講義	*
	LED22322	ドイツ語教育方法論 2	2	2～4	欠講	講義	*
	LED22331	ドイツ語教育方法論 3	2	2～4	開講	講義	*
	LED22342	ドイツ語教育方法論 4	2	2～4	開講	講義	*
	LED22351	フランス語教育方法論 1	2	2～4	開講	講義	*
	LED22362	フランス語教育方法論 2	2	2～4	開講	講義	*
	LED22371	フランス語教育方法論 3	2	2～4	欠講	講義	*
	LED22382	フランス語教育方法論 4	2	2～4	欠講	講義	*
	LIT02350	☆ ヨーロッパ古典文学	2	1～4	開講	講義	*
	EUS22310	ヨーロッパの言語と文化 1	2	2～4	欠講	講義	*
	EUS22320	ヨーロッパの言語と文化 2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02360	☆ ヨーロッパの文学 1	2	1～4	欠講	講義	*
	LIT02370	☆ ヨーロッパの文学 2	2	1～4	開講	講義	*
	LIT22380	ヨーロッパ中世のこぼと文学	2	2～4	開講	講義	*
	LNG02350	☆ ラテン語学 1	2	1～4	欠講	講義	*
LNG02360	☆ ラテン語学 2	2	1～4	欠講	講義	*	
LNG02370	☆ ギリシア語学 1	2	1～4	開講	講義	*	
LNG02380	☆ ギリシア語学 2	2	1～4	開講	講義	*	
LIT02390	☆ 比較文学論(日欧)	2	1～4	開講	講義	*	
② 芸術と生活	ART02310	☆ ドイツ語圏の芸術	2	1～4	開講	講義	*
	ART02320	☆ フランスの芸術 1	2	1～4	開講	講義	*
	ART02330	☆ フランスの芸術 2	2	1～4	欠講	講義	*
	ART02340	☆ ヨーロッパの芸術	2	1～4	開講	講義	*
	ART22350	ヨーロッパの映画	2	2～4	開講	講義	*
	ART22360	ヨーロッパの舞台芸術	2	2～4	開講	講義	*
	ART22370	ヨーロッパの音楽文化	2	2～4	開講	講義	*
	EUS22330	ヨーロッパ生活文化論	2	2～4	欠講	講義	*
	EUS22340	ヨーロッパ宮廷文化論	2	2～4	開講	講義	*
	FOL22310	ヨーロッパの民俗文化	2	2～4	開講	講義	*
	ART02380	☆ 比較芸術論 1	2	1～4	開講	講義	*
	ART02390	☆ 比較芸術論 2	2	1～4	開講	講義	*
	ART02400	☆ イメージ文化論	2	1～4	開講	講義	*
	GLS02310	☆ 越境文化論	2	1～4	開講	講義	*
	ART22410	比較建築空間論	2	2～4	欠講	講義	*
	ART22420	音響文化論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02350	☆ テクノロジー文化論	2	1～4	開講	講義	*
	EUS02360	☆ 観光文化論(ヨーロッパ)	2	1～4	欠講	講義	*

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
③ 歴史と思想	HST02310	☆ ドイツ中世史	2	1～4	欠講	講義	*
	HST02320	☆ ドイツ近現代史	2	1～4	開講	講義	*
	PHI02310	☆ ドイツ語圏の思想と文化 1	2	1～4	欠講	講義	*
	PHI02320	☆ ドイツ語圏の思想と文化 2	2	1～4	開講	講義	*
	HST02330	☆ フランス史	2	1～4	開講	講義	*
	HST02340	☆ ヨーロッパ対外交流史	2	1～4	開講	講義	*
	PHI02330	☆ フランス思想史 1	2	1～4	開講	講義	*
	PHI02340	☆ フランス思想史 2	2	1～4	開講	講義	*
	HST02350	☆ ギリシア・ローマ史	2	1～4	開講	講義	*
	HST02360	☆ ヨーロッパ形成史	2	1～4	開講	講義	*
	HST02370	☆ ヨーロッパ交流史	2	1～4	欠講	講義	*
	PHI02350	☆ ヨーロッパの哲学	2	1～4	開講	講義	*
	PHI02360	☆ ヨーロッパ思想史	2	1～4	開講	講義	*
	PHI02370	☆ 比較思想(日欧)	2	1～4	欠講	講義	*
	REL22310	キリスト教文化史	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02370	☆ ヨーロッパの神話と伝説 1	2	1～4	開講	講義	*
	EUS02380	☆ ヨーロッパの神話と伝説 2	2	1～4	開講	講義	*
④ 環境と社会	GES22310	ドイツ語圏の社会と文化 1	2	2～4	開講	講義	留学準備講座 (ドイツ語による授業)
	GES22320	ドイツ語圏の社会と文化 2	2	2～4	開講	講義	留学準備講座 (ドイツ語による授業)
	FRS02310	☆ フランス語圏の文化と社会	2	1～4	開講	講義	*
	FRS22320	フランスの歴史と社会 1	2	2～4	開講	講義	留学準備講座 (フランス語による授業)
	FRS22330	フランスの歴史と社会 2	2	2～4	開講	講義	留学準備講座 (フランス語による授業)
	EUS02390	☆ ヨーロッパ統合論	2	1～4	開講	講義	*
	EUS02400	☆ ヨーロッパ都市論	2	1～4	開講	講義	*
	EUS02410	☆ 現代ヨーロッパ論	2	1～4	開講	講義	*
	ENV02310	☆ ヨーロッパ環境論	2	1～4	開講	講義	*
	ARE02310	☆ 北欧文化論	2	1～4	開講	講義	*
	ARE02320	☆ オーストリア・東欧文化論	2	1～4	開講	講義	*
	ARE02330	☆ イタリア文化論	2	1～4	開講	講義	*
	ARE22340	☆ スイス文化論	2	2～4	開講	講義	*
	GLS02320	☆ 地中海文明論	2	1～4	開講	講義	*
EUS02420	☆ ルネサンス文化論	2	1～4	開講	講義	*	
EUS02430	☆ ユダヤ文化論	2	1～4	開講	講義	*	
⑤ 英語科教職課程対応科目	LNG16010	英会話初級 1	1	1～4	開講	実習	*
	LNG16020	英会話初級 2	1	1～4	開講	実習	*
	LNG26010	英会話中級 1	1	3～4	開講	実習	*
	LNG26020	英会話中級 2	1	3～4	開講	実習	*
	LNG26030	英作文中級 1	1	3～4	開講	実習	*
	LNG26040	英作文中級 2	1	3～4	開講	実習	*
	LNG16030	発音クリニック 1	1	1～4	開講	実習	*
	LNG16040	発音クリニック 2	1	1～4	開講	実習	*
	LNG22050	第二言語習得論 1	2	2～4	開講	講義	*
	LNG22060	第二言語習得論 2	2	2～4	開講	講義	*

※⑤ 英語科教職課程対応科目は英語科教職課程登録(予定)者のみ履修可。

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
⑥ 社会科学教職課程 対応概説科目	TCP12010	日本史概説	2	1～4	開講	講義	
	TCP12020	外国史概説	2	1～4	開講	講義	
	TCP12030	法律学概説(国際法を含む)	2	1～4	開講	講義	
	TCP12040	政治学概説(国際政治を含む)	2	1～4	開講	講義	*
	TCP12050	経済学概説(国際経済を含む)	2	1～4	開講	講義	*
	TCP12060	社会学概説	2	1～4	開講	講義	
	TCP12070	地誌概説	2	1～4	開講	講義	
	TCP12080	人文地理学概説	2	1～4	開講	講義	
	TCP12090	自然地理学概説	2	1～4	開講	講義	
	TCP12100	倫理学概説	2	1～4	開講	講義	
	TCP12110	宗教学概説	2	1～4	開講	講義	
	TCP12120	哲学概説	2	1～4	開講	講義	
	TCP12130	心理学概説	2	1～4	開講	講義	

◆備考欄に「ドイツ語による授業」「フランス語による授業」とある授業は、ドイツやフランスに長期留学したい人、また高度なドイツ語、フランス語の運用能力をつけたい人のための授業です(前出の「5 ヨーロッパ文化学科 外国語科目」のなかの3. 外国語学習の手引きも参照のこと)。留学・国際交流関連科目の留学準備講座として、他学部・他学科の学生にも開講されています。「11 留学・国際交流関連科目」の説明も参照してください。

7 ヨーロッパ文化学科 卒業論文履修資格

「卒業論文」、「卒業論文ゼミナール1」および「卒業論文ゼミナール2」は、以下の条件を満たさない場合は、履修することができません。

- ① 大学に3年以上在学していること。
- ② 1年次必修外国語（英語Ⅰ）および選択外国語Ⅰ（1）の計12単位すべてと、2年次選択外国語Ⅰ（1）および選択外国語Ⅰ（2）の計8単位のうちの6単位を修得していること。
- ③ 専攻基礎必修科目「ヨーロッパ文化入門講座」「ヨーロッパ文化基礎ゼミナール1」「ヨーロッパ文化基礎ゼミナール2」の計6単位を修得していること。

【注意】

4年間で卒業するためには、留学時の修得単位を武蔵大学の単位に読み替えたものも含め、3年次終了までに76単位以上修得している必要があります。

卒業論文および卒業論文準備ゼミナール、卒業論文ゼミナール履修に関する注意

1. 卒業論文指導および「卒業論文準備ゼミナール」「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」の履修について

卒業論文は、4年間の学修の総仕上げとして、学生自らの関心に基づいてテーマを設定し、研究・調査をおこない、執筆するものです。

卒業論文の指導は「卒業論文準備ゼミナール」および「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」でおこないます。これらの授業はヨーロッパ文化学科の専任教員が担当します。3年次生が後期に履修するのが「卒業論文準備ゼミナール」です。その時点で卒業論文指導を希望する教員が担当する同ゼミナールを履修してください。4年次(卒業年次)には、卒業論文指導を受ける教員が担当する「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を履修しなければなりません。学生は、同ゼミナール担当教員の指示、指導に従って卒業論文を執筆します。

卒業論文の執筆と「卒業論文」と冠された上記3つのゼミナールは一体になっています。卒業論文の執筆にあたっては、この点に十分留意してください。

なお、基礎教育センター・教職課程に属する専任教員を卒業論文指導教授とする場合の要件については162、163頁を参照してください。

協定留学または認定留学により4年次前期に不在となる場合は、特例として、4年次後期に「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を同時履修することを認めます（4年次に1年間不在となる場合は、翌年度前期の同時履修を認めます）。希望する場合は、留学前に指導教授に相談の上、了承を得てください。また、帰国後は速やかに教務課にて手続きを行ってください。

2. 卒業論文の提出

卒業論文は、必ず3部（原本1部、副本1部、本人保管用1部）作成し、そのうち2部（原本と副本）を決められた期日の時間までに定められた提出場所に提出します。提出期限は公平性の確保のため厳格に定められており、原則としてそれ以降は受理できないので厳守してください。

【注意】

- ◇ 本人保管用は本人が所持し、卒業論文口述試験の際に持参してください。
- ◇ カラーの図版を使う場合は、正本だけでなく副本もカラーにしてください。
- ◇ 診断書や証明書等を提出しうる学校感染症等の急病、不慮の事故、不測の事態などによって締め切り日時までの本人による提出が困難な場合、または提出できなかった場合には、速やかに教務課に申し出て、指示を受けてください。考慮すべき特別の理由があると学部が認めた場合、代理人による提出や締め切り日後の提出を認めることがあります。

3. 卒業論文作成要領

細かい執筆要領（和文・欧文引用等）については「卒論準備ゼミナール」で配布される「卒業論文の書き方」（ドイツ語履修者用・フランス語履修者用）を参考にし、かつ同ゼミナール担当教員の指導に従うこと。

卒業論文の体裁は次の通りです。

卒業論文の体裁

- (1) 用紙：原則としてA4 版用紙（感熱紙不可）を使用してください。
- (2) 構成：卒業論文は、①和文要約、②目次、③本文、[④資料・図版]、⑤参考文献の順に綴じます。本文は（Ⅰ）序論、（Ⅱ）本論、（Ⅲ）結論から構成されます。（Ⅱ）本論は章、節に分けてください。
- (3) 本文：原則として20,000字以上（400字詰め原稿用紙50枚相当以上）。A4版用紙を使用する場合、1枚あたり40字×20～30行とします。上下左右に余白を3センチ程度とり、ページ番号をふる。本文の文字サイズは10.5～12ポイントを基本とします（注は本文のポイントより下げる）。本文を欧文（独文、仏文、または英文）で書く場合、A4版用紙に半角80字×25行で、20～30枚を目安としてください。
- (4) 和文要約：本文のレイアウトに準じ1,200～1,600字程度（本文が欧文の場合は2,000～4,000字程度）にまとめます。要約は本文の序論ではないので、意図や構成の紹介に始終するのではなく、結論までを含めた論文全体の概要を示すように注意してください。
- (5) 装丁：表紙に論文題目、提出年度、学籍番号、氏名（フリガナを付すこと）、論文指導教授（主査）名を明記し、本文とともに透明ファイルに綴じ込みます。ファイルは原則として生協扱いのものをを用いること（A4版、透明ビニール製・表裏紙付き、縦長・横綴じ形式。挿入して糊付け、またはホチキス止め。最大50枚程度。これを超える場合は分冊にしてください。）

【注意】卒業論文における引用の扱いについて

卒業論文の執筆にあたっては、「本文」と「引用」を明確に区別してください。内容・量の観点から「主」となるのが「本文」で、「引用」は「従」の役割を果たします。意図的に出典を明確にせず、印刷物やインターネット上にある文章を写して自分で書いた「本文」とすることは、「剽窃」にあたります。

4. 卒業論文口述試験

面接形式で個別におこなわれる試験で、卒業論文を提出した者は必ず受験しなければなりません。この試験を受験しなかった場合、卒業論文は自動的に不合格となります。試験日時は後期提出の場合は1月中旬～下旬、前期提出の場合は7月中です。詳細は、卒業論文提出日以降に決まり、3Sで掲示されます。

5. 卒業論文報告会と『卒業論文成果報告書』

優秀ないしユニークな卒業論文は、卒業論文報告会での発表および当該年度の『卒業論文成果報告書』への抄録掲載の対象となります。『卒業論文成果報告書』は人文学部総合研究室GSルームで閲覧に供されるとともに、オープンキャンパスなどにおいて人文学部の教育の成果として配布されます。また、なかでもとりわけ優秀な卒業論文は、装丁され人文学部総合研究室GSルームで閲覧に供されます。

8 グローバル・スタディーズコース（ドイツ語／フランス語）

ヨーロッパ文化学科には、ドイツ語／フランス語の力を十分に伸ばし、留学の実現や国際語学検定試験合格を目指す人のために、グローバル・スタディーズコース（GSC）という特別コースが用意されています。ヨーロッパ文化学科のカリキュラムのもとで学びながら、ドイツ語／フランス語の学習にとくに力を注ぎたい人を対象とした特訓プログラムです。

【特徴】

① GSC 基幹科目の履修を軸に学修を進め、コース修了時まで、留学に必要な外国語能力の目安となる国際語学検定試験CEFR B1レベルに到達するよう構成されています。

GSC（ドイツ語／フランス語）所属学生対象の基幹科目は以下の通りです。

ドイツ語：「GSC 初級ドイツ語 1」「GSC 初級ドイツ語 2」「GSC 中級ドイツ語 1」「GSC 中級ドイツ語 2」

フランス語：「GSC 初級フランス語 1」「GSC 初級フランス語 2」「GSC 中級フランス語 1」「GSC 中級フランス語 2」

（初級はCEFR A2レベル到達を、中級はCEFR B1レベル到達をそれぞれ目標としています）

【CEFR（セファール）とは？】

欧州評議会（European Council）が制定した語学レベルの指標である「ヨーロッパ言語共通参照枠（Common European Framework of Reference for Languages）」の略称です。CEFRに準拠した試験では、聴解・読解・文書作成・口頭表現の四技能にわたる言語能力が問われます。いずれも国際的に通用する語学検定試験で、グローバル社会で活躍するために役立ちます。

欧州言語共通参照枠等級	言語使用者の分類	段階	学習時間の目安
A1	基礎段階の言語使用者	入門	60-100 時間
A2		初級	150-200 時間
B1	自立した言語使用者	中級	350-400 時間
B2		上級	550-650 時間
C1	熟達した言語使用者	自主的運用	800-950 時間
C2		熟練	1000 時間以上

② GSC 基幹科目は科目ごとに履修のための推奨条件が定められています。コース所属のために必要な語学レベルの目安として参照してください。

③ コース所属期間は半期単位です。

④ コース指導料が必要です（学期あたり2万円）。ただし在籍料ではないため、留学中はコースに所属していても徴収されません。

⑤ 一学年あたりの所属学生数の上限は各コース10名程度です。

⑥ GSC 基幹科目のほか、指定された「GSC（ドイツ語／フランス語）関連学科科目」も合わせて受講する必要があります。

⑦ 個別指導形式の授業外の学習サポート（コーチング）を提供します（授業の補習・相談、学修のペースメイキング、検定試験受験準備・相談、短期留学や長期留学についての個別相談、ドイツ語またはフランス語での卒業論文執筆の

サポートなど)。

⑧ 短期語学研修(外国語現地実習(ドイツ語/フランス語))の参加を推奨します。下記の要件を満たしている GSC(ドイツ語) および GSC(フランス語) の所属学生が現地実習に参加する際には、実習費用の特別補助(奨学金)を受けることができます。特別補助受給は所属期間をうけて、学年・学期を問わず1回までとします。なお、受給した場合、現地実習レポートの提出とコース修了までの定期的な検定試験受験結果の報告が求められます。

【特別補助受給の要件】

検定試験で CEFR A2(または A2 相当)に合格していることを証明する書類の写し、もしくは、奨学生選考委員が A2 相当の力があることを認め、作成した推薦書(様式あり)を、所定の日までに学生生活課に提出していること。なお、入学前の既習者のうち学習歴の長い者については、選考委員の面談を経て、B1 ないしは独検・仏検 2 級レベルに達していることを求めることがある(提出すべき書類は A2 の場合と同じ)。

⑨ コース修了要件を満たし、かつ、定められた条件すべてを満たした場合は、所定の手続きに基づく選考を経て、成績優秀者として卒業時に褒賞が与えられます。

【注意】

- * 所属希望者は担当教員になるべく早く相談に行くことを勧めます。ガイダンスにも参加してください。
- * コース所属について：1 年次生でグローバル・スタディーズコース(ドイツ語/フランス語)への所属が認められた者は、所属コースが「グローバル・スタディーズコース(ドイツ語)」または「グローバル・スタディーズコース(フランス語)」となります。2 年次生以上については、「言語と文化コース」、「芸術と生活コース」、「歴史と思想コース」、「社会と環境コース」のいずれかに属しながら、同時に本コースにも所属する、二重所属のかたちをとります。
- * 学期ごとにコース登録が必要です。毎年度学期ごとにコース所属希望届を提出し、コース登録をおこないます。
- * コースへの所属は、本人の希望と次ページの「履修のための推奨条件」に基づいて決定します。また、毎学期許可を受ける必要があります。ドイツ語/フランス語の技能が履修のための推奨条件に大きく及ばない場合は、コース所属が認められない場合があります。
- * 入学時のドイツ語/フランス語学習歴により、推奨される履修科目や学期ごとの到達目標が異なります。履修すべき科目は、学科が判断します。
- * 所属したにもかかわらず単位を修得できなかった場合には、コース所属の中断を求められることがあります。なお、いったんコース所属をやめた場合にも、のちに推奨条件を満たすことで、コース所属を再開できます。
- * GSC(ドイツ語/フランス語)では、ドイツ/フランスへの協定留学出発時期が異なるため、進度や推奨される履修条件など、内容が異なる部分があります。
- * 協定留学への申請に際して、本コースへの所属が義務づけられているわけではありません。事情により協定留学を希望しない学生にも本コースの門戸は開かれています。
- * 本コースとは別に、ドイツ語技能検定試験(独検)、実用フランス語技能検定試験(仏検)の 2 級合格を目指す人を対象とした「GSC(ドイツ語)アソシエイトプログラム」、「GSC(フランス語)アソシエイトプログラム」が提供されています(78～80 頁)。

1. グローバル・スタディーズコース(ドイツ語)

(1) コースの概要

① 目標：コース修了時まで、ヨーロッパ言語共通参照枠 CEFR に準拠した国際的なドイツ語検定試験(ゲーテ・インスティトゥートやオーストリア政府などが運営する各種のドイツ語検定試験)の B1 合格を目指します。ドイツの大学に正規留学する場合、B2～C1 レベルのドイツ語力が要求されます。

② 学習歴に基づく 4 つの履修パターン：学習歴によって、履修条件や進度の異なる 4 つの履修パターンが用意されています。

パターン名	学習歴	履修開始時期モデル
A	入学時ドイツ語未習者	1年次後期から
B	入学時独検3級相当	1年次後期から
C	入学時独検2級相当	1年次前期から
D	本学入学後1年以上の学習歴あり	2年次後期から

【注意】

* B・Cの場合に必要な学習歴の確認は、検定試験の証明書および面談によりおこないます。手続きについては4月のGSCガイダンスで案内します。

* Dの対象となるのは、2年次に進んでからはじめてGSC所属を希望するようになった場合や、1年次から履修を開始したもののいったんコースを離れた人が再所属する場合などです。

(2) コースの修了要件

以下の要件を満たすと、卒業時にコース修了証が授与されます。

[1] 卒業要件を満たし、かつ卒業の資格を得た学期にコースに所属していること。

[2] GSC（ドイツ語）基幹科目のうち「GSC初級ドイツ語1」「GSC初級ドイツ語2」「GSC中級ドイツ語1」「GSC中級ドイツ語2」（各1単位）から2単位以上を修得すること。ただし、「GSC中級ドイツ語1」「GSC中級ドイツ語2」のどちらかは必ず含めるものとする。

[3] GSC（ドイツ語）関連学科科目から11単位以上を修得すること。

[4] 4年次に「卒業論文ゼミナール1」（2単位）「卒業論文ゼミナール2」（2単位）において、以下の1・2いずれかの条件を満たした卒業論文を執筆し、「卒業論文」（4単位）と合わせ8単位を修得すること。

1. ドイツ語で卒業論文を執筆する。

2. 日本語で卒業論文を執筆し、ドイツ語文献を研究対象または参考図書とし、ドイツ語の概要（レジュメ）を付す。

[5] 3月卒業の場合は1月末までに、9月卒業の場合は7月末までに、CEFRに準拠した国際的なドイツ語検定試験B1以上またはドイツ語技能検定試験（独検）準1級以上を取得したことを示す試験実施機関発行の証明書を教務課に提出すること。ただし、やむを得ない場合は合格の仮証明でも可とする場合がある（教務課に相談すること）。

【注意】

* GSC（ドイツ語）基幹科目の単位は共通専門科目の単位として卒業に必要な単位に算入できます。

* GSC（ドイツ語）基幹科目は重複履修が可能です。GSC（ドイツ語）基幹科目とGSC（フランス語）基幹科目をあわせて6単位を上限に、卒業およびコース修了に必要な単位として算入できます。

* GSC所属学生は、4年次の卒業論文執筆に際し、コーチングを受けることができます。

【GSC（ドイツ語）基幹科目】原則としてGSC（ドイツ語）の所属学生だけが履修できる科目です。これらの科目の履修が学修の軸となります。

科目名	単位数	科目区分	目標レベル（CEFR準拠）	履修のための推奨条件
GSC初級ドイツ語1	1単位	共通専門科目	A1～A2 参考：独検3～2級	独検3級相当または総GPA2.6以上
GSC初級ドイツ語2	1単位	共通専門科目	A2 参考：独検2級	独検3級相当または総GPA2.6以上
GSC中級ドイツ語1	1単位	共通専門科目	B1 参考：独検2級	A2・独検2級相当または総GPA2.6以上
GSC中級ドイツ語2	1単位	共通専門科目	B1～B2 参考：独検2～準1級	A2・独検2級相当または総GPA2.6以上

【GSC（ドイツ語）関連学科科目】GSC（ドイツ語）基幹科目と並行して履修します。学修の進度に合わせ、単位修得を進めていってください。

科目名	単位数	CEFR 対応レベル	科目区分
中級ドイツ語作文 1	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目
中級ドイツ語作文 2	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目
中級ドイツ語会話 1	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目
中級ドイツ語会話 2	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目
上級ドイツ語講読 1	1 単位	A2～B2 初歩	専攻基礎科目
上級ドイツ語講読 2	1 単位	A2～B2 初歩	専攻基礎科目
ドイツ語論述実習 1	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目（ドイツ語による授業）
ドイツ語論述実習 2	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目（ドイツ語による授業）
ドイツ語圏の社会と文化 1	2 単位	A2 初歩～B1	専攻専門科目（ドイツ語による授業）
ドイツ語圏の社会と文化 2	2 単位	A2 初歩～B1	専攻専門科目（ドイツ語による授業）

【注意】

留学は修了要件に含まれていませんが、本コースは半年または1年の長期留学希望者を想定したプログラムです。その準備として、適切な時期に、「外国語現地実習（ドイツ語）」（短期語学研修の意味。春季休暇期間中または夏季休暇期間中に実施）を履修することを推奨します。また、学修進度に合わせドイツ語技能検定試験（独検）、ゲーテ・ドイツ語検定試験などの検定試験の受験を勧めます。武蔵大学外国語学習褒賞・勸奨制度の利用ができます。

(3) 学習歴別履修モデル

学習歴に合わせて例として設定された履修モデルです。自分の学習歴と履修のための推奨条件を確認し、コース所属開始時期と具体的な履修科目を決めてください。履修の目安となる推奨条件は GPA や各種語学検定試験の成績などによって定められています（ヨーロッパ言語共通参照枠 CEFR と独検の対応関係は、本学科の目安で定めており、一般的に利用される対応表とは異なります）

【A】入学時ドイツ語未習者：原則として、1年次後期から学修を開始します。

GSC 基幹科目の履修時期

年次・学期	履修科目	年次・学期	履修科目
1年次後期	GSC 初級ドイツ語 1	3年次前期	留学 / GSC 中級ドイツ語 2
2年次前期	GSC 初級ドイツ語 2	3年次後期	留学 / GSC 中級ドイツ語 1
2年次後期	GSC 中級ドイツ語 1	4年次前期	GSC 中級ドイツ語 2
		4年次後期	GSC 中級ドイツ語 1

【注意】

- * 短期語学研修は、1年次と2年次のあいだの春季休暇期間、2年次夏季休暇期間、または2年次と3年次のあいだの春季休暇期間におこなうことを推奨します。
- * 長期留学は、3年次におこなうことを目指します。3年次前期から留学をした場合には4年間での卒業が可能です。留学しない場合は、3年次前期に「GSC 中級ドイツ語 2」を履修します。
- * 履修のための推奨条件相当のドイツ語力があれば、2年次前期、2年次後期、3年次前期からの参加も認められます。
- * GSC（ドイツ語）基幹科目と並行して、GSC（ドイツ語）関連学科科目を履修します。各科目の設定レベルと自分の学修進度を考慮しつつ履修する科目を決定してください。履修登録は4月と9月の定められた時期におこないます。

【B】入学時ドイツ語既習者（入学時独検3級相当）：原則として、1年次後期から学修を開始します。

GSC 基幹科目の履修時期

年次・学期	履修科目	年次・学期	履修科目
1年次後期	GSC 初級ドイツ語 1	3年次前期	留学 / GSC 中級ドイツ語 2
2年次前期	GSC 初級ドイツ語 2	3年次後期	留学 / GSC 中級ドイツ語 1
2年次後期	GSC 中級ドイツ語 1	4年次前期	GSC 中級ドイツ語 2
		4年次後期	GSC 中級ドイツ語 1

【注意】

- * 短期語学研修は、1年次と2年次のあいだの春季休暇期間、2年次夏季休暇期間、または2年次と3年次のあいだの春季休暇期間におこなうことを推奨します。
- * 長期留学は、3年次におこなうことを目指します。3年次前期から留学をした場合には4年間での卒業が可能です。留学しない場合は、3年次前期に「GSC 中級ドイツ語 2」を履修します。

* 入学時にすでに高いドイツ語力がある場合には、1年次前期からのGSC所属も可能です。同様に、履修のための推奨条件相当のドイツ語力があれば、2年次前期、2年次後期、3年次前期からの参加も認められます。

* GSC（ドイツ語）基幹科目と並行して、GSC（ドイツ語）関連学科科目を履修します。各科目の設定レベルと自分の学修進度を考慮しつつ履修する科目を決定してください。履修登録は4月と9月の定められた時期におこないます。

【C】入学時ドイツ語既習者（入学時独検2級相当）：原則として、1年次前期から学修を開始します。

GSC 基幹科目の履修時期

年次・学期	履修科目	年次・学期	履修科目
1年次前期	GSC 中級ドイツ語 2	3年次前期	留学 / GSC 中級ドイツ語 2
1年次後期	GSC 中級ドイツ語 1	3年次後期	留学 / GSC 中級ドイツ語 1
2年次前期	留学 / GSC 中級ドイツ語 2	4年次前期	GSC 中級ドイツ語 2
2年次後期	留学 / GSC 中級ドイツ語 1	4年次後期	GSC 中級ドイツ語 1

【注意】

* 短期語学研修は、1年次夏季休暇期間か、1年次と2年次のあいだの春季休暇期間におこなうことを推奨します。

* 長期留学は、2年次または3年次におこなうことを目指します。

* 履修のための推奨条件相当のドイツ語力があれば、1年次後期からの参加も認められます。

* GSC（ドイツ語）基幹科目と並行して、GSC（ドイツ語）関連学科科目を履修します。各科目の設定レベルと自分の学修進度を考慮しつつ履修する科目を決定してください。履修登録は4月と9月の定められた時期におこないます。

* 必修ドイツ語単位の読み替えとしてGSC（ドイツ語）関連学科科目の一部を用いる場合、修得した単位はGSCコース修了要件の単位に含めることができます。

【D】入学時ドイツ語未習で、本学入学後1年以上ドイツ語を学んだ後にGSC所属を希望する者：原則として、2年次後期から学修を開始します。

GSC 基幹科目の履修時期

年次・学期	履修科目	年次・学期	履修科目
2年次後期	GSC 初級ドイツ語 1	4年次前期	留学
3年次前期	GSC 初級ドイツ語 2	4年次後期	留学
3年次後期	GSC 中級ドイツ語 1	5年目前期	GSC 中級ドイツ語 2

【注意】

* 短期語学研修は、2年次と3年次のあいだの春季休暇期間か、3年次夏季休暇期間におこなうことを推奨します。

* 長期留学は、4年次におこなうことを目指します。4年次前期から留学をした場合、半期留学では最短で4年次の3月に、一年留学では5年目の9月に卒業できます。留学しない場合、4年次に「GSC 中級ドイツ語 2」・「GSC 中級ドイツ語 1」を履修します。

* 履修のための推奨条件相当のドイツ語力があれば、3年次前期以降からの参加も認められます。また入学時に未習であっても、その後の学修成果により、高いレベルに到達している場合には、前出の表以外のパターンによる履修も可能です。GSC ガイダンスで紹介されるGSC担当の教員に相談のうえ、履修科目を決めてください。

* GSC（ドイツ語）基幹科目と並行して、GSC（ドイツ語）関連学科科目を履修します。各科目の設定レベルと自分の学修進度を考慮しつつ履修する科目を決定してください。履修登録は4月と9月の定められた時期におこないます。

(4) ドイツ語力の判定

GSC（ドイツ語）においては、ドイツ語力の確認・学修成果の測定のために、ドイツ語学文学振興会が運営する「ドイツ語技能検定試験（独検）」及びゲーテ・インスティトゥートやオーストリア政府などが運営する各種のドイツ語検定試験の成績を用います。

【注意】

* 各種語学検定試験の受験時期はコース所属の期間や学修進度を考慮しながら、教員と相談をして決めます。出願は履修者が個人で申し込むものとします。出願期間が過ぎると申し込みができなくなるので、必ず最新の公式情報を入力して手続きをとってください。

2 グローバル・スタディーズコース（フランス語）

(1) コースの概要

① 目標：コース修了時まで、ヨーロッパ言語共通参照枠 CEFR に準拠した国際的なフランス語検定試験（フランス国民教育省認定試験は DELF（A1, A2, B1, B2）と DALF（C1, C2）の二種類）の B1 合格を目指します。B1 は留学生がフランスの学部に登録するために必要な最低語学力の目安とされています。

② 学習歴に基づく 4 つの履修パターン：学習歴によって、履修条件や進度の異なる 4 つの履修パターンが用意されています。

パターン名	学習歴	履修開始時期モデル
A	入学時フランス語未習者	1 年次後期から
B	入学時仏検 3 級相当	1 年次後期から
C	入学時仏検準 2 級相当	1 年次前期から
D	本学入学後 1 年以上の学習歴あり	2 年次後期から

【注意】

* B・C に属する際に必要な学習歴の確認は、検定試験の証明書または面接によりおこないます。手続きについては 4 月の GSC ガイダンスで案内をします。

* D の対象となるのは、2 年次に進んでからはじめて GSC 所属を希望するようになった場合や、1 年次から履修を開始したもののいったんコースを離れた人が再所属する場合などです。

(2) コースの修了要件

以下の要件を満たすと、卒業時にコース修了証が授与されます。

[1] 卒業要件を満たし、かつ卒業の資格を得た学期にコースに所属していること。

[2] GSC（フランス語）基幹科目のうち「GSC 中級フランス語 1」（1 単位）および「GSC 中級フランス語 2」（1 単位）、計 2 単位を修得すること。

[3] GSC（フランス語）関連学科科目から 11 単位以上を修得すること。

[4] 4 年次に「卒業論文ゼミナール 1」（2 単位）「卒業論文ゼミナール 2」（2 単位）において、以下の 1・2 いずれかの条件を満たした卒業論文を執筆し、「卒業論文」（4 単位）と合わせ 8 単位を修得すること。

1. フランス語で卒業論文を執筆する。

2. 日本語で卒業論文を執筆し、フランス語文献を研究対象または参考図書とし、フランス語の概要（レジュメ）を付す。

[5] 3 月卒業の場合は 1 月末までに、9 月卒業の場合は 7 月末までに、CEFR に準拠した国際的なフランス語検定試験 B1 以上または実用フランス語技能検定試験（仏検）準 1 級以上を取得したことを示す試験実施機関発行の証明書を教務課に提出すること。ただし、やむを得ない場合は合格の仮証明でも可とする場合がある（教務課に相談すること）。

【注意】

* GSC（フランス語）基幹科目の単位は共通専門科目の単位として卒業に必要な単位に算入できます。

* GSC（フランス語）基幹科目は重複履修が可能です。GSC（ドイツ語）基幹科目と GSC（フランス語）基幹科目をあわせて 6 単位を上限に、卒業およびコース修了に必要な単位として算入できます。

* GSC 所属学生は、4 年次の卒業論文執筆に際し、コーチングを受けることができます。

【GSC（フランス語）基幹科目】原則として GSC（フランス語）の所属学生だけが履修できる科目です。これらの科目の履修が学修の軸となります。

科目名	単位数	科目区分	目標レベル（CEFR 準拠）	履修のための推奨条件
GSC 初級フランス語 1	1 単位	共通専門科目	A1～A2 参考：仏検 3～準 2 級	仏検 3 級相当または総 GPA2.6 以上
GSC 初級フランス語 2	1 単位	共通専門科目	A2 参考：仏検準 2～2 級	仏検 3 級相当または総 GPA2.6 以上
GSC 中級フランス語 1	1 単位	共通専門科目	B1 または B2 参考：仏検 2 級	B1 目標クラス：A2 相当。仏検準 2 級相当または総 GPA2.6 以上 B2 目標クラス：B1・仏検 2 級相当以上。 協定留学帰国生中心
GSC 中級フランス語 2	1 単位	共通専門科目	B1 または B2 参考：仏検 2～準 1 級	B1 目標クラス：A2 相当かつ仏検準 2～2 級相当。協定留学候補者も可 B2 目標クラス：B1・仏検 2 級相当以上。 協定留学帰国生中心

【GSC（フランス語）関連学科科目】GSC（フランス語）基幹科目と並行して履修します。学修の進度に合わせ、単位修得を進めていってください。

科目名	単位数	CEFR 対応レベル	科目区分
中級フランス語作文 1	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目
中級フランス語作文 2	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目
中級フランス語会話 1	1 単位	A2～B2 初歩	専攻基礎科目
中級フランス語会話 2	1 単位	A2～B2 初歩	専攻基礎科目
上級フランス語講読 1	1 単位	A2～B2 初歩	専攻基礎科目
上級フランス語講読 2	1 単位	A2～B2 初歩	専攻基礎科目
フランス語論述実習 1	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目（フランス語による授業）
フランス語論述実習 2	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目（フランス語による授業）
フランスの歴史と社会 1	2 単位	A2 初歩～B1	専攻専門科目（フランス語による授業）
フランスの歴史と社会 2	2 単位	A2 初歩～B1	専攻専門科目（フランス語による授業）

【注意】

留学は修了要件に含まれていませんが、本コースは半年または1年の長期留学希望者を想定したプログラムです。その準備として、適切な時期に、「外国語現地実習（フランス語）」（短期語学研修の意味。春季休暇期間中または夏季休暇期間中に実施）を履修することを推奨します。また、学修進度に合わせ仏検、DELFL、TCF といった検定試験の受験を勧めます。武蔵大学外国語学習褒賞・勸奨制度の利用ができます。

(3) 学習歴別履修モデル

学習歴に合わせて設定された履修モデルです。自分の学習歴と履修のための推奨条件を確認し、コース所属開始時期と具体的な履修科目を決めてください。履修の目安となる推奨条件は GPA や各種語学検定試験の成績などによって定められています（ヨーロッパ言語共通参照枠 CEFR と仏検の対応関係は、本学科の目安で定めており、一般的に利用される対応表とは異なります）。

【A】入学時フランス語未習者：原則として、1 年次後期から学修を開始します。

年次・学期	履修科目	年次・学期	履修科目
1 年次後期	GSC 初級フランス語 1	3 年次前期	GSC 中級フランス語 2
2 年次前期	GSC 初級フランス語 2	3 年次後期	留学
2 年次後期	GSC 中級フランス語 1	4 年次前期	留学
		4 年次後期	GSC 中級フランス語 1

【注意】

- * 短期語学研修は、1 年次と 2 年次のあいだの春季休暇期間、2 年次夏季休暇期間、または 2 年次と 3 年次のあいだの春季休暇期間におこなうことを推奨します。
- * 長期留学は、3 年次におこなうことを目指します（最短で 3 年次後期から可能）。3 年次後期から留学をした場合には 4 年間での卒業が可能です。
- * 履修のための推奨条件相当のフランス語力があれば、2 年次前期、2 年次後期、3 年次前期からの参加も認められます。
- * GSC（フランス語）基幹科目と並行して、GSC（フランス語）関連学科科目を履修します。各科目の設定レベルと自分の学修進度を考慮しつつ履修する科目を決定してください。履修登録は 4 月と 9 月の定められた時期におこないます。

【B】入学時フランス語既習者（入学時仏検 3 級相当）：原則として、1 年次後期から学修を開始します。

GSC 基幹科目の履修時期

年次・学期	履修科目	年次・学期	履修科目
1 年次後期	GSC 初級フランス語 1	3 年次前期	GSC 中級フランス語 2
2 年次前期	GSC 初級フランス語 2	3 年次後期	留学
2 年次後期	GSC 中級フランス語 1	4 年次前期	留学
		4 年次後期	GSC 中級フランス語 1

【注意】

- * 短期語学研修は、1 年次と 2 年次のあいだの春季休暇期間、2 年次夏季休暇期間、または 2 年次と 3 年次のあいだの春季休暇期間におこなうことを推奨します。
- * 長期留学は、3 年次におこなうことを目指します（最短で 3 年次後期から可能）。3 年次後期から留学をした場合

には4年間での卒業が可能です。

* 入学時にすでに高いフランス語力がある場合には、1年次前期からのGSC所属も可能です。同様に、履修のための推奨条件相当のフランス語力があれば、2年次前期、2年次後期、3年次前期からの参加も認められます。

* GSC（フランス語）基幹科目と並行して、GSC（フランス語）関連学科科目を履修します。各科目の設定レベルと自分の学修進度を考慮しつつ履修する科目を決定してください。履修登録は4月と9月の定められた時期におこないます。

【C】入学時フランス語既習者（入学時仏検準2級相当）：原則として、1年次前期から学修を開始します。

GSC 基幹科目の履修時期

年次・学期	履修科目
1年次前期	GSC 初級フランス語 2 (準2級かつA2相当の場合、「GSC 中級フランス語 2」選択可)
1年次後期	GSC 中級フランス語 1
2年次前期	GSC 中級フランス語 2 (1年次前期で既に履修した場合は、重複履修可)
2年次後期	留学
3年次前期	留学
3年次後期	GSC 中級フランス語 1
4年次前期	GSC 中級フランス語 2
4年次後期	GSC 中級フランス語 1

【注意】

- * 短期語学研修は、1年次夏季休暇期間か、1年次と2年次のあいだの春季休暇期間におこなうことを推奨します。
- * 長期留学は、2年次または3年次におこなうことを目指します（最短で2年次後期から可能）。
- * 履修のための推奨条件相当のフランス語力があれば、1年次後期または2年次前期からの参加も認められます。
- * GSC（フランス語）基幹科目と並行して、GSC（フランス語）関連学科科目を履修します。各科目の設定レベルと自分の学修進度を考慮しつつ履修する科目を決定してください。履修登録は4月と9月の定められた時期におこないます。
- * 必修フランス語単位の読み替えとしてGSC（フランス語）関連学科科目の一部を用いる場合、修得した単位はGSCコース修了要件の単位に含めることができます。

【D】入学時フランス語未習で、本学入学後1年以上フランス語を学んだ後にGSC所属を希望する者：原則として、2年次後期から学修を開始します。

GSC 基幹科目の履修時期

年次・学期	履修科目	年次・学期	履修科目
2年次後期	GSC 初級フランス語 1	4年次前期	GSC 中級フランス語 2
3年次前期	GSC 初級フランス語 2	4年次後期	留学
3年次後期	GSC 中級フランス語 1	5年目前期	留学
		5年目後期	GSC 中級フランス語 1

【注意】

- * 短期語学研修は、2年次と3年次のあいだの春季休暇期間、3年次夏季休暇期間、または3年次と4年次のあいだの春季休暇期間におこなうことを推奨します。
- * 長期留学は4年次におこなうことを目指します。4年次後期から留学をした場合、半年留学では最短で5年目の9月に、一年留学では5年目3月に卒業できます。留学しない場合は、4年次に「GSC 中級フランス語 2」・「GSC 中級フランス語 1」を履修します。
- * 履修のための推奨条件相当のフランス語力があれば、3年次前期以降からの参加も認められます。また入学時に未習であっても、その後の学修成果により、高いレベルに到達している場合には、前出の表以外のパターンによる履修も可能です。GSC ガイダンスで紹介されるGSC担当の教員に相談のうえ、履修科目を決めてください。
- * GSC（フランス語）基幹科目と並行して、GSC（フランス語）関連学科科目を履修します。各科目の設定レベルと自分の学修進度を考慮しつつ履修する科目を決定してください。履修登録は4月と9月の定められた時期におこないます。

(4) フランス語力の判定

GSC（フランス語）においては、フランス語力の確認・学修成果の測定のために、実用フランス語技能検定試験（仏

検)及びフランス国民教育省認定試験 DELF や TCF の成績を用います。

【注意】

- * 各種語学検定試験の受験時期はコース所属の期間や学修進度を考慮しながら、教員と相談をして決めます。
- * 仏検は団体出願の制度がありますので、利用してください(受験料割引)。
- * 以下は、DELF と仏検の出願・試験時期の目安です。

試験	出願	試験	結果通知(目安)
DELF 春季	3月～4月初め	筆記試験+口頭表現試験:5月半ば～6月上旬	試験後約2ヶ月
DELF 秋季	7月半ば～9月前半	同上:10月半ば～11月上旬	同上
仏検春季(1級以外)	5月半ば(学内受付)	一次:6月後半、二次(準2級以上):7月半ば	一次:7月中旬、二次:8月前半
仏検秋季(準1級以外)	10月初旬(学内受付)	一次:11月後半、二次(準2級以上):1月後半	一次:1月中旬、二次:2月後半

9 ヨーロッパ文化学科 GSC (ドイツ語/フランス語) アソシエイトプログラム

1.GSC (ドイツ語) アソシエイトプログラム

ヨーロッパ文化学科学生を対象とした、ドイツ語力の向上を目指す人のためのプログラムです。当プログラムに登録した上で、指定の GSC (ドイツ語) 関連学科科目の単位を修得し、かつ学部在籍中にドイツ語技能検定試験(独検)2級に合格した人については、手続き期間に「GSC (ドイツ語) アソシエイトプログラム認定申請書」を出すことにより「GSC (ドイツ語) アソシエイトプログラム修了証」が発行されます。

【GSC (ドイツ語) 関連学科科目】

科目名	単位数	CEFR 対応レベル	科目区分
中級ドイツ語作文 1	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目
中級ドイツ語作文 2	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目
中級ドイツ語会話 1	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目
中級ドイツ語会話 2	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目
上級ドイツ語講読 1	1 単位	A2～B2 初歩	専攻基礎科目
上級ドイツ語講読 2	1 単位	A2～B2 初歩	専攻基礎科目
ドイツ語論述実習 1	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目(ドイツ語による授業)
ドイツ語論述実習 2	1 単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目(ドイツ語による授業)
ドイツ語圏の社会と文化 1	2 単位	A2 初歩～B1	専攻専門科目(ドイツ語による授業)
ドイツ語圏の社会と文化 2	2 単位	A2 初歩～B1	専攻専門科目(ドイツ語による授業)

【注意】

- * このプログラムには、2 年次前期から参加できます。参加要件は設定されていません。なお、入学時ドイツ語既習者で、必修ドイツ語科目の読み替えとして上記関連科目の一部を用いる場合、アソシエイトプログラム修了要件の単位に含めることができます。
- * 修了認定においては、アソシエイトプログラム登録前に修得した単位も修了要件の単位に含めることができます。
- * 高度なドイツ語力獲得を目指す「グローバル・スタディーズコース(ドイツ語)」に準じるプログラムという意味で、「アソシエイト」(準会員の意)という語が付記されています。
- * 「グローバル・スタディーズコース(ドイツ語)」で求められるようなコースの二重所属は必要ありません。
- * 指導料等はありません。
- * 短期語学研修の補助や成績優秀者への褒賞の対象にはなりません。
- * プログラム登録は2 年次以降(既習者読み替えの場合も)の4 月および9 月におこないます。関連科目の履修がない学期があっても構いません。登録を取消す場合も毎年度4 月および9 月におこないます(翌学期以降の再登録は可能です)。登録の取消手続きをおこなわない限りプログラムの登録は継続されます。
- * 修了認定要件には含まれていませんが、短期留学(「外国語現地実習(ドイツ語)」)の履修や長期(半年または一年)の協定留学を推奨します。
- * GSC (ドイツ語) アソシエイトプログラムについては、事前登録がない場合でも、卒業時に修了認定要件を充足し、所定の申請手続きを行うことで認定が可能です。

(1) GSC (ドイツ語) アソシエイトプログラム修了認定要件

- ① GSC (ドイツ語) 関連学科科目から 10 単位以上を修得すること。プログラム登録がない期間に修得した単位もプログラム修了認定要件の単位に含めることができます。
- ② ドイツ語技能検定試験(独検)2 級合格

(2)「プログラム修了証」の授与

認定された場合は、卒業式当日に「GSC（ドイツ語プログラム）アソシエイト修了証」が授与されます。卒業後希望する者には、証明書（有料）が発行されます。

(3) GSC（ドイツ語）アソシエイトプログラム申請手続きについて

4年次	9月卒業予定者 7月	GSC（ドイツ語）アソシエイトプログラム 認定申請書提出	申請期間：卒業論文提出日
	3月卒業予定者 12月		

【注意】

※ GSC（ドイツ語）アソシエイトプログラム認定申請書は、卒業する年度に提出しなければなりません。申請書を提出しても、卒業が延期になった場合は、翌年度新たに申請書を提出しなければなりません。

※ やむを得ない理由で指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。

2.GSC（フランス語）アソシエイトプログラム

ヨーロッパ文化学科学生を対象とした、フランス語力の向上を目指す人のためのプログラムです。当プログラムに登録した上で、指定のGSC（フランス語）関連学科科目の単位を修得し、かつ学部在籍中に実用フランス語技能検定試験（仏検）2級に合格した人については、手続き期間に「GSC（フランス語）アソシエイトプログラム修了認定申請書」を出すことにより「GSC（フランス語）アソシエイトプログラム修了証」が発行されます。

【GSC（フランス語）関連学科科目】

科目名	単位数	CEFR 対応レベル	科目区分
中級フランス語作文1	1単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目
中級フランス語作文2	1単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目
中級フランス語会話1	1単位	A2～B2 初歩	専攻基礎科目
中級フランス語会話2	1単位	A2～B2 初歩	専攻基礎科目
上級フランス語講読1	1単位	A2～B2 初歩	専攻基礎科目
上級フランス語講読2	1単位	A2～B2 初歩	専攻基礎科目
フランス語論述実習1	1単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目（フランス語による授業）
フランス語論述実習2	1単位	A2 初歩～B1 初歩	専攻基礎科目（フランス語による授業）
フランスの歴史と社会1	2単位	A2 初歩～B1	専攻専門科目（フランス語による授業）
フランスの歴史と社会2	2単位	A2 初歩～B1	専攻専門科目（フランス語による授業）

【注意】

* このプログラムには、2年次前期から参加できます。参加要件は設定されていません。なお、入学時フランス語既習者で、必修フランス語科目の読み替えとして上記関連科目の一部を用いる場合、アソシエイトプログラム修了要件の単位に含めることができます。

* 修了認定においては、アソシエイトプログラム登録前に修得した単位も修了要件の単位に含めることができます。

* 高度なフランス語力獲得を目指す「グローバル・スタディーズコース（フランス語）」に準じるプログラムという意味で、「アソシエイト」（準会員の意）という語が付記されています。

* 「グローバル・スタディーズコース（フランス語）」で求められるようなコースの二重所属は必要ありません。

* 指導料等はありません。

* 短期語学研修の補助や成績優秀者への褒賞の対象にはなりません。

* プログラム登録は2年次以降（既習者読み替えの場合も）の4月および9月におこないます。関連科目の履修がない学期があっても構いません。登録を取消す場合も毎年度4月および9月におこないます（翌学期以降の再登録は可能です）。登録の取消し手続きをおこなわない限り、プログラムの登録は継続されます。

* 修了認定要件には含まれていませんが、短期留学（「外国語現地実習（フランス語）」）の履修や長期（半年または一年）の協定留学を推奨します。

(1) GSC（フランス語）アソシエイトプログラム修了認定条件

① GSC（フランス語）関連学科科目から10単位以上を修得修得すること。プログラム登録がない期間に取得した単位もプログラム修了認定要件の単位に含めることができます。

② 実用フランス語技能検定試験（仏検）2級合格

(2) 「プログラム修了証」の授与

認定された場合は、卒業式当日に「GSC（フランス語プログラム）アソシエイト修了証」が授与されます。卒業後希望する者には、証明書（有料）が発行されます。

(3) GSC（フランス語）アソシエイトプログラム申請手続きについて

4年次	9月卒業予定者 7月	GSC（フランス語）アソシエイトプログラム 認定申請書提出	申請期間：卒業論文提出日
	3月卒業予定者 12月		

【注意】

※ GSC（フランス語）アソシエイトプログラム認定申請書は、卒業する年度に提出しなければなりません。申請書を提出しても、卒業が延期になった場合は、翌年度新たに申請書を提出しなければなりません。

※ やむを得ない理由で指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。

日本・東アジア文化学科

1 日本・東アジア文化学科 卒業要件

本学に4年以上在学し、履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。84頁以降に各区分の履修方法が記載されていますので、よく読んで間違いのないように履修してください。

また、4年次の必修科目である「卒業論文」を履修するには、3年の在学期間を充足した上で、必要な科目と単位を修得しなければなりません。詳細は110頁に記載してあります。このことにも注意して計画的に単位を修得してください。

[日本・東アジア文化学科]

区分	修得すべき 単位数	内 訳		
総合科目	20 単位	6分野（A～F）からセクションを問わず最低2単位を修得し（計12単位）、かつ分野を問わずさらに8単位以上修得し、かつ分野を問わず実践セクションの科目を必ず1科目（1単位）以上含むこと。		
外国語科目	12 単位	必修外国語（1）（2）（英語）		4 単位
		選択外国語Ⅰ（1）（2）（学科指定） （ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語）		8 単位
	（自由選択）	選択外国語Ⅱ（修得単位は総合科目の「分野を問わない8単位」に含めることができる） 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語		—
専門科目	共通専門 科目	（指定された人文学部の他学科の専攻科目、他学部の専門科目などより選択） ※「学芸員課程関連科目」の修得単位のうち、8単位まで共通専門科目に算入することができる ※「人文学部合同プロジェクト〔中国語〕」と「人文学部合同プロジェクト〔韓国・朝鮮語〕」の修得単位のうち、合計16単位まで共通専門科目に算入することができる		24 単位
		専攻科目	専攻基礎 科目	（必修科目） 日本・東アジア文化基礎ゼミナール1 日本・東アジア文化基礎ゼミナール2
	専攻専門 科目			（必修科目） 卒業論文 卒業論文ゼミナール1 卒業論文ゼミナール2
				（選択科目） 専門科目（講義） ①「ことば・文学・思想」4単位以上 ②「芸術・身体・環境」4単位以上 ③「歴史・民俗・宗教」4単位以上 ——3分野すべてを履修 ※⑤「Global Studies」は8単位まで、⑥「教職に関する概説科目」は4単位まで算入することができる。
		（選択科目） 専門科目（演習・実習） ①「ことば・文学・思想」 ②「芸術・身体・環境」 ③「歴史・民俗・宗教」 ④「スキル科目」（原則「卒業論文準備ゼミナール1・2」を3年次に履修すること） ——うち3分野以上（各分野4単位以上） ※⑤「Global Studies」は4単位まで算入することができる。	20 単位以上	
合 計	124 単位			

※ 専門科目（演習・実習）に関しては、「卒業論文準備ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を除き、同じ科目を重複して履修することができます。重複履修をした場合、2度目以降の修得単位も卒業要件に算入できます。

【注意】

表の合計124単位は最小限必要な単位数であり、これ以上の単位を余裕をもって履修することを勧めます。

2 日本・東アジア文化学科 コース制度

人文学部では学科ごとに複数のコースが用意されています。これらのコースは、自分の興味や関心がどこに向いているかを自覚し、その関心に従って科目履修や卒業論文のテーマ選択をしていく際に参照すべき学修上の指針（履修モデル）と考えてください。

いったんコースを決めても、その後の関心の変化によってコースを変更することは自由です（但し、グローバル・スタディーズコース〔英語〕については別規則あり）、特定のコースによって履修できない科目が生じるということもありませんので、安心して選択をおこなってください。

1. 開講コース

日本・東アジア文化学科では、次年度の履修計画を立てる際の一助となるように、自分の興味・関心に基づいてコース選択をしてもらいます。どのコースを選択した場合でも、コース区分を超えて自由に講義科目や演習科目を履修できます。各コースに開設されている科目には次のような特徴があります。

◇ 日本文化コース

日本文化全般にわたる幅広い講義科目と資料探求を中心に研究方法を学ぶ演習科目を設置し、日本文化の特質を歴史にさかのぼって明らかにしていきます。文字資料や絵画資料を読み込んだり、伝承等の調査のためにフィールドワークをおこなったり、オーソドックスな研究に専念する科目群です。

◇ 東アジア文化コース

主に中国、韓国・朝鮮の文学、歴史、語学から生活文化に至るまで、多分野にわたる授業科目があります。中国、韓国への「海外実習」によって、海外留学協定校などでの語学習得や文化体験をおこなうことなども奨励されます。実践的、行動的性格の強い科目群です。

◇ 比較・交流文化コース

地域を超えた視点から文化の比較・交流について学ぶコースです。文化、思想、美術などの比較・交流はもちろん、ジャンルや地域、時代を越えた学問分野を横断するような、多彩な授業科目があります。既存の研究方法にとらわれない、学際的性格の強い科目群です。

【グローバル・スタディーズコース（GSC）】特別コースとして以下の3つのコースが用意されています。

◆ グローバル・スタディーズコース（中国語）*

中国語の集中的な学習により留学や国際語学検定試験合格を目指す、日本・東アジア文化学科の特別コースです。上記の4つのコースのいずれかと本コースの二重所属のかたちで学修を進めます（詳細は113頁参照）。

◆ グローバル・スタディーズコース（韓国・朝鮮語）*

韓国・朝鮮語の集中的な学習により留学や国際語学検定試験合格を目指す、日本・東アジア文化学科の特別コースです。上記の4つのコースのいずれかと本コースの二重所属のかたちで学修を進めます（詳細は114頁参照）。

◆ グローバル・スタディーズコース（英語）

119頁参照。

2. コース選択手続き予定表（詳細は3Sにて周知します）

コース希望届を1年次後期に提出します。正式に所属コースが決まるのは2年次4月です。

【注意】

- ① 原則は本人の希望にしたがってコース配属をおこなうため、選考はありません。
- ② コース希望届未提出者は、日本文化コースに配属されます。

* 「グローバル・スタディーズコース（中国語プログラム）」、「グローバル・スタディーズコース（韓国・朝鮮語プログラム）」が正式名称ですが、『履修要項』では便宜上、「グローバル・スタディーズコース（中国語）」または「GSC（中国語）」、「グローバル・スタディーズコース（韓国・朝鮮語）」または「GSC（韓国・朝鮮語）」と略称を用います。

3. コース変更について

手続き方法と時期: 所属コース決定後に変更を希望する場合は、所定の用紙にて教務課に願い出てください。手続き期間は毎年度4月、履修登録期間開始前までを締め切りとします。

コース変更は個人の判断でおこなえますが、必要に応じて指導教授や教務委員に相談してください。

3 日本・東アジア文化学科 総合科目

1. 目的と特徴

総合科目は幅広い教養と知識、豊かな人間性と良識、柔軟な思考力、判断力、そして創造的な実践力を養うことを目的としています。総合科目の特徴は、全学部および関係するセンターが協力して企画、運営している共通科目（スタンダード科目）であること、全学部の学生が同じ教室で受講することです。総合科目は、価値の多様化、異文化およびダイバーシティ理解、男女共同参画をはじめとする21世紀を生きる私たちが直面している状況や取り組むべき課題を具体的に意識して精選されたものです。

なお、それぞれの授業群における独自の目標を、以下のように定めています。

- (A) 情報とコミュニケーション : 情報化社会で学び、生活し、仕事をするための知識と力を養う
- (B) 歴史と文化 : 日本と世界各地の伝統文化や思想、宗教などへの理解を深める
- (C) 現代社会 : 政治、法、経済、社会構造など、多様な視点から現代をとらえる
- (D) 自然と環境 : 地球環境や生物環境の基礎知識を身につけ、自然と人間の共生を考える
- (E) 心と体 : 人間の心と体をトータルにとらえ、健康づくりのスキルと姿勢を身につける
- (F) ライフマネジメントとキャリアデザイン : 大学卒業後の進路に夢を描き、具体化するための力を養う

2. 学年配当

ほとんどの科目は1年次から4年次までいつでも履修できますが、学年が限定されている科目も一部にありますので、一覧表をよく確認してください。

3. 授業科目の編成、分類、単位数など

総合科目は6分野（A～F）からなり、それぞれの授業科目は講義セクションと実践セクションに分かれています。講義セクションには総合的内容の講義（講義科目）が置かれ、実践セクションには演習・実習・実技・実験その他の体験授業（実践科目）が置かれています。講義セクションで得た知識を実践的レベルでも追究したい場合に実践セクションの科目を履修すると効果的です。それぞれの分野は、知と実践（知ることとおこなうこと）の循環・統合を実感できるように構成されています。ただし、総合科目の授業内容は、一部のセット科目を除いてそれぞれ独立していますので、各人の興味と必要に応じて、セクションを気にせずに個々に履修することもできます。単位数については授業の形態や密度、学修時間に応じて1単位・2単位の区別があります。一覧表でよく確認してください。

4. 修得すべき単位数

6分野（A～F）すべてからセクションを問わず最低2単位を修得し（計12単位）、かつ分野を問わずさらに8単位以上を修得すること。ただし、実践セクションの科目を1単位以上含めなければなりません（総合科目全体として合計20単位以上が卒業に必要な条件です）。なお、後述する外国語科目の選択外国語Ⅱを8単位まで「分野を問わない8単位」に含めることができます。

【注意】

同一科目（同一名称の科目）を履修した場合、2度目以降は自由科目の扱いになるため卒業に必要な単位に算入することができません。ただし同一名称でありながら、記号や番号で区別がなされている科目については別科目として扱う場合があります。詳細については教務課に問い合わせてください。

区分	修得すべき単位数	詳細		注意
総合科目	20 単位	(A) 情報とコミュニケーション	2 単位以上	<ul style="list-style-type: none"> 各分野最低 2 単位（合計 12 単位）と分野を問わず 8 単位、合わせて 20 単位を修得すること。 分野を問わず実践セクションの科目を最低 1 単位以上含めること。 「分野を問わない 8 単位」の中に、選択外国語 II を 8 単位まで算入できる。
		(B) 歴史と文化	2 単位以上	
		(C) 現代社会	2 単位以上	
		(D) 自然と環境	2 単位以上	
		(E) 心と体	2 単位以上	
		(F) ライフマネジメントとキャリアデザイン	2 単位以上	

5. 英語でおこなわれる科目について

総合科目のうち、科目名が英語で表記されているものは、英語で授業がおこなわれます。備考欄に記載されている英語力に関する推奨条件をよく確認したうえで、履修登録をおこなってください。また履修者数に制限が設定されている場合がありますので、その点にも注意が必要です。なお、一部の例外を除きこれらの科目は、人文学部の学修プログラムの一つ「GSC（英語）アソシエイトプログラム」（165 頁）の認定に必要な科目に含まれています。

6. 「(E) 心と体」分野のスポーツ実践

総合科目のうち、**スポーツ実践**を履修する際には以下の事項に注意してください。

- ① 成績評価にあたっては、授業への参加度および履修態度（平常点）を主要なものとし、欠席数が多い場合や履修態度が著しく悪い場合は不合格となり、単位の認定がおこなわれません（遅刻 1 回、見学 1 回は 0.5 回の欠席に換算します）。ただし、特別な事情がある場合は別に考慮することがあるので、その旨を申し出てください。
- ② 春の健康診断を受けていない場合は不合格となり、単位の認定がおこなわれません。やむを得ない理由で健康診断を受けられなかった場合には、速やかに大学保健室および身体運動科学研究室に申し出て、指示を受けてください。
- ③ スポーツ実践は体育の実技です。必ず運動に適した服装で授業を受けてください。
- ④ 実技科目であるため、履修者数を制限します。

7. 実践セクションの特殊な履修手続きについて

実践セクションの授業のうち F 群の「海外フィールド実習」は、通常の履修登録の手続きとは異なり、ガイダンスを実施するなどしたのちに、授業担当者に直接履修登録の申請をおこないます。通常の履修登録期間・履修取消期間外におこなわれるため、履修取消の対象外ですので、注意してください。

第1章 授業科目の履修

総合科目は、下表の通りです。

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
(A) 情報とコミュニケーション	講義	GEOA02010	2	1～4	開講	講義	
		GEOA02020	2	1～4	開講	講義	
		GEOA02030	2	1～4	開講	講義	
		GEOA02040	2	1～4	開講	講義	
		GEOA12040	2	1～4	開講	講義	
		GEOA02050	2	1～4	開講	講義	* ※(1)
	実践	GEOA01010	2	1～4	開講	演習	
		GEOA01020	2	1～4	開講	演習	
		GEOA01030	2	1～4	開講	演習	
		GEOA01040	2	1～4	開講	演習	
		GEOA01050	2	1～4	開講	演習	
		GEOA01060	2	1～4	開講	演習	
		GEOA01070	2	1～4	開講	演習	
		GEOA01100	2	1～4	開講	演習	※(2)
(B) 歴史と文化	講義	GEB02010	2	1～4	開講	講義	
		GEB02020	2	1～4	開講	講義	
		GEB02030	2	1～4	開講	講義	
		GEB02040	2	1～4	開講	講義	*
		GEB02050	2	1～4	開講	講義	
		GEB02060	2	1～4	開講	講義	
		GEB02070	2	1～4	開講	講義	
		GEB02080	2	1～4	開講	講義	
		GEB02090	2	1～4	開講	講義	
		GEB02100	2	1～4	開講	講義	※(1)
	実践	GEB01010	2	1～4	開講	演習	
		GEB01020	2	1～4	開講	演習	
		GEB01030	2	1～4	開講	演習	
		GEB01040	2	1～4	開講	演習	
(C) 現代社会	講義	GEC02010	2	1～4	開講	講義	
		GEC02020	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02030	2	1～4	開講	講義	
		GEC02040	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02050	2	1～4	開講	講義	
		GEC02060	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02070	2	1～4	欠講	講義	*
		GEC02080	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02090	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02100	2	1～4	欠講	講義	*
		GEC02110	2	1～4	開講	講義	
		GEC02120	2	1～4	開講	講義	※(1)
	GEC02130	2	1～4	開講	講義	* ※(1)	
	GEC02140	2	1～4	欠講	講義	* ※(1)	
実践	GEC01010	2	1～4	開講	演習	*	
	GEC01020	2	1～4	開講	演習		
	GEC01030	2	1～4	開講	演習		
(D) 自然と環境	講義	GED02010	2	1～4	開講	講義	
		GED02020	2	1～4	開講	講義	
		GED02030	2	1～4	開講	講義	
		GED02040	2	1～4	開講	講義	
		GED02050	2	1～4	開講	講義	
		GED02060	2	1～4	開講	講義	
		GED02070	2	1～4	開講	講義	
		GED02080	2	1～4	開講	講義	
		GED02090	2	1～4	開講	講義	
		GED02100	2	1～4	開講	講義	
		GED02110	2	1～4	開講	講義	* ※(1)
		GED02120	2	1～4	欠講	講義	* ※(1)
	実践	GED01010	2	1～4	開講	演習	
		GED06010	1	1～4	開講	実習	集中
		GED06020	1	1～4	開講	実習	集中
		GED06030	1	1～4	開講	実験・講義	
		GED06040	1	1～4	開講	実験・講義	
		GED06050	1	1～4	開講	実験・講義	
GED06060	1	1～4	開講	実験・講義			
GED06070	1	1～4	開講	実験・講義			
GED06080	1	1～4	開講	実験・講義			

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考	
(E)心と体	講義	GEE02010	こころの科学と健康	2	1～4	開講	講義	
		GEE02020	臨床心理学と人間理解	2	1～4	開講	講義	
		GEE02030	スポーツと健康の科学	2	1～4	開講	講義	
		GEE02040	スポーツの哲学	2	1～4	開講	講義	
		GEE02050	スポーツの歴史と文化	2	1～4	開講	講義	
		GEE02060	スポーツの社会環境	2	1～4	開講	講義	
		GEE02070	スポーツの心理学	2	1～4	開講	講義	
	GEE02080	Introduction to Personal Health and Wellness	2	1～4	開講	講義	※(1)	
	実践	GEE01010	心理学ワークショップ	2	1～4	開講	演習	
		GEE01020	アダプテッドスポーツ・ワークショップ	2	1～4	開講	演習	
		GEE06010	スポーツ実践1(バレーボール)	1	1～4	開講	実技	
		GEE06020	スポーツ実践2(バスケットボール)	1	1～4	開講	実技	
		GEE06030	スポーツ実践3(ファンランニング)	1	1～4	開講	実技	*
		GEE06040	スポーツ実践4(フットサル)	1	1～4	開講	実技	
GEE06050		スポーツ実践5(バドミントン)	1	1～4	開講	実技		
GEE06060		スポーツ実践6(卓球)	1	1～4	開講	実技		
GEE06070		スポーツ実践7(アドバンストゴルフ)	1	1～4	開講	実技	*	
GEE06080		スポーツ実践8(ベーシックゴルフ)	1	1～4	開講	実技		
GEE06090		スポーツ実践9(水泳)	1	1～4	開講	実技		
GEE06100		スポーツ実践10(エアロビクス&フィットネス)	1	1～4	開講	実技		
GEE06110		スポーツ実践11(リラクゼーション&ウォーキング)	1	1～4	開講	実技		
GEE06120	スポーツ実践12(護身術と柔道)	1	1～4	開講	実技			
GEE06130	スポーツ実践13(スキー)	1	1～4	開講	実技	*		
GEE06140	スポーツ実践14(スノーボード)	1	1～4	開講	実技	*		
(F)キャリアデザイン	講義	GEF02010	自己理解の哲学	2	1～4	開講	講義	
		GEF02020	キャリアデザイン論A	2	1～4	開講	講義	
		GEF02030	キャリアデザイン論B	2	1～4	開講	講義	
		GEF22010	キャリア対策科目	2	2～4	開講	講義	
		GEF02040	ライフサイクルと生涯学習	2	1～4	開講	講義	
		GEF02050	心理学と社会	2	1～4	開講	講義	
		GEF02060	Career Design in a Global Age	2	1～4	開講	講義	※(1)
	実践	GEF21010	キャリアデザイン演習	2	2～4	開講	演習	
		GEF31010	インターンシップ特講	1	3・4	開講	演習	
		GEF46010	インターンシップ	1	3・4	開講	実習	
		GEF01040	キャリア形成認定科目	2	-	開講	-	資格認定科目
		GEF01010	海外調査方法論	2	1～4	開講	演習	
		GEF06010	海外フィールド実習	1	1～4	開講	実習	*
		GEF06020	ボランティア実習	1	1～4	開講	実習	*

注意事項

※(1) 授業で用いられる主要言語は英語です。授業内容をシラバスで良く確認したうえで、履修を決定してください。

※(2) 履修者は人文学部のグローバル・スタディーズコース(英語プログラム)所属学生に限ります。

4 日本・東アジア文化学科 外国語科目

卒業に必要な外国語科目の単位は以下のとおりです。外国語科目は特に出席が重視され、授業回数の3分の1以上を欠席した場合、単位が与えられません。また、外国語科目を指定された年次で修得できない場合、専門科目の履修に制限を受けたり、卒業論文履修資格を得ることができなかつたりと、卒業に支障をきたすこともあるので注意してください。

TOEIC® L&R IP テスト（学内試験）について

1年次生、2年次生全員を対象に12月にテストを実施します。マークシート方式の英語実力判定試験です。自らの英語力の把握に役立つだけでなく、最近では企業への就職の際にスコアの提出が求められる場合も多くなっているため、大学での英語学習のひとつの重要な軸として、このテストを必ず受験してください。なお、結果は各自に通知されます（詳細は3Sで別途指示します）。

1. 必修外国語と選択外国語 I

◇ 外国語修得必要単位数

必修外国語 (1) (英語)	2 単位	12 単位
必修外国語 (2) (英語)	2 単位	
選択外国語 I (1) (ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語から 1 言語)	4 単位	
選択外国語 I (2) (ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語から 1 言語)	4 単位	

= クラス編成表 =

- ① 1年次では必修外国語(1)(英語)と選択外国語 I (1)を履修します。英語については、英語 I を人文学部・経済学部・社会学部合同の到達度別クラスで授業を受けます。
- ② 2年次では必修外国語(2)(英語)と選択外国語 I (2)を指定されたクラスで履修します。

履修年次	授業名	必修外国語 (1) クラス名 (2 授業 2 単位)
1 年次	英語 I	総合英語

履修年次	授業名	必修外国語 (2) クラス名 (2 授業 2 単位)
2 年次	英語 II	総合英語

履修年次	クラス名	選択外国語 I (1) (必要数 4 授業 4 単位)
1 年次	N1G	ドイツ語 I
	N1F	フランス語 I
	N1C	中国語 I
	N1K	韓国・朝鮮語 I
	N1J	日本語 I

履修年次	クラス名	選択外国語 I (2) (必要数 4 授業 4 単位)
2 年次	N2G	ドイツ語 II
	N2F	フランス語 II
	N2C	中国語 II
	N2K	韓国・朝鮮語 II
	N2J	日本語 II

外国語科目の履修に当たっては以下の注意をよく読んでください。

- ① 必修外国語 (1) (2) (英語) と選択外国語 I (1) (2) は、必ず自分の配属されているクラスで履修してください。
- ② 必修外国語 (1) (2) (英語) と選択外国語 I (1) (2) は、必要な単位を超えて履修することはできません。
- ③ 外国語の授業は出席が特に重視されるので注意してください。
- ④ 高等学校等でドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語を履修した者については、本人の希望に基づき審査を経て、他の関連科目等で読み替えることを認めます。希望者はガイダンス終了時に教務課に申し出て指示を受けてください。
- ⑤ 選択外国語 I (2) は1年次に履修している言語（「選択外国語 I (1)」で選択した言語）と同じになります。

- ⑥ 選択外国語Ⅰ(1)の「日本語」は外国人学生特別入学試験で入学した学生等が履修できます。また外国人学生特別入学試験で入学した学生が履修する外国語(必修外国語(1)(2)、選択外国語Ⅰ(1)(2))のなかに母語*を含めることはできません。

*「母語」とは入学願書に記載した「第1言語」のことで、幼少期から自然に習得した言語のことを指します(出身国の公用語や国語と異なってもかまいません)。

- ⑦ 選択外国語Ⅱは以下の外国語科目のなかから、最大8単位まで総合科目の履修単位として認められます。

※「日本語」は主として外国人学生のために開講されています。日本語を母語とする学生で履修を希望する者は教務課に問い合わせてください。外国語科目として日本語を履修できるのは、協定留学生や外国人学生特別入学試験によって入学した学生、外国語の高校を卒業した学生、グローバル・スタディーズコース所属の留学生などに限定されています。詳細は留学・国際交流関連科目のEAS科目一覧の注(168頁)を参照してください。

言語	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
英語	ブラクティカル・イングリッシュ1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	ブラクティカル・イングリッシュ2	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング2	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ1	1	1~4	開講	実習(外国語)	*
	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ2	1	1~4	開講	実習(外国語)	*
	ディスカッション・ディベート英語1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	ディスカッション・ディベート英語2	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ1	1	1~4	開講	実習(外国語)	*
	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ2	1	1~4	開講	実習(外国語)	*
	ビジネス・コミュニケーション英語1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	ビジネス・コミュニケーション英語2	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ2	1	1~4	開講	実習(外国語)	
ドイツ語	ドイツ語入門1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	ドイツ語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	ドイツ語中級1	1	2~4	欠講	実習(外国語)	*
	ドイツ語中級2	1		欠講	実習(外国語)	*
	ドイツ語コミュニケーション1	1		開講	実習(外国語)	*
	ドイツ語コミュニケーション2	1		開講	実習(外国語)	*
フランス語	フランス語入門1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	フランス語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	フランス語中級1	1	2~4	欠講	実習(外国語)	*
	フランス語中級2	1		欠講	実習(外国語)	*
	フランス語コミュニケーション1	1		開講	実習(外国語)	*
	フランス語コミュニケーション2	1		開講	実習(外国語)	*
スペイン語	スペイン語入門1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	スペイン語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	スペイン語中級1	1	2~4	開講	実習(外国語)	*
	スペイン語中級2	1		開講	実習(外国語)	*
	スペイン語コミュニケーション1	1		欠講	実習(外国語)	*
	スペイン語コミュニケーション2	1		欠講	実習(外国語)	*
中国語	中国語入門1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	中国語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	中国語中級1	1	2~4	欠講	実習(外国語)	*
	中国語中級2	1		欠講	実習(外国語)	*
	中国語コミュニケーション1	1		開講	実習(外国語)	*
	中国語コミュニケーション2	1		開講	実習(外国語)	*
韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語入門1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	韓国・朝鮮語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	韓国・朝鮮語中級1	1	2~4	開講	実習(外国語)	*
	韓国・朝鮮語中級2	1		開講	実習(外国語)	*
	韓国・朝鮮語コミュニケーション1	1		欠講	実習(外国語)	*
	韓国・朝鮮語コミュニケーション2	1		欠講	実習(外国語)	*
イタリア語	イタリア語入門1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	イタリア語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	イタリア語中級1	1	2~4	欠講	実習(外国語)	*
	イタリア語中級2	1		欠講	実習(外国語)	*
	イタリア語コミュニケーション1	1		開講	実習(外国語)	*
	イタリア語コミュニケーション2	1		開講	実習(外国語)	*

第1章 授業科目の履修

言語	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
ロシア語	ロシア語入門1	1	1～4	開講	実習(外国語)	
	ロシア語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	ロシア語中級1	1	2～4	開講	実習(外国語)	*
	ロシア語中級2	1		開講	実習(外国語)	*
	ロシア語コミュニケーション1	1		欠講	実習(外国語)	*
	ロシア語コミュニケーション2	1		欠講	実習(外国語)	*
現地実習	外国語現地実習(英語)1	2	1～4	開講	実習	
	外国語現地実習(英語)2	2		開講	実習	
	外国語現地実習(ドイツ語)1	2		開講	実習	
	外国語現地実習(ドイツ語)2	2		開講	実習	
	外国語現地実習(フランス語)1	2		開講	実習	
	外国語現地実習(フランス語)2	2		開講	実習	
	外国語現地実習(中国語)1	2		開講	実習	
	外国語現地実習(中国語)2	2		開講	実習	
	外国語現地実習(韓国・朝鮮語)1	2		開講	実習	
外国語現地実習(韓国・朝鮮語)2	2	開講	実習			
日本語	日本語(コンプリートビギナー)1	1	1～4	欠講	実習(外国語)	
	日本語(コンプリートビギナー)2	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(入門)1	1		開講	実習(外国語)	*
	日本語(入門)2	1		欠講	実習(外国語)	*
	日本語(初級)1	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(初級)2	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(初中級)1	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(初中級)2	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(中級)1	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(中級)2	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(上級)1	1		開講	実習(外国語)	
	日本語(上級)2	1		開講	実習(外国語)	

※ 各国語の入門1・2(「〇〇語入門1」「〇〇語入門2」)以外の科目は、履修に先だって、当該外国語の初級文法の学習を終えていることが条件となります。初級文法授業とは、各学部学科の当該外国語の1年次配当授業のうち初級文法の内容を含むもの、全学共通の入門授業、もしくは高等学校や大学等で入学前に受けた授業(初級文法を含むと判断できるもの)です。1年次生や編転入学者など、入学1年目の学生については、入学前に受けた初級文法授業がある場合にのみ、申請によって履修登録をおこなうことができます。

※ 「中国語コミュニケーション1」「中国語コミュニケーション2」、「韓国・朝鮮語のコミュニケーション1」「韓国・朝鮮語のコミュニケーション2」は入門を終えた人が履修する会話の授業です。学習歴2年目以上の学生を対象としています。

【2年次外国語クラスへ進むための条件】

必修外国語(1)(英語)2授業(2単位)のうち1授業(1単位)以上でかつ選択外国語I(1)4授業(4単位)のうち2授業(2単位)以上を修得していること。1年次終了の段階で条件を充たしていない場合は、2年次外国語クラスへ進むことができません。翌年度に再び1年次クラスで未修得分の授業を履修しなければなりません。なお、履修すべき授業は翌年度初めに指定します。

【2年次外国語クラスへ進んだ学生の未修得授業の再履修について】

- ① 必修外国語(1)(英語)の未修得授業は、年度初めに指定されたクラスで履修しなければなりません。
- ② 選択外国語I(1)の未修得者は、年度初めに指定される1年次のクラスで未修得分の単位を修得しなければなりません。なお中国語については指定の再履修クラスで履修します。
- ③ 選択外国語I(2)の未修得授業は、年度初めに指定されるクラスで履修しなければなりません。

2. 外国語学習の手引き

(1) 英語について

大学で学ぶ英語は、入学時まで学習してきた内容を確認可能なものとするという側面と、それをふまえてより発展的な学習をおこなうという二つの性格をあわせ持っています。様々な学習・研究のなかで英語文献や資料を読む必要が出てくる場合に備えて、的確に英文の内容をつかむことができるだけの英語力を身につけておかなければなりません。それと同時に、異文化コミュニケーションの現場で必要とされる英語を聞く力・話す力の養成も重視するという観点から、実践的な英語力をつけるための学習にも力をいれるようにしてください。

まず、入学時に英語クラス分け試験を受験し、その結果に基づいて配属された到達度別クラスで授業を受けます。授業のための学習、及び自主学習の成果をはかるために、1年次、2年次の後期には全員が TOEIC® L&R IP テスト（学内試験）を受験します。この検定は、就職活動の際にスコアを要求されることもある英語能力試験 TOEIC® の団体受験制度によって行われ、テスト結果の有効性は通常公開テストと同等であると判断されています。これにより、皆さんは自分の英語能力を知ることができ、その後の進路選択や学習計画に活用することができます。

1年次必修英語クラスとしては、全学で共通の「総合英語」を受講します。入学時に受験する英語クラス分け試験の成績に基づいたクラスに配属され、履修者の英語力の現状に応じた英語授業を受けることになります。

2年次の必修英語クラスとして「総合英語」を受講することになります。

◇ 選択外国語Ⅱとしての英語

日本・東アジア文化学科では、選択外国語Ⅱの英語科目として、「プラクティカル・イングリッシュ 1」「プラクティカル・イングリッシュ 2」「イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 1」「イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング 2」「イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 1」「イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ 2」「ディスカッション・ディベート英語 1」「ディスカッション・ディベート英語 2」「クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 1」「クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ 2」「ビジネス・コミュニケーション英語 1」「ビジネス・コミュニケーション英語 2」「イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 1」「イングリッシュ・ライティング・ワークショップ 2」「外国語現地実習（英語） 1」「外国語現地実習（英語） 2」を履修することができます。8単位まで卒業単位の総合科目 20単位の中に含めることができます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座科目」の英語

「グローバル・コミュニケーション 1」「グローバル・コミュニケーション 2」、「留学のための英語講座 A1」「留学のための英語講座 A2」「留学のための英語講座 B1」「留学のための英語講座 B2」など留学を希望する学生、あるいはより高い英語学習を求める学生のためのクラスが設けられています（A1・A2が TOEFL 対策、B1・B2が IELTS 対策のクラスです）。

(2) ドイツ語について

ドイツ語はほとんどの学生にとって大学ではじめて学ぶ言語です。日本・東アジア文化学科では、教養の深化、国際的視野の拡大のため、英語以外の外国語による初歩的な情報収集能力・読解力を身につける授業を展開しています。

選択外国語Ⅰ(1)として1年次に前期・後期合わせて4授業(4単位)を履修します。内容は文法2授業、読解2授業です。文法の時間には、初級文法の教科書を用い、アルファベット・単語の発音から始めて、1年間で文法の基礎知識を身につけます。読解の時間は、文法事項の確認と平易な例文・短い読み物からなる教科書を用い、読解の基礎を身につけます。2年次には選択外国語Ⅰ(2)として前期、後期合わせて4授業が準備されています。内容は読解ですが、文章のジャンルは文学や芸術に関わるものから社会的な事象まで、担当者によって異なります。読解に加えてコミュニケーションに役立つ表現を覚える単元を含んだ総合的内容の教材が選ばれることもあります。

◇ 選択外国語Ⅱのドイツ語

「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」:

はじめてドイツ語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語Ⅰとしてドイツ語を履修していない人が、第3の外国語としてドイツ語を学べるようになっています。

「ドイツ語中級1」「ドイツ語中級2」:

上記の「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」ないし選択外国語Ⅰのドイツ語初級文法授業の単位を修得した人のための読解授業です。内容は文学や芸術に関わるものから社会的な事象まで、担当者によって異なります。

「ドイツ語コミュニケーション1」「ドイツ語コミュニケーション2」:

上記の「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」ないし選択外国語Ⅰのドイツ語初級文法授業の単位を修得した人のための会話授業です。

「外国語現地実習(ドイツ語)1」「外国語現地実習(ドイツ語)2」:

選択外国語ⅠまたはⅡとしてドイツ語を履修した人にお勧めします。「外国語現地実習(ドイツ語)1」は春季に、「外国語現地実習(ドイツ語)2」は夏季にドイツで実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座科目」のドイツ語

「ドイツ語論述実習1」「ドイツ語論述実習2」、「ドイツ語圏の社会と文化1」「ドイツ語圏の社会と文化2」:

ドイツに長期留学したい人、また高度なドイツ語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業はドイツ語を母語とする教員がドイツ語でおこないます。

(3) フランス語について

フランス語は、ほとんどの学生にとってはじめて出会う外国語ですから、基礎から学びます。英語と似ているようで、ずいぶん異なるフランス語を学ぶことで、多言語理解に基づく広い国際的な視野を手にいれましょう。

1年次は、選択外国語Ⅰ(1)として、前期、後期合わせて4授業です。初級文法2授業、初級読本2授業があります。初級文法では、発音から始まり、文法体系の全体を概観します。初級読本では、発音、簡単な文章の読解、会話などができるように訓練をします。

2年次は、選択外国語Ⅰ(2)として、前期2授業、後期2授業、合計4授業(4単位)です。文法項目を復習しつつ、読解能力を高め、辞書を用いて平易な文章が読めるようになることを目指します。

◇ 選択外国語Ⅱのフランス語

「フランス語入門1」「フランス語入門2」:

はじめてフランス語を学ぶ人のための初級文法の授業です。選択外国語Ⅰとしてフランス語を履修していない人が、第3の外国語として学べるようになっています。

「フランス語中級1」「フランス語中級2」:

上記の「フランス語入門1」「フランス語入門2」ないし選択外国語Ⅰのフランス語を履修し終えた人のための読解授業です。内容的には、時事関係、現代社会の諸問題など様々なテーマを取り上げます。

「フランス語コミュニケーション1」「フランス語コミュニケーション2」:

上記の「フランス語入門1」「フランス語入門2」ないし選択外国語Ⅰのフランス語の初級文法授業を履修し終えた

人のための会話授業です。

「外国語現地実習（フランス語）1」「外国語現地実習（フランス語）2」:

選択外国語ⅠまたはⅡとしてフランス語を履修した人にお勧めします。「外国語現地実習（フランス語）1」は春季に、「外国語現地実習（フランス語）2」は夏季に集中的にフランスで実施されます。

◇ 留学・国際交流関連科目（共通専門科目）「留学準備講座科目」のフランス語

「フランス語論述実習 1」「フランス語論述実習 2」、「フランスの歴史と社会 1」「フランスの歴史と社会 2」:

フランスに長期留学したい人、また高度なフランス語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業はフランス語を母語とする教員がフランス語でおこないます。

（4）中国語について

人文学部で選択外国語Ⅰとして中国語の授業を展開しているのは、日本・東アジア文化学科のみとなっています。中国語は、高校で学習したことのある一部の学生を除けば、初めて学ぶ外国語です。そこで授業では、発音から文法、会話、講読と、基礎から分かりやすく学べるように工夫しています。

また、中国語担当の教員のうち、半分ほどはネイティブ・スピーカーになっており、日本人教員による文法や講読の授業と、ネイティブ・スピーカーの教員による発音や会話の授業とがなるべくペアになるように、授業も組むようにしています。

2年間、しっかりと学習すれば、中国語の基礎は身に付きますが、語学の勉強は一生続けるものと思ってください。従って、3年次以降は自分で学習を続けることを勧めます。このような学生のために開講されているのが、「中国語応用」です。卒業論文で、中国語圏に関連するテーマを選んだ場合には、特に中国語の読解力が必要とされます。その時の為にも、1、2年次の学習をまじめにおこない、基礎をしっかりと学んでおくことが必要です。そうすれば、「中国語応用」を履修する効果も倍増するでしょう。

中国語Ⅰ

中国語の基礎的な発音（音声と声調）や基本的な文法を体系的かつ実践的に学びます。特に前期は、中国語の基本的な発音や声調の正確な習得を目指します。そうした前提の上で、更に初級程度の文法を学び、それを構造的に理解することを目標とします。一年度を通じて、初級程度の音読や会話、初歩的な読解力や作文能力を養います。また、各自の必要や問題意識に応じて、引き続き、自力で辞書を用いて学習し得る能力も養成します。

中国語Ⅱ

一年次に引き続き、中級程度の文法を習得すると共に、同じく中級程度の読解力を養い、併せて、更に進んだ会話・作文能力を習得することを目指します。最終的には、文法の正確な理解・把握の上に、読解・会話・作文にわたる総合的な能力を高めることを目標とします。各自の必要や問題意識に応じて、辞書を用いて、自力で更に高度な文章の読解や作文も可能となるよう、全般的な学習能力も養います。

中国語応用

日本・東アジア文化学科では専門スキル科目として履修できます。名称は「応用」ですが、意欲的な学生は2年次から履修しています。卒業論文で、中国語圏に関連するテーマを選んだ場合には、特に中国語の読解力も必要とされますが、この演習でスキルアップすることで、卒業論文の資料収集能力も抜群なものになるでしょう。

◇ 選択外国語Ⅱの中国語

「中国語入門 1」「中国語入門 2」「中国語中級 1」「中国語中級 2」「中国語コミュニケーション 1」「中国語コミュニケーション 2」は、選択外国語Ⅰで中国語を履修しながら、さらに実力をあげたいという学生、および選択外国語Ⅰでは他の外国語を履修したが、第3の外国語として中国語も学習したいという学生のために開設されている、それぞれ週1回の授業です。「外国語現地実習（中国語）1」「外国語現地実習（中国語）2」は、春季および夏季に中国または台湾でおこなわれる短期留学です。

「中国語入門1」「中国語入門2」:

はじめて中国語を学ぶ人のための初級クラス（初学者＝学習歴1年目以上の学生を対象）。

「中国語中級1」「中国語中級2」:

入門を終えた人が履修する中級レベルの授業（学習歴2年目の学生を対象）。

「中国語コミュニケーション1」「中国語コミュニケーション2」:

入門を終えた人が履修する会話の授業（学習歴2年目以上の学生を対象）。

「外国語現地実習（中国語）1」「外国語現地実習（中国語）2」:

選択外国語として中国語を履修した人にお勧めします。武蔵大学の中国語のカリキュラムで1年間学習した学生ならば、これに参加できる能力が充分についているでしょう。「外国語現地実習（中国語）1」「外国語現地実習（中国語）2」は、春季および夏季に中国または台湾で、集中的に実施されます。この現地実習に参加して自信をつけた学生の中には、さらに交換留学生として1年間留学し、本格的に現地で勉強する者もいます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座」の中国語

「中国の社会と文化1」「中国の社会と文化2」「中国語論述実習1」「中国語論述実習2」:

中国に長期留学したい人や高度な中国語能力を身につけたい人のための授業です。授業は中国語を母語とする教員が中国語でおこないます。

(5) 韓国・朝鮮語について

韓国・朝鮮語Ⅰ

前期は、文字を正確に書くこと、正しく発音することを中心に学習し、簡単な会話・作文ができるようにします。後期は、文法を学びつつ平易な文章を読むことに1授業、会話を中心に基本文型の学習に1授業をあてます。また、授業中に、基本を身につけるための小テストをおこないます。それから韓国・朝鮮語の生の会話を聞き、言語の背景にある文化の学習をするために、韓国の音楽や映画、演劇を鑑賞する機会を設けます。授業の前後にはきちんと予習・復習をおこなってください。

韓国・朝鮮語Ⅱ

前年の学習を基礎に1つの授業では日常会話に習熟し、もう1つの授業では文法の理解を深めつつ、韓国・朝鮮語の文章を読んでいきます。会話では、新しい表現を使って話す練習を取り入れながら、自分の言葉として語ることを目標とします。読解では、辞書を使って正確に読むことを基本にして、重要構文・表現を学習します。授業の前後にはきちんと予習・復習をおこなってください。

韓国・朝鮮語応用

日本・東アジア文化学科では専門スキル科目として履修できます。意欲的な学生は2年次から履修しています。簡単な時事文やニュース動画などを教材として学習し、簡単なプレゼンテーションもできるようにします。また、卒業論文で、韓国・朝鮮に関連するテーマを選んだ場合には、特に韓国・朝鮮語の読解力も必要とされますが、この演習でスキルアップすることで、卒業論文の資料収集能力も抜群なものになるでしょう。

◇ 選択外国語Ⅱの韓国・朝鮮語

「韓国・朝鮮語入門1」「韓国・朝鮮語入門2」「韓国・朝鮮語中級1」「韓国・朝鮮語中級2」「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」は、選択外国語Ⅰで韓国・朝鮮語を履修しながら、さらに実力をあげたいという学生、および選択外国語Ⅰでは他の外国語を履修したが、第3の外国語として韓国・朝鮮語も学習したいという学生のために開設されている、それぞれ週1回の授業です。「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」は、春季および夏季に韓国現地でおこなわれる短期留学です。

「韓国・朝鮮語入門1」「韓国・朝鮮語入門2」:

はじめて韓国・朝鮮語を学ぶ人のための初級クラス（初学者＝学習歴1年目の学生を対象）。

「韓国・朝鮮語中級1」「韓国・朝鮮語中級2」:

入門を終えた人が履修する中級レベルの授業（学習歴2年目の学生を対象）。

「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」:

入門を終えた人が履修する会話の授業（学習歴2年目以上の学生を対象）。

「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」:

選択外国語として韓国・朝鮮語を履修した人にお勧めします。武蔵大学の韓国・朝鮮語のカリキュラムで1年間学習した学生ならば、これに参加できる能力が充分についているでしょう。「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」は春季に、「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」は夏季に集中的に韓国現地で実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座」の韓国・朝鮮語

「韓国・朝鮮の社会と文化1」「韓国・朝鮮の社会と文化2」「韓国・朝鮮語論述実習1」「韓国・朝鮮語論述実習2」: 韓国に長期留学したい人や高度な韓国語能力を身につけたい人のための授業です。授業は韓国語を母語とする教員が韓国語でおこないます。

(6) イタリア語について

日本・東アジア文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱのイタリア語です。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

◇ 選択外国語Ⅱのイタリア語

「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」:

はじめてイタリア語を学ぶ人のための初級文法の授業です。第3の外国語として学べるようになっています。

「イタリア語中級1」「イタリア語中級2」:

上記の「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」を履修し終えた人のための読解授業です。

「イタリア語コミュニケーション1」「イタリア語コミュニケーション2」:

上記の「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」を履修し終えた人のための会話授業です。

(7) スペイン語について

日本・東アジア文化学科の学生が履修できるのは選択外国語Ⅱのスペイン語です。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

◇ 選択外国語Ⅱのスペイン語

「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」:

はじめてスペイン語を学ぶ人のための初級文法の授業です。第3の外国語としてスペイン語を学べるようになっています。

「スペイン語中級1」「スペイン語中級2」:

上記の「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」ないし選択外国語Ⅰのスペイン語の初級文法授業の単位を修得した人のための読解授業です。

「スペイン語コミュニケーション1」「スペイン語コミュニケーション2」:

上記の「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」ないし選択外国語Ⅰのスペイン語の初級文法授業の単位を修得した人のための会話授業です。

(8) ロシア語について

ロシア語は選択外国語Ⅱの1つで、第3の外国語として学ぶことができます。教養の深化、国際的視野の拡大、初歩的な情報収集能力・読解力を身につけることを目標としています。

「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」:

はじめてロシア語を学ぶ人のための初級文法の授業です。

「ロシア語中級1」「ロシア語中級2」:

上記の「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」の単位を修得した人のための読解授業です。

「ロシア語コミュニケーション1」「ロシア語コミュニケーション2」:

上記の「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」の単位を修得した人のための会話授業です。

(9) グローバル教育センターによる外国語学習プログラム他

グローバル教育センターでは、以下のような様々な外国語学習の機会を用意しています。正課の授業で基礎力を確保し、さらにそれを発展させるような機会を積極的に利用して、実力をアップさせていくことが望まれます。

(1) 課外講座

TOEIC® および IELTS™ の得点アップを希望する意欲ある学生を対象に、試験対策の課外講座等を有料で提供しています。

① TOEIC® L&R スコアアッププログラム

TOEIC® L&R テストのスコアアップを目指すプログラム「TOEIC700 点突破コース」と「TOEIC550 点突破コース」を開講します。詳細は 3S で確認してください。

② IELTS™ 対策講座

英語圏への留学の際に必要な IELTS™ のスコアアップをめざす IELTS™ 対策講座を企画しています。詳細は 3S で確認してください。

(2) 武蔵大学外国語学習褒賞・勸奨制度

対象の言語は、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語（日本語教育能力検定試験）等です。それぞれの基準や条件については、3S や武蔵大学ウェブサイトを確認してください。

(3) Musashi Communication Village (MCV) 1号館3階

MCV とは、英語をはじめとする外国語や外国の文化を楽しみながら学ぶための課外学習施設で、以下のプログラムやイベントを提供しています。外国語があふれる環境に身をおき、そこで実際に外国語を使うことによってコミュニケーション力をアップしてゆくことができます。「キャンパス内留学」の場として、積極的に活用してください。

① 英会話レッスン

少人数の英会話レッスンをおこなっています。

② フリートーク

外国人スタッフや学生スタッフといつでも気軽な会話を楽しめます。

③ 外国語学習カウンセリング

一人ひとりに合った学習方法などを相談することができます。

④ 異文化体験イベント

外国語力向上や異文化理解を目的としたイベントを開催しています。季節のイベント、本学教員がおこなう各国語のイベントや様々なテーマのイベント、学生スタッフ主催のイベント等を開催しています。

⑤ 講演会

国際理解・異文化交流・外国語学習 についての理解を深めるための講演会を年に 1～2 回、開催しています。

⑥ クッキングクラス（英語）

英会話をしながら料理をつくります。

⑦ アクティビティ（英語）

外国語を使いながら、楽しく遊べるアクティビティを外国人スタッフや学生スタッフが毎日実施しています。

⑧ 日本語チューター制度

日本語チューターが留学生の日本語学習をお手伝いします。

【注意】

MCV でおこなわれるプログラムは年度ごとに変ります。プログラムの詳細やスケジュールについては MCV に向いて確認してください。

(4) MITC / English JAM

MITC は、自由参加形式の英語集中合宿（春季、夏季）。合宿中は英語だけを使って進めるグループ学習が主体で、学生が計画・運営にあたります。英語の使い手になるための様々なトレーニングを経験できます。English JAM は、MITC と同じ趣旨の活動を土曜日の午後に学内でおこなうものです。問合せは、10 号館 2 階 English JAM Room まで。

3. 外国語現地実習

「現地実習」は海外でおこなう語学の集中授業です。イギリス、オーストラリア、フィリピン、ドイツ、フランス、中国、台湾、韓国において、集中授業として実施します。実施時期が春季と夏季の2種類あり、春季集中授業は次年度の前期科目、夏季集中授業は実施年度の後期科目となります。授業内容についてはシラバスを参照してください。

外国語現地実習の授業科目には、「外国語現地実習（英語）1」「外国語現地実習（英語）2」、「外国語現地実習（ドイツ語）1」「外国語現地実習（ドイツ語）2」、「外国語現地実習（フランス語）1」「外国語現地実習（フランス語）2」、「外国語現地実習（中国語）1」「外国語現地実習（中国語）2」、「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）1」「外国語現地実習（韓国・朝鮮語）2」があります。

（1）外国語現地実習の履修条件

これらの科目を履修するには、グローバル教育センターの定めた規則に従い、参加の手続をグローバル教育センターでとるとともに、履修の詳細、スケジュールに注意して履修登録をしなければなりません。規則を守れない場合、履修登録は完了せず、すでに登録していたとしても無効となりますので、十分注意してください。

（2）外国語現地実習の履修の詳細

下記（5）外国語現地実習のスケジュール（予定）を参照してください。各科目は履修取消し制度および履修登録科目制限の対象外とします。なお、履修期に休学、退学をすると、単位認定はおこなわれません。

（3）外国語現地実習の成績評価

成績評価は「P」を合格とし、単位2単位です。帰国後に提出するレポートと現地での学習成果に基づいて評価します。

（4）外国語現地実習のガイダンス

履修を希望する場合はグローバル教育センターのガイダンスに出席してください。

（5）外国語現地実習のスケジュール（予定）

① 夏季集中授業スケジュール

4月	グローバル教育センターによる募集ガイダンス
5～7月	参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス
6月	履修登録確認 (履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください。)
8～9月	現地実習 レポート提出
翌3月下旬	成績確認（4年次生については3月初旬）

② 春季集中授業スケジュール

単位認定を希望する4年次生の春季現地実習への参加は認められませんので、注意してください。

10月	グローバル教育センターによる募集ガイダンス
11～1月	参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス
2～3月	現地実習
4月	履修登録確認 (履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください。) レポート提出
9月	成績確認

5 日本・東アジア文化学科 専門科目 (共通専門科目)

人文学部では、所属学科の専門分野にとどまらず、幅広く深い知識を修得できるよう、人文学部他学科およびグローバル・スタディーズコース(英語)の専攻科目、学部横断型のプロジェクト科目、他学部の専門科目(全学対象専門科目)、留学・国際交流関連科目、学芸員課程関連科目を共通専門科目に指定し、定められた数の単位修得を求めています。科目によっては特別な履修条件が定められていますので、記されている注意事項を良く読んでください。

卒業に必要な共通専門科目単位	
日本・東アジア文化学科	24 単位

◆ 共通専門科目

◇ 学部共通科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考	
① 比較文化と異文化交流	OTH21010	課題解決型国際ゼミナルプロジェクト	2	2～4	欠講	演習	*	
	OTH11010	人文フィールドワーク入門	2	2～4	開講	演習	*	
	OTH11020	人文学部合同プロジェクト [中国語 A1]	2	1～4	開講	演習	GSC(中国/韓国・朝鮮語)プログラム所属学生のみ履修可能	
	OTH11020	人文学部合同プロジェクト [中国語 A2]	2	1～4	開講	演習		
	OTH11020	人文学部合同プロジェクト [中国語 B1]	2	1～4	開講	演習		
	OTH11020	人文学部合同プロジェクト [中国語 B2]	2	1～4	開講	演習		
	OTH11020	人文学部合同プロジェクト [韓国・朝鮮語 A1]	2	1～4	開講	演習		
	OTH11020	人文学部合同プロジェクト [韓国・朝鮮語 A2]	2	1～4	開講	演習		
	OTH11020	人文学部合同プロジェクト [韓国・朝鮮語 B1]	2	1～4	開講	演習		
	OTH11020	人文学部合同プロジェクト [韓国・朝鮮語 B2]	2	1～4	開講	演習		
	LIT02390	比較文学論 (日欧)	2	2～4	開講	講義		*
	HST02340	ヨーロッパ対外交流史	2	2～4	開講	講義		*
	ART02380	比較芸術論 1	2	2～4	開講	講義	*	
	ART02390	比較芸術論 2	2	2～4	開講	講義	*	
	ART02400	イメージ文化論	2	2～4	開講	講義	*	
	ART22410	比較建築空間論	2	2～4	欠講	講義	*	
	ART22420	音響文化論	2	2～4	開講	講義	*	
	PHI02370	比較思想 (日欧)	2	2～4	欠講	講義	*	
	EUS02350	テクノロジー文化論	2	2～4	開講	講義	*	
	BAS12010	観光文化論 (英米)1	2	2～4	開講	講義	*	
	BAS12020	観光文化論 (英米)2	2	2～4	開講	講義	*	
	EUS02360	観光文化論 (ヨーロッパ)	2	2～4	欠講	講義	*	
	GLS02310	越境文化論	2	2～4	開講	講義	*	
	OTH02040	文化財科学	2	1～4	開講	講義		
	② 欧米の文化 (言語・文学)	LNG12030	英語学概論 1	2	2～4	開講	講義	
		LNG12040	英語学概論 2	2	2～4	開講	講義	
LED12010		英語教育学 1	2	2～4	開講	講義		
LED12020		英語教育学 2	2	2～4	開講	講義		
LNG12010		異文化コミュニケーション論 1	2	2～4	開講	講義	*	
LNG12020		異文化コミュニケーション論 2	2	2～4	開講	講義	*	
LIT12030		イギリスの文学 1	2	2～4	開講	講義	*	
LIT12040		イギリスの文学 2	2	2～4	開講	講義	*	
LIT12010		アメリカの文学 1	2	2～4	開講	講義		
LIT12020		アメリカの文学 2	2	2～4	開講	講義		
LIT12050		英語圏文学入門 1	2	2～4	開講	講義	*	
LIT12060		英語圏文学入門 2	2	2～4	開講	講義	*	
LIT02350		ヨーロッパ古典文学	2	2～4	開講	講義	*	
LIT02360		ヨーロッパの文学 1	2	2～4	欠講	講義	*	
LIT02370		ヨーロッパの文学 2	2	2～4	開講	講義	*	
LNG02370		ギリシア語学 1	2	2～4	開講	講義	*	
LNG02380		ギリシア語学 2	2	2～4	開講	講義	*	
LNG02350		ラテン語学 1	2	2～4	欠講	講義	*	
LNG02360		ラテン語学 2	2	2～4	欠講	講義	*	
LNG02310		ドイツ語学 1	2	2～4	開講	講義	*	
LNG02320		ドイツ語学 2	2	2～4	欠講	講義	*	
LNG02330		フランス語学 1	2	2～4	開講	講義	*	
LNG02340		フランス語学 2	2	2～4	開講	講義	*	
LIT02310		ドイツ文学史 1	2	2～4	開講	講義	*	
LIT02320		ドイツ文学史 2	2	2～4	開講	講義	*	
LIT02330		フランス文学史 1	2	2～4	欠講	講義	*	
LIT02340		フランス文学史 2	2	2～4	欠講	講義	*	
LNG12050		Introduction to Applied Linguistics	2	2～4	開講	講義	*	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
③ 欧米の文化 (芸術・思想・宗教)	ART12010	英米の芸術 1	2	2～4	開講	講義	*
	ART12020	英米の芸術 2	2	2～4	開講	講義	*
	PHI12010	英米の思想 1	2	2～4	開講	講義	*
	PHI12020	英米の思想 2	2	2～4	開講	講義	*
	REL12010	英語圏の宗教と文化 1	2	2～4	開講	講義	*
	REL12020	英語圏の宗教と文化 2	2	2～4	開講	講義	*
	ART02310	ドイツ語圏の芸術	2	2～4	開講	講義	*
	ART02320	フランスの芸術 1	2	2～4	開講	講義	*
	ART02330	フランスの芸術 2	2	2～4	欠講	講義	*
	EUS02370	ヨーロッパの神話と伝説 1	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02380	ヨーロッパの神話と伝説 2	2	2～4	開講	講義	*
	ART02340	ヨーロッパの芸術	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02360	ヨーロッパ思想史	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02310	ドイツ語圏の思想と文化 1	2	2～4	欠講	講義	*
	PHI02320	ドイツ語圏の思想と文化 2	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02330	フランス思想史 1	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02340	フランス思想史 2	2	2～4	開講	講義	*
PHI02350	ヨーロッパの哲学	2	2～4	開講	講義	*	
④ 欧米の歴史と現在	HST12030	イギリス史 1	2	2～4	開講	講義	*
	HST12040	イギリス史 2	2	2～4	開講	講義	*
	HST12010	アメリカ史 1	2	2～4	開講	講義	*
	HST12020	アメリカ史 2	2	2～4	開講	講義	*
	BRS12010	イギリス文化論 1	2	2～4	開講	講義	*
	BRS12020	イギリス文化論 2	2	2～4	開講	講義	*
	AMS12010	アメリカ文化論 1	2	2～4	開講	講義	*
	AMS12020	アメリカ文化論 2	2	2～4	開講	講義	*
	HST02350	ギリシア・ローマ史	2	2～4	開講	講義	*
	HST02310	ドイツ中世史	2	2～4	欠講	講義	*
	HST02320	ドイツ近現代史	2	2～4	開講	講義	*
	HST02330	フランス史	2	2～4	開講	講義	*
	GLS02320	地中海文明論	2	2～4	開講	講義	*
	ARE02310	北欧文化論	2	2～4	開講	講義	*
	ARE02320	オーストリア・東欧文化論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02390	ヨーロッパ統合論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02400	ヨーロッパ都市論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02410	現代ヨーロッパ論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02430	ユダヤ文化論	2	2～4	開講	講義	*
	HST02360	ヨーロッパ形成史	2	2～4	開講	講義	*
HST02370	ヨーロッパ交流史	2	2～4	欠講	講義	*	
EUS02420	ルネサンス文化論	2	2～4	開講	講義	*	
FRS02310	フランス語圏の文化と社会	2	2～4	開講	講義	*	
⑤ 人間科学と環境	OTH02020	現代スポーツ論	2	1～4	開講	講義	
	OTH02070	スポーツ身体論	2	1～4	欠講	講義	*
	OTH02030	スポーツイメージ文化論	2	1～4	開講	講義	*
	OTH02050	保全生物学	2	1～4	開講	講義	
	OTH02060	動物社会学	2	1～4	開講	講義	
	ENV12310	地球環境シミュレーション	2	1～4	開講	講義	
	OTH02010	宇宙観の歴史	2	1～4	開講	講義	
	ENV02320	都市環境論	2	1～4	開講	講義	
	ENV02310	ヨーロッパ環境論	2	2～4	開講	講義	*
	THE31020	人間・環境ゼミナール A	2	3	開講	演習	
THE41050	人間・環境ゼミナール B	2	4	欠講	演習	*	
THE41060	人間・環境ゼミナール C	2	4	開講	演習	*	
MCC11010	人文情報リテラシー	2	1～4	開講	演習		
⑥ Global Studies	GLS22010	Introduction to Global Civics 1	2	2～4	開講	講義	
	GLS22020	Introduction to Global Civics 2	2	2～4	開講	講義	
	GLS22030	Introduction to Global Futures Studies 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22040	Introduction to Global Futures Studies 2	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22050	Transnational Issues 1	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS22060	Transnational Issues 2	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS22070	Political Communication 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22080	Political Communication 2	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22090	Global Literatures in English 1	2	2～4	開講	講義	
	GLS22100	Global Literatures in English 2	2	2～4	開講	講義	
	GLS22110	Introduction to Cultural Studies 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22120	Introduction to Cultural Studies 2	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22130	Migration and Literature 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22140	Migration and Literature 2	2	2～4	開講	講義	*

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
⑥ Global Studies	GLS22150	World Englishes 1	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS22160	World Englishes 2	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS22170	Japanese Cultural History in Global Perspective 1	2	2～4	開講	講義	
	GLS22180	Japanese Cultural History in Global Perspective 2	2	2～4	開講	講義	
	GLS22190	Contemporary Japanese Culture 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22200	Contemporary Japanese Culture 2	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22210	Topics in Japanese Culture A 1	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS22220	Topics in Japanese Culture A 2	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS22230	Topics in Japanese Culture B 1	2	2～4	開講	講義	*
GLS22240	Topics in Japanese Culture B 2	2	2～4	開講	講義	*	
GLS22250	Global Fieldwork	2	2～4	開講	演習	*	
⑦ プロジェクト科目	CRO21010	学部横断型課題解決プロジェクト	4	1～4	開講	演習	1年次は後期からとする。

◆ 全学対象専門科目

◇ 経済学部提供科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
国際経済・経営	ECO22040	アジア経済 1	2	3・4	欠講	講義	*
	ECO22050	アジア経済 2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22060	アメリカ経済 1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22070	アメリカ経済 2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22610	ヨーロッパ経済 1	2	3・4	欠講	講義	*
	ECO22620	ヨーロッパ経済 2	2	3・4	欠講	講義	*
	ECO32010	開発経済学 1	2	3・4	欠講	講義	*
	ECO32020	開発経済学 2	2	3・4	欠講	講義	*
	ECO22850	国際法 1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22860	国際法 2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22460	世界経済 1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22470	世界経済 2	2	3・4	開講	講義	
経済学と現代経済	ECO22260	ゲーム理論入門	2	3・4	開講	講義	
	ECO22200	経済政策 1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22210	経済政策 2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22290	憲法 1	2	3・4	開講	講義	
	ECO22300	憲法 2	2	3・4	開講	講義	
	ECO22270	現代政治経済学 1	2	3・4	開講	講義	
	ECO22280	現代政治経済学 2	2	3・4	開講	講義	
	ECO22100	行政法 1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22110	行政法 2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22370	産業組織論 1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22380	産業組織論 2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22390	社会福祉 1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22400	社会福祉 2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22410	情報経済論 1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22420	情報経済論 2	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22440	西洋経済史 1	2	3・4	開講	講義	
	ECO22450	西洋経済史 2	2	3・4	開講	講義	
ECO32030	日本経済史 1	2	3・4	開講	講義		
ECO32040	日本経済史 2	2	3・4	開講	講義		
ビジネス	MAN22080	イノベーション論	2	3・4	開講	講義	
	MAN12020	経営管理論 1	2	3・4	開講	講義	
	MAN22090	経営管理論 2	2	3・4	開講	講義	
	MAN22130	国際経営論	2	3・4	開講	講義	
	MAN22150	人事管理論 1	2	3・4	開講	講義	
	MAN22160	人事管理論 2	2	3・4	開講	講義	*
	MAN22170	組織論 1	2	3・4	開講	講義	
	MAN22180	組織論 2	2	3・4	開講	講義	
	MAN22140	多国籍企業論	2	3・4	欠講	講義	*

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
ビジネスデザイン	MIS22040	ITマネジメント	2	3・4	開講	講義	
	MIS22030	情報ネットワーク基礎	2	3・4	開講	講義	
	MIS22090	コンピュータシステム基礎	2	3・4	開講	講義	
	MIS22010	サービスマネジメント	2	3・4	開講	講義	
	MAN22240	ベンチャー企業論1	2	3・4	開講	講義	
	MAN22250	ベンチャー企業論2	2	3・4	開講	講義	*
	MIS12010	経営情報基礎	2	2～4	開講	講義	
	MIS12020	情報と職業	2	2～4	開講	講義	*
企業会計	ACC22070	企業法	2	3・4	開講	講義	
	ACC12050	企業法基礎	2	2～4	開講	講義	
	ACC12020	簿記演習1	2	2～4	開講	講義	
	ECO22590	民法1	2	3・4	開講	講義	*
	ECO22600	民法2	2	3・4	開講	講義	*
	ACC12040	会計学基礎	2	2～4	開講	講義	
金融	FIN22010	ファイナンス1	2	3・4	開講	講義	
	FIN22020	ファイナンス2	2	3・4	開講	講義	
	FIN22030	財務報告論1	2	3・4	開講	講義	
	FIN22040	財務報告論2	2	3・4	開講	講義	
	FIN22050	証券市場論1	2	3・4	開講	講義	
	FIN22060	証券市場論2	2	3・4	開講	講義	
	FIN32150	信託論	2	3・4	開講	講義	*
	FIN32400	保険・年金論	2	3・4	開講	講義	

◇ 社会学部提供科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
社会問題とエンパワーメント	ANT33010	開発人類学	2	3・4	開講	講義	*
	ANT33020	多文化共生の人類学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33010	家族社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33020	教育社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33030	ケアの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33040	ジェンダーの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33050	仕事の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33060	社会問題の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33070	人口問題の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33080	福祉社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33090	不平等の社会学	2	3・4	開講	講義	*
文化とアイデンティティ	ANT33030	家族と結婚の人類学	2	3・4	開講	講義	*
	ANT33040	宗教学人類学	2	3・4	開講	講義	*
	ANT33050	文化人類学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33100	アイデンティティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33110	カルチュラルスタディーズ	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33120	コミュニケーションの社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33130	消費社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33140	身体社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33150	セクシュアリティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33160	文化の社会学	2	3・4	欠講	講義	*
SOC33170	若者文化の社会学	2	3・4	開講	講義	*	
国際社会とネットワーク	ANT33060	観光人類学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33180	エスニシティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33190	環境社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33200	グローバル化の社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33210	社会運動論	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33220	政治社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33230	地域とコミュニティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33240	都市社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33250	ナショナリズムの社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33260	ネットワークの社会学	2	3・4	開講	講義	*
SOC33270	歴史社会学	2	3・4	開講	講義	*	
メディアコミュニケーション	MCC33010	映画研究	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33020	エレクトリックメディア論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33030	グローバル化とメディア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33040	デジタル社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	MCC33050	ポピュラー音楽論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33060	マスコミュニケーション論	2	3・4	開講	講義	*

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
メディアコミュニケーション	PSY33010	情報の社会心理学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33280	音楽文化の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33290	活字メディアの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33300	サブカルチャーの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33310	放送メディアの社会学	2	3・4	開講	講義	*
パブリックコミュニケーション	MCC33070	Web システム論	2	2～4	開講	講義	*
	MCC33080	エスニックメディア論	2	3・4	欠講	講義	*
	MCC33090	NPO・NGO とメディア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33100	コーポレート・コミュニケーション論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33110	広告論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33120	広報論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33130	スポーツとメディア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33140	電子コミュニケーション論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33150	メディアリテラシー論	2	3・4	開講	講義	*
	PSY33020	ファッションと流行の社会心理	2	3・4	開講	講義	*
PSY33030	ライフスタイルの心理学	2	3・4	開講	講義	*	
メディアプロデュース	MCC33160	映像アーカイブ論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33170	映像メディア制作論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33180	国際ニュース研究	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33190	CM 企画・制作論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33200	市民メディア論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33210	ジャーナリズム論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33220	出版メディア制作論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33230	地域メディア論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33240	知的財産・著作権論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33250	ドキュメンタリー研究	2	3・4	開講	講義	*
MCC33260	メディア法制と倫理	2	3・4	開講	講義	*	
社会学部特講	SOC35010	社会理論のフロンティア	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC35020	現代社会の諸相	2	3・4	開講	講義	*
	SOC35030	グローバル社会の諸相	2	3・4	開講	講義	*
	SOC35040	ホットトピック特別講義	2	3・4	開講	講義	*
	MCC35010	メディア研究のフロンティア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC35020	メディア社会の諸相	2	3・4	開講	講義	*
	MCC35030	文化研究のフロンティア	2	3・4	欠講	講義	*
	ISC35010	データサイエンス特別講義	2	3・4	開講	講義	*

◇ 留学・国際交流関連科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
EAS科目	AST02030	Business in East Asia	4	1～4	開講	講義	
	AST02060	Globalization and East Asian Economies	4	1～4	開講	講義	
	JPS02040	Japanese History	4	1～4	欠講	講義	*
	JPS02050	Japanese Culture and Society	4	1～4	欠講	講義	*
	JPS02060	Japanese Literature	4	1～4	開講	講義	*
	AST02040	East Asian Societies	4	1～4	開講	講義	*
	AST02050	East Asian Cultures and Histories	4	1～4	開講	講義	*
	JPS02080	Japan and International Society	4	1～4	開講	講義	
	JPS02090	Traditional Arts of Japan	2	1～4	開講	講義	*
	JPS02100	Modern Arts of Japan	2	1～4	開講	講義	*
	AST02080	East Asian Philosophies	4	1～4	欠講	講義	*
	AST02090	East Asian Literatures	4	1～4	開講	講義	*
	AST02100	Film Studies in East Asia	2	1～4	開講	講義	*
	AST02110	Media in East Asia	4	1～4	開講	講義	
	AST02120	Gender and Sexuality in East Asia	4	1～4	開講	講義	*
	AST02130	Ethnicity in East Asia	4	1～4	欠講	講義	*
	AST01010	Seminar in East Asian Studies	2	1～4	欠講	講義	*
	AST02140	East Asian Community in the 21st Century	4	1～4	開講	講義	
	AST02150	Global Issues in Southeast Asia	2	1～4	開講	講義	*
	AST02160	Environmental Issues in East Asia	4	1～4	開講	講義	
	AST02010	Global Issues in East Asia	2	1～4	欠講	講義	*
	JPS02010	Japanese Politics	2	1～4	開講	講義	*
	JPS02020	Japanese Economy	2	1～4	開講	講義	*
	AST02020	Technology and Society in East Asia	2	1～4	欠講	講義	*
	JPS02030	Entrepreneurship in Japan	2	1～4	開講	講義	*

第1章 授業科目の履修

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
留学準備講座	AMS02011	アメリカの社会と文化 1	2	1～4	開講	講義	
	AMS02012	アメリカの社会と文化 2	2	1～4	開講	講義	
	BRS02011	イギリスの社会と文化 1	2	1～4	開講	講義	
	BRS02012	イギリスの社会と文化 2	2	1～4	開講	講義	
	JPS02071	日本の社会と文化 1	2	1～4	開講	講義	*
	JPS02072	日本の社会と文化 2	2	1～4	開講	講義	*
	AST02071	東アジアの社会と文化 1	2	1～4	開講	講義	*
	AST02072	東アジアの社会と文化 2	2	1～4	開講	講義	*
	IRL02011	現代世界の諸問題 1	2	1～4	開講	講義	
	IRL02012	現代世界の諸問題 2	2	1～4	開講	講義	
	GES22310	ドイツ語圏の社会と文化 1	2	2～4	開講	講義	ドイツ語による授業
	GES22320	ドイツ語圏の社会と文化 2	2	2～4	開講	講義	ドイツ語による授業
	FRS22320	フランスの歴史と社会 1	2	2～4	開講	講義	フランス語による授業
	FRS22330	フランスの歴史と社会 2	2	2～4	開講	講義	フランス語による授業
	AST02171	中国の社会と文化 1	2	1～4	開講	講義	* 中国語による授業
	AST02172	中国の社会と文化 2	2	1～4	開講	講義	* 中国語による授業
	AST02181	韓国・朝鮮の社会と文化 1	2	1～4	欠講	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	AST02182	韓国・朝鮮の社会と文化 2	2	1～4	欠講	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	LED02011	インターカルチュラルスキル養成講座 1	2	1～4	開講	講義	
	LED02012	インターカルチュラルスキル養成講座 2	2	1～4	開講	講義	
	IRL02021	グローバル・リーダーシップ養成講座 1	2	1～4	開講	講義	
	IRL02022	グローバル・リーダーシップ養成講座 2	2	1～4	開講	講義	
	IRL01010	留学入門ゼミナール	2	1～4	開講	演習	
	IRL02030	多文化社会	2	1～4	開講	講義	*
	LED06011	グローバル・コミュニケーション 1	1	1～4	開講	実習	*
	LED06012	グローバル・コミュニケーション 2	1	1～4	開講	実習	*
	LED06041	留学のための英語講座 A1 (TOEFL)	1	1～4	開講	実習	
	LED06042	留学のための英語講座 A2 (TOEFL)	1	1～4	開講	実習	
	LED06051	留学のための英語講座 B1 (IELTS)	1	1～4	開講	実習	
	LED06052	留学のための英語講座 B2 (IELTS)	1	1～4	開講	実習	
	GES26410	ドイツ語論述実習 1	1	2～4	開講	実習	ドイツ語による授業
	GES26420	ドイツ語論述実習 2	1	2～4	開講	実習	ドイツ語による授業
	FRS26410	フランス語論述実習 1	1	2～4	開講	実習	フランス語による授業
FRS26420	フランス語論述実習 2	1	2～4	開講	実習	フランス語による授業	
LED06061	中国語論述実習 1	1	1～4	欠講	実習	* 中国語による授業	
LED06062	中国語論述実習 2	1	1～4	欠講	実習	* 中国語による授業	
LED06071	韓国・朝鮮語論述実習 1	1	1～4	開講	実習	* 韓国・朝鮮語による授業	
LED06072	韓国・朝鮮語論述実習 2	1	1～4	開講	実習	* 韓国・朝鮮語による授業	

* 留学準備講座で備考欄に記載がない科目は英語による授業となります。

* 「中国の社会と文化 1・2」「韓国・朝鮮の社会と文化 1・2」「中国語論述実習 1・2」「韓国・朝鮮語論述実習 1・2」は、日本・東アジア文化学科の学生は共通専門科目としてではなく専攻科目として履修します。

◇ 学芸員課程関連科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
学芸員課程関連科目	CTP02010	生涯学習概論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02020	博物館概論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02030	博物館経営論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02040	博物館資料論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02050	博物館資料保存論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02060	博物館展示論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02070	博物館情報・メディア論	2	1～4	開講	講義	

<履修上の注意>

* 「学芸員課程関連科目」の修得単位のうち、8単位まで共通専門科目として卒業に必要な単位に算入することができます。8単位を超えて修得した場合は自由科目扱いとなり、修得した単位を卒業に必要な単位の中に算入することはできません。

* 「留学・国際交流関連科目」の分野である「EAS科目」および「留学準備講座科目」の履修についての詳細は、第1章【3学科共通】3 留学・国際交流関連科目を参照してください。

6 日本・東アジア文化学科 専門科目（専攻科目）

1. 履修上の注意

本学の学生は、以下の条件に従って卒業時まで専攻科目を68単位修得しなければなりません。履修に際しては配当年次に注意してください。

- (1) 専攻基礎科目の必修科目「日本・東アジア文化基礎ゼミナール1」「日本・東アジア文化基礎ゼミナール2」を、必ず1年次に履修しなければなりません。
- (2) 専攻専門科目・選択科目の講義科目を、①「ことば・文学・思想」、②「芸術・身体・環境」、③「歴史・民俗・宗教」の3領域すべてにわたって、各領域4単位以上、合計36単位以上を修得しなければなりません。3領域以外の⑤「Global Studies」については8単位まで、⑥「教職の教科に関する概説科目」については4単位まで卒業に必要な単位36単位に算入できます。
- (3) 専攻専門科目・選択科目の演習・実習科目を、①「ことば・文学・思想」、②「芸術・身体・環境」、③「歴史・民俗・宗教」の3領域に④「スキル科目」を加えた4つのグループから、3つ以上のグループにわたって各グループ4単位以上、合計20単位以上を修得しなければなりません。4つのグループ以外の⑤「Global Studies」については4単位まで卒業に必要な単位20単位に算入できます。なお、1つの演習に履修登録できる人数には上限が定められています（専門ゼミナールは原則20名程度、卒業論文準備ゼミナールは原則15名程度まで）。各学生の演習への配属を決める方法は、年度当初のガイダンスで詳しく説明しますので、ガイダンスに必ず出席してください。
- (4) ④「スキル科目」の「卒業論文準備ゼミナール1」「卒業論文準備ゼミナール2」は、留学など特別な理由がある場合を除いて3年次に履修してください。
- (5) 専攻専門科目・必修科目の「卒業論文」および「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」は、必ず4年次に履修しなければなりません。ただしこれらの単位を卒業年次に修得したものの、卒業に必要な他の単位を修得できずに留年となった場合はその限りではありません。

2. 再履修と重複履修

◇ 再履修

履修した授業科目の成績評価が不合格となったために、再度同じ科目を履修することを再履修といいます。必修科目が不合格となった場合、必ず再履修し、単位を修得しなければ卒業することができませんので十分注意してください。再履修をする場合、クラス（授業科目）は事前に指定される場合があります。その場合には指定されたクラス（授業科目）を履修しなければなりません。他の必修科目と重なっているような場合には教務課に申し出て指示を受けてください。

◇ 重複履修

単位がすでに認定された授業科目を再び履修することを重複履修といいます。重複履修した場合、2回目以降に修得した単位は、原則として卒業要件に含まれません。ただし、専門科目（演習・実習）に関しては、「卒業論文準備ゼミナール1」「卒業論文準備ゼミナール2」を除き、同じ科目を重複して履修することができます。重複履修をした場合、2回目以降の修得単位も卒業単位に算入できます。

3. 年次別履修案内

◆ 1年次生のための履修案内

- ① 日本・東アジア文化学科の1年次生は、「日本・東アジア文化基礎ゼミナール1」、「日本・東アジア文化基礎ゼミナール2」を必ず履修しなければなりません。なお、1年次に単位を修得できなかった場合には2年次に再履修しなければなりません。

- ② 1年次生が選択履修できる科目は、総合科目の一部（1年次以上に担当されている科目）、共通専門科目の一部（1年次以上に担当されている科目）、専門科目のうちの講義科目（1年次以上に担当されている科目）と演習・実習科目の一部があります。演習・実習科目のなかで1年生が履修できるのは、「日本文化情報演習1」「日本文化情報演習2」「書道演習1」「書道演習2」「くずし字演習1」「くずし字演習2」「伝統文化実技演習1」「伝統文化実技演習2」「中国語応用1」「中国語応用2」「韓国・朝鮮語応用1」「韓国・朝鮮語応用2」です。①であげた必修科目や外国語科目、総合科目の履修に支障がでないかぎり、積極的に履修してかまいません。

◆ 2年次生のための履修案内

演習・実習科目を8単位程度を目安に修得してください。

◆ 3年次生のための履修案内

- ① 3年次に海外留学をするなど特別な理由がある場合を除き、「卒業論文準備ゼミナール1」「卒業論文準備ゼミナール2」をできる限り履修してください。
- ② 3年次終了時点で「卒業論文」、「卒業論文ゼミナール1」および「卒業論文ゼミナール2」の履修資格がない場合は、4年間では卒業できません。

◆ 4年次生のための履修案内

- ① 必修科目として「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を履修してください。
- ② 「卒業論文」を指定の期日までに提出してください。

日本・東アジア文化学科卒業までの4年間

各項目の詳細（様式、配付、提出日、提出方法等）は3Sで掲示します。また、各ガイダンスにて指示します。

1年次

- 4月 英語クラス分け試験
- 4月 ガイダンス
- 6月 2年次選択外国語希望届提出
- 12月 TOEIC® L&R IP テスト（学内試験）
- 1月 コース選択希望届提出

2年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出
- 11月 卒業論文準備ゼミナールガイダンス
- 12月 TOEIC® L&R IP テスト（学内試験）
- 1月 卒業論文準備ゼミナール希望届提出

3年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出
- 1月 卒業論文報告会への参加
- 1月 卒業論文・卒業論文ゼミナール1・2登録届
- 3月 卒業論文履修有資格者発表

4年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 指導教授届提出（卒業論文指導教授が未定の者および卒業論文指導教授が学科外の教員の場合のみ）
- 6月 卒業論文題目届（6月）提出
- 11月 卒業論文題目届（11月）提出
- 12月 卒業論文提出
- 1月 卒業論文口述試験
- 1月 卒業論文報告会
- 3月 卒業資格充足者発表
- 3月 卒業式

◆ 専攻基礎科目

◇ 必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
OTH11611	日本・東アジア文化基礎ゼミナール1	2	1	開講	演習	
OTH11622	日本・東アジア文化基礎ゼミナール2	2	1	開講	演習	

◆ 専攻専門科目

◇ 必修科目

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
THE41611	卒業論文ゼミナール1	2	4	開講	演習	集中
THE41612	卒業論文ゼミナール2	2	4	開講	演習	集中
THE41610	卒業論文	4	4	開講	演習	集中

◇ 選択科目

[専門科目 (講義科目、演習・実習科目)]

分野	科目群	講義						演習・実習						
		ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	備考	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	備考	
① ことば・文学・思想	日本文化系科目	LNG02610	日本の言語文化1	2	1~4	開講		LNG21610	日本の言語文化演習1	2	2~4	欠講	*	
		LNG02620	日本の言語文化2	2	1~4	開講		LNG21620	日本の言語文化演習2	2	2~4	欠講	*	
		LNG02630	日本語の表現1	2	1~4	欠講	*	LNG21630	日本語の表現演習1	2	2~4	開講	*	
		LNG02640	日本語の表現2	2	1~4	欠講	*	LNG21640	日本語の表現演習2	2	2~4	開講	*	
		LNG02650	日本の地域言語1	2	1~4	開講	*	LNG21650	日本の地域言語演習1	2	2~4	欠講	*	
		LNG02660	日本の地域言語2	2	1~4	開講	*	LNG21660	日本の地域言語演習2	2	2~4	欠講	*	
		LED02610	日本語の教授法1	2	1~4	開講		LED21610	日本語の教授法演習1	2	2~4	開講		
		LED02620	日本語の教授法2	2	1~4	開講		LED21620	日本語の教授法演習2	2	2~4	開講		
		LIT02610	日本古典文学史1	2	1~4	開講								
		LIT02620	日本古典文学史2	2	1~4	開講								
		LIT02630	日本近現代文学史1	2	1~4	開講								
		LIT02640	日本近現代文学史2	2	1~4	開講								
		LIT02650	日本古典文学1	2	1~4	開講		LIT21610	日本古典文学演習(古代)1	2	2~4	開講		
		LIT02660	日本古典文学2	2	1~4	開講		LIT21620	日本古典文学演習(古代)2	2	2~4	開講		
								LIT21630	日本古典文学演習(中世)1	2	2~4	開講		
								LIT21640	日本古典文学演習(中世)2	2	2~4	開講		
								LIT21650	日本古典文学演習(近世)1	2	2~4	開講		
								LIT21660	日本古典文学演習(近世)2	2	2~4	開講		
								LIT21670	日本近代文学演習1	2	2~4	欠講	*	
								LIT21680	日本近代文学演習2	2	2~4	欠講	*	
							LIT21690	日本現代文学演習1	2	2~4	開講			
							LIT21700	日本現代文学演習2	2	2~4	開講			
							LIT21710	日本幻想文学演習1	2	2~4	開講			
							LIT21720	日本幻想文学演習2	2	2~4	開講			
							PHI21610	日本思想史演習1	2	2~4	開講			
							PHI21620	日本思想史演習2	2	2~4	開講			
							PHI21630	日本の思想演習1	2	2~4	開講			
							PHI21640	日本の思想演習2	2	2~4	開講			
		東アジア文化系科目	PHI02650	中国思想史1	2	1~4	開講	*	PHI21650	中国思想史演習1	2	2~4	開講	
			PHI02660	中国思想史2	2	1~4	開講	*	PHI21660	中国思想史演習2	2	2~4	開講	
			LIT02710	中国文学史1	2	1~4	開講	*	LIT21730	中国文学演習1	2	2~4	開講	*
			LIT02720	中国文学史2	2	1~4	開講	*	LIT21740	中国文学演習2	2	2~4	開講	*
			LIT02730	朝鮮文学史1	2	1~4	欠講	*	LIT21750	朝鮮文学演習1	2	2~4	欠講	*
			LIT02740	朝鮮文学史2	2	1~4	欠講	*	LIT21760	朝鮮文学演習2	2	2~4	欠講	*
		文化比較・交流系科目						LNG21670	東アジアの漢字文化演習1	2	2~4	開講	*	
								LNG21680	東アジアの漢字文化演習2	2	2~4	開講	*	
			PHI02670	比較思想(東アジア)1	2	1~4	欠講	*	PHI21670	比較思想演習(東アジア)1	2	2~4	開講	*
			PHI02680	比較思想(東アジア)2	2	1~4	欠講	*	PHI21680	比較思想演習(東アジア)2	2	2~4	開講	*

第1章 授業科目の履修

分野	科目群	講義						演習・実習							
		ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	備考	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	備考		
② 芸術・身体・環境	日本文化系科目	JPS02610	日本文化論 1	2	1~4	開講									
		JPS02620	日本文化論 2	2	1~4	開講									
		ARE02610	環日本海文化論 1	2	1~4	欠講									
		ARE02620	環日本海文化論 2	2	1~4	欠講									
		HST02610	日本服飾文化史 1	2	1~4	欠講		HST21610	日本服飾文化史演習 1	2	2~4	開講			
		HST02620	日本服飾文化史 2	2	1~4	欠講		HST21620	日本服飾文化史演習 2	2	2~4	開講			
		HST02630	日本建築史 1	2	1~4	開講									
		HST02640	日本建築史 2	2	1~4	開講									
		HST02650	日本環境文化史 1	2	1~4	開講	*	HST21630	日本環境文化史演習 1	2	2~4	開講	*		
		HST02660	日本環境文化史 2	2	1~4	開講	*	HST21640	日本環境文化史演習 2	2	2~4	開講	*		
		HST02670	日本美術工芸史 1	2	1~4	欠講		HST21650	日本美術工芸史演習 1	2	2~4	開講			
		HST02680	日本美術工芸史 2	2	1~4	欠講		HST21660	日本美術工芸史演習 2	2	2~4	開講			
		JPS02630	日本の身体文化 1	2	1~4	開講	*	JPS21610	日本の身体文化演習 1	2	2~4	開講	*		
		JPS02640	日本の身体文化 2	2	1~4	開講	*	JPS21620	日本の身体文化演習 2	2	2~4	開講	*		
	HST02690	日本芸能史 1	2	1~4	欠講	*	HST21670	日本芸能史演習 1	2	2~4	欠講	*			
	HST02700	日本芸能史 2	2	1~4	欠講	*	HST21680	日本芸能史演習 2	2	2~4	欠講	*			
	東アジア文化系科目	CHS02610	現代中国論 1	2	1~4	開講									
		CHS02620	現代中国論 2	2	1~4	開講									
		KOS02710	現代韓国論 1	2	1~4	開講									
		KOS02720	現代韓国論 2	2	1~4	開講									
		AST02610	琉球文化論 1	2	1~4	開講		AST21610	琉球文化演習 1	2	2~4	開講			
		AST02620	琉球文化論 2	2	1~4	開講		AST21620	琉球文化演習 2	2	2~4	開講			
		KOS02730	朝鮮文化論 1	2	1~4	開講	*	KOS21610	朝鮮文化演習 1	2	2~4	開講	*		
		KOS02740	朝鮮文化論 2	2	1~4	開講	*	KOS21620	朝鮮文化演習 2	2	2~4	開講	*		
		HST02710	東アジアの美術工芸史 1	2	1~4	開講									
		HST02720	東アジアの美術工芸史 2	2	1~4	開講									
		AST02630	東アジアの地理と環境 1	2	1~4	欠講	*								
AST02640		東アジアの地理と環境 2	2	1~4	欠講	*									
CHS02630		中国の民族と社会 1	2	1~4	欠講		CHS21610	中国の民族と社会演習 1	2	2~4	欠講				
CHS02640	中国の民族と社会 2	2	1~4	開講		CHS21620	中国の民族と社会演習 2	2	2~4	開講					
③ 歴史・民俗・宗教	日本文化系科目	HST02730	日本古代史 1	2	1~4	欠講	*	HST21690	日本古代史演習 1	2	2~4	開講	*		
		HST02740	日本古代史 2	2	1~4	欠講	*	HST21700	日本古代史演習 2	2	2~4	開講	*		
		HST02750	日本中世史 1	2	1~4	開講	*	HST21710	日本中世史演習 1	2	2~4	開講			
		HST02760	日本中世史 2	2	1~4	開講	*	HST21720	日本中世史演習 2	2	2~4	開講			
		HST02770	日本近世史 1	2	1~4	開講		HST21730	日本近世史演習 1	2	2~4	開講	*		
		HST02780	日本近世史 2	2	1~4	開講		HST21740	日本近世史演習 2	2	2~4	開講	*		
		HST02790	日本近現代史 1	2	1~4	開講	*	HST21750	日本近現代史演習 1	2	2~4	欠講	*		
		HST02800	日本近現代史 2	2	1~4	開講	*	HST21760	日本近現代史演習 2	2	2~4	欠講	*		
		HST02810	日本考古学 1	2	1~4	欠講	*	HST21770	日本考古学演習 1	2	2~4	欠講	*		
		HST02820	日本考古学 2	2	1~4	欠講	*	HST21780	日本考古学演習 2	2	2~4	欠講	*		
		FOL02610	日本民俗史 1	2	1~4	開講		FOL21610	日本民俗史演習 1	2	2~4	開講	*		
		FOL02620	日本民俗史 2	2	1~4	開講		FOL21620	日本民俗史演習 2	2	2~4	開講	*		
		HST02830	日本生活文化史 1	2	1~4	開講		HST21790	日本生活文化史演習 1	2	2~4	開講			
		HST02840	日本生活文化史 2	2	1~4	開講		HST21800	日本生活文化史演習 2	2	2~4	開講			
		REL02610	日本の仏教 1	2	1~4	開講									
		REL02620	日本の仏教 2	2	1~4	開講									
								HST21810	日本古文書学演習 1	2	2~4	開講	*		
							HST21820	日本古文書学演習 2	2	2~4	開講	*			
	東アジア文化系科目	CHS02650	中国史 1	2	1~4	開講	*	CHS21630	中国史演習 1	2	2~4	開講			
		CHS02660	中国史 2	2	1~4	開講	*	CHS21640	中国史演習 2	2	2~4	開講			
		KOS02750	朝鮮史 1	2	1~4	欠講	*	KOS21630	朝鮮史演習 1	2	2~4	開講	*		
		KOS02760	朝鮮史 2	2	1~4	欠講	*	KOS21640	朝鮮史演習 2	2	2~4	開講	*		
		比較・交流文化系科目	ANT02610	文化人類学概論 1	2	1~4	欠講								
			ANT02620	文化人類学概論 2	2	1~4	開講								
			FOL02630	民俗宗教論 1	2	1~4	開講	*	FOL21630	民俗宗教演習 1	2	2~4	開講		
			FOL02640	民俗宗教論 2	2	1~4	開講	*	FOL21640	民俗宗教演習 2	2	2~4	開講		
			REL02630	東アジアの宗教 1	2	1~4	開講								
REL02640			東アジアの宗教 2	2	1~4	開講									
FOL02650	比較生活文化論 1		2	1~4	欠講		FOL21650	比較生活文化演習 1	2	2~4	開講				
FOL02660	比較生活文化論 2		2	1~4	欠講		FOL21660	比較生活文化演習 2	2	2~4	開講				
HST02850	日中交流史 1		2	1~4	開講	*	HST21830	日中交流史演習 1	2	2~4	開講	*			
HST02860	日中交流史 2		2	1~4	開講	*	HST21840	日中交流史演習 2	2	2~4	開講	*			
HST02870	日朝交流史 1	2	1~4	開講	*	HST21850	日朝交流史演習 1	2	2~4	欠講	*				
HST02880	日朝交流史 2	2	1~4	開講	*	HST21860	日朝交流史演習 2	2	2~4	欠講	*				
IAS02610	イスラーム文化論 1	2	1~4	開講		IAS21610	イスラーム文化演習 1	2	2~4	開講					
IAS02620	イスラーム文化論 2	2	1~4	欠講		IAS21620	イスラーム文化演習 2	2	2~4	開講					

第1章 授業科目の履修

分野	科目群	講義						演習・実習					
		ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	備考	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	備考
④ スキル科目								THE31611	卒業論文準備ゼミナール1	2	3	開講	
								THE31612	卒業論文準備ゼミナール2	2	3	開講	
								JPS21630	日本文化情報演習1	2	1~4	開講	
								JPS21640	日本文化情報演習2	2	1~4	開講	
								JPS21650	書道演習1	2	1~4	開講	
								JPS21660	書道演習2	2	1~4	開講	
								JPS21670	くずし字入門演習1	2	1~4	開講	
								JPS21680	くずし字入門演習2	2	1~4	開講	
								LNG26090	ジャパノロジー・イングリッシュ1	1	2~4	開講	*
								LNG26100	ジャパノロジー・イングリッシュ2	1	2~4	開講	*
								CHS26610	中国語応用1	1	1~4	開講	
								CHS26620	中国語応用2	1	1~4	開講	
								KOS26610	韓国・朝鮮語応用1	1	1~4	開講	
								KOS26620	韓国・朝鮮語応用2	1	1~4	開講	
								JPS21690	伝統文化実技演習1	2	1~4	開講	*
								JPS21700	伝統文化実技演習2	2	1~4	開講	*
⑤ Global Studies		AST02171	中国の社会と文化1	2	1~4	開講	*						
		AST02172	中国の社会と文化2	2	1~4	開講	*						
		AST02181	韓国・朝鮮の社会と文化1	2	1~4	欠講	*						
		AST02182	韓国・朝鮮の社会と文化2	2	1~4	欠講	*						
								LED06061	中国語論述実習1	1	1~4	欠講	*
								LED06062	中国語論述実習2	1	1~4	欠講	*
								LED06071	韓国・朝鮮語論述実習1	1	1~4	開講	*
							LED06072	韓国・朝鮮語論述実習2	1	1~4	開講	*	
⑥ 教職の教科に関する概説科目		TCP12010	日本史概説	2	1~4	開講							
		TCP12020	外国史概説	2	1~4	開講							
		TCP12030	法律学概説(国際法を含む)	2	1~4	開講							
		TCP12040	政治学概説(国際政治を含む)	2	1~4	開講	*						
		TCP12050	経済学概説(国際経済を含む)	2	1~4	開講	*						
		TCP12060	社会学概説	2	1~4	開講							
		TCP12070	地誌概説	2	1~4	開講							
		TCP12080	人文地理学概説	2	1~4	開講							
		TCP12090	自然地理学概説	2	1~4	開講							
		TCP12100	倫理学概説	2	1~4	開講							
		TCP12110	宗教学概説	2	1~4	開講							
		TCP12120	哲学概説	2	1~4	開講							
		TCP12130	心理学概説	2	1~4	開講							

※ 左右に並んでいる講義と演習は、セットで履修を推奨している場合があります。

※ 日本・東アジア文化学科では、次年度の履修計画を立てる際の一助となるように、自分の興味・関心に基づいてコース選択をしてもらっています。なおどのコースを選択した場合でも、表の科目群を超えて自由に講義科目や演習科目を履修できます。

※ 「中国の社会と文化1・2」「中国語論述実習1・2」は中国語で、「韓国・朝鮮の社会と文化1・2」「韓国・朝鮮語論述実習1・2」は韓国語で行われる授業です。103頁にも記載があるとおり、日本・東アジア文化学科の学生は共通専門科目としてではなく専攻科目として履修します。

7 日本・東アジア文化学科 卒業論文履修資格

「卒業論文」、「卒業論文ゼミナール1」および「卒業論文ゼミナール2」は、以下の条件を満たさない場合は、履修することができません。

- ① 大学に3年以上在学していること。
- ② 1年次必修外国語（英語）2単位および選択外国語Ⅰ（1）4単位の計6単位すべてと、2年次必修外国語（英語）2単位および選択外国語Ⅰ（2）4単位の計6単位のうちの4単位を修得していること。
- ③ 専攻基礎科目「日本・東アジア文化基礎ゼミナール1」「日本・東アジア文化基礎ゼミナール2」の計4単位を修得していること。

【注意】

4年間で卒業するためには、留学時の修得単位を武蔵大学の単位に読み替えたものも含め、3年次終了までに76単位以上修得している必要があります。

卒業論文および卒業論文準備ゼミナール、卒業論文ゼミナール履修に関する注意

1. 日本・東アジア文化学科における卒業論文

武蔵大学人文学部日本・東アジア文化学科では、卒業までに400字50枚以上の卒業論文を書いて提出し、口述試験に合格しなければなりません。ぜひ卒業論文を書く楽しさや喜びを味わい、難関を突破して卒業していただきたいと思います。

400字50枚という分量は、パソコンでいえばA4で15ページを超えるものです。これだけの分量の論文は一朝一夕には書けません。それなりの準備が必要です。その準備を1年生の時から演習（ゼミナール）でやっていく心がけてください。演習（ゼミナール）の担当教員も、みなさんの論文作成に向けての意欲を積極的に受けとめて、しっかりと指導していきます。

以下は、3年生の「卒業論文準備ゼミナール」、および4年生の「卒業論文ゼミナール」「卒業論文」科目の履修に関する注意事項ですが、1年生や2年生のみなさんも、ぜひこれを熟読し、大学での学びとはどのようなものか、そのために自分は何をするべきか、よく考えて、日頃の学修に生かすようにしてください。

2. 卒業論文の指導について

卒業論文の指導は、3年次に履修する「卒業論文準備ゼミナール1」「卒業論文準備ゼミナール2」および4年次に履修する「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」でおこないます。3年次生は、前年度の11月におこなわれる卒業論文準備ゼミナールガイダンスで説明を聞いた上で、その時点で希望している日本・東アジア文化学科専任教員の「卒業論文準備ゼミナール1」「卒業論文準備ゼミナール2」を履修しなければなりません（海外に留学するなど特別な事情がある学生を除く）。

4年次生は本学科の専任教員が担当する「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を原則として履修しなければなりません。そして最後に卒業論文を提出し、口述試験を受験します。「卒業論文」の成績は、論文そのもののレベルと、口述試験での出来を総合してつけられます。卒業論文の執筆に際しては、それぞれのゼミナール担当者の指示・指導に従ってください。このように「卒業論文」と4つのゼミナール科目における指導は一体となっています。この点を各自しっかりと認識して卒業論文の執筆に臨んでください。

【注意】

- ◇ 基礎教育センター・教職課程に属する専任教員を卒業論文指導教授とする場合の要件については、履修要項の162、163頁を参照してください。
- ◇ 協定留学または認定留学により4年次前期に不在となる場合は、特例として、4年次後期に「卒業論文ゼミナール1」「卒業論文ゼミナール2」を同時履修することを認めます（4年次に1年間不在となる場合は、翌年度前期の同時履修を認めます）。希望する場合は、留学前に指導教授に相談の上、了承を得てください。また、帰国後は速やかに教務課にて手続きを行ってください。

3. 卒業論文の提出

卒業論文は、必ず3部（原本1部、副本1部、本人保管用1部）作成し、そのうち2部（原本と副本）を決められた期日の時間までに定められた提出場所に提出します。提出期限は公平性の確保のため厳格に定められており、原則としてそれ以降は受理できないので厳守してください。

【注意】

- ◇ 本人保管用は本人が所持し、卒業論文口述試験の際に持参してください。
- ◇ カラーの図版を使う場合は、正本だけでなく副本もカラーにしてください。
- ◇ 診断書や証明書等を提出しうる学校感染症等の急病、不慮の事故、不測の事態などによって締め切り日時までの本人による提出が困難な場合、または提出できなかった場合には、速やかに教務課に申し出て、指示を受けてください。考慮すべき特別の理由があると学部が認めた場合、代理人による提出や締め切り日後の提出を認めることがあります。

4. 口述試験（1月中旬）

口述試験の日程は12月の論文提出後に決定し、12月中に3Sで掲示します。試験自体は1月中旬におこないます。口述試験は教員2名（主査1名、副査1名）と学生1名の面接形式でおこなわれます。時間は30分程度です。本人保管用の論文を口述試験までにもう一度熟読して、どのような質問にも答えられるようにしてください。また口述試験の時には、本人保管用の論文はもちろんのこと、論文を執筆するために使用した資料、文献、ノート、カードなどを持ち込んでも構いません。万全の態勢で臨んでください。

5. 卒業論文の評価基準

卒業論文は、次の6つの基準を中心に審査されます。いずれも論文を書くためには必要な条件で、それぞれの演習（ゼミナール）や卒業論文関連の授業では、これらの基準を満たした論文を書くためのトレーニングがおこなわれます。

〔基準〕

- (1) 論理性、説得力…明確な論理構成がとれているか。
- (2) 文章力、表現力…論文にふさわしい文体で書かれているか。
- (3) 調査力、分析力…一次資料、二次資料ないし参考文献をきちんと分けて使用しているか。資料が充実しているか。
- (4) 形式…引用や註などをきちんと明示しているか。
- (5) 先行研究の検討…そのテーマに関する研究史を検討し、それをきちんと理解し活用しているか。
- (6) 独自性、着想性…どれだけ新しいことをやったか。

6. 卒業論文報告会（1月下旬）

卒業論文報告会では、すぐれた卒業論文あるいはユニークな卒業論文について研究発表がおこなわれます。また「卒業論文準備ゼミナール2」を履修している3年次の学生は、かならず出席するようにしてください。1、2年生のみなさんももちろん歓迎します。ふるってご参加ください。

7. 卒業論文の体裁、書き方、作成の要領など

卒業論文の執筆に関する詳細については、毎年春に3Sに掲示する「卒業論文作成のてびき」の方を参照してください。どのような先生のもとでどのような論文が書かれているか、本文の書き方、表紙のサンプルなど、みなさんが疑問に思うことのすべてが、このてびきに掲載されています。このマニュアルは日本・東アジア文化学科のすべての学生がダウンロードできるようになっています。各種ガイダンスでも使用しますので、みなさんぜひこのマニュアルを『履修要項』と一緒に保管するようにしてください。

8 グローバル・スタディーズコース（中国語／韓国・朝鮮語）

日本・東アジア文化学科には、中国語／韓国・朝鮮語の力を十分に伸ばし、留学の実現や検定試験合格を目指す人のために、グローバル・スタディーズコース（GSC）という特別コースが用意されています。日本・東アジア文化学科のカリキュラムのもとで学びながら、中国語／韓国・朝鮮語の学習にとくに力を注ぎたい人を対象とした特訓プログラムです。

【特色】

- ① 集中的な特訓プログラムとして、高度なレベルを目標に定めた学修内容を提供します。
- ② コース所属期間は半期単位です。
- ③ コース指導料が必要です(学期あたり2万円)。ただし長期留学中はコースに所属していても支払いが免除されます。
- ④ 一学年あたりの所属学生数の目安は各コース10名程度です。
- ⑤ 個別指導形式の授業外の学習サポート（コーチング）を提供します（授業の補習、学修のペースメイキング、検定試験受験準備、短期留学や長期留学についての個別相談など）。
- ⑥ 短期語学研修（外国語現地実習（中国語）、外国語現地実習（韓国・朝鮮語））の参加を強く推奨します。一定の要件を満たしているGSC（中国語）およびGSC（韓国・朝鮮語）の所属学生が現地実習に参加する際には、実習費用の特別補助を受けることができます。

【特別補助（奨学金）受給の要件】

漢語水平考試（HSK）3級／中国語検定4級／華語文能力測検（TOCFL）Level 2／韓国語能力試験2級／ハングル能力検定試験4級に合格していることを証明する書類の写し、もしくは、奨学生選考委員が前述各級相当の力があることを認め、作成した推薦書（様式あり）を所定の日までに学生生活課に提出していること。なお、入学前の既習者のうち学習歴の長い者については、選考委員面談を経て、漢語水平考試（HSK）4級／中国語検定3級／華語文能力測検（TOCFL）Level 3／韓国語能力試験3級／ハングル能力検定試験3級レベルに達していることを求める場合がある（提出すべき書類は同じ）。

- ⑦ コース修了要件を満たし、かつ、定められた条件をすべてを満たした場合は、所定の手続きに基づく選考を経て、成績優秀者として卒業時に褒賞が与えられます。

【注意】

- * コース所属について：1年次生でグローバル・スタディーズコース（中国語／韓国・朝鮮語）への所属が認められた者は、所属コースが「グローバル・スタディーズコース（中国語）または「グローバル・スタディーズコース（韓国・朝鮮語）」となります。2年次生以上については、「日本文化コース」、「東アジア文化コース」、「比較・交流文化コース」のいずれかに属しながら、同時に本コースにも所属する、二重所属のかたちをとります。
- * 学期ごとにコース登録が必要です。毎年度学期ごとにコース所属希望届を提出し、コース登録をおこないます。
- * コースへの所属は、原則として本人の希望に基づきます。ただし希望者が多い場合は選考をおこなうことがあります。
- * 特定の入学試験種別の合格者については、本プログラムでの学修を希望する場合、選考を受けることなく所属が認められます。
- * 協定留学への申請に際して、本コースへの所属が義務づけられているわけではありません。
- * 事情により協定留学を希望しない学生にも本コースの門戸は開かれています。
- * 本コースとは別に、中国語／韓国・朝鮮語と中国／韓国・朝鮮文化を深く学びたい人向けに「GSC（中国語）アソシエイトプログラム」、「GSC（韓国・朝鮮語）アソシエイトプログラム」が、人文学部学修プログラム（116頁）の一つとして提供されています。

1. グローバル・スタディーズコース（中国語）

(1) コースの概要

① 目標：

[1] 中国語圏の大学に（長期または短期）留学を目指します。現地の学生と対等に議論をおこない、また留学先の授業において十分知識を得られるだけの語学能力を身につけます。

[2] 中国語既修者については、そのレベルをさらに向上させ、現地の大学院に修学できるレベルの語学能力や教養を身につけます。

[3] 中国語検定試験に挑戦する場合は、3年次終了時で中国語検定試験（中検）2級以上、漢語水平考試（HSK）5級以上、華語文能力測検（TOCFL）Level 4以上の獲得を目指します。

(2) コースの修了要件

以下の要件を満たすと、卒業時にコース修了証が授与されます。

[1] 卒業要件を満たし、かつ卒業の資格を得た学期にコースに所属していること。

[2] 以下に定める「GSC（中国語）基幹科目」から8単位以上修得すること。

[3] 以下に定める「GSC（中国語）関連学科科目」から6単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分
GSC（中国語） 基幹科目	8	人文学部合同プロジェクト（中国語 A1）	2	共通専門科目
		人文学部合同プロジェクト（中国語 A2）	2	共通専門科目
		人文学部合同プロジェクト（中国語 B1）	2	共通専門科目
		人文学部合同プロジェクト（中国語 B2）	2	共通専門科目
GSC（中国語） 関連学科科目	6	中国の社会と文化 1	2	専門科目（GSC 科目）（中国語による授業）
		中国の社会と文化 2	2	専門科目（GSC 科目）（中国語による授業）
		中国語論述実習 1	1	専門科目（GSC 科目）（中国語による授業）
		中国語論述実習 2	1	専門科目（GSC 科目）（中国語による授業）

[4] 4年次に「卒業論文ゼミナール 1」（2単位）「卒業論文ゼミナール 2」（2単位）において、以下の1・2いずれかの条件を満たした卒業論文を執筆し、「卒業論文」（4単位）と合わせ8単位を修得すること。

1 中国語で卒業論文を執筆する。

2 中国語文献を研究対象または参考図書とした卒業論文を日本語で執筆し、中国語のレジュメを付す。

[5] 3月卒業の場合は1月末までに、9月卒業の場合は7月末までに、中国語検定試験（中検）2級以上または漢語水平考試（HSK）5級以上または華語文能力測検（TOCFL）Level 4以上を獲得したことを示す試験実施機関発行の証明書を教務課に提出すること。

【注意】

① GSC（中国語）基幹科目「人文学部合同プロジェクト（中国語）」について

* この科目は、本コースの所属学生だけが履修可能な、中国語の個別指導の授業です。受講生のそれぞれのレベルに合わせた指導をおこないます。またコーチングによって、勉強の仕方、ペースメイキング、語学試験受験準備、留学準備などについて、個別相談をおこないます。

* 修得した単位は共通専門科目の単位として卒業に必要な単位に算入できます。

* 複数年度にまたがった重複履修が可能です。2回目以降に修得した単位も、卒業およびコース修了に必要な単位として算入できます。またコース修了要件は8単位ですが、学修の必要に合わせ最大で16単位まで修得できます。

* GSC（中国語）基幹科目にはAとBがあります。この二つは学習内容が異なるだけで、レベルの違いはありません。ガイダンスの説明を良く聞いて履修する科目を決めてください。なお、留学や検定試験に向けて学習量を増やしたい場合などは、AとBの両方を複数年履修することを強く推奨します。

* この科目は留学中に修得した科目の単位としては認定されません。

② GSC 所属学生は、4年次の卒業論文執筆に際し、コーチングを受けることができます。

③ 日本・東アジア文化学科で定められた必修の選択外国語では中国語を履修してください。ただし中国語既修者は教員と相談のうえ履修のしかたを決めてください。

(3) 履修モデル

本コースでの学修は、留学時期や学修計画によってさまざまなパターンがあります。以下はその一例です。

	1年次	2年次	3年次	4年次
3年次に長期留学する場合	人文学部合同プロジェクト (中国語 A1・A2) 人文学部合同プロジェクト (中国語 B1・B2) その他関連科目	中国の社会と文化 1・2 中国語論述実習 1・2 中国語応用 1・2 その他関連科目	中国長期留学 (1年間)	卒業論文ゼミナール
2年次に長期留学する場合	人文学部合同プロジェクト (中国語 A1・A2) 中国の社会と文化 1・2 中国語応用 1・2 その他関連科目	中国長期留学 (1年間)	人文学部合同プロジェクト (中国語 B1・B2) 中国語論述実習 1・2	卒業論文 人文学部合同プロジェクト (中国語 A1・A2)
短期留学をする場合	人文学部合同プロジェクト (中国語 A1・A2) 人文学部合同プロジェクト (中国語 B1・B2) その他関連科目	中国の社会と文化 1・2 中国語論述実習 1・2 その他関連科目	外国語現地実習 (中国語) 1 (あるいは2)* 中国語応用 1・2 その他関連科目	人文学部合同プロジェクト (中国語 B1・B2)
初修者の検定取得目標	中検 4 級 HSK3 級 TOCFL Level 2	中検 3 級 HSK4 級 TOCFL Level 3	中検 2 級 HSK 5 級 TOCFL Level 4	

※ 一定の要件を満たしていれば、実習費用の特別補助を受けることができます。

2. グローバル・スタディーズコース (韓国・朝鮮語)

(1) コースの概要

① 目標:

- [1] 韓国・朝鮮語圏の大学に (長期または短期) 留学を目指します。現地の学生と対等に議論をおこない、また留学先の授業において十分知識を得られるだけの語学能力を身につけます。
- [2] 韓国・朝鮮語既修者については、そのレベルをさらに向上させ、現地の大学院に修学できるレベルの語学能力や教養を身につけます。
- [3] 韓国・朝鮮語検定試験に挑戦する場合は、3年次終了時で韓国語能力試験 4 級以上、ハングル能力検定試験 2 級以上の獲得を目指します。

(2) コースの修了要件

以下の要件を満たすと、卒業時にコース修了証が授与されます。

- [1] 卒業要件を満たし、かつ卒業の資格を得た学期にコースに所属していること。
- [2] 以下に定める「GSC (韓国・朝鮮語) 基幹科目」から 8 単位以上修得すること。
- [3] 以下に定める「GSC (韓国・朝鮮語) 関連学科科目」から 6 単位以上を修得すること。

区分	必要単位数	科目名	単位数	科目区分
GSC (韓国・朝鮮語) 基幹科目	8	人文学部合同プロジェクト (韓国・朝鮮語 A1)	2	共通専門科目
		人文学部合同プロジェクト (韓国・朝鮮語 A2)	2	共通専門科目
		人文学部合同プロジェクト (韓国・朝鮮語 B1)	2	共通専門科目
		人文学部合同プロジェクト (韓国・朝鮮語 B2)	2	共通専門科目
GSC (韓国・朝鮮語) 関連学科科目	6	韓国・朝鮮の社会と文化 1	2	専門科目 (GSC 科目) (韓国・朝鮮語による授業)
		韓国・朝鮮の社会と文化 2	2	専門科目 (GSC 科目) (韓国・朝鮮語による授業)
		韓国・朝鮮語論述実習 1	1	専門科目 (GSC 科目) (韓国・朝鮮語による授業)
		韓国・朝鮮語論述実習 2	1	専門科目 (GSC 科目) (韓国・朝鮮語による授業)

[4] 4年次に「卒業論文ゼミナール 1」(2 単位)「卒業論文ゼミナール 2」(2 単位)において、以下の 1・2 いずれかの条件を満たした卒業論文を執筆し、「卒業論文」(4 単位)と合わせ 8 単位を修得すること。

1 韓国・朝鮮語で卒業論文を執筆する。

2 韓国・朝鮮語文献を研究対象または参考図書とした卒業論文を日本語で執筆し、韓国・朝鮮語のレジュメを付す。

[5] 3月卒業の場合は 1 月末までに、9 月卒業の場合は 7 月末までに、韓国語能力試験 4 級以上またはハングル能力検定試験 2 級以上を獲得したことを示す試験実施機関発行の証明書を教務課に提出すること。

【注意】

① GSC (韓国・朝鮮語) 基幹科目「人文学部合同プロジェクト (韓国・朝鮮語)」について

* この科目は、本コースの所属学生だけが履修可能な、韓国・朝鮮語の個別指導の授業です。受講生のそれぞれのレベルに合わせた指導をおこないます。またコーチングによって、勉強の仕方、ペースメイキング、語学試験受験準備、留学準備などについて、個別相談をおこないます。

* 修得した単位は共通専門科目の単位として卒業に必要な単位に算入できます。

* 複数年度にまたがった重複履修が可能です。2 回目以降に修得した単位も、卒業およびコース修了に必要な単位と

して算入できます。またコース修了要件は8単位ですが、学修の必要に合わせ最大で16単位まで修得できます。

* GSC (韓国・朝鮮語) 基幹科目にはAとBがあります。この二つは学習内容が異なるだけで、レベルの違いはありません。ガイダンスの説明を良く聞いて履修する科目を決めてください。なお、留学や検定試験に向けて学習量を増やしたい場合などは、AとBの両方を複数年履修することを強く推奨します。

*この科目は留学中に修得した科目の単位としては認定されません。

② GSC 所属学生は、4年次の卒業論文執筆に際し、コーチングを受けることができます。

③ 日本・東アジア文化学科で定められた必修の選択外国語では韓国・朝鮮語を履修してください。ただし韓国・朝鮮語既修者は教員と相談のうえ履修のしかたを決めてください。

(3) 履修モデル

本コースでの学修は、留学時期や学修計画によってさまざまなパターンがあります。以下はその一例です。

	1年次	2年次	3年次	4年次
3年次に長期留学する場合	人文学部合同プロジェクト (韓国・朝鮮語 A1・A2) 人文学部合同プロジェクト (韓国・朝鮮語 B1・B2) その他関連科目	韓国・朝鮮の社会と文化1・2 韓国・朝鮮語論述実習1・2 韓国・朝鮮語応用1・2 その他関連科目	韓国長期留学 (1年間)	卒業論文ゼミナール
2年次に長期留学する場合	人文学部合同プロジェクト (韓国・朝鮮語 A1・A2) 韓国・朝鮮の社会と文化1・2 韓国・朝鮮語応用1・2 その他関連科目	韓国長期留学 (1年間)	人文学部合同プロジェクト (韓国・朝鮮語 B1・B2) 韓国・朝鮮語論述実習1・2 その他関連科目	卒業論文 人文学部合同プロジェクト (韓国・朝鮮語 A1・A2)
短期留学をする場合	人文学部合同プロジェクト (韓国・朝鮮語 A1・A2) 人文学部合同プロジェクト (韓国・朝鮮語 B1・B2) その他関連科目	韓国・朝鮮の社会と文化1・2 韓国・朝鮮語論述実習1・2 その他関連科目	外国語現地実習(韓国・朝鮮語)1(あるいは2)* 韓国・朝鮮語応用1・2 その他関連科目	人文学部合同プロジェクト (韓国・朝鮮語 B1・B2)
初修者の検定取得目標	韓国語能力試験2級 ハングル能力検定試験4級	韓国語能力試験3級 ハングル能力検定試験3級	韓国語能力試験4級 ハングル能力検定試験2級	

*一定の要件を満たしていれば、実習費用の特別補助を受けることができます。

3. グローバル・スタディーズコース「中国語」「韓国・朝鮮語」の同時履修について

グローバル・スタディーズコースの「中国語」と「韓国・朝鮮語」は、同時に所属・履修することができます。コース指導料は両方のコースに支払い(長期留学中は支払い免除)、修了要件も「中国語」「韓国・朝鮮語」ともに満たさなければなりません。卒業論文については、かならずしも中国と韓国・朝鮮の双方にまたがるテーマでなくても構いません。「人文学部合同プロジェクト(中国語)」「人文学部合同プロジェクト(韓国・朝鮮語)」は合わせて最大で16単位まで卒業に必要な単位として算入できます。短期語学研修の特別補助や、成績優秀者の褒賞についても、上記の内容に準じます。詳しくは担当の教員に問い合わせてください。

履修モデル

	1年次	2年次	3年次		4年次
中国・韓国に長期留学する場合	人文学部合同プロジェクト(中国語) 人文学部合同プロジェクト(韓国・朝鮮語) 中国の社会と文化1・2 韓国・朝鮮の社会と文化1・2 中国語応用1・2 韓国・朝鮮語応用1・2 その他関連科目	人文学部合同プロジェクト(中国語) 人文学部合同プロジェクト(韓国・朝鮮語) 中国語論述実習1・2 韓国・朝鮮語論述実習1・2 その他関連科目	中国長期留学(6か月)	韓国長期留学(6か月)	卒業論文ゼミナール 卒業論文
中国・韓国に長期留学と短期留学をする場合	人文学部合同プロジェクト(韓国・朝鮮語) 韓国・朝鮮の社会と文化1・2 韓国・朝鮮語応用1・2 その他関連科目	外国語現地実習(韓国・朝鮮語)1(あるいは2) 人文学部合同プロジェクト(中国語) 中国の社会と文化1・2 中国語論述実習1・2 その他関連科目	中国長期留学(1年間)		人文学部合同プロジェクト(中国語)
日本国内で語学学習に専念する場合	人文学部合同プロジェクト(中国語) 人文学部合同プロジェクト(韓国・朝鮮語) 中国の社会と文化1・2 韓国・朝鮮の社会と文化1・2 中国語応用1・2 韓国・朝鮮語応用1・2 その他関連科目	人文学部合同プロジェクト(中国語) 人文学部合同プロジェクト(韓国・朝鮮語) 中国語論述実習1・2 韓国・朝鮮語論述実習1・2 その他関連科目	人文学部合同プロジェクト(中国語) 人文学部合同プロジェクト(韓国・朝鮮語) その他関連科目		人文学部合同プロジェクト(韓国・朝鮮語)

9 GSC (中国語／韓国・朝鮮語) アソシエイトプログラム

1.GSC (中国語) アソシエイトプログラム

日本・東アジア文化学科学生を対象とした、中国語と中国文化を深く学びたい人のためのプログラムです。日本・東アジア文化学科の学生のうち、グローバル・スタディーズコース（中国語）に一定期間所属して、以下の条件を満たした者については、手続き期間に「GSC (中国語) アソシエイトプログラム修了認定申請書」を出すことにより、「GSC (中国語) アソシエイトプログラム修了証」が発行されます。

(1) 修了認定条件

- ① 以下に定める「GSC (中国語) 基幹科目」「GSC (中国語) 関連学科科目」から 14 単位以上修得すること。
- ② 以下に定める「中国語に関する科目」から 4 単位以上を修得すること。
- ③ 以下に定める「中国文化に関する科目」から 8 単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目	単 位	種別
GSC (中国語) 基幹科目	14	人文学部合同プロジェクト (中国語 A1)	2	共通専門科目
		人文学部合同プロジェクト (中国語 A2)	2	共通専門科目
		人文学部合同プロジェクト (中国語 B1)	2	共通専門科目
		人文学部合同プロジェクト (中国語 B2)	2	共通専門科目
GSC (中国語) 関連学科科目		中国の社会と文化 1	2	専門科目 (GSC 科目) (中国語による授業)
		中国の社会と文化 2	2	専門科目 (GSC 科目) (中国語による授業)
		中国語論述実習 1	1	専門科目 (GSC 科目) (中国語による授業)
		中国語論述実習 2	1	専門科目 (GSC 科目) (中国語による授業)
中国語に関する科目	4	中国語応用 1	1	専門科目 (スキル科目)
		中国語応用 2	1	専門科目 (スキル科目)
		中国語入門 1	1	外国語科目／総合科目
		中国語入門 2	1	外国語科目／総合科目
		中国語中級 1	1	外国語科目／総合科目
		中国語中級 2	1	外国語科目／総合科目
		中国語コミュニケーション 1	1	外国語科目／総合科目
		中国語コミュニケーション 2	1	外国語科目／総合科目
		外国語現地実習 (中国語) 1	2	外国語科目／総合科目
		外国語現地実習 (中国語) 2	2	外国語科目／総合科目
中国文化に関する科目	8	中国文学史 1	2	専門科目 (講義)
		中国文学史 2	2	専門科目 (講義)
		中国思想史 1	2	専門科目 (講義)
		中国思想史 2	2	専門科目 (講義)
		中国の民族と社会 1	2	専門科目 (講義)
		中国の民族と社会 2	2	専門科目 (講義)
		東アジアの地理と環境 1	2	専門科目 (講義)
		東アジアの地理と環境 2	2	専門科目 (講義)
		現代中国論 1	2	専門科目 (講義)
		現代中国論 2	2	専門科目 (講義)
		中国史 1	2	専門科目 (講義)
		中国史 2	2	専門科目 (講義)
		日中交流史 1	2	専門科目 (講義)
		日中交流史 2	2	専門科目 (講義)
		イスラム圏交流史 1/ イスラム文化論	2	専門科目 (講義)
		イスラム圏交流史 2/ イスラム文化論	2	専門科目 (講義)
		中国文学演習 1	2	専門科目 (演習)
		中国文学演習 2	2	専門科目 (演習)
		中国思想史演習 1	2	専門科目 (演習)
		中国思想史演習 2	2	専門科目 (演習)
		中国の民族と社会演習 1	2	専門科目 (演習)
		中国の民族と社会演習 2	2	専門科目 (演習)
		中国史演習 1	2	専門科目 (演習)
		中国史演習 2	2	専門科目 (演習)
		イスラム文化演習 1	2	専門科目 (演習)
		イスラム文化演習 2	2	専門科目 (演習)
		日中交流史演習 1	2	専門科目 (演習)
		日中交流史演習 2	2	専門科目 (演習)
合計	26 単位			

【注意】

長期留学をした学生は、留学中に修得した語学科目の単位を各科目の学習内容に合った上記科目に読み替えることが可能です。ただし「人文学部合同プロジェクト（中国語 A1）」「人文学部合同プロジェクト（中国語 A2）」「人文学部合同プロジェクト（中国語 B1）」「人文学部合同プロジェクト（中国語 B2）」はその対象になりません。

(2) 「プログラム修了証」の授与

認定された場合には、卒業式当日に「GSC（中国語）アソシエイトプログラム修了証」が授与されます。卒業後に授与を希望する場合は証明書（有料）が発行されます。

(3) GSC（中国語）アソシエイトプログラム・修了証申請手続きについて

認定申請は卒業する年度に提出しなければなりません。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、あらためて次学期に申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。

4年次	9月卒業予定者 7月	GSC（中国語）アソシエイトプログラム 認定申請書提出	申請書提出期限：卒業論文提出日
	3月卒業予定者 12月		

2. GSC（朝鮮・韓国語）アソシエイトプログラム

日本・東アジア文化学科学生を対象とした、韓国・朝鮮語と韓国・朝鮮文化を深く学びたい人のためのプログラムです。日本・東アジア文化学科の学生のうち、グローバル・スタディーズコース（韓国・朝鮮語）に一定期間所属して、以下の条件を充たした者については、手続き期間に「GSC（韓国・朝鮮語）アソシエイトプログラム修了認定申請書」を出すことにより、「GSC（韓国・朝鮮語）アソシエイトプログラム修了証」が発行されます。

(1) 修了認定条件

- ① 以下に定める「GSC（韓国・朝鮮語）基幹科目」「GSC（韓国・朝鮮語）関連学科科目」から14単位以上修得すること。
- ② 以下に定める「韓国・朝鮮語に関する科目」から4単位以上を修得すること。
- ③ 以下に定める「韓国・朝鮮文化に関する科目」から8単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目	単位	種別
GSC (韓国・朝鮮語) 基幹科目	14	人文学部合同プロジェクト（韓国・朝鮮語 A1）	2	共通専門科目
		人文学部合同プロジェクト（韓国・朝鮮語 A2）	2	共通専門科目
		人文学部合同プロジェクト（韓国・朝鮮語 B1）	2	共通専門科目
		人文学部合同プロジェクト（韓国・朝鮮語 B2）	2	共通専門科目
GSC (韓国・朝鮮語) 関連学科科目	14	韓国・朝鮮の社会と文化 1	2	専門科目（GSC科目）（韓国・朝鮮語による授業）
		韓国・朝鮮の社会と文化 2	2	専門科目（GSC科目）（韓国・朝鮮語による授業）
		韓国・朝鮮語論述実習 1	1	専門科目（GSC科目）（韓国・朝鮮語による授業）
		韓国・朝鮮語論述実習 2	1	専門科目（GSC科目）（韓国・朝鮮語による授業）
韓国・朝鮮語に 関する科目	4	韓国・朝鮮語応用 1	1	専門科目（スキル科目）
		韓国・朝鮮語応用 2	1	専門科目（スキル科目）
		韓国・朝鮮語入門 1	1	外国語科目／総合科目
		韓国・朝鮮語入門 2	1	外国語科目／総合科目
		韓国・朝鮮語中級 1	1	外国語科目／総合科目
		韓国・朝鮮語中級 2	1	外国語科目／総合科目
		韓国・朝鮮語コミュニケーション 1	1	外国語科目／総合科目
		韓国・朝鮮語コミュニケーション 2	1	外国語科目／総合科目
		外国語現地実習（韓国・朝鮮語） 1	2	外国語科目／総合科目
		外国語現地実習（韓国・朝鮮語） 2	2	外国語科目／総合科目

区分	必要単位数	科目	単位	種別
韓国・朝鮮文化に関する科目	8	朝鮮文学史 1	2	専門科目 (講義)
		朝鮮文学史 2	2	専門科目 (講義)
		朝鮮文化論 1	2	専門科目 (講義)
		朝鮮文化論 2	2	専門科目 (講義)
		現代韓国論 1	2	専門科目 (講義)
		現代韓国論 2	2	専門科目 (講義)
		朝鮮史 1	2	専門科目 (講義)
		朝鮮史 2	2	専門科目 (講義)
		日韓交流史 1	2	専門科目 (講義)
		日韓交流史 2	2	専門科目 (講義)
		朝鮮文学演習 1	2	専門科目 (演習)
		朝鮮文学演習 2	2	専門科目 (演習)
		朝鮮文化演習 1	2	専門科目 (演習)
		朝鮮文化演習 2	2	専門科目 (演習)
		朝鮮史演習 1	2	専門科目 (演習)
		朝鮮史演習 2	2	専門科目 (演習)
		日朝交流史演習 1	2	専門科目 (演習)
		日朝交流史演習 2	2	専門科目 (演習)
		合計	26 単位	

【注意】

長期留学をした学生は、留学中に修得した語学科目の単位を各科目の学習内容に合った上記科目に読み替えることが可能です。ただし「人文学部合同プロジェクト A (韓国・朝鮮語) 1」「人文学部合同プロジェクト A (韓国・朝鮮語) 2」「人文学部合同プロジェクト B (韓国・朝鮮語) 1」「人文学部合同プロジェクト B (韓国・朝鮮語) 2」はその対象になりません。

(2) 「プログラム修了証」の授与

認定された場合には、卒業式当日に「GSC (韓国・朝鮮語) アソシエイトプログラム修了証」が授与されます。卒業後に授与を希望する場合は証明書 (有料) が発行されます。

(3) GSC (韓国・朝鮮語) アソシエイトプログラム・修了証申請手続きについて

認定申請は卒業する年度に提出しなければなりません。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、あらためて次学期に申請書を提出しなければなりません。また、やむを得ない理由で、指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。

4 年次	9月卒業予定者 7月	GSC (韓国・朝鮮語) アソシエイトプログラム 認定申請書提出	申請期間：卒業論文提出日
	3月卒業予定者 12月		

グローバル・スタディーズコース (英語プログラム)

1 グローバル・スタディーズコース（英語）卒業要件

本学に4年以上在学し、履修方法に従って所定の単位を修得しなければなりません。概略を表にすると次のとおりとなります。122頁以降に科目区分ごとの履修方法が記載されていますので、よく読んで計画的に履修してください。

なお、4年次の必修科目である「Capstone Project」を履修するには、3年の在学期間を満たした上で、必要な科目と単位を修得していなければなりません。詳細は156頁に記載してありますので、注意して学修計画をたててください。

[3 学科共通]

区分	修得すべき単位数	内 訳	
総合科目	20 単位 (うち、英語でおこなわれる授業を 12 単位以上)	6 分野 (A~F) からセクションを問わず最低 2 単位を修得し (計 12 単位)、かつ分野を問わずさらに 8 単位以上修得し、かつ分野を問わず実践セクションの科目を必ず 1 科目 (1 単位) 以上含むこと	
外国語科目	14 単位	必修外国語 (英語) 1 年次 6 単位 2 年次 6 単位	12 単位
		選択外国語 (自由選択) ※選択外国語は 2 単位を超えて修得した場合、総合科目として 8 単位まで算入される。	2 単位
共通専門科目	20 単位 (うち、英語でおこなわれる授業を 8 単位以上)	※「学芸員課程関連科目」の修得単位のうち、8 単位まで共通専門科目に算入することができる。	
専攻基礎科目	14 単位	GSC 1st-Year Seminar 1	2 単位
		GSC 1st-Year Seminar 2	2 単位
		Language Workshop (GSC) 1	1 単位
		Language Workshop (GSC) 2	1 単位
		Communication Seminar (GSC) 1	2 単位
		Communication Seminar (GSC) 2	2 単位
専攻専門科目	56 単位 (うち、英語でおこなわれる授業を講義 24 単位以上、ゼミナール科目を 8 単位以上)	選択科目 (実習)	4 単位
		講義科目 (選択) ※「教職に関する概説科目」を除く ※所属する学科の専攻専門科目は 16 単位まで卒業に必要な単位として算入可能	40 単位
		ゼミナール科目 (選択)	8 単位
		Capstone Project Seminar 1	2 単位
		Capstone Project Seminar 2	2 単位
		Capstone Project	4 単位
	124 単位		

※ 共通専門科目の GSC 共通専門ゼミナール分野の科目と専攻専門科目の「GSC Seminar (Global Relations) 1・2」「GSC Seminar (Global Literature) 1・2」「GSC Seminar (Global Japanese Studies) 1・2」に関しては、同じ科目を重複して履修することができます。重複履修をした場合、2 度目以降の修得単位も卒業要件に算入できます。
注意：表の合計 124 単位は最小限必要な単位数であり、これ以上の単位を余裕をもって履修することを勧めます。

〈履修上の注意〉

- ❶ 履修に際しては、卒業要件表に示された科目区分ごとに定められたルールに従って、所定の単位を修得する必要があります。その詳細は、それぞれ科目区分ごとの説明を参照してください。
- ❷ 英語力の向上を重視する当コースの教育方針に基づき、英語による授業の積極的な履修を求めています。英語でおこなわれる授業を、総合科目については 12 単位以上、共通専門科目については 8 単位以上、専攻専門科目の講義科目については 24 単位以上、ゼミナール科目については 8 単位以上修得しなければなりません。
- ❸ 留学時に修得した単位は、学修内容を精査したうえで、武蔵大学の単位として認定することができます。
- ❹ 留学時の修得単位を武蔵大学の単位として認定する際には、留学先で学んだ内容や学習量を勘案して、対応する科目を選び、そこで選ばれた科目は「英語でおこなわれる授業一覧」に記載されていない科目であっても、「英語でおこなわれる科目」として算入することができます。

英語でおこなわれる授業一覧

科目区分	科目名	単位
総合科目	Information Technology and Global Communication	2
	Introduction to Critical Thinking	2
	Introduction to Global History	2
	Introduction to Global Studies	2
	Understanding the Contemporary Global Economy	2
	Introduction to Human Rights	2
	Global Environmental Issues	2
	Introduction to Human Geography	2
	Introduction to Personal Health and Wellness	2
	Career Design in a Global Age	2
共通専門科目（学部共通）	課題解決型国際ゼミナールプロジェクト	2
	Introduction to Applied Linguistics	2
	Applied Linguistics Seminar1	2
	Applied Linguistics Seminar2	2
	Academic Presentation Seminar 1	2
	Academic Presentation Seminar 2	2
	Academic Writing Seminar 1	2
	Academic Writing Seminar 2	2
共通専門科目 （留学準備講座）	アメリカの社会と文化 1	2
	アメリカの社会と文化 2	2
	イギリスの社会と文化 1	2
	イギリスの社会と文化 2	2
	日本の社会と文化 1	2
	日本の社会と文化 2	2
	現代世界の諸問題 1	2
	現代世界の諸問題 2	2
	グローバル・コミュニケーション 1	1
	グローバル・コミュニケーション 2	1
	留学のための英語講座 A1	1
	留学のための英語講座 A2	1
	留学のための英語講座 B1	1
	留学のための英語講座 B2	1
	インターカルチュラルスキル養成講座 1	2
	インターカルチュラルスキル養成講座 2	2
	グローバル・リーダーシップ養成講座 1	2
	グローバル・リーダーシップ養成講座 2	2
留学入門ゼミナール	2	
共通専門科目（EAS 科目）	すべての EAS 科目	-
専攻専門科目	Introduction to Global Civics 1	2
	Introduction to Global Civics 2	2
	Introduction to Global Futures Studies 1	2
	Introduction to Global Futures Studies 2	2
	Transnational Issues 1	2
	Transnational Issues 2	2
	Political Communication 1	2
	Political Communication 2	2
	Global Literatures in English 1	2
	Global Literatures in English 2	2
	Introduction to Cultural Studies 1	2
	Introduction to Cultural Studies 2	2
	Migration and Literature 1	2
	Migration and Literature 2	2
	World Englishes 1	2
	World Englishes 2	2
	Japanese Cultural History in Global Perspective 1	2
	Japanese Cultural History in Global Perspective 2	2
	Contemporary Japanese Culture 1	2
	Contemporary Japanese Culture 2	2
	Topics in Japanese Culture A 1	2
	Topics in Japanese Culture A 2	2
	Topics in Japanese Culture B 1	2
	Topics in Japanese Culture B 2	2
	Global Fieldwork	2
	GSC Seminar (Global Relations)1	2
	GSC Seminar (Global Relations)2	2
	GSC Seminar (Global Literature)1	2
	GSC Seminar (Global Literature)2	2
	GSC Seminar (Global Japanese Studies)1	2
	GSC Seminar (Global Japanese Studies)2	2

【注意】

これらの科目は、英語を主要言語として授業が進められますが、担当者の判断で適宜日本語も使用される場合があります。詳細はシラバスや授業担当者の説明を参照してください。

2 グローバル・スタディーズコース (英語) 総合科目

1. 目的と特徴

総合科目は幅広い教養と知識、豊かな人間性と良識、柔軟な思考力、判断力、そして創造的な実践力を養うことを目的としています。総合科目の特徴は、全学部および関係するセンターが協力して企画、運営している共通科目（スタンダード科目）であること、全学部の学生が同じ教室で受講することです。総合科目は、価値の多様化、異文化およびダイバーシティ理解、男女共同参画をはじめとする 21 世紀を生きる私たちが直面している状況や取り組むべき課題を具体的に意識して精選されたものです。

なお、それぞれの授業群における独自の目標を、以下のように定めています。

- (A) 情報とコミュニケーション : 情報化社会で学び、生活し、仕事をするための知識と力を養う
- (B) 歴史と文化 : 日本と世界各地の伝統文化や思想、宗教などへの理解を深める
- (C) 現代社会 : 政治、法、経済、社会構造など、多様な視点から現代をとらえる
- (D) 自然と環境 : 地球環境や生物環境の基礎知識を身につけ、自然と人間の共生を考える
- (E) 心と体 : 人間の心と体をトータルにとらえ、健康づくりのスキルと姿勢を身につける
- (F) ライフマネジメントとキャリアデザイン : 大学卒業後の進路に夢を描き、具体化するための力を養う

2. 学年配当

ほとんどの科目は 1 年次から 4 年次までいつでも履修できますが、学年が限定されている科目も一部にありますので、一覧表をよく確認してください。

3. 授業科目の編成、分類、単位数など

総合科目は 6 分野 (A～F) からなり、それぞれの授業科目は講義セクションと実践セクションに分かれています。講義セクションには総合的内容の講義（講義科目）が置かれ、実践セクションには演習・実習・実技・実験その他の体験授業（実践科目）が置かれています。講義セクションで得た知識を実践的レベルでも追究したい場合に実践セクションの科目を履修すると効果的です。それぞれの分野は、知と実践（知ることとおこなうこと）の循環・統合を実感できるように構成されています。ただし、総合科目の授業内容は、一部のセット科目を除いてそれぞれ独立していますので、各人の興味と必要に応じて、セクションを気にせず個々に履修することもできます。単位数については授業の形態や密度、学修時間に応じて 1 単位・2 単位の区別があります。一覧表でよく確認してください。

4. 修得すべき単位数 (次の項目 5 と合わせて読むこと)

6 分野 (A～F) すべてからセクションを問わず最低 2 単位を修得し (計 12 単位)、かつ分野を問わずさらに 8 単位以上を修得すること。ただし、実践セクションの科目を 1 単位以上含めなければなりません (総合科目全体として合計 20 単位以上が卒業に必要な条件です)。なお、後述する外国語科目の選択外国語を 2 単位を超えて単位を修得した場合、その超えた単位については 8 単位まで「分野を問わない 8 単位」に含めることができます。

区分	修得すべき単位数	詳細		注意
総合科目	20 単位	(A) 情報とコミュニケーション	2 単位以上	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野最低 2 単位 (合計 12 単位) と分野を問わず 8 単位、合わせて 20 単位を修得すること。 ・分野を問わず実践セクションの科目を最低 1 単位以上含めること。
		(B) 歴史と文化	2 単位以上	
		(C) 現代社会	2 単位以上	
		(D) 自然と環境	2 単位以上	
		(E) 心と体	2 単位以上	
		(F) ライフマネジメントとキャリアデザイン	2 単位以上	

【注意】

同一科目（同一名称の科目）を履修した場合、2度目以降は自由科目の扱いになるため卒業に必要な単位に算入することができません。ただし同一名称でありながら、記号や番号で区別がなされている科目については別科目として扱う場合があります。詳細については教務課に問い合わせてください。

5. グローバル・スタディーズコース（英語）の総合科目

グローバル・スタディーズコース（英語）では、全学部学生に提供されている総合科目の6つの分野に合わせて、英語でおこなわれる科目を提供しています。履修に際しては下記の点に留意してください。

英語でおこなわれる総合科目一覧

科目名	分野	セクション	単位
Information Technology and Global Communication	(A) 情報とコミュニケーション	講義	2
Introduction to Critical Thinking	(A) 情報とコミュニケーション	実践	2
Introduction to Global History	(B) 歴史と文化	講義	2
Introduction to Global Studies	(C) 現代社会	講義	2
Understanding the Contemporary Global Economy	(C) 現代社会	講義	2
Introduction to Human Rights	(C) 現代社会	講義	2
Global Environmental Issues	(D) 自然と環境	講義	2
Introduction to Human Geography	(D) 自然と環境	講義	2
Introduction to Personal Health and Wellness	(E) 心と体	講義	2
Career Design in a Global Age	(F) ライフマネジメントとキャリアデザイン	講義	2

- ① 本コースの所属学生は、卒業までに修得が求められている20単位のなかに、英語でおこなわれる科目を12単位以上含めなければなりません。
- ② 英語でおこなわれる科目のうち「Introduction to Global Studies」「Introduction to Critical Thinking」は、グローバル・スタディーズの学修に必要な基本的科目と位置づけられており、当コース所属生は原則として全員が、1年次第1クォーターで履修します。これらの科目と「Introduction to Global History」「Career Design in a Global Age」は、1年次の時間割にあらかじめ組みこまれていますので3Sで確認してください。
- ③ その他の英語でおこなわれる総合科目については、上記の履修条件（「4. 修得すべき単位数」に記載された条件と、英語による科目を12単位以上含めなければならないという条件）を満たしているかぎりにおいて、自由に科目を選択できます。

6. 「(E) 心と体」分野のスポーツ実践

総合科目のうち、**スポーツ実践**を履修する際には以下の事項に注意してください。

- ① 成績評価にあたっては、授業への参加度および履修態度（平常点）を主要なものとし、欠席数が多い場合や履修態度が著しく悪い場合は不合格となり、単位の認定がおこなわれません（遅刻1回、見学1回は0.5回の欠席に換算します）。ただし、特別な事情がある場合は別に考慮することがあるので、その旨を申し出てください。
- ② 春の健康診断を受けていない場合は不合格となり、単位の認定がおこなわれません。やむを得ない理由で健康診断を受けられなかった場合には、速やかに大学保健室および身体運動科学研究室に申し出て、指示を受けてください。
- ③ スポーツ実践は体育の実技です。必ず運動に適した服装で授業を受けてください。
- ④ 実技科目であるため、履修者数を制限します。

7. 実践セクションの特殊な履修手続きについて

実践セクションの授業のうちF群の「海外フィールド実習」は、通常の履修登録の手続きとは異なり、ガイダンスを実施するなどしたのちに、授業担当者に直接履修登録の申請をおこないます。通常の履修登録期間・履修取消期間外におこなわれるため、履修取消の対象外ですので、注意してください。

第1章 授業科目の履修

総合科目は、下表の通りです。

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考	
(A) 情報とコミュニケーション	講義	GEO02010	他者理解とコミュニケーション	2	1～4	開講	講義	
		GEO02020	情報技術と人間社会	2	1～4	開講	講義	
		GEO02030	知識社会の情報学	2	1～4	開講	講義	
		GEO02040	データ分析の基礎	2	1～4	開講	講義	
		GEO12040	データ分析の応用	2	1～4	開講	講義	
		GEO02050	Information Technology and Global Communication	2	1～4	開講	講義	* ※(1)
	実践	GEO01010	表現技法とインタラクション	2	1～4	開講	演習	
		GEO01020	問題解決とコンピューティング	2	1～4	開講	演習	
		GEO01030	デジタル協働学	2	1～4	開講	演習	
		GEO01040	データマイニング入門	2	1～4	開講	演習	
		GEO01050	インターネット・イングリッシュ	2	1～4	開講	演習	
		GEO01060	クリエイティブ・ライティング	2	1～4	開講	演習	
		GEO01070	アカデミック・ディベート	2	1～4	開講	演習	
		GEO01100	Introduction to Critical Thinking	2	1～4	開講	演習	※(2)
(B) 歴史と文化	講義	GEB02010	グローバル時代の歴史認識	2	1～4	開講	講義	
		GEB02020	20世紀の世界	2	1～4	開講	講義	
		GEB02030	20世紀の日本	2	1～4	開講	講義	
		GEB02040	社会思想の歴史	2	1～4	開講	講義	*
		GEB02050	世界の言語と文化	2	1～4	開講	講義	
		GEB02060	日本と世界の宗教	2	1～4	開講	講義	
		GEB02070	日本の伝統と文化	2	1～4	開講	講義	
		GEB02080	現代世界の人と生活	2	1～4	開講	講義	
		GEB02090	多文化共生の現在	2	1～4	開講	講義	
		GEB02100	Introduction to Global History	2	1～4	開講	講義	※(1)
	実践	GEB01010	世界の名著	2	1～4	開講	演習	
		GEB01020	日本の名著	2	1～4	開講	演習	
		GEB01030	文化財リサーチプロジェクト	2	1～4	開講	演習	
		GEB01040	学園史100年プロジェクト	2	1～4	開講	演習	
(C) 現代社会	講義	GEC02010	日本国憲法	2	1～4	開講	講義	
		GEC02020	現代社会と政治	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02030	現代社会と法	2	1～4	開講	講義	
		GEC02040	現代社会と経済	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02050	現代社会と人権	2	1～4	開講	講義	
		GEC02060	現代社会と環境	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02070	現代社会とジェンダー	2	1～4	欠講	講義	*
		GEC02080	現代社会とアート	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02090	国際社会における紛争と協調	2	1～4	開講	講義	*
		GEC02100	グローバルズムと21世紀	2	1～4	欠講	講義	*
		GEC02110	現代日本の課題	2	1～4	開講	講義	
		GEC02120	Introduction to Global Studies	2	1～4	開講	講義	※(1)
	GEC02130	Understanding the Contemporary Global Economy	2	1～4	開講	講義	* ※(1)	
	GEC02140	Introduction to Human Rights	2	1～4	欠講	講義	* ※(1)	
実践	GEC01010	経済ニュース・リーディング	2	1～4	開講	演習	*	
	GEC01020	人権ワークショップ	2	1～4	開講	演習		
	GEC01030	現代アート・ワークショップ	2	1～4	開講	演習		
(D) 自然と環境	講義	GED02010	地球の自然史	2	1～4	開講	講義	
		GED02020	地球環境	2	1～4	開講	講義	
		GED02030	人間と環境	2	1～4	開講	講義	
		GED02040	数学の世界	2	1～4	開講	講義	
		GED02050	自然と生活のなかの物理	2	1～4	開講	講義	
		GED02060	化学と現代社会	2	1～4	開講	講義	
		GED02070	生命の進化	2	1～4	開講	講義	
		GED02080	人の進化	2	1～4	開講	講義	
		GED02090	人間と科学技術の歩み	2	1～4	開講	講義	
		GED02100	先進の科学技術	2	1～4	開講	講義	
		GED02110	Global Environmental Issues	2	1～4	開講	講義	* ※(1)
		GED02120	Introduction to Human Geography	2	1～4	欠講	講義	* ※(1)
	実践	GED01010	武蔵・環境フィールドワーク	2	1～4	開講	演習	
		GED06010	自然科学集中プロジェクトA	1	1～4	開講	実習	集中
		GED06020	自然科学集中プロジェクトB	1	1～4	開講	実習	集中
		GED06030	物理学ラボワークA	1	1～4	開講	実験・講義	
		GED06040	物理学ラボワークB	1	1～4	開講	実験・講義	
		GED06050	化学ラボワークA	1	1～4	開講	実験・講義	
GED06060	化学ラボワークB	1	1～4	開講	実験・講義			
GED06070	生物学ラボワークA	1	1～4	開講	実験・講義			
GED06080	生物学ラボワークB	1	1～4	開講	実験・講義			

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考	
(E)心と体	講義	GEE02010	こころの科学と健康	2	1～4	開講	講義	
		GEE02020	臨床心理学と人間理解	2	1～4	開講	講義	
		GEE02030	スポーツと健康の科学	2	1～4	開講	講義	
		GEE02040	スポーツの哲学	2	1～4	開講	講義	
		GEE02050	スポーツの歴史と文化	2	1～4	開講	講義	
		GEE02060	スポーツの社会環境	2	1～4	開講	講義	
		GEE02070	スポーツの心理学	2	1～4	開講	講義	
	GEE02080	Introduction to Personal Health and Wellness	2	1～4	開講	講義	※(1)	
	実践	GEE01010	心理学ワークショップ	2	1～4	開講	演習	
		GEE01020	アダプテッドスポーツ・ワークショップ	2	1～4	開講	演習	
		GEE06010	スポーツ実践1(バレーボール)	1	1～4	開講	実技	
		GEE06020	スポーツ実践2(バスケットボール)	1	1～4	開講	実技	
		GEE06030	スポーツ実践3(ファンランニング)	1	1～4	開講	実技	*
		GEE06040	スポーツ実践4(フットサル)	1	1～4	開講	実技	
GEE06050		スポーツ実践5(バドミントン)	1	1～4	開講	実技		
GEE06060		スポーツ実践6(卓球)	1	1～4	開講	実技		
GEE06070		スポーツ実践7(アドバンスゴルフ)	1	1～4	開講	実技	*	
GEE06080		スポーツ実践8(ベーシックゴルフ)	1	1～4	開講	実技		
GEE06090		スポーツ実践9(水泳)	1	1～4	開講	実技		
GEE06100		スポーツ実践10(エアロビクス&フィットネス)	1	1～4	開講	実技		
GEE06110		スポーツ実践11(リラクゼーション&ウォーキング)	1	1～4	開講	実技		
GEE06120	スポーツ実践12(護身術と柔道)	1	1～4	開講	実技			
GEE06130	スポーツ実践13(スキー)	1	1～4	開講	実技	*		
GEE06140	スポーツ実践14(スノーボード)	1	1～4	開講	実技	*		
(F)キャリアデザイン	講義	GEF02010	自己理解の哲学	2	1～4	開講	講義	
		GEF02020	キャリアデザイン論A	2	1～4	開講	講義	
		GEF02030	キャリアデザイン論B	2	1～4	開講	講義	
		GEF22010	キャリア対策科目	2	2～4	開講	講義	
		GEF02040	ライフサイクルと生涯学習	2	1～4	開講	講義	
		GEF02050	心理学と社会	2	1～4	開講	講義	
		GEF02060	Career Design in a Global Age	2	1～4	開講	講義	※(1)
	実践	GEF21010	キャリアデザイン演習	2	2～4	開講	演習	
		GEF31010	インターンシップ特講	1	3・4	開講	演習	
		GEF46010	インターンシップ	1	3・4	開講	実習	
		GEF01040	キャリア形成認定科目	2	-	開講	-	資格認定科目
		GEF01010	海外調査方法論	2	1～4	開講	演習	
		GEF06010	海外フィールド実習	1	1～4	開講	実習	*
GEF06020	ボランティア実習	1	1～4	開講	実習	*		

【注意】

※(1) 授業で用いられる主要言語は英語です。授業内容をシラバスでよく確認したうえで、履修を決定してください。

※(2) 履修者は人文学部のグローバル・スタディーズコース（英語プログラム）所属学生に限ります。

3 グローバル・スタディーズコース（英語）外国語科目

卒業に必要な外国語科目の単位は以下のとおりです。外国語科目は特に出席が重視され、授業回数の3分の1以上を欠席した場合、単位が与えられません。また、外国語科目を指定された年次で修得できない場合、専門科目の履修に制限を受けたり、「Capstone Project」履修資格を得ることができなくなることがあります。場合によっては4年間での卒業ができなくなることもありますので十分注意してください。

1. 必修外国語と選択外国語

◇ 外国語修得必要単位数

必修外国語（英語）	12 単位	計 14 単位
選択外国語（英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語、イタリア語、ロシア語）	2 単位	

【注意】

- ① グローバル・スタディーズコース（英語）では、主要科目の授業が英語によっておこなわれます。当コースに所属する学生が2年次以降 GSC 関連の専門科目を受講し、単位を修得してゆくためには、1年次の集中的な学修によって、英語力を十分向上させておく必要があります。2年次進学時に求められる英語力の目安は、IELTS アカデミック・モジュールオーバーオール 5.5 以上（各項目 5.0 以上）です。この数字はあくまで最低ラインで、授業に余裕を持って臨めるようにするにはさらに高い英語力が必要です。こうした目標をもとに年次ごとのコース所属資格が定められていますので、詳細は 158 頁を参照してください。
- ② 1年次は原則として以下に示す内容の英語クラスで履修します。所属クラスと曜限はあらかじめ決まっており、自分で選ぶことはできません。

学期	学修内容	単位
第1クォーター	週4回、同一テキスト・同一教員による授業	2
第2クォーター	海外集中英語研修（短期留学）	6
後期	週4回、同一テキスト・同一教員による授業	4

- * 1年次の英語授業は「アカデミック英語（English skills for Academic Purposes (EAP))」の力を向上させることを目的としています。具体的には、語彙力、アカデミックな内容の英文を読み解く力、講義を聴き取り重要事項をノートに書き留める力、ゼミにおいて議論をおこない意見発表をおこなう力、論理構成力や批判的思考力、アカデミックな内容の文章を書く力などを身につけることが求められます。
- * 第2クォーターでは、海外集中英語研修（短期留学）のプログラムに参加します。このプログラムは、専攻基礎科目の「Language Workshop (GSC) 1」（1単位）、「Language Workshop (GSC) 2」（1単位）、「Communication Seminar (GSC) 1」（2単位）、「Communication Seminar (GSC) 2」（2単位）の授業の一環として実施されます。海外集中英語研修は、第2クォーターの約8～10週間の期間に原則として行われますが、行先によってはこの時期から多少ずれることもあります。
- * 入学時にすでに IELTS アカデミック・モジュールオーバーオール 5.5 以上（各項目 5.0 以上）相当の英語力がある人は、所定の審査を経て、外国語科目としての英語 6 単位を、他の関連科目で読み替えることが認められる場合があります。また第2クォーターの海外集中英語研修の参加について免除される場合があります。希望者はガイダンス終了時に申し出て、指示を受けてください。

なお、読み替え可能な科目のなかには、外国語科目としての日本語が含まれます。日本語（168頁）の履修が認められた場合、GSC 教務主任と面談し、適切なレベルや時間割等を確認したうえで、履修すべき科目を決定してください。

- ③ 1年次末に本コースの所属資格（158頁）を満たし、引き続き本コースでの学修を希望する人は、2年次に以下の内容の英語クラスで履修します。所属クラスと曜限はあらかじめ決まっており、自分で選ぶことはできません。3年次進学時に求められる英語力の目安は、IELTS アカデミック・モジュールオーバーオール 6.0 以上（各項目 5.5 以上）です。この数字はあくまで最低ラインで、授業に余裕を持って臨めるようにするにはさらに高い英語力が必要です。

学期	学修内容	単位
前期	週3回、同一テキスト・同一教員による授業	3
後期	週3回、同一テキスト・同一教員による授業	3

* 2年次には、1年次に身につけた専門の学修に必要な英語力を向上させ、本コースが推奨する3年次の協定留学において専門的内容の科目履修が可能となるよう、さらに英語の学修を続けます。4技能についてアカデミックな英語のスキルをアップさせる授業内容となっている必修の英語授業を受けながら、英語力の伸びに合わせてIELTS、TOEFL-iBT、そのほかの外部試験を受験するようにしてください。

* 必修英語や外部試験対策の学習に際しては、正課外の学習サポートであるコーチングという仕組みが用意されていますので、必要に応じて積極的に活用してください。

④ 選択外国語の2単位は、1年次から4年次のいずれの年次で修得してもかまいません。ただし、2年次終了までに履修することを強く推奨します。選択外国語として履修できる科目は下表の通りです。これらは当コースの専用クラスではありませんので、時間割を確認しながらコースの必修科目等が担当されていない曜限で履修してください。

【注意】

① 2単位を超えて修得した選択外国語の単位については、最大8単位まで総合科目の履修単位として、卒業必要単位に算入することができます。ただし、そこで算入した単位は、総合科目の中でのとるべき英語でおこなわれる授業の単位としてカウントすることはできません。

② GSC(英語)の所属学生が1年次第2クォーターに短期留学をおこないますが、さらに春季・夏季休暇に実施される「外国語現地実習(英語)」という短期留学にも各自の判断で参加することができます。ただし選択外国語の科目履修のかたちでおこなう短期留学には奨学金が給付されませんので、注意してください。

③ 外国語科目として日本語を履修できるのは、GSC(英語プログラム)所属学生のうち、人文学部教務委員会が外国語科目として日本語の履修を適当と判断した学生に限ります。履修希望者はGSC教務主任に相談してください。

言語	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
英語	ブラクティカル・イングリッシュ1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	ブラクティカル・イングリッシュ2	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	イングリッシュ・エクステンシブ・リーディング2	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ1	1	1~4	開講	実習(外国語)	*
	イングリッシュ・パフォーマンス・ワークショップ2	1	1~4	開講	実習(外国語)	*
	ディスカッション・ディベート英語1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	ディスカッション・ディベート英語2	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ1	1	1~4	開講	実習(外国語)	*
	クリエイティブ・ライティング・イン・イングリッシュ2	1	1~4	開講	実習(外国語)	*
	ビジネス・コミュニケーション英語1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	ビジネス・コミュニケーション英語2	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	イングリッシュ・ライティング・ワークショップ1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
イングリッシュ・ライティング・ワークショップ2	1	1~4	開講	実習(外国語)		
ドイツ語	ドイツ語入門1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	ドイツ語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	ドイツ語中級1	1	2~4	欠講	実習(外国語)	*
	ドイツ語中級2	1		欠講	実習(外国語)	*
	ドイツ語コミュニケーション1	1		開講	実習(外国語)	*
ドイツ語コミュニケーション2	1	開講	実習(外国語)	*		
フランス語	フランス語入門1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	フランス語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	フランス語中級1	1	2~4	欠講	実習(外国語)	*
	フランス語中級2	1		欠講	実習(外国語)	*
	フランス語コミュニケーション1	1		開講	実習(外国語)	*
フランス語コミュニケーション2	1	開講	実習(外国語)	*		
スペイン語	スペイン語入門1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	スペイン語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	スペイン語中級1	1	2~4	開講	実習(外国語)	*
	スペイン語中級2	1		開講	実習(外国語)	*
	スペイン語コミュニケーション1	1		欠講	実習(外国語)	*
スペイン語コミュニケーション2	1	欠講	実習(外国語)	*		
中国語	中国語入門1	1	1~4	開講	実習(外国語)	
	中国語入門2	1		開講	実習(外国語)	
	中国語中級1	1	2~4	欠講	実習(外国語)	*
	中国語中級2	1		欠講	実習(外国語)	*
	中国語コミュニケーション1	1		開講	実習(外国語)	*
中国語コミュニケーション2	1	開講	実習(外国語)	*		

言語	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
韓国・朝鮮語	韓国・朝鮮語入門 1	1	1～4	開講	実習 (外国語)	
	韓国・朝鮮語入門 2	1		開講	実習 (外国語)	
	韓国・朝鮮語中級 1	1	2～4	開講	実習 (外国語)	*
	韓国・朝鮮語中級 2	1		開講	実習 (外国語)	*
	韓国・朝鮮語コミュニケーション 1	1		欠講	実習 (外国語)	*
	韓国・朝鮮語コミュニケーション 2	1		欠講	実習 (外国語)	*
イタリア語	イタリア語入門 1	1	1～4	開講	実習 (外国語)	
	イタリア語入門 2	1		開講	実習 (外国語)	
	イタリア語中級 1	1	2～4	欠講	実習 (外国語)	*
	イタリア語中級 2	1		欠講	実習 (外国語)	*
	イタリア語コミュニケーション 1	1		開講	実習 (外国語)	*
	イタリア語コミュニケーション 2	1		開講	実習 (外国語)	*
ロシア語	ロシア語入門 1	1	1～4	開講	実習 (外国語)	
	ロシア語入門 2	1		開講	実習 (外国語)	
	ロシア語中級 1	1	2～4	開講	実習 (外国語)	*
	ロシア語中級 2	1		開講	実習 (外国語)	*
	ロシア語コミュニケーション 1	1		欠講	実習 (外国語)	*
	ロシア語コミュニケーション 2	1		欠講	実習 (外国語)	*
現地実習	外国語現地実習 (英語) 1	2	1～4	開講	実習	
	外国語現地実習 (英語) 2	2		開講	実習	
	外国語現地実習 (ドイツ語) 1	2		開講	実習	
	外国語現地実習 (ドイツ語) 2	2		開講	実習	
	外国語現地実習 (フランス語) 1	2		開講	実習	
	外国語現地実習 (フランス語) 2	2		開講	実習	
	外国語現地実習 (中国語) 1	2		開講	実習	
	外国語現地実習 (中国語) 2	2		開講	実習	
	外国語現地実習 (韓国・朝鮮語) 1	2		開講	実習	
	外国語現地実習 (韓国・朝鮮語) 2	2		開講	実習	
日本語	日本語 (コンプリートビギナー) 1	1	1～4	欠講	実習 (外国語)	
	日本語 (コンプリートビギナー) 2	1		開講	実習 (外国語)	
	日本語 (入門) 1	1		開講	実習 (外国語)	*
	日本語 (入門) 2	1		欠講	実習 (外国語)	*
	日本語 (初級) 1	1		開講	実習 (外国語)	
	日本語 (初級) 2	1		開講	実習 (外国語)	
	日本語 (初中級) 1	1		開講	実習 (外国語)	
	日本語 (初中級) 2	1		開講	実習 (外国語)	
	日本語 (中級) 1	1		開講	実習 (外国語)	
	日本語 (中級) 2	1		開講	実習 (外国語)	
	日本語 (上級) 1	1		開講	実習 (外国語)	
	日本語 (上級) 2	1		開講	実習 (外国語)	

※ 各国語の入門 1・2 (「〇〇語入門 1」「〇〇語入門 2」) 以外の科目は、履修に先だって、当該外国語の初級文法の学習を終えていることが条件となります。初級文法授業とは、各学部学科の当該外国語の 1 年次配当授業のうち初級文法の内容を含むもの、全学共通の入門授業、もしくは高等学校や大学等で入学前に受けた授業 (初級文法を含むと判断できるもの) です。1 年次生や編転入学者など、入学 1 年目の学生については、入学前に受けた初級文法授業がある場合にのみ、申請によって履修登録をおこなうことができます。

※ 「中国語コミュニケーション 1」「中国語コミュニケーション 2」、「韓国・朝鮮語コミュニケーション 1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション 2」は入門を終えた人が履修する会話の授業です。学習歴 2 年目以上の学生を対象としています。

2. 外国語学習の手引き

(1) 英語について

大学で学ぶ英語は、入学時まで学習してきた内容を確認なものとするという側面と、それをふまえてより発展的な学習をおこなうという二つの性格をあわせ持っています。様々な学習・研究のなかで英語文献や資料を読む必要が出てくる場合に備えて、的確に英文の内容をつかむことができるだけの英語力を身につけておかなければなりません。それと同時に、異文化コミュニケーションの現場で必要とされる英語を聞く力・話す力の養成も重視するという観点から、実践的な英語力をつけるための学習にも力をいれるようにしてください。

まず、入学時に英語クラス分けならびに GSC (英語) コース所属選抜試験を受験し、その結果に基づいて配属されたクラスで授業を受けます。授業のための学習、及び自主学習の成果をはかるために、1 年次、2 年次の後期には全員が TOEIC® L&R IP テストを受験します。この検定は、就職活動の際にスコアを要求されることもある英語能力試験 TOEIC® の団体受験制度によって行われ、テスト結果の有効性は通常公開テストと同等であると判断されています。

さらに毎年度1～2月にはコース指定の英語検定試験（IELTS等）を学内で受験します。これにより、皆さんは自分の英語能力を知ることができ、その後の進路選択や学習計画に活用することができます。結果は英語力評価の目的に利用され、これによって各自が英語プログラムで求められる、毎年の英語力の要件を満たしたか、確認されます。なお長期留学をおこなう人は、適宜留学先が求めるIELTS等の外部英語検定試験を受ける必要があります。

GSC（英語）における英語学習については、ガイダンスでの説明により、その目標や内容をしっかり理解するようにしてください。

（2）ドイツ語について

◇ 選択外国語のドイツ語

「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」：

はじめてドイツ語を学ぶ人のための初級文法の授業です。

「ドイツ語中級1」「ドイツ語中級2」：

上記の「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」の単位を修得した人のための読解授業です。内容は文学や芸術に関わるものから社会的な事象まで、担当者によって異なります。

「ドイツ語コミュニケーション1」「ドイツ語コミュニケーション2」：

上記の「ドイツ語入門1」「ドイツ語入門2」の単位を修得した人のための会話授業です。

「外国語現地実習（ドイツ語）1」「外国語現地実習（ドイツ語）2」：

選択外国語としてドイツ語を履修した人にお勧めします。「外国語現地実習（ドイツ語）1」は春季に、「外国語現地実習（ドイツ語）2」は夏季にドイツで実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座科目」のドイツ語

「ドイツ語論述実習1」「ドイツ語論述実習2」、「ドイツ語圏の社会と文化1」「ドイツ語圏の社会と文化2」：

ドイツに長期留学したい人や高度なドイツ語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業はドイツ語を母語とする教員がドイツ語でおこないます。

（3）フランス語について

◇ 選択外国語のフランス語

「フランス語入門1」「フランス語入門2」：

はじめてフランス語を学ぶ人のための初級文法の授業です。

「フランス語中級1」「フランス語中級2」：

上記の「フランス語入門1」「フランス語入門2」を履修し終えた人のための読解授業です。内容的には、時事関係、現代社会の諸問題など様々なテーマを取り上げます。

「フランス語コミュニケーション1」「フランス語コミュニケーション2」：

上記の「フランス語入門1」「フランス語入門2」を履修し終えた人のための会話授業です。

「外国語現地実習（フランス語）1」「外国語現地実習（フランス語）2」：

選択外国語としてフランス語を履修した人にお勧めします。「外国語現地実習（フランス語）1」は春季に、「外国語現地実習（フランス語）2」は夏季に集中的にフランスで実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座科目」のフランス語

「フランス語論述実習1」「フランス語論述実習2」、「フランスの歴史と社会1」「フランスの歴史と社会2」：

フランスに長期留学したい人、また高度なフランス語の運用能力を身につけたい人のための授業です。授業はフランス語を母語とする教員がフランス語でおこないます。

（4）スペイン語について

◇ 選択外国語のスペイン語

「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」：

はじめてスペイン語を学ぶ人のための初級文法の授業です。

「スペイン語中級1」「スペイン語中級2」：

上記の「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」の単位を修得した人のための読解授業です。

「スペイン語コミュニケーション1」「スペイン語コミュニケーション2」:

上記の「スペイン語入門1」「スペイン語入門2」の単位を修得した人のための会話授業です。

(5) 中国語について

◇ 選択外国語の中国語

「中国語入門1」「中国語入門2」「中国語中級1」「中国語中級2」「中国語コミュニケーション1」「中国語コミュニケーション2」は、それぞれ週1回の授業です。「外国語現地実習(中国語)1」「外国語現地実習(中国語)2」は、春季および夏季に中国または台湾でおこなわれる短期留学です。

「中国語入門1」「中国語入門2」:

はじめて中国語を学ぶ人のための初級クラス(初学者=学習歴1年目の学生を対象)。

「中国語中級1」「中国語中級2」:

入門を終えた人が履修する中級レベルの授業(学習歴2年目の学生を対象)。

「中国語コミュニケーション1」「中国語コミュニケーション2」:

入門を終えた人が履修する会話の授業(学習歴2年以上の学生を対象)。

「外国語現地実習(中国語)1」「外国語現地実習(中国語)2」:

選択外国語として中国語を履修した人にお勧めします。武蔵大学の中国語のカリキュラムで1年間学習した学生ならば、これに参加できる能力が充分についているでしょう。「外国語現地実習(中国語)1」「外国語現地実習(中国語)2」は、春季および夏季に中国または台湾で集中的に実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座」の中国語

「中国の社会と文化1」「中国の社会と文化2」「中国語論述実習1」「中国語論述実習2」:

中国に長期留学したい人や高度な中国語能力を身につけたい人のための授業です。授業は中国語を母語とする教員が中国語でおこないます。

(6) 韓国・朝鮮語について

◇ 選択外国語の韓国・朝鮮語

「韓国・朝鮮語入門1」「韓国・朝鮮語入門2」「韓国・朝鮮語中級1」「韓国・朝鮮語中級2」「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」は、それぞれ週1回の授業です。「外国語現地実習(韓国・朝鮮語)1」「外国語現地実習(韓国・朝鮮語)2」は、春季および夏季に韓国現地でおこなわれる短期留学です。

「韓国・朝鮮語入門1」「韓国・朝鮮語入門2」:

はじめて韓国・朝鮮語を学ぶ人のための初級クラス(初学者=学習歴1年目の学生を対象)。

「韓国・朝鮮語中級1」「韓国・朝鮮語中級2」:

入門を終えた人が履修する中級レベルの授業(学習歴2年目の学生を対象)。

「韓国・朝鮮語コミュニケーション1」「韓国・朝鮮語コミュニケーション2」:

入門を終えた人が履修する会話の授業(学習歴2年以上の学生を対象)。

「外国語現地実習(韓国・朝鮮語)1」「外国語現地実習(韓国・朝鮮語)2」:

選択外国語として韓国・朝鮮語を履修した人にお勧めします。武蔵大学の韓国・朝鮮語のカリキュラムで1年間学習した学生ならば、これに参加できる能力が充分についているでしょう。「外国語現地実習(韓国・朝鮮語)1」は春季に、「外国語現地実習(韓国・朝鮮語)2」は夏季に集中的に韓国現地で実施されます。

◇ 共通専門科目「留学準備講座」の韓国・朝鮮語

「韓国・朝鮮の社会と文化1」「韓国・朝鮮の社会と文化2」「韓国・朝鮮語論述実習1」「韓国・朝鮮語論述実習2」:

韓国に長期留学したい人や高度な韓国語能力を身につけたい人のための授業です。授業は韓国語を母語とする教員が韓国語でおこないます。

(7) イタリア語について

◇ 選択外国語のイタリア語

「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」:

はじめてイタリア語を学ぶ人のための初級文法の授業です。

「イタリア語中級1」「イタリア語中級2」:

上記の「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」を履修し終えた人のための読解授業です。

「イタリア語コミュニケーション1」「イタリア語コミュニケーション2」:

上記の「イタリア語入門1」「イタリア語入門2」を履修し終えた人のための会話授業です。

(8) ロシア語について

「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」:

はじめてロシア語を学ぶ人のための初級文法の授業です。

「ロシア語中級1」「ロシア語中級2」:

上記の「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」の単位を修得した人のための読解授業です。

「ロシア語コミュニケーション1」「ロシア語コミュニケーション2」:

上記の「ロシア語入門1」「ロシア語入門2」の単位を修得した人のための会話授業です。

(9) グローバル教育センターによる外国語学修プログラム他

グローバル教育センターでは、以下のような様々な外国語学習の機会を用意しています。正課の授業で基礎力を確保し、さらにそれを発展させるような機会を積極的に利用して、実力をアップさせていくことが望まれます。

(1) 課外講座

TOEIC® および IELTS™ の得点アップを希望する意欲ある学生を対象に、試験対策の課外講座等を有料で提供しています。

① TOEIC® L&R IP スコアアッププログラム

TOEIC® L&R IP テストのスコアアップを目指すプログラム「TOEIC700点突破コース」と「TOEIC550点突破コース」を開講します。詳細は3Sでご確認ください。

② IELTS™ 対策講座

英語圏への留学の際に必要な IELTS™ のスコアアップをめざす IELTS™ 対策講座を企画しています。詳細は3Sでご確認ください。

(2) 武蔵大学外国語学習褒賞・勸奨制度

対象の言語は、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語（日本語教育能力検定試験）等です。それぞれの基準や条件については、3Sや武蔵大学ウェブサイトでご確認ください。

(3) Musashi Communication Village (MCV)

MCVとは、英語をはじめとする外国語や外国の文化を楽しみながら学ぶための課外学習施設で、1号館3階にあり、以下のプログラムやイベントを提供しています。外国語があふれる環境に身をおき、そこで実際に外国語を使うことによってコミュニケーション力をアップしてゆくことができます。ぜひ積極的に活用してください。

① 英会話レッスン

少人数の英会話レッスンをおこなっています。

② フリートーク

外国人スタッフや学生スタッフといつでも気軽な会話を楽しめます。

③ 外国語学習カウンセリング

一人ひとりに合った学習方法などを相談することができます。

④ 異文化体験イベント

外国語力向上や異文化理解を目的としたイベントを開催しています。季節のイベント、本学教員がおこなう各国語のイベントや様々なテーマのイベント、学生スタッフ主催のイベント等を開催しています。

⑤ 講演会

国際理解・異文化交流・外国語学習 についての理解を深めるための講演会を年に1～2回、開催しています。

⑥ クッキングクラス（英語）

英会話をしながら料理をつくります。

⑦ アクティビティ

外国語を使いながら、楽しく遊べるアクティビティを外国人スタッフや学生スタッフが毎日実施しています。

⑧ 日本語チューター制度

日本語チューターが留学生の日本語学習をお手伝いします。

【注意】

MCVでおこなわれるプログラムは年度ごとに変ります。プログラムの詳細やスケジュールについてはMCVに向いて確認してください。

(4) MITC / English JAM

MITCは、自由参加形式の英語集中合宿(春季、夏季)です。合宿中は英語だけを使って進めるグループ学習が主体で、学生が計画・運営にあたります。英語の使い手になるための様々なトレーニングを経験できます。English JAMは、MITCと同じ趣旨の活動を土曜日の午後に学内でおこなうものです。問合せは、10号館2階 English JAM Room まで。

4. 外国語現地実習

「現地実習」は海外でおこなう語学の集中授業です。イギリス、オーストラリア、フィリピン、ドイツ、フランス、中国、台湾、韓国において、集中授業として実施します。実施時期が春季と夏季の2種類あり、春季集中授業は次年度の前期科目、夏季集中授業は実施年度の後期科目となります。授業内容についてはシラバスを参照してください。

外国語現地実習の授業科目には、「外国語現地実習(英語)1」「外国語現地実習(英語)2」、「外国語現地実習(ドイツ語)1」「外国語現地実習(ドイツ語)2」、「外国語現地実習(フランス語)1」「外国語現地実習(フランス語)2」、「外国語現地実習(中国語)1」「外国語現地実習(中国語)2」、「外国語現地実習(韓国・朝鮮語)1」「外国語現地実習(韓国・朝鮮語)2」があります。

(1) 外国語現地実習の履修条件

これらの科目を履修するには、グローバル教育センターの定めた規則に従い、参加の手続きをグローバル教育センターでとるとともに、履修の詳細、スケジュールに注意して履修登録をしなければなりません。規則を守れない場合、履修登録は完了せず、すでに登録していたとしても無効となりますので、十分注意してください。

(2) 外国語現地実習の履修の詳細

下記(5)外国語現地実習のスケジュール(予定)を参照してください。各科目は履修取消し制度および履修登録科目制限の対象外とします。なお、履修期に休学、退学をすると、単位認定はおこなわれません。

(3) 外国語現地実習の成績評価

成績評価は「P」を合格とし、単位は2単位です。帰国後に提出するレポートと現地での学習成果に基づいて評価します。

(4) 外国語現地実習のガイダンス

履修を希望する場合はグローバル教育センターのガイダンスに出席してください。

(5) 外国語現地実習のスケジュール (予定)

① 夏季集中授業スケジュール

- | | |
|-------|---|
| 4月 | グローバル教育センターによる募集ガイダンス |
| 5～7月 | 参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス |
| 6月 | 履修登録確認
(履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので各自、登録内容を確認してください。) |
| 8～9月 | 現地実習
レポート提出 |
| 翌3月下旬 | 成績確認 (4年次生については3月初旬) |

② 春季集中授業スケジュール

単位認定を希望する4年次生の春季現地実習への参加は認められませんので、注意してください。

- | | |
|-------|--|
| 10月 | グローバル教育センターによる募集ガイダンス |
| 11～1月 | 参加・履修手続き書類をグローバル教育センターのルールに則り提出、各種ガイダンス |
| 2～3月 | 現地実習 |
| 4月 | 履修登録確認
(履修登録はグローバル教育センターに提出する手続き書類をもとに、教務課で事前に登録するので、各自、登録内容を確認してください。)
レポート提出 |
| 9月 | 成績確認 |

4 グローバル・スタディーズコース（英語）専門科目（共通専門科目）

人文学部では、所属学科コースの専門分野にとどまらず、幅広く深い知識を修得できるよう、他学科の専攻科目（学部共通科目）、他学部の専門科目（全学対象専門科目）、留学・国際交流関連科目、学芸員課程関連科目を共通専門科目に指定しています。履修については、科目により条件が異なりますので、以下の履修の注意を良く読んでください。

卒業に必要な共通専門科目単位	
グローバル・スタディーズコース（英語）	20 単位

＜履修上の注意＞

* 本コースの所属学生は、共通専門科目のうち、英語でおこなわれる授業または英語関連の科目から8単位以上修得しなければなりません。該当する科目については、120～121頁の「英語でおこなわれる授業一覧」の共通専門科目欄を参照してください。

* 学芸員資格取得を目指す場合の注意：2年次に学芸員課程の必修科目を少なくとも4科目以上履修しておくようにしてください。3年次に長期留学をする人は、卒業を1年間延長する場合に限り、帰国後の2年間の履修を認めます。

* 「学芸員課程関連科目」の修得単位のうち、8単位まで共通専門科目として卒業に必要な単位に算入することができます。8単位を超えて修得した場合は自由科目扱いとなり、修得した単位を卒業に必要な単位の中に算入することはできません。

* 「留学・国際交流関連科目」の分野である「EAS科目」および「留学準備講座科目」の履修についての詳細は、168頁を参照してください。

* 所属学科が提供する講義科目は、共通専門科目ではなく、専攻専門科目として履修します。同じグローバル・スタディーズコース（英語）に属していても、所属学科によって共通専門科目として単位修得できる科目が異なったり、同じ科目を履修しても卒業単位への算入の仕方が異なることがありますので注意してください。

* GSC 共通専門ゼミナールの履修にあたっては、少人数教育実施の観点から履修者数の調整がおこなわれる場合があります。履修登録にあたってはシラバスの内容やガイダンスの説明を事前にしっかり確認してください。なお GSC 共通専門ゼミナールについては重複履修が認められます。重複履修をした場合、2度目以降の修得単位も卒業要件に算入できません。

◆ 共通専門科目

◇ 学部共通科目（英語英米文化学科所属学生対象）

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
① 比較文化と異文化交流	OTH21010	課題解決型国際ゼミナールプロジェクト	2	2～4	欠講	演習	*
	OTH11010	人文フィールドワーク入門	2	2～4	開講	演習	*
	LIT02390	比較文学論（日欧）	2	2～4	開講	講義	*
	HST02340	ヨーロッパ対外交流史	2	2～4	開講	講義	*
	ART02380	比較芸術論1	2	2～4	開講	講義	*
	ART02390	比較芸術論2	2	2～4	開講	講義	*
	ART02400	イメージ文化論	2	2～4	開講	講義	*
	ART22410	比較建築空間論	2	2～4	欠講	講義	*
	ART22420	音響文化論	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02370	比較思想（日欧）	2	2～4	欠講	講義	*
	EUS02350	テクノロジー文化論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02360	観光文化論（ヨーロッパ）	2	2～4	欠講	講義	*
	IAS02610	イスラーム文化論1	2	2～4	開講	講義	
	IAS02620	イスラーム文化論2	2	2～4	欠講	講義	
	IAS21610	イスラーム文化演習1	2	2～4	開講	演習	
	IAS21620	イスラーム文化演習2	2	2～4	開講	演習	
	GLS02310	越境文化論	2	2～4	開講	講義	*
	ANT02610	文化人類学概論1	2	2～4	欠講	講義	
	ANT02620	文化人類学概論2	2	2～4	開講	講義	
	HST02710	東アジアの美術工芸史1	2	2～4	開講	講義	
	HST02720	東アジアの美術工芸史2	2	2～4	開講	講義	
	ARE02610	環日本海文化論1	2	2～4	欠講	講義	
	ARE02620	環日本海文化論2	2	2～4	欠講	講義	
	OTH02040	文化財科学	2	1～4	開講	講義	

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
② 欧米の文化 (言語・文学)	LIT02350	ヨーロッパ古典文学	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02360	ヨーロッパの文学 1	2	2～4	欠講	講義	*
	LIT02370	ヨーロッパの文学 2	2	2～4	開講	講義	*
	LNG02370	ギリシア語学 1	2	2～4	開講	講義	*
	LNG02380	ギリシア語学 2	2	2～4	開講	講義	*
	LNG02350	ラテン語学 1	2	2～4	欠講	講義	*
	LNG02360	ラテン語学 2	2	2～4	欠講	講義	*
	LNG02310	ドイツ語学 1	2	2～4	開講	講義	*
	LNG02320	ドイツ語学 2	2	2～4	欠講	講義	*
	LNG02330	フランス語学 1	2	2～4	開講	講義	*
	LNG02340	フランス語学 2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02310	ドイツ文学史 1	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02320	ドイツ文学史 2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02330	フランス文学史 1	2	2～4	欠講	講義	*
	LIT02340	フランス文学史 2	2	2～4	欠講	講義	*
LNG12050	Introduction to Applied Linguistics	2	2～4	開講	講義	*	
③ 欧米の文化 (芸術・思想・宗教)	ART02310	ドイツ語圏の芸術	2	2～4	開講	講義	*
	ART02320	フランスの芸術 1	2	2～4	開講	講義	*
	ART02330	フランスの芸術 2	2	2～4	欠講	講義	*
	EUS02370	ヨーロッパの神話と伝説 1	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02380	ヨーロッパの神話と伝説 2	2	2～4	開講	講義	*
	ART02340	ヨーロッパの芸術	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02360	ヨーロッパ思想史	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02310	ドイツ語圏の思想と文化 1	2	2～4	欠講	講義	*
	PHI02320	ドイツ語圏の思想と文化 2	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02330	フランス思想史 1	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02340	フランス思想史 2	2	2～4	開講	講義	*
PHI02350	ヨーロッパの哲学	2	2～4	開講	講義	*	
④ 欧米の歴史と現在	HST02350	ギリシア・ローマ史	2	2～4	開講	講義	*
	HST02310	ドイツ中世史	2	2～4	欠講	講義	*
	HST02320	ドイツ近現代史	2	2～4	開講	講義	*
	HST02330	フランス史	2	2～4	開講	講義	*
	GLS02320	地中海文明論	2	2～4	開講	講義	*
	ARE02310	北欧文化論	2	2～4	開講	講義	*
	ARE02320	オーストリア・東欧文化論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02390	ヨーロッパ統合論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02400	ヨーロッパ都市論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02410	現代ヨーロッパ論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02430	ユダヤ文化論	2	2～4	開講	講義	*
	HST02360	ヨーロッパ形成史	2	2～4	開講	講義	*
	HST02370	ヨーロッパ交流史	2	2～4	欠講	講義	*
	EUS02420	ルネサンス文化論	2	2～4	開講	講義	*
FRS02310	フランス語圏の文化と社会	2	2～4	開講	講義	*	
⑤ 東アジアの文化と社会	LIT02710	中国文学史 1	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02720	中国文学史 2	2	2～4	開講	講義	*
	CHS02630	中国の民族と社会 1	2	2～4	欠講	講義	*
	CHS02640	中国の民族と社会 2	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02650	中国思想史 1	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02660	中国思想史 2	2	2～4	開講	講義	*
	CHS02610	現代中国論 1	2	2～4	開講	講義	*
	CHS02620	現代中国論 2	2	2～4	開講	講義	*
	KOS02710	現代韓国論 1	2	2～4	開講	講義	*
	KOS02720	現代韓国論 2	2	2～4	開講	講義	*
	KOS02730	朝鮮文化論 1	2	2～4	開講	講義	*
	KOS02740	朝鮮文化論 2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02730	朝鮮文学史 1	2	2～4	欠講	講義	*
	LIT02740	朝鮮文学史 2	2	2～4	欠講	講義	*
⑥ 日本の歴史と文化	LNG02610	日本の言語文化 1	2	2～4	開講	講義	*
	LNG02620	日本の言語文化 2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02610	日本古典文学史 1	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02620	日本古典文学史 2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02630	日本近現代文学史 1	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02640	日本近現代文学史 2	2	2～4	開講	講義	*
	HST02690	日本芸能史 1	2	2～4	欠講	講義	*
	HST02700	日本芸能史 2	2	2～4	欠講	講義	*
	JPS02610	日本文化論 1	2	2～4	開講	講義	*
	JPS02620	日本文化論 2	2	2～4	開講	講義	*
	HST02670	日本美術工芸史 1	2	2～4	欠講	講義	*
HST02680	日本美術工芸史 2	2	2～4	欠講	講義	*	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
⑥ 日本の歴史と文化	HST02630	日本建築史 1	2	2～4	開講	講義	
	HST02640	日本建築史 2	2	2～4	開講	講義	
	FOL02630	民俗宗教論 1	2	2～4	開講	講義	*
	FOL02640	民俗宗教論 2	2	2～4	開講	講義	*
	FOL02610	日本民俗史 1	2	2～4	開講	講義	
	FOL02620	日本民俗史 2	2	2～4	開講	講義	
	HST02610	日本服飾文化史 1	2	2～4	欠講	講義	
	HST02620	日本服飾文化史 2	2	2～4	欠講	講義	
	JPS02630	日本の身体文化 1	2	2～4	開講	講義	*
	JPS02640	日本の身体文化 2	2	2～4	開講	講義	*
	AST02610	琉球文化論 1	2	2～4	開講	講義	
	AST02620	琉球文化論 2	2	2～4	開講	講義	
	LIT02690	日本幻想文学論 1	2	2～4	開講	講義	
	LIT02700	日本幻想文学論 2	2	2～4	開講	講義	
	PHI02610	日本思想史 1	2	2～4	開講	講義	
	PHI02620	日本思想史 2	2	2～4	開講	講義	
	RELO2610	日本の仏教 1	2	2～4	開講	講義	
	RELO2620	日本の仏教 2	2	2～4	開講	講義	
⑦ 人間科学と環境	OTH02020	現代スポーツ論	2	1～4	開講	講義	
	OTH02070	スポーツ身体論	2	1～4	欠講	講義	*
	OTH02030	スポーツイメージ文化論	2	1～4	開講	講義	*
	OTH02050	保全生物学	2	1～4	開講	講義	
	OTH02060	動物社会学	2	1～4	開講	講義	
	ENV12310	地球環境シミュレーション	2	1～4	開講	講義	
	OTH02010	宇宙観の歴史	2	1～4	開講	講義	
	ENV02320	都市環境論	2	1～4	開講	講義	
	ENV02310	ヨーロッパ環境論	2	2～4	開講	講義	*
	MCC11010	人文情報リテラシー	2	1～4	開講	演習	
⑧ GSC 共通専門ゼミナール	LNG21010	英語学ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	
	LNG21020	英語学ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	
	LNG21110	Applied Linguistics Seminar 1	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21120	Applied Linguistics Seminar 2	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21030	Academic Presentation Seminar 1	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21050	Academic Presentation Seminar 2	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21070	Academic Writing Seminar 1	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21090	Academic Writing Seminar 2	2	2～4	開講	演習	*
	LED21030	英語教育ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	
	LED21040	英語教育ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	
	LIT21010	アメリカ文学ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	
	LIT21020	アメリカ文学ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	
	LIT21030	イギリス文学ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	LIT21040	イギリス文学ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
	LIT21050	英語圏文学ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	LIT21060	英語圏文学ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
	ART21010	英米の芸術ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	ART21020	英米の芸術ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
	PHI21010	英米の思想ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	PHI21020	英米の思想ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
	HST21030	イギリス史ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	HST21040	イギリス史ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
	HST21010	アメリカ史ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	HST21020	アメリカ史ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21050	観光文化ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21060	観光文化ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21030	英米の社会ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21040	英米の社会ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21010	英語圏文化ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	
	BAS21020	英語圏文化ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	
	EUS31310	専門ゼミナール(言語と文化)1	2	3～4	開講	演習	
	EUS31320	専門ゼミナール(言語と文化)2	2	3～4	開講	演習	
	EUS31370	専門ゼミナール(文学と文化)1	2	3～4	開講	演習	
	EUS31390	専門ゼミナール(文学と文化)2	2	3～4	開講	演習	
EUS31880	専門ゼミナール(芸術と文化)1	2	3～4	開講	演習		
EUS31890	専門ゼミナール(芸術と文化)2	2	3～4	開講	演習		
EUS31740	専門ゼミナール(宗教・思想と文化)1	2	3～4	開講	演習		
EUS31750	専門ゼミナール(宗教・思想と文化)2	2	3～4	開講	演習		
EUS31720	専門ゼミナール(歴史と文化)1	2	3～4	開講	演習		
EUS31730	専門ゼミナール(歴史と文化)2	2	3～4	開講	演習		
EUS31780	専門ゼミナール(社会と文化)1	2	3～4	開講	演習		

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
⑧ GSC 共通専門ゼミナール	EUS31790	専門ゼミナール(社会と文化)2	2	3~4	開講	演習	
	HST21710	日本中世史演習 1	2	2~4	開講	演習	
	HST21720	日本中世史演習 2	2	2~4	開講	演習	
	HST21730	日本近世史演習 1	2	2~4	開講	演習	*
	HST21740	日本近世史演習 2	2	2~4	開講	演習	*
	HST21670	日本芸能史演習 1	2	2~4	欠講	演習	*
	HST21680	日本芸能史演習 2	2	2~4	欠講	演習	*
	FOL21630	民俗宗教演習 1	2	2~4	開講	演習	
	FOL21640	民俗宗教演習 2	2	2~4	開講	演習	
	FOL21610	日本民俗史演習 1	2	2~4	開講	演習	*
	FOL21620	日本民俗史演習 2	2	2~4	開講	演習	*
	CHS21630	中国史演習 1	2	2~4	開講	演習	
	CHS21640	中国史演習 2	2	2~4	開講	演習	
	CHS21610	中国の民族と社会演習 1	2	2~4	欠講	演習	
	CHS21620	中国の民族と社会演習 2	2	2~4	開講	演習	
	KOS21610	朝鮮文化演習 1	2	2~4	開講	演習	*
	KOS21620	朝鮮文化演習 2	2	2~4	開講	演習	*
	LIT21750	朝鮮文学演習 1	2	2~4	欠講	演習	*
	LIT21760	朝鮮文学演習 2	2	2~4	欠講	演習	*
	KOS21630	朝鮮史演習 1	2	2~4	開講	演習	*
	KOS21640	朝鮮史演習 2	2	2~4	開講	演習	*
	HST21850	日朝交流史演習 1	2	2~4	欠講	演習	*
	HST21860	日朝交流史演習 2	2	2~4	欠講	演習	*
	AST21610	琉球文化演習 1	2	2~4	開講	演習	
	AST21620	琉球文化演習 2	2	2~4	開講	演習	
	PHI21650	中国思想史演習 1	2	2~4	開講	演習	
	PHI21660	中国思想史演習 2	2	2~4	開講	演習	
	LIT21710	日本幻想文学演習 1	2	2~4	開講	演習	
	LIT21720	日本幻想文学演習 2	2	2~4	開講	演習	
	LNG21630	日本語の表現演習 1	2	2~4	開講	演習	*
	LNG21640	日本語の表現演習 2	2	2~4	開講	演習	*
⑨ クト科目 プロジェ	CRO21010	学部横断型課題解決プロジェクト	4	1~4	開講	演習	1年次は後期からとする。

◆ 共通専門科目

◇ 学部共通科目 (ヨーロッパ文化学科所属学生対象)

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考	
① 比較文化と異文化交流	OTH21010	課題解決型国際ゼミナールプロジェクト	2	2~4	欠講	演習	*	
	OTH11010	人文フィールドワーク入門	2	2~4	開講	演習	*	
	BAS12010	観光文化論(英米)1	2	2~4	開講	講義	*	
	BAS12020	観光文化論(英米)2	2	2~4	開講	講義	*	
	IAS02610	イスラーム文化論 1	2	2~4	開講	講義		
	IAS02620	イスラーム文化論 2	2	2~4	欠講	講義		
	IAS21610	イスラーム文化演習 1	2	2~4	開講	演習		
	IAS21620	イスラーム文化演習 2	2	2~4	開講	演習		
	ANT02610	文化人類学概論 1	2	2~4	欠講	講義		
	ANT02620	文化人類学概論 2	2	2~4	開講	講義		
	HST02710	東アジアの美術工芸史 1	2	2~4	開講	講義		
	HST02720	東アジアの美術工芸史 2	2	2~4	開講	講義		
	ARE02610	環日本海文化論 1	2	2~4	欠講	講義		
	ARE02620	環日本海文化論 2	2	2~4	欠講	講義		
	OTH12040	文化財科学	2	1~4	開講	講義		
	② 欧米の文化 (言語・文学)	LNG12030	英語学概論 1	2	2~4	開講	講義	
		LNG12040	英語学概論 2	2	2~4	開講	講義	
LED12010		英語教育学 1	2	2~4	開講	講義		
LED12020		英語教育学 2	2	2~4	開講	講義		
LNG12010		異文化コミュニケーション論 1	2	2~4	開講	講義	*	
LNG12020		異文化コミュニケーション論 2	2	2~4	開講	講義	*	
LIT12030		イギリスの文学 1	2	2~4	開講	講義	*	
LIT12040		イギリスの文学 2	2	2~4	開講	講義	*	
LIT12010		アメリカの文学 1	2	2~4	開講	講義		
LIT12020		アメリカの文学 2	2	2~4	開講	講義		
LIT12050		英語圏文学入門 1	2	2~4	開講	講義	*	
LIT12060		英語圏文学入門 2	2	2~4	開講	講義	*	
LNG12050	Introduction to Applied Linguistics	2	2~4	開講	講義	*		

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考	
③ 欧米の文化 術・思想・宗教	ART12010	英米の芸術1	2	2～4	開講	講義	*	
	ART12020	英米の芸術2	2	2～4	開講	講義	*	
	PHI12010	英米の思想1	2	2～4	開講	講義	*	
	PHI12020	英米の思想2	2	2～4	開講	講義	*	
	REL12010	英語圏の宗教と文化1	2	2～4	開講	講義	*	
	REL12020	英語圏の宗教と文化2	2	2～4	開講	講義	*	
④ 欧米の歴史と現在	HST12030	イギリス史1	2	2～4	開講	講義	*	
	HST12040	イギリス史2	2	2～4	開講	講義	*	
	HST12010	アメリカ史1	2	2～4	開講	講義	*	
	HST12020	アメリカ史2	2	2～4	開講	講義	*	
	BRS12010	イギリス文化論1	2	2～4	開講	講義	*	
	BRS12020	イギリス文化論2	2	2～4	開講	講義	*	
	AMS12010	アメリカ文化論1	2	2～4	開講	講義	*	
	AMS12020	アメリカ文化論2	2	2～4	開講	講義	*	
⑤ 東アジアの文化と社会	LIT02710	中国文学史1	2	2～4	開講	講義	*	
	LIT02720	中国文学史2	2	2～4	開講	講義	*	
	CHS02630	中国の民族と社会1	2	2～4	欠講	講義		
	CHS02640	中国の民族と社会2	2	2～4	開講	講義		
	PHI02650	中国思想史1	2	2～4	開講	講義	*	
	PHI02660	中国思想史2	2	2～4	開講	講義	*	
	CHS02610	現代中国論1	2	2～4	開講	講義		
	CHS02620	現代中国論2	2	2～4	開講	講義		
	KOS02710	現代韓国論1	2	2～4	開講	講義		
	KOS02720	現代韓国論2	2	2～4	開講	講義		
	KOS02730	朝鮮文化論1	2	2～4	開講	講義	*	
	KOS02740	朝鮮文化論2	2	2～4	開講	講義	*	
	LIT02730	朝鮮文学史1	2	2～4	欠講	講義	*	
LIT02740	朝鮮文学史2	2	2～4	欠講	講義	*		
⑥ 日本の歴史と文化	LNG02610	日本の言語文化1	2	2～4	開講	講義		
	LNG02620	日本の言語文化2	2	2～4	開講	講義		
	LIT02610	日本古典文学史1	2	2～4	開講	講義		
	LIT02620	日本古典文学史2	2	2～4	開講	講義		
	LIT02630	日本近現代文学史1	2	2～4	開講	講義		
	LIT02640	日本近現代文学史2	2	2～4	開講	講義		
	HST02690	日本芸能史1	2	2～4	欠講	講義	*	
	HST02700	日本芸能史2	2	2～4	欠講	講義	*	
	JPS02610	日本文化論1	2	2～4	開講	講義		
	JPS02620	日本文化論2	2	2～4	開講	講義		
	HST02670	日本美術工芸史1	2	2～4	欠講	講義		
	HST02680	日本美術工芸史2	2	2～4	欠講	講義		
	HST02630	日本建築史1	2	2～4	開講	講義		
	HST02640	日本建築史2	2	2～4	開講	講義		
	FOL02630	民俗宗教論1	2	2～4	開講	講義	*	
	FOL02640	民俗宗教論2	2	2～4	開講	講義	*	
	FOL02610	日本民俗史1	2	2～4	開講	講義		
	FOL02620	日本民俗史2	2	2～4	開講	講義		
	HST02610	日本服飾文化史1	2	2～4	欠講	講義		
	HST02620	日本服飾文化史2	2	2～4	欠講	講義		
	JPS02630	日本の身体文化1	2	2～4	開講	講義	*	
	JPS02640	日本の身体文化2	2	2～4	開講	講義	*	
	AST02610	琉球文化論1	2	2～4	開講	講義		
	AST02620	琉球文化論2	2	2～4	開講	講義		
	LIT02690	日本幻想文学論1	2	2～4	開講	講義		
	LIT02700	日本幻想文学論2	2	2～4	開講	講義		
	PHI02610	日本思想史1	2	2～4	開講	講義		
	PHI02620	日本思想史2	2	2～4	開講	講義		
	REL02610	日本の仏教1	2	2～4	開講	講義		
	REL02620	日本の仏教2	2	2～4	開講	講義		
	⑦ 人間科学と環境	OTH02020	現代スポーツ論	2	1～4	開講	講義	
		OTH02070	スポーツ身体論	2	1～4	欠講	講義	*
OTH02030		スポーツイメージ文化論	2	1～4	開講	講義	*	
OTH02050		保全生物学	2	1～4	開講	講義		
OTH02060		動物社会学	2	1～4	開講	講義		
ENV12310		地球環境シミュレーション	2	1～4	開講	講義		
OTH02010		宇宙観の歴史	2	1～4	開講	講義		
ENV02320		都市環境論	2	1～4	開講	講義		
MCC11010		人文情報リテラシー	2	1～4	開講	演習		

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
	LNG21010	英語学ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	
	LNG21020	英語学ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	
	LNG21110	Applied Linguistics Seminar 1	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21120	Applied Linguistics Seminar 2	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21030	Academic Presentation Seminar 1	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21050	Academic Presentation Seminar 2	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21070	Academic Writing Seminar 1	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21090	Academic Writing Seminar 2	2	2～4	開講	演習	*
	LED21030	英語教育ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	
	LED21040	英語教育ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	
	LIT21010	アメリカ文学ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	
	LIT21020	アメリカ文学ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	
	LIT21030	イギリス文学ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	*
	LIT21040	イギリス文学ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	*
	LIT21050	英語圏文学ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	*
	LIT21060	英語圏文学ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	*
	ART21010	英米の芸術ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	*
	ART21020	英米の芸術ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	*
	PHI21010	英米の思想ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	*
	PHI21020	英米の思想ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	*
	HST21030	イギリス史ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	*
	HST21040	イギリス史ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	*
	HST21010	アメリカ史ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	*
	HST21020	アメリカ史ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21050	観光文化ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21060	観光文化ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21030	英米の社会ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21040	英米の社会ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21010	英語圏文化ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	
	BAS21020	英語圏文化ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	
	EUS31310	専門ゼミナール(言語と文化)1	2	3～4	開講	演習	
	EUS31320	専門ゼミナール(言語と文化)2	2	3～4	開講	演習	
	EUS31370	専門ゼミナール(文学と文化)1	2	3～4	開講	演習	
	EUS31390	専門ゼミナール(文学と文化)2	2	3～4	開講	演習	
	EUS31880	専門ゼミナール(芸術と文化)1	2	3～4	開講	演習	
	EUS31890	専門ゼミナール(芸術と文化)2	2	3～4	開講	演習	
	EUS31740	専門ゼミナール(宗教・思想と文化)1	2	3～4	開講	演習	
	EUS31750	専門ゼミナール(宗教・思想と文化)2	2	3～4	開講	演習	
	EUS31720	専門ゼミナール(歴史と文化)1	2	3～4	開講	演習	
	EUS31730	専門ゼミナール(歴史と文化)2	2	3～4	開講	演習	
	EUS31780	専門ゼミナール(社会と文化)1	2	3～4	開講	演習	
	EUS31790	専門ゼミナール(社会と文化)2	2	3～4	開講	演習	
	HST21710	日本中世史演習1	2	2～4	開講	演習	
	HST21720	日本中世史演習2	2	2～4	開講	演習	
	HST21730	日本近世史演習1	2	2～4	開講	演習	*
	HST21740	日本近世史演習2	2	2～4	開講	演習	*
	HST21670	日本芸能史演習1	2	2～4	欠講	演習	*
	HST21680	日本芸能史演習2	2	2～4	欠講	演習	*
	FOL21630	民俗宗教演習1	2	2～4	開講	演習	
	FOL21640	民俗宗教演習2	2	2～4	開講	演習	
	FOL21610	日本民俗史演習1	2	2～4	開講	演習	*
	FOL21620	日本民俗史演習2	2	2～4	開講	演習	*
	CHS21630	中国史演習1	2	2～4	開講	演習	
	CHS21640	中国史演習2	2	2～4	開講	演習	
	CHS21610	中国の民族と社会演習1	2	2～4	欠講	演習	
	CHS21620	中国の民族と社会演習2	2	2～4	開講	演習	
	KOS21610	朝鮮文化演習1	2	2～4	開講	演習	*
	KOS21620	朝鮮文化演習2	2	2～4	開講	演習	*
	LIT21750	朝鮮文学演習1	2	2～4	欠講	演習	*
	LIT21760	朝鮮文学演習2	2	2～4	欠講	演習	*
	KOS21630	朝鮮史演習1	2	2～4	開講	演習	*
	KOS21640	朝鮮史演習2	2	2～4	開講	演習	*
	HST21850	日朝交流史演習1	2	2～4	欠講	演習	*
	HST21860	日朝交流史演習2	2	2～4	欠講	演習	*
	AST21610	琉球文化演習1	2	2～4	開講	演習	
	AST21620	琉球文化演習2	2	2～4	開講	演習	
	PHI21650	中国思想史演習1	2	2～4	開講	演習	
	PHI21660	中国思想史演習2	2	2～4	開講	演習	
	LIT21710	日本幻想文学演習1	2	2～4	開講	演習	
	LIT21720	日本幻想文学演習2	2	2～4	開講	演習	
	LNG21630	日本語の表現演習1	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21640	日本語の表現演習2	2	2～4	開講	演習	*

⑧ GSC 共通専門ゼミナール

第1章 授業科目の履修

グローバル・スタディーズコース(英語)

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
⑨ クト プロジェクト	CRO21010	学部横断型課題解決プロジェクト	4	2・3	開講	演習	1年次は後期からとする。

◆ 共通専門科目

◇ 学部共通科目（日本・東アジア文化学科所属学生対象）

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
① 比較文化と異文化交流	OTH21010	課題解決型国際ゼミナールプロジェクト	2	2～4	欠講	演習	*
	OTH11010	人文フィールドワーク入門	2	2～4	開講	演習	*
	LIT02390	比較文学論（日欧）	2	2～4	開講	講義	*
	HST02340	ヨーロッパ対外交流史	2	2～4	開講	講義	*
	ART02380	比較芸術論 1	2	2～4	開講	講義	*
	ART02390	比較芸術論 2	2	2～4	開講	講義	*
	ART02400	イメージ文化論	2	2～4	開講	講義	*
	ART22410	比較建築空間論	2	2～4	欠講	講義	*
	ART22420	音響文化論	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02370	比較思想（日欧）	2	2～4	欠講	講義	*
	EUS02350	テクノロジー文化論	2	2～4	開講	講義	*
	BAS12010	観光文化論（英米）1	2	2～4	開講	講義	*
	BAS12020	観光文化論（英米）2	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02360	観光文化論（ヨーロッパ）	2	2～4	欠講	講義	*
	IAS21610	イスラーム文化演習 1	2	2～4	開講	演習	
	IAS21620	イスラーム文化演習 2	2	2～4	開講	演習	
	GLS02310	越境文化論	2	2～4	開講	講義	*
OTH02040	文化財科学	2	1～4	開講	講義		
② 欧米の文化（言語・文学）	LNG12030	英語学概論 1	2	2～4	開講	講義	
	LNG12040	英語学概論 2	2	2～4	開講	講義	
	LED12010	英語教育学 1	2	2～4	開講	講義	
	LED12020	英語教育学 2	2	2～4	開講	講義	
	LNG12010	異文化コミュニケーション論 1	2	2～4	開講	講義	*
	LNG12020	異文化コミュニケーション論 2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT12030	イギリスの文学 1	2	2～4	開講	講義	*
	LIT12040	イギリスの文学 2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT12010	アメリカの文学 1	2	2～4	開講	講義	
	LIT12020	アメリカの文学 2	2	2～4	開講	講義	
	LIT12050	英語圏文学入門 1	2	2～4	開講	講義	*
	LIT12060	英語圏文学入門 2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02350	ヨーロッパ古典文学	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02360	ヨーロッパの文学 1	2	2～4	欠講	講義	*
	LIT02370	ヨーロッパの文学 2	2	2～4	開講	講義	*
	LNG02370	ギリシア語学 1	2	2～4	開講	講義	*
	LNG02380	ギリシア語学 2	2	2～4	開講	講義	*
	LNG02350	ラテン語学 1	2	2～4	欠講	講義	*
	LNG02360	ラテン語学 2	2	2～4	欠講	講義	*
	LNG02310	ドイツ語学 1	2	2～4	開講	講義	*
	LNG02320	ドイツ語学 2	2	2～4	欠講	講義	*
	LNG02330	フランス語学 1	2	2～4	開講	講義	*
	LNG02340	フランス語学 2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02310	ドイツ文学史 1	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02320	ドイツ文学史 2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02330	フランス文学史 1	2	2～4	欠講	講義	*
	LIT02340	フランス文学史 2	2	2～4	欠講	講義	*
	LNG12050	Introduction to Applied Linguistics	2	2～4	開講	講義	*

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
③ 欧米の文化 (芸術・思想・宗教)	ART12010	英米の芸術 1	2	2～4	開講	講義	*
	ART12020	英米の芸術 2	2	2～4	開講	講義	*
	PHI12010	英米の思想 1	2	2～4	開講	講義	*
	PHI12020	英米の思想 2	2	2～4	開講	講義	*
	REL12010	英語圏の宗教と文化 1	2	2～4	開講	講義	*
	REL12020	英語圏の宗教と文化 2	2	2～4	開講	講義	*
	ART02310	ドイツ語圏の芸術	2	2～4	開講	講義	*
	ART02320	フランスの芸術 1	2	2～4	開講	講義	*
	ART02330	フランスの芸術 2	2	2～4	欠講	講義	*
	EUS02370	ヨーロッパの神話と伝説 1	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02380	ヨーロッパの神話と伝説 2	2	2～4	開講	講義	*
	ART02340	ヨーロッパの芸術	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02360	ヨーロッパ思想史	2	2～4	開講	講義	*
	PHI02310	ドイツ語圏の思想と文化 1	2	2～4	欠講	講義	*
	PHI02320	ドイツ語圏の思想と文化 2	2	2～4	開講	講義	*
PHI02330	フランス思想史 1	2	2～4	開講	講義	*	
PHI02340	フランス思想史 2	2	2～4	開講	講義	*	
PHI02350	ヨーロッパの哲学	2	2～4	開講	講義	*	
④ 欧米の歴史と現在	HST12030	イギリス史 1	2	2～4	開講	講義	*
	HST12040	イギリス史 2	2	2～4	開講	講義	*
	HST12010	アメリカ史 1	2	2～4	開講	講義	*
	HST12020	アメリカ史 2	2	2～4	開講	講義	*
	BRS12010	イギリス文化論 1	2	2～4	開講	講義	*
	BRS12020	イギリス文化論 2	2	2～4	開講	講義	*
	AMS12010	アメリカ文化論 1	2	2～4	開講	講義	*
	AMS12020	アメリカ文化論 2	2	2～4	開講	講義	*
	HST02350	ギリシア・ローマ史	2	2～4	開講	講義	*
	HST02310	ドイツ中世史	2	2～4	欠講	講義	*
	HST02320	ドイツ近現代史	2	2～4	開講	講義	*
	HST02330	フランス史	2	2～4	開講	講義	*
	GLS02320	地中海文明論	2	2～4	開講	講義	*
	ARE02310	北欧文化論	2	2～4	開講	講義	*
	ARE02320	オーストリア・東欧文化論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02390	ヨーロッパ統合論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02400	ヨーロッパ都市論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02410	現代ヨーロッパ論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02430	ユダヤ文化論	2	2～4	開講	講義	*
HST02360	ヨーロッパ形成史	2	2～4	開講	講義	*	
HST02370	ヨーロッパ交流史	2	2～4	欠講	講義	*	
EUS02420	ルネサンス文化論	2	2～4	開講	講義	*	
FRS02310	フランス語圏の文化と社会	2	2～4	開講	講義	*	
⑤ 人間科学と環境	OTH02020	現代スポーツ論	2	1～4	開講	講義	*
	OTH02070	スポーツ身体論	2	1～4	欠講	講義	*
	OTH02030	スポーツイメージ文化論	2	1～4	開講	講義	*
	OTH02050	保全生物学	2	1～4	開講	講義	*
	OTH02060	動物社会学	2	1～4	開講	講義	*
	ENV12310	地球環境シミュレーション	2	1～4	開講	講義	*
	OTH02010	宇宙観の歴史	2	1～4	開講	講義	*
	ENV02320	都市環境論	2	1～4	開講	講義	*
ENV02310	ヨーロッパ環境論	2	2～4	開講	講義	*	
MCC11010	人文情報リテラシー	2	1～4	開講	演習	*	
⑥ GSC 共通専門ゼミナール	LNG21010	英語学ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21020	英語学ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21110	Applied Linguistics Seminar 1	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21120	Applied Linguistics Seminar 2	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21030	Academic Presentation Seminar 1	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21050	Academic Presentation Seminar 2	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21070	Academic Writing Seminar 1	2	2～4	開講	演習	*
	LNG21090	Academic Writing Seminar 2	2	2～4	開講	演習	*
	LED21030	英語教育ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	LED21040	英語教育ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
	LIT21010	アメリカ文学ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
	LIT21020	アメリカ文学ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*
	LIT21030	イギリス文学ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*
LIT21040	イギリス文学ゼミナール 2	2	2～4	開講	演習	*	
LIT21050	英語圏文学ゼミナール 1	2	2～4	開講	演習	*	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
⑥ G S C 共通専門ゼミナール	LIT21060	英語圏文学ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	*
	ART21010	英米の芸術ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	*
	ART21020	英米の芸術ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	*
	PHI21010	英米の思想ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	*
	PHI21020	英米の思想ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	*
	HST21030	イギリス史ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	*
	HST21040	イギリス史ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	*
	HST21010	アメリカ史ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	*
	HST21020	アメリカ史ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21050	観光文化ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21060	観光文化ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21030	英米の社会ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21040	英米の社会ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	*
	BAS21010	英語圏文化ゼミナール1	2	2～4	開講	演習	
	BAS21020	英語圏文化ゼミナール2	2	2～4	開講	演習	
	EUS31310	専門ゼミナール(言語と文化)1	2	3～4	開講	演習	
	EUS31320	専門ゼミナール(言語と文化)2	2	3～4	開講	演習	
	EUS31370	専門ゼミナール(文学と文化)1	2	3～4	開講	演習	
	EUS31390	専門ゼミナール(文学と文化)2	2	3～4	開講	演習	
	EUS31880	専門ゼミナール(芸術と文化)1	2	3～4	開講	演習	
	EUS31890	専門ゼミナール(芸術と文化)2	2	3～4	開講	演習	
	EUS31740	専門ゼミナール(宗教・思想と文化)1	2	3～4	開講	演習	
	EUS31750	専門ゼミナール(宗教・思想と文化)2	2	3～4	開講	演習	
	EUS31720	専門ゼミナール(歴史と文化)1	2	3～4	開講	演習	
	EUS31730	専門ゼミナール(歴史と文化)2	2	3～4	開講	演習	
	EUS31780	専門ゼミナール(社会と文化)1	2	3～4	開講	演習	
	EUS31790	専門ゼミナール(社会と文化)2	2	3～4	開講	演習	
	HST21710	日本中世史演習1	2	2～4	開講	演習	
	HST21720	日本中世史演習2	2	2～4	開講	演習	
	HST21730	日本近世史演習1	2	2～4	開講	演習	*
	HST21740	日本近世史演習2	2	2～4	開講	演習	*
	HST21670	日本芸能史演習1	2	2～4	欠講	演習	*
	HST21680	日本芸能史演習2	2	2～4	欠講	演習	*
	FOL21630	民俗宗教演習1	2	2～4	開講	演習	
	FOL21640	民俗宗教演習2	2	2～4	開講	演習	
	FOL21610	日本民俗史演習1	2	2～4	開講	演習	*
	FOL21620	日本民俗史演習2	2	2～4	開講	演習	*
	CHS21630	中国史演習1	2	2～4	開講	演習	
	CHS21640	中国史演習2	2	2～4	開講	演習	
	CHS21610	中国の民族と社会演習1	2	2～4	欠講	演習	
	CHS21620	中国の民族と社会演習2	2	2～4	開講	演習	
	KOS21610	朝鮮文化演習1	2	2～4	開講	演習	*
	KOS21620	朝鮮文化演習2	2	2～4	開講	演習	*
	LIT21750	朝鮮文学演習1	2	2～4	欠講	演習	*
	LIT21760	朝鮮文学演習2	2	2～4	欠講	演習	*
	KOS21630	朝鮮史演習1	2	2～4	開講	演習	*
	KOS21640	朝鮮史演習2	2	2～4	開講	演習	*
	HST21850	日朝交流史演習1	2	2～4	欠講	演習	*
	HST21860	日朝交流史演習2	2	2～4	欠講	演習	*
	AST21610	琉球文化演習1	2	2～4	開講	演習	
AST21620	琉球文化演習2	2	2～4	開講	演習		
PHI21650	中国思想史演習1	2	2～4	開講	演習		
PHI21660	中国思想史演習2	2	2～4	開講	演習		
LIT21710	日本幻想文学演習1	2	2～4	開講	演習		
LIT21720	日本幻想文学演習2	2	2～4	開講	演習		
LNG21630	日本語の表現演習1	2	2～4	開講	演習	*	
LNG21640	日本語の表現演習2	2	2～4	開講	演習	*	
⑦プロジェクト科目	CRO21010	学部横断型課題解決プロジェクト	4	2・3	開講	演習	1年次は後期からとする。

◆ 全学対象専門科目 (英語英米文化学科/ヨーロッパ文化学科/日本・東アジア文化学科所属学生共通)

◇ 経済学部提供科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考	
国際経済・経営	ECO22040	アジア経済 1	2	3・4	欠講	講義	*	
	ECO22050	アジア経済 2	2	3・4	開講	講義	*	
	ECO22060	アメリカ経済 1	2	3・4	開講	講義	*	
	ECO22070	アメリカ経済 2	2	3・4	開講	講義	*	
	ECO22610	ヨーロッパ経済 1	2	3・4	欠講	講義	*	
	ECO22620	ヨーロッパ経済 2	2	3・4	欠講	講義	*	
	ECO32010	開発経済学 1	2	3・4	欠講	講義	*	
	ECO32020	開発経済学 2	2	3・4	欠講	講義	*	
	ECO22850	国際法 1	2	3・4	開講	講義	*	
	ECO22860	国際法 2	2	3・4	開講	講義	*	
	ECO22460	世界経済 1	2	3・4	開講	講義	*	
	ECO22470	世界経済 2	2	3・4	開講	講義	*	
	経済学と現代経済	ECO22260	ゲーム理論入門	2	3・4	開講	講義	
		ECO22200	経済政策 1	2	3・4	開講	講義	*
ECO22210		経済政策 2	2	3・4	開講	講義	*	
ECO22290		憲法 1	2	3・4	開講	講義		
ECO22300		憲法 2	2	3・4	開講	講義		
ECO22270		現代政治経済学 1	2	3・4	開講	講義		
ECO22280		現代政治経済学 2	2	3・4	開講	講義		
ECO22100		行政法 1	2	3・4	開講	講義	*	
ECO22110		行政法 2	2	3・4	開講	講義	*	
ECO22370		産業組織論 1	2	3・4	開講	講義	*	
ECO22380		産業組織論 2	2	3・4	開講	講義	*	
ECO22390		社会福祉 1	2	3・4	開講	講義	*	
ECO22400		社会福祉 2	2	3・4	開講	講義	*	
ECO22410		情報経済論 1	2	3・4	開講	講義	*	
ECO22420		情報経済論 2	2	3・4	開講	講義	*	
ECO22440		西洋経済史 1	2	3・4	開講	講義		
ECO22450		西洋経済史 2	2	3・4	開講	講義		
ECO32030		日本経済史 1	2	3・4	開講	講義		
ECO32040	日本経済史 2	2	3・4	開講	講義			
ビジネス	MAN22080	イノベーション論	2	3・4	開講	講義		
	MAN12020	経営管理論 1	2	3・4	開講	講義		
	MAN22090	経営管理論 2	2	3・4	開講	講義		
	MAN22130	国際経営論	2	3・4	開講	講義		
	MAN22150	人事管理論 1	2	3・4	開講	講義		
	MAN22160	人事管理論 2	2	3・4	開講	講義	*	
	MAN22170	組織論 1	2	3・4	開講	講義		
	MAN22180	組織論 2	2	3・4	開講	講義		
	MAN22140	多国籍企業論	2	3・4	欠講	講義	*	
ビジネスデザイン	MIS22040	ITマネジメント	2	3・4	開講	講義		
	MIS22030	情報ネットワーク基礎	2	3・4	開講	講義		
	MIS22090	コンピュータシステム基礎	2	3・4	開講	講義		
	MIS22010	サービスマネジメント	2	3・4	開講	講義		
	MAN22240	ベンチャー企業論 1	2	3・4	開講	講義		
	MAN22250	ベンチャー企業論 2	2	3・4	開講	講義	*	
	MIS12010	経営情報基礎	2	2～4	開講	講義		
	MIS12020	情報と職業	2	2～4	開講	講義	*	
企業会計	ACC22070	企業法	2	3・4	開講	講義		
	ACC12050	企業法基礎	2	2～4	開講	講義		
	ACC12020	簿記演習 1	2	2～4	開講	講義		
	ECO22590	民法 1	2	3・4	開講	講義	*	
	ECO22600	民法 2	2	3・4	開講	講義	*	
	ACC12040	会計学基礎	2	2～4	開講	講義		
金融	FIN22010	ファイナンス 1	2	3・4	開講	講義		
	FIN22020	ファイナンス 2	2	3・4	開講	講義		
	FIN22030	財務報告論 1	2	3・4	開講	講義		
	FIN22040	財務報告論 2	2	3・4	開講	講義		
	FIN22050	証券市場論 1	2	3・4	開講	講義		
	FIN22060	証券市場論 2	2	3・4	開講	講義		
	FIN32150	信託論	2	3・4	開講	講義	*	
	FIN32400	保険・年金論	2	3・4	開講	講義		

◇社会学部提供科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
社会問題とエンパワーメント	ANT33010	開発人類学	2	3・4	開講	講義	*
	ANT33020	多文化共生の人類学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33010	家族社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33020	教育社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33030	ケアの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33040	ジェンダーの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33050	仕事の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33060	社会問題の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33070	人口問題の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33080	福祉社会学	2	3・4	開講	講義	*
SOC33090	不平等の社会学	2	3・4	開講	講義	*	
文化とアイデンティティ	ANT33030	家族と結婚の人類学	2	3・4	開講	講義	*
	ANT33040	宗教人類学	2	3・4	開講	講義	*
	ANT33050	文化人類学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33100	アイデンティティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33110	カルチュラルスタディーズ	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33120	コミュニケーションの社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33130	消費社会論	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33140	身体社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33150	セクシュアリティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33160	文化の社会学	2	3・4	欠講	講義	*
SOC33170	若者文化の社会学	2	3・4	開講	講義	*	
国際社会とネットワーク	ANT33060	観光人類学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33180	エスニシティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33190	環境社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33200	グローバリゼーションの社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33210	社会運動論	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33220	政治社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33230	地域とコミュニティの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33240	都市社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33250	ナショナリズムの社会学	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC33260	ネットワークの社会学	2	3・4	開講	講義	*
SOC33270	歴史社会学	2	3・4	開講	講義	*	
メディアコミュニケーション	MCC33010	映画研究	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33020	エレクトリックメディア論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33030	グローバリゼーションとメディア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33040	デジタル社会論	2	3・4	欠講	講義	*
	MCC33050	ポピュラー音楽論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33060	マスコミュニケーション論	2	3・4	開講	講義	*
	PSY33010	情報の社会心理学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33280	音楽文化の社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33290	活字メディアの社会学	2	3・4	開講	講義	*
	SOC33300	サブカルチャーの社会学	2	3・4	開講	講義	*
SOC33310	放送メディアの社会学	2	3・4	開講	講義	*	
コミュニケーション パブリック	MCC33070	Webシステム論	2	2～4	開講	講義	*
	MCC33080	エスニックメディア論	2	3・4	欠講	講義	*
	MCC33090	NPO・NGOとメディア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33100	コーポレート・コミュニケーション論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33110	広告論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33120	広報論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33130	スポーツとメディア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33140	電子コミュニケーション論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33150	メディアリテラシー論	2	3・4	開講	講義	*
	PSY33020	ファッションと流行の社会心理	2	3・4	開講	講義	*
PSY33030	ライフスタイルの心理学	2	3・4	開講	講義	*	
メディアプロデュース	MCC33160	映像アーカイブ論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33170	映像メディア制作論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33180	国際ニュース研究	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33190	CM企画・制作論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33200	市民メディア論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33210	ジャーナリズム論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33220	出版メディア制作論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33230	地域メディア論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33240	知的財産・著作権論	2	3・4	開講	講義	*
	MCC33250	ドキュメンタリー研究	2	3・4	開講	講義	*
MCC33260	メディア法制と倫理	2	3・4	開講	講義	*	

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
社会学部特講	SOC35010	社会理論のフロンティア	2	3・4	欠講	講義	*
	SOC35020	現代社会の諸相	2	3・4	開講	講義	*
	SOC35030	グローバル社会の諸相	2	3・4	開講	講義	*
	SOC35040	ホットトピック特別講義	2	3・4	開講	講義	*
	MCC35010	メディア研究のフロンティア	2	3・4	開講	講義	*
	MCC35020	メディア社会の諸相	2	3・4	開講	講義	*
	MCC35030	文化研究のフロンティア	2	3・4	欠講	講義	*
	ISC35010	データサイエンス特別講義	2	3・4	開講	講義	*

◇留学・国際交流関連科目

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
EAS科目	AST02030	Business in East Asia	4	1～4	開講	講義	
	AST02060	Globalization and East Asian Economies	4	1～4	開講	講義	
	JPS02040	Japanese History	4	1～4	欠講	講義	*
	JPS02050	Japanese Culture and Society	4	1～4	欠講	講義	*
	JPS02060	Japanese Literature	4	1～4	開講	講義	*
	AST02040	East Asian Societies	4	1～4	開講	講義	*
	AST02050	East Asian Cultures and Histories	4	1～4	開講	講義	*
	JPS02080	Japan and International Society	4	1～4	開講	講義	
	JPS02090	Traditional Arts of Japan	2	1～4	開講	講義	*
	JPS02100	Modern Arts of Japan	2	1～4	開講	講義	*
	AST02080	East Asian Philosophies	4	1～4	欠講	講義	*
	AST02090	East Asian Literatures	4	1～4	開講	講義	*
	AST02100	Film Studies in East Asia	2	1～4	開講	講義	*
	AST02110	Media in East Asia	4	1～4	開講	講義	
	AST02120	Gender and Sexuality in East Asia	4	1～4	開講	講義	*
	AST02130	Ethnicity in East Asia	4	1～4	欠講	講義	*
	AST01010	Seminar in East Asian Studies	2	1～4	欠講	講義	*
	AST02140	East Asian Community in the 21st Century	4	1～4	開講	講義	
	AST02150	Global Issues in Southeast Asia	2	1～4	開講	講義	*
	AST02160	Environmental Issues in East Asia	4	1～4	開講	講義	
	AST02010	Global Issues in East Asia	2	1～4	欠講	講義	*
	JPS02010	Japanese Politics	2	1～4	開講	講義	*
	JPS02020	Japanese Economy	2	1～4	開講	講義	*
AST02020	Technology and Society in East Asia	2	1～4	欠講	講義	*	
JPS02030	Entrepreneurship in Japan	2	1～4	開講	講義	*	
留学準備講座	AMS02011	アメリカの社会と文化 1	2	1～4	開講	講義	
	AMS02012	アメリカの社会と文化 2	2	1～4	開講	講義	
	BRS02011	イギリスの社会と文化 1	2	1～4	開講	講義	
	BRS02012	イギリスの社会と文化 2	2	1～4	開講	講義	
	JPS02071	日本の社会と文化 1	2	1～4	開講	講義	*
	JPS02072	日本の社会と文化 2	2	1～4	開講	講義	*
	AST02071	東アジアの社会と文化 1	2	1～4	開講	講義	*
	AST02072	東アジアの社会と文化 2	2	1～4	開講	講義	*
	IRL02011	現代世界の諸問題 1	2	1～4	開講	講義	
	IRL02012	現代世界の諸問題 2	2	1～4	開講	講義	
	GES22310	ドイツ語圏の社会と文化 1 *1	2	2～4	開講	講義	ドイツ語による授業
	GES22320	ドイツ語圏の社会と文化 2 *1	2	2～4	開講	講義	ドイツ語による授業
	FRS22320	フランスの歴史と社会 1 *1	2	2～4	開講	講義	フランス語による授業
	FRS22330	フランスの歴史と社会 2 *1	2	2～4	開講	講義	フランス語による授業
	AST02171	中国の社会と文化 1 *2	2	1～4	開講	講義	* 中国語による授業
	AST02172	中国の社会と文化 2 *2	2	1～4	開講	講義	* 中国語による授業
	AST02181	韓国・朝鮮の社会と文化 1 *2	2	1～4	欠講	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	AST02182	韓国・朝鮮の社会と文化 2 *2	2	1～4	欠講	講義	* 韓国・朝鮮語による授業
	LED02011	インターカルチュラルスキル養成講座 1	2	1～4	開講	講義	
	LED02012	インターカルチュラルスキル養成講座 2	2	1～4	開講	講義	
	IRL02021	グローバル・リーダーシップ養成講座 1	2	1～4	開講	講義	
	IRL02022	グローバル・リーダーシップ養成講座 2	2	1～4	開講	講義	
	IRL01010	留学入門ゼミナール	2	1～4	開講	演習	
	IRL02030	多文化社会	2	1～4	開講	講義	*
	LED06011	グローバル・コミュニケーション 1	1	1～4	開講	実習	*
	LED06012	グローバル・コミュニケーション 2	1	1～4	開講	実習	*
	LED06041	留学のための英語講座 A1 (TOEFL)	1	1～4	開講	実習	
LED06042	留学のための英語講座 A2 (TOEFL)	1	1～4	開講	実習		
LED06051	留学のための英語講座 B1 (IELTS)	1	1～4	開講	実習		
LED06052	留学のための英語講座 B2 (IELTS)	1	1～4	開講	実習		
GES26410	ドイツ語論述実習 1	1	2～4	開講	実習	ドイツ語による授業	
GES26420	ドイツ語論述実習 2	1	2～4	開講	実習	ドイツ語による授業	

	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
留学準備講座	FRS26410	フランス語論述実習 1	1	2～4	開講	実習	フランス語による授業
	FRS26420	フランス語論述実習 2	1	2～4	開講	実習	フランス語による授業
	LED06061	中国語論述実習 1	1	1～4	欠講	実習	* 中国語による授業
	LED06062	中国語論述実習 2	1	1～4	欠講	実習	* 中国語による授業
	LED06071	韓国・朝鮮語論述実習 1	1	1～4	開講	実習	* 韓国・朝鮮語による授業
	LED06072	韓国・朝鮮語論述実習 2	1	1～4	開講	実習	* 韓国・朝鮮語による授業

※ 留学準備講座で備考欄に記載がない科目は英語による授業となります。

※ * 1 の科目はヨーロッパ文化学科の学生は共通専門ではなく専攻科目として履修します。

* 2 の科目は日本・東アジア文化学科の学生は共通専門ではなく専攻科目として履修します。

◇ 学芸員課程関連科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
学芸員課程関連科目	CTP02010	生涯学習概論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02020	博物館概論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02030	博物館経営論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02040	博物館資料論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02050	博物館資料保存論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02060	博物館展示論	2	1～4	開講	講義	
	CTP02070	博物館情報・メディア論	2	1～4	開講	講義	

<履修上の注意>

* 「学芸員課程関連科目」の修得単位のうち、8単位まで共通専門科目として卒業に必要な単位に算入することができます。8単位を超えて修得した場合は自由科目扱いとなり、修得した単位を卒業に必要な単位の中に算入することはできません。

* 「留学・国際交流関連科目」の分野である「EAS 科目」および「留学準備講座科目」の履修についての詳細は、第1章【3 学科共通】3 留学・国際交流関連科目を参照してください。

5 グローバル・スタディーズコース（英語）専門科目（専攻科目）

1. 履修上の注意

本コースの学生は、以下の条件に従って、卒業時まで専攻科目を70単位以上修得しなければなりません。履修に際しては配当年次に注意してください。

① 専攻基礎科目について

(1) 専攻基礎科目として定められた科目のうち、以下の科目は必ず修得しなければなりません。

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
GLS11011	GSC 1st-Year Seminar 1	2	1	開講	演習	
GLS11012	GSC 1st-Year Seminar 2	2	1	開講	演習	
LNG11010	Language Workshop (GSC) 1	1	1	開講	実習	
LNG11020	Language Workshop (GSC) 2	1	1	開講	実習	
LNG11030	Communication Seminar (GSC) 1	2	1	開講	演習	
LNG11040	Communication Seminar (GSC) 2	2	1	開講	演習	

* 「GSC 1st-Year Seminar 1」は1年次第1クォーターに、「GSC 1st-Year Seminar 2」は1年次後期に履修します。原則として、GSC 担当専任教員が担当します。

* 前述したとおり（126頁）、「Language Workshop (GSC) 1」（1単位）、「Language Workshop (GSC) 2」（1単位）、「Communication Seminar (GSC) 1」（2単位）、「Communication Seminar (GSC) 2」（2単位）は、海外集中英語研修（短期留学）のプログラムを中心とした授業です。

* 海外集中英語研修（短期留学）に参加しない人については、武蔵大学江古田キャンパスで開講される別の科目を履修し、必要単位を修得しなければなりません。該当する人、もしくは該当するかどうか確認したい人は、4月のガイダンスでGSC 教務主任に相談してください。

(2) 専攻基礎科目として定められた以下の実習科目表から選択して、4単位以上を修得しなければなりません。

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
LNG26010	英会話中級 1	1	2～4	開講	実習	*
LNG26020	英会話中級 2	1	2～4	開講	実習	*
LNG16030	発音クリニック 1	1	1～4	開講	実習	*
LNG16040	発音クリニック 2	1	1～4	開講	実習	*
LNG26030	英作文中級 1	1	2～4	開講	実習	*
LNG26040	英作文中級 2	1	2～4	開講	実習	*

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
LNG26110	English Composition (Advanced)1	1	2～4	欠講	実習	*
LNG26120	English Composition (Advanced)2	1	2～4	欠講	実習	*
LNG26050	通訳翻訳実習(英語)1	1	2～4	開講	実習	*
LNG26060	通訳翻訳実習(英語)2	1	2～4	開講	実習	*
LNG26070	TOEIC イングリッシュ 1	1	2～4	開講	実習	*
LNG26080	TOEIC イングリッシュ 2	1	2～4	開講	実習	*
LNG26090	ジャパノロジー・イングリッシュ 1	1	2～4	開講	実習	*
LNG26100	ジャパノロジー・イングリッシュ 2	1	2～4	開講	実習	*
LNG11050	Listening and Note-taking	2	1～4	開講	実習	
LNG26130	Discussion and Presentation 1	1	2～4	開講	実習	
LNG26140	Discussion and Presentation 2	1	2～4	開講	実習	

* 原則として、本コース所属学生全員が1年次後期に「Listening and Note-taking」を履修します。あらかじめ各自の時間割に組みこまれていますので必ず履修するようにしてください。

② 専攻専門科目・選択科目の講義科目（GSC 講義科目および所属する学科の専攻専門科目の講義科目）を、40単位以上修得しなければなりません。なお、所属する学科の専攻専門科目の講義科目は、最大16単位まで卒業に必要な単位として算入できます。

* ただし、留学時に単位修得した科目が、英語で行なわれ、かつ内容がグローバル・スタディーズの専門的内容にふさわしいと判断されるものである場合にかぎり、16単位を超えて所属学科の専攻専門科目の講義科目に認定することができます。

③ 専攻専門科目・選択科目のゼミナール科目を、8単位以上修得しなければなりません。

* ゼミナール科目については、少人数教育をおこなう必要から、履修者数の制限をおこなうことがあります。履修者制限については、GSC 教務主任や授業担当者の説明をよく聞いてください。

④ 専攻専門科目の「Capstone Project Seminar 1」（2単位）、「Capstone Project Seminar 2」（2単位）を修得し、Capstone Project を完成・提出して、「Capstone Project」（4単位）を修得しなければなりません。

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
THE41021	Capstone Project Seminar 1	2	4	開講	演習	集中
THE41022	Capstone Project Seminar 2	2	4	開講	演習	集中
THE41040	Capstone Project	4	4	開講	演習	集中

2. 再履修と重複履修

◇ 再履修

履修した授業科目の成績評価が不合格となったために、再度同じ科目を履修することを再履修といいます。必修科目が不合格となった場合、必ず再履修し、単位を修得しなければ卒業することができませんので十分注意してください。再履修をする場合、クラス（授業科目）は事前に指定される場合があります。その場合には指定されたクラス（授業科目）を履修しなければなりません。他の必修科目と重なっているような場合には教務課に申し出て指示を受けてください。

◇ 重複履修

単位がすでに認定された授業科目を再び履修することを重複履修といいます。重複履修した場合、2回目以降に修得した単位は、原則として卒業要件に含まれません。ただし、「GSC Seminar (Global Relations) 1」「GSC Seminar (Global Relations) 2」「GSC Seminar (Global Literature) 1」「GSC Seminar (Global Literature) 2」「GSC Seminar (Global Japanese Studies) 1」「GSC Seminar (Global Japanese Studies) 2」に関しては、同じ科目を重複して履修することができ、2回目以降の修得単位も卒業単位に算入することが認められます。

3. 専攻専門科目 (Global Studies)

(1) 分野別講義・ゼミナール一覧表

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
Global Relations	GLS22010	Introduction to Global Civics 1	2	2～4	開講	講義	
	GLS22020	Introduction to Global Civics 2	2	2～4	開講	講義	
	GLS22030	Introduction to Global Futures Studies 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22040	Introduction to Global Futures Studies 2	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22050	Transnational Issues 1	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS22060	Transnational Issues 2	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS22070	Political Communication 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22080	Political Communication 2	2	2～4	開講	講義	*
	GLS21010	GSC Seminar (Global Relations) 1	2	2～4	開講	演習	
GLS21020	GSC Seminar (Global Relations) 2	2	2～4	開講	演習		
Global Literature	GLS22090	Global Literatures in English 1	2	2～4	開講	講義	
	GLS22100	Global Literatures in English 2	2	2～4	開講	講義	
	GLS22110	Introduction to Cultural Studies 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22120	Introduction to Cultural Studies 2	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22130	Migration and Literature 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22140	Migration and Literature 2	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22150	World Englishes 1	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS22160	World Englishes 2	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS21030	GSC Seminar (Global Literature) 1	2	2～4	開講	演習	
GLS21040	GSC Seminar (Global Literature) 2	2	2～4	開講	演習		
Global Japanese Studies	GLS22170	Japanese Cultural History in Global Perspective 1	2	2～4	開講	講義	
	GLS22180	Japanese Cultural History in Global Perspective 2	2	2～4	開講	講義	
	GLS22190	Contemporary Japanese Culture 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22200	Contemporary Japanese Culture 2	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22210	Topics in Japanese Culture A 1	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS22220	Topics in Japanese Culture A 2	2	2～4	欠講	講義	*
	GLS22230	Topics in Japanese Culture B 1	2	2～4	開講	講義	*
	GLS22240	Topics in Japanese Culture B 2	2	2～4	開講	講義	*
	GLS21050	GSC Seminar (Global Japanese Studies) 1	2	2～4	開講	演習	
GLS21060	GSC Seminar (Global Japanese Studies) 2	2	2～4	開講	演習		
Global Fieldwork	GLS22250	Global Fieldwork	2	2～4	開講	演習	*

(2) 分野別履修モデル

本コースでは Global Studies の研究分野として、Global Relations (国際関係)、Global Literature (グローバル文学)、Global Japanese Studies (グローバル日本学) という3つの分野の科目群 (Concentrations) を用意しています。1年次の学修が始まったときから、自分がどの分野の研究を進めるかを意識しながら、関心分野の知識や研究の方法論を獲得してゆき、最終的には4年次の「Capstone Project」(156頁)のかたちでその成果が結実するよう系統的な学修を心がけるようにしてください。

以下は3分野それぞれについての概要です。その説明と履修モデルを参考にしながら学修の計画を立てていきましょう。分野の意義を理解することは、とくに各科目群において選択科目を選ぶ際に重要になります。

* 各分野におけるコア科目の講義科目「Introduction to Global Civics 1」(2単位)「Introduction to Global Civics 2」(2単位)「Global Literatures in English 1」(2単位)「Global Literatures in English 2」(2単位)「Japanese Culture in Global Perspective 1」(2単位)「Japanese Culture in Global Perspective 2」(2単位)については、みずからの関心分野にかかわらず、いずれも履修し、合計12単位を修得することを推奨します。

① Global Relations (国際関係)

Global Relations (国際関係) では、地方・国内・国家間の利害がどのように関連しあっているかを考察します。グローバル市民論、グローバル未来論、国際関係論といった授業によってこの分野への知識を得ながら、国境を越えて起きている問題に目を向け、グローバル市民やグローバル企業人として世界のなかの自分の位置を理解します。他者と協調しつつグローバルな責任感を持ち、より平和で正当で平等な世界の実現に寄与しようとする力を育てます。

The Global Relations concentration will require students to think about how local, national, and international interests are intertwined. Coursework will focus on unpacking global civics, envisioning global futures, and examining transnational issues. Additionally, this concentration will challenge students to step beyond their national borders in an effort to 1) understand their position in the world as global citizens and entrepreneurs; 2) collaborate

with others and develop a sense of global responsibility; and 3) contribute to a more peaceful, just, and equitable world.

履修モデル

分野	科目名	単位	授業形態
コア科目	Introduction to Global Civics 1	2	講義
	Introduction to Global Civics 2	2	講義
	GSC Seminar (Global Relations) 1	2	演習
	GSC Seminar (Global Relations) 2	2	演習
推奨科目	Introduction to Global Futures Studies 1	2	講義
	Introduction to Global Futures Studies 2	2	講義
	Transnational Issues 1	2	講義
	Transnational Issues 2	2	講義
	Political Communication 1	2	講義
	Political Communication 2	2	講義

② Global Literature (グローバル文学)

Global Literature (グローバル文学) では、異文化同士の遭遇やグローバル化について、その過程で生み出されてきた過去現在の文学作品や文化的生産物の研究を通じて、考察します。国境を越えてグローバルに消費される、文学・映画をはじめとする文化的生産物を分析するための知識とツールを身につけながら、個々の社会・政治・文化圏においてそれらの作品がどのように受容されているかを洞察する力を育てます。

Students in the Global Literature concentration are trained to reflect critically on cross-cultural encounters and processes of globalization past and present through the study of literary and other cultural products emerging from these encounters and processes. Students should develop the knowledge and tools to be able to analyze relevant works of literature, films, or other such cultural products that have transcended national borders to be consumed “globally”, paying due attention to differences in local reception depending on particular social, political and language contexts.

履修モデル

分野	科目名	単位	授業形態
コア科目	Global Literatures in English 1	2	講義
	Global Literatures in English 2	2	講義
	GSC Seminar (Global Literature) 1	2	演習
	GSC Seminar (Global Literature) 2	2	演習
推奨科目	Introduction to Cultural Studies 1	2	講義
	Introduction to Cultural Studies 2	2	講義
	Migration and Literature 1	2	講義
	Migration and Literature 2	2	講義
	World Englishes 1	2	講義
	World Englishes 2	2	講義

③ Global Japanese Studies (グローバル日本学)

Global Japanese Studies (グローバル日本学) では、過去および現代における日本文化の諸相をグローバルな視点から考察します。世界の他の地域との文化的交流や比較文化の観点から日本文化についての理解を深め、その内容を英語を使って説明・発信する力を養い、文化交流を深めるために必要とされる文化的ナビゲーションのためのスキルを身につけます。

The Global Japanese Studies concentration teaches students to consider various aspects of Japanese culture, both past and present, from a global perspective. Students will build their understanding of how Japanese culture fits within wider frameworks of cultural comparison and exchange among regions of the world. They will also strengthen their ability to engage a worldwide audience in English when explaining and debating such issues, while building the cultural navigational skills needed to contribute to the deepening of intercultural exchange.

履修モデル

分野	科目名	単位	授業形態
コア科目	Japanese Cultural History in Global Perspective 1	2	講義
	Japanese Cultural History in Global Perspective 2	2	講義
	GSC Seminar (Global Japanese Studies) 1	2	演習
	GSC Seminar (Global Japanese Studies) 2	2	演習
推奨科目	Contemporary Japanese Culture 1	2	講義
	Contemporary Japanese Culture 2	2	講義
	Topics in Japanese Culture A 1	2	講義
	Topics in Japanese Culture A 2	2	講義
	Topics in Japanese Culture B 1	2	講義
	Topics in Japanese Culture B 2	2	講義

4. 所属学科の専攻専門科目（講義科目）の履修について

「1. 履修上の注意」②（147頁）に記載されているように、所属する学科の専攻専門科目の講義科目は、最大16単位まで卒業に必要な修得単位として認められます。対象となる科目は以下の通りです。英語英米文化学科の一部の科目を除き、これらの授業における使用言語は日本語です。

(1) 英語英米文化学科 ☆は1年次履修可能科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
① 言語・言語教育	LNG12030	☆ 英語学概論 1	2	1～4	開講	講義	
	LNG12040	☆ 英語学概論 2	2	1～4	開講	講義	
	LED12010	☆ 英語教育学 1	2	1～4	開講	講義	
	LED12020	☆ 英語教育学 2	2	1～4	開講	講義	
	LNG12010	☆ 異文化コミュニケーション論 1	2	1～4	開講	講義	*
	LNG12020	☆ 異文化コミュニケーション論 2	2	1～4	開講	講義	*
	LNG22010	言語(英語)文化特講 1	2	2～4	開講	講義	*
	LNG22020	言語(英語)文化特講 2	2	2～4	開講	講義	*
	LNG22050	第二言語習得論 1	2	2～4	開講	講義	*
	LNG22060	第二言語習得論 2	2	2～4	開講	講義	*
	LNG22030	英語音声学 1	2	2～4	欠講	講義	*
	LNG22040	英語音声学 2	2	2～4	欠講	講義	*
	LED22011	英語教育方法論 1	2	2～4	開講	講義	
LED22012	英語教育方法論 2	2	2～4	開講	講義		
② 文学・芸術	LIT12010	☆ アメリカの文学 1	2	1～4	開講	講義	
	LIT12020	☆ アメリカの文学 2	2	1～4	開講	講義	
	LIT12030	☆ イギリスの文学 1	2	1～4	開講	講義	*
	LIT12040	☆ イギリスの文学 2	2	1～4	開講	講義	*
	LIT12050	☆ 英語圏文学入門 1	2	1～4	開講	講義	*
	LIT12060	☆ 英語圏文学入門 2	2	1～4	開講	講義	*
	REL12010	☆ 英語圏の宗教と文化 1	2	1～4	開講	講義	*
	REL12020	☆ 英語圏の宗教と文化 2	2	1～4	開講	講義	*
	ART12010	☆ 英米の芸術 1	2	1～4	開講	講義	*
	ART12020	☆ 英米の芸術 2	2	1～4	開講	講義	*
	LIT22010	英語圏文学特講 1	2	2～4	開講	講義	*
LIT22020	英語圏文学特講 2	2	2～4	開講	講義	*	

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
③ 歴史・社会・文化	PHI12010	☆ 英米の思想 1	2	1～4	開講	講義	*
	PHI12020	☆ 英米の思想 2	2	1～4	開講	講義	*
	HST12010	☆ アメリカ史 1	2	1～4	開講	講義	*
	HST12020	☆ アメリカ史 2	2	1～4	開講	講義	*
	HST12030	☆ イギリス史 1	2	1～4	開講	講義	*
	HST12040	☆ イギリス史 2	2	1～4	開講	講義	*
	AMS12010	☆ アメリカ文化論 1	2	1～4	開講	講義	*
	AMS12020	☆ アメリカ文化論 2	2	1～4	開講	講義	*
	BRS12010	☆ イギリス文化論 1	2	1～4	開講	講義	*
	BRS12020	☆ イギリス文化論 2	2	1～4	開講	講義	*
	BAS12010	☆ 観光文化論(英米)1	2	1～4	開講	講義	*
	BAS12020	☆ 観光文化論(英米)2	2	1～4	開講	講義	*
	HST22010	アメリカの歴史と社会 1	2	2～4	欠講	講義	*
	HST22020	アメリカの歴史と社会 2	2	2～4	欠講	講義	*
	HST22030	イギリスの歴史と社会 1	2	2～4	開講	講義	*
	HST22040	イギリスの歴史と社会 2	2	2～4	開講	講義	*
	BAS22010	英語圏文化特講 1	2	2～4	欠講	講義	*
	BAS22020	英語圏文化特講 2	2	2～4	欠講	講義	*
	BAS22030	英米の社会 1	2	2～4	開講	講義	*
	BAS22040	英米の社会 2	2	2～4	開講	講義	*

(2) ヨーロッパ文化学科 ☆は1年次履修可能科目

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
① 言語と文学	LNG02310	☆ ドイツ語学 1	2	1～4	開講	講義	*
	LNG02320	☆ ドイツ語学 2	2	1～4	欠講	講義	*
	LIT02310	☆ ドイツ文学史 1	2	1～4	開講	講義	*
	LIT02320	☆ ドイツ文学史 2	2	1～4	開講	講義	*
	LNG02330	☆ フランス語学 1	2	1～4	開講	講義	*
	LNG02340	☆ フランス語学 2	2	1～4	開講	講義	*
	LIT02330	☆ フランス文学史 1	2	1～4	欠講	講義	*
	LIT02340	☆ フランス文学史 2	2	1～4	欠講	講義	*
	LED22311	ドイツ語教育方法論 1	2	2～4	欠講	講義	*
	LED22322	ドイツ語教育方法論 2	2	2～4	欠講	講義	*
	LED22331	ドイツ語教育方法論 3	2	2～4	開講	講義	*
	LED22342	ドイツ語教育方法論 4	2	2～4	開講	講義	*
	LED22351	フランス語教育方法論 1	2	2～4	開講	講義	*
	LED22362	フランス語教育方法論 2	2	2～4	開講	講義	*
	LED22371	フランス語教育方法論 3	2	2～4	欠講	講義	*
	LED22382	フランス語教育方法論 4	2	2～4	欠講	講義	*
	LIT02350	☆ ヨーロッパ古典文学	2	1～4	開講	講義	*
	EUS22310	ヨーロッパの言語と文化 1	2	2～4	欠講	講義	*
	EUS22320	ヨーロッパの言語と文化 2	2	2～4	開講	講義	*
	LIT02360	☆ ヨーロッパの文学 1	2	1～4	欠講	講義	*
	LIT02370	☆ ヨーロッパの文学 2	2	1～4	開講	講義	*
	LIT22380	ヨーロッパ中世のことばと文学	2	2～4	開講	講義	*
	LNG02350	☆ ラテン語学 1	2	1～4	欠講	講義	*
	LNG02360	☆ ラテン語学 2	2	1～4	欠講	講義	*
	LNG02370	☆ ギリシア語学 1	2	1～4	開講	講義	*
	LNG02380	☆ ギリシア語学 2	2	1～4	開講	講義	*
	LIT02390	☆ 比較文学論(日欧)	2	1～4	開講	講義	*
② 芸術と生活	ART02310	☆ ドイツ語圏の芸術	2	1～4	開講	講義	*
	ART02320	☆ フランスの芸術 1	2	1～4	開講	講義	*
	ART02330	☆ フランスの芸術 2	2	1～4	欠講	講義	*
	ART02340	☆ ヨーロッパの芸術	2	1～4	開講	講義	*
	ART22350	ヨーロッパの映画	2	2～4	開講	講義	*
	ART22360	ヨーロッパの舞台芸術	2	2～4	開講	講義	*
	ART22370	ヨーロッパの音楽文化	2	2～4	開講	講義	*
	EUS22330	ヨーロッパ生活文化論	2	2～4	欠講	講義	*
	EUS22340	ヨーロッパ宮廷文化論	2	2～4	開講	講義	*
	FOL22310	ヨーロッパの民俗文化	2	2～4	開講	講義	*
	ART02380	☆ 比較芸術論 1	2	1～4	開講	講義	*
	ART02390	☆ 比較芸術論 2	2	1～4	開講	講義	*
	ART02400	☆ イメージ文化論	2	1～4	開講	講義	*
	GLS02310	☆ 越境文化論	2	1～4	開講	講義	*
	ART22410	比較建築空間論	2	2～4	欠講	講義	*
	ART22420	音響文化論	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02350	☆ テクノロジー文化論	2	1～4	開講	講義	*
	EUS02360	☆ 観光文化論(ヨーロッパ)	2	1～4	欠講	講義	*

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
③ 歴史と思想	HST02310	☆ ドイツ中世史	2	1～4	欠講	講義	*
	HST02320	☆ ドイツ近現代史	2	1～4	開講	講義	*
	PHI02310	☆ ドイツ語圏の思想と文化 1	2	1～4	欠講	講義	*
	PHI02320	☆ ドイツ語圏の思想と文化 2	2	1～4	開講	講義	*
	HST02330	☆ フランス史	2	1～4	開講	講義	*
	HST02340	☆ ヨーロッパ対外交流史	2	1～4	開講	講義	*
	PHI02330	☆ フランス思想史 1	2	1～4	開講	講義	*
	PHI02340	☆ フランス思想史 2	2	1～4	開講	講義	*
	HST02350	☆ ギリシア・ローマ史	2	1～4	開講	講義	*
	HST02360	☆ ヨーロッパ形成史	2	1～4	開講	講義	*
	HST02370	☆ ヨーロッパ交流史	2	1～4	欠講	講義	*
	PHI02350	☆ ヨーロッパの哲学	2	1～4	開講	講義	*
	PHI02360	☆ ヨーロッパ思想史	2	1～4	開講	講義	*
	PHI02370	☆ 比較思想(日欧)	2	1～4	欠講	講義	*
	REL22310	キリスト教文化史	2	2～4	開講	講義	*
	EUS02370	☆ ヨーロッパの神話と伝説 1	2	1～4	開講	講義	*
	EUS02380	☆ ヨーロッパの神話と伝説 2	2	1～4	開講	講義	*
	④ 環境と社会	GES22310	ドイツ語圏の社会と文化 1	2	2～4	開講	講義
GES22320		ドイツ語圏の社会と文化 2	2	2～4	開講	講義	ドイツ語による授業
FRS02310		☆ フランス語圏の文化と社会	2	1～4	開講	講義	*
FRS22320		フランスの歴史と社会 1	2	2～4	開講	講義	フランス語による授業
FRS22330		フランスの歴史と社会 2	2	2～4	開講	講義	フランス語による授業
EUS02390		☆ ヨーロッパ統合論	2	1～4	開講	講義	*
EUS02400		☆ ヨーロッパ都市論	2	1～4	開講	講義	*
EUS02410		☆ 現代ヨーロッパ論	2	1～4	開講	講義	*
ENV02310		☆ ヨーロッパ環境論	2	1～4	開講	講義	*
ARE02310		☆ 北欧文化論	2	1～4	開講	講義	*
ARE02320		☆ オーストリア・東欧文化論	2	1～4	開講	講義	*
ARE02330		☆ イタリア文化論	2	1～4	開講	講義	*
ARE22340		☆ スイス文化論	2	2～4	開講	講義	*
GLS02320		☆ 地中海文明論	2	1～4	開講	講義	*
EUS02420		☆ ルネサンス文化論	2	1～4	開講	講義	*
EUS02430	☆ ユダヤ文化論	2	1～4	開講	講義	*	

(3) 日本・東アジア文化学科

分野	ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
① ことば・文学・思想	LNG02610	日本の言語文化 1	2	1～4	開講	講義	
	LNG02620	日本の言語文化 2	2	1～4	開講	講義	
	LNG02630	日本語の表現 1	2	1～4	欠講	講義	*
	LNG02640	日本語の表現 2	2	1～4	欠講	講義	*
	LNG02650	日本の地域言語 1	2	1～4	開講	講義	*
	LNG02660	日本の地域言語 2	2	1～4	開講	講義	*
	LED02610	日本語の教授法 1	2	1～4	開講	講義	
	LED02620	日本語の教授法 2	2	1～4	開講	講義	
	LIT02610	日本古典文学史 1	2	1～4	開講	講義	
	LIT02620	日本古典文学史 2	2	1～4	開講	講義	
	LIT02630	日本近現代文学史 1	2	1～4	開講	講義	
	LIT02640	日本近現代文学史 2	2	1～4	開講	講義	
	LIT02650	日本古典文学 1	2	1～4	開講	講義	
	LIT02660	日本古典文学 2	2	1～4	開講	講義	
	LIT02670	日本近現代文学 1	2	1～4	開講	講義	
	LIT02680	日本近現代文学 2	2	1～4	開講	講義	
	LIT02690	日本幻想文学論 1	2	1～4	開講	講義	
	LIT02700	日本幻想文学論 2	2	1～4	開講	講義	
	PHI02610	日本思想史 1	2	1～4	開講	講義	
	PHI02620	日本思想史 2	2	1～4	開講	講義	
	PHI02630	日本の思想 1	2	1～4	開講	講義	
	PHI02640	日本の思想 2	2	1～4	開講	講義	
	PHI02650	中国思想史 1	2	1～4	開講	講義	*
	PHI02660	中国思想史 2	2	1～4	開講	講義	*
	LIT02710	中国文学史 1	2	1～4	開講	講義	*
	LIT02720	中国文学史 2	2	1～4	開講	講義	*
	LIT02730	朝鮮文学史 1	2	1～4	欠講	講義	*
	LIT02740	朝鮮文学史 2	2	1～4	欠講	講義	*
	PHI02670	比較思想(東アジア)1	2	1～4	欠講	講義	*
	PHI02680	比較思想(東アジア)2	2	1～4	欠講	講義	*

第1章 授業科目の履修

分野	ナンバリング		単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考	
② 芸術・身体・環境	JPS02610	日本文化論 1	2	1~4	開講	講義		
	JPS02620	日本文化論 2	2	1~4	開講	講義		
	ARE02610	環日本海文化論 1	2	1~4	欠講	講義		
	ARE02620	環日本海文化論 2	2	1~4	欠講	講義		
	HST02610	日本服飾文化史 1	2	1~4	欠講	講義		
	HST02620	日本服飾文化史 2	2	1~4	欠講	講義		
	HST02630	日本建築史 1	2	1~4	開講	講義		
	HST02640	日本建築史 2	2	1~4	開講	講義		
	HST02650	日本環境文化史 1	2	1~4	開講	講義	*	
	HST02660	日本環境文化史 2	2	1~4	開講	講義	*	
	HST02670	日本美術工芸史 1	2	1~4	欠講	講義		
	HST02680	日本美術工芸史 2	2	1~4	欠講	講義		
	JPS02630	日本の身体文化 1	2	1~4	開講	講義	*	
	JPS02640	日本の身体文化 2	2	1~4	開講	講義	*	
	HST02690	日本芸能史 1	2	1~4	欠講	講義	*	
	HST02700	日本芸能史 2	2	1~4	欠講	講義	*	
	CHS02610	現代中国論 1	2	1~4	開講	講義		
	CHS02620	現代中国論 2	2	1~4	開講	講義		
	KOS02710	現代韓国論 1	2	1~4	開講	講義		
	KOS02720	現代韓国論 2	2	1~4	開講	講義		
	AST02610	琉球文化論 1	2	1~4	開講	講義		
	AST02620	琉球文化論 2	2	1~4	開講	講義		
	KOS02730	朝鮮文化論 1	2	1~4	開講	講義	*	
	KOS02740	朝鮮文化論 2	2	1~4	開講	講義	*	
	HST02710	東アジアの美術工芸史 1	2	1~4	開講	講義		
	HST02720	東アジアの美術工芸史 2	2	1~4	開講	講義		
	AST02630	東アジアの地理と環境 1	2	1~4	欠講	講義	*	
	AST02640	東アジアの地理と環境 2	2	1~4	欠講	講義	*	
	CHS02630	中国の民族と社会 1	2	1~4	欠講	講義		
	CHS02640	中国の民族と社会 2	2	1~4	開講	講義		
	③ 歴史・民俗・宗教	HST02730	日本古代史 1	2	1~4	欠講	講義	*
		HST02740	日本古代史 2	2	1~4	欠講	講義	*
HST02750		日本中世史 1	2	1~4	開講	講義	*	
HST02760		日本中世史 2	2	1~4	開講	講義	*	
HST02770		日本近世史 1	2	1~4	開講	講義		
HST02780		日本近世史 2	2	1~4	開講	講義		
HST02790		日本近現代史 1	2	1~4	開講	講義	*	
HST02800		日本近現代史 2	2	1~4	開講	講義	*	
HST02810		日本考古学 1	2	1~4	欠講	講義	*	
HST02820		日本考古学 2	2	1~4	欠講	講義	*	
FOL02610		日本民俗史 1	2	1~4	開講	講義		
FOL02620		日本民俗史 2	2	1~4	開講	講義		
HST02830		日本生活文化史 1	2	1~4	開講	講義		
HST02840		日本生活文化史 2	2	1~4	開講	講義		
REL02610		日本の仏教 1	2	1~4	開講	講義		
REL02620		日本の仏教 2	2	1~4	開講	講義		
CHS02650		中国史 1	2	1~4	開講	講義	*	
CHS02660		中国史 2	2	1~4	開講	講義	*	
KOS02750		朝鮮史 1	2	1~4	欠講	講義	*	
KOS02760		朝鮮史 2	2	1~4	欠講	講義	*	
ANT02610		文化人類学概論 1	2	1~4	欠講	講義		
ANT02620		文化人類学概論 2	2	1~4	開講	講義		
FOL02630		民俗宗教論 1	2	1~4	開講	講義	*	
FOL02640		民俗宗教論 2	2	1~4	開講	講義	*	
REL02630		東アジアの宗教 1	2	1~4	開講	講義		
REL02640		東アジアの宗教 2	2	1~4	開講	講義		
FOL02650		比較生活文化論 1	2	1~4	欠講	講義		
FOL02660		比較生活文化論 2	2	1~4	欠講	講義		
HST02850		日中交流史 1	2	1~4	開講	講義	*	
HST02860		日中交流史 2	2	1~4	開講	講義	*	
HST02870		日朝交流史 1	2	1~4	開講	講義	*	
HST02880		日朝交流史 2	2	1~4	開講	講義	*	
IAS02610	イスラーム文化論 1	2	1~4	開講	講義			
IAS02620	イスラーム文化論 2	2	1~4	欠講	講義			
④ Global Studies	AST02171	中国の社会と文化 1	2	1~4	開講	講義	*	
	AST02172	中国の社会と文化 2	2	1~4	開講	講義	*	
	AST02181	韓国・朝鮮の社会と文化 1	2	1~4	欠講	講義	*	
	AST02182	韓国・朝鮮の社会と文化 2	2	1~4	欠講	講義	*	

[教職に関する概説科目]

ナンバリング	科目名	単位	配当年次	開欠講	授業形態	備考
TCP12010	日本史概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12020	外国史概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12030	法律学概説(国際法を含む)	2	1～4	開講	講義	
TCP12040	政治学概説(国際政治を含む)	2	1～4	開講	講義	*
TCP12050	経済学概説(国際経済を含む)	2	1～4	開講	講義	*
TCP12060	社会学概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12070	地誌概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12080	人文地理学概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12090	自然地理学概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12100	倫理学概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12110	宗教学概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12120	哲学概説	2	1～4	開講	講義	
TCP12130	心理学概説	2	1～4	開講	講義	

※ [教職に関する概説科目] は、卒業要件に算入することはできません。

グローバル・スタディーズコース（英語プログラム）卒業までの4年間

各項目の詳細は3Sで掲示します。また、各ガイダンスで指示します。

1年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 海外集中英語研修ガイダンスと海外集中英語研修申込書提出
- 6~9月 海外集中英語研修
- 12月 TOEIC® L&R IP テスト（学内試験）
- 1月 GSC Seminar（専門ゼミナール）・Academic Supervisor（指導教授）選択ガイダンス
- 1~2月 IELTS 学内試験
- 2月 GSC Seminar（専門ゼミナール）希望届提出

2年次

- 4月 ガイダンス
- 4月 Academic Supervisor（指導教授）希望届提出
- 8月 IELTS 学内試験
- 12月 TOEIC® L&R IP テスト（学内試験）
- 12月 Capstone Project Guidance
- 1月 Capstone Project Supervisor 希望届提出
- 1~2月 IELTS 学内試験

3年次

- 4月 ガイダンス
- 8月 IELTS 学内試験
- 12月 Capstone Project Guidance
- 1~2月 IELTS 学内試験
- 3月 Capstone Project 履修有資格者発表

4年次

- 4月 ガイダンス
- 6月 Capstone Project 題目届（6月）提出
- 11月 Capstone Project 題目届（11月）提出
- 12月 Capstone Project 提出
- 1月 Capstone Project 口述試験
- 1月 Capstone Project Symposium
- 3月 卒業資格充足者発表
- 3月 卒業式

【注意】

上記以外にも、留学説明会（グローバル教育センター）などの開催が予定されています。3Sの掲示は常に確認するようにしてください。

6 グローバル・スタディーズコース（英語） Capstone Project

「Capstone Project」とは本コースや留学での学修の総まとめとして、4年次に1年をかけておこなう研究プロジェクトです。Capstoneの原義は、石造りの壁や門、あるいはピラミッドの頂点に置かれる石のことですが、教育の文脈では、これまでの学びの総仕上げとしておこなう実践的な研究活動を意味します。

各自がみずからの選んだテーマに取り組みながら、批判的思考力や問題解決力、口頭発表をする力、調査する力、メディア・リテラシー、目標設定・計画立案・実行をおこなう自主的運営力を養います。最終的な研究の成果は、研究内容にあわせ、また必ず指導教授と相談の上、文章（論文）、画像・映像、口頭発表のいずれか（またはそれらの組み合わせ）を選び、そこに結実させます。

4年次の履修科目ですが、原則として2年次後期から準備を開始します。指導教授と相談し、その指示のもとで必要な準備をおこなってください。

The Global Studies Course “Capstone Project” is a multifaceted assignment that serves as the culminating learning experience of a student’s academic career. The capstone allows students to apply the expertise they have developed throughout their studies in the Global Studies Course.

It is an opportunity for students to think critically, solve challenging problems, and develop wide-ranging skills from research, scholarly writing, media literacy, and public speaking, through to goal setting, planning, and self-sufficiency. Capstone projects will incorporate written, visual and oral presentation components.

While the capstone project will be completed during a student’s final year, students are advised to begin planning in the latter half of a student’s second year. Students in consultation with and under the guidance of their advisor will research, develop, implement, and report on a project on a global studies-related theme of their choosing.

1. Capstone Project Seminar 履修条件

「Capstone Project」、「Capstone Project Seminar 1」および「Capstone Project Seminar 2」を履修するには、以下の条件を満たしている必要があります。

- ❶ 大学に3年以上在学していること。
- ❷ 外国語科目の必修外国語（英語 12 単位）、専攻基礎科目の必修 10 単位（「GSC 1st-Year Seminar 1」、「GSC 1st-Year Seminar 2」、「Language Workshop (GSC) 1」、「Language Workshop (GSC) 2」、「Communication Seminar (GSC) 1」、「Communication Seminar (GSC) 2」）合計 22 単位を修得していること。
- ❸ Capstone Projectを完成できる十分な英語力があること（原則として、IELTS アカデミック・モジュールオーバーオール 6.5 以上（各項目 6.0 以上）相当の英語力があること）。

【注意】

4年間で卒業するためには、留学時の修得単位を武蔵大学の単位に認定したものも含め、3年次終了までに76単位以上修得している必要があります。

2. 概要

(1) 準備と指導について

- ❶ Capstone Project Seminar は最終年次の履修科目ですが、2年次後期からその準備を開始します。まずは指導教授と面談をおこない、テーマの決定や研究計画を立てることになります。日程や詳細については3Sで連絡します。
- ❷ 4年次におけるプロジェクトの指導は、「Capstone Project Seminar 1」「Capstone Project Seminar 2」というゼミナールにおいて、原則として個人指導形式でおこなわれます。
- ❸ 協定留学または認定留学により4年次前期に不在となる場合は、特例として、4年次後期に「Capstone Project Seminar 1」「Capstone Project Seminar 2」を同時履修することを認めます（4年次に1年間不在となる場合は、翌年度前期の同時履修を認めます）。希望する場合は、留学前に指導教授に相談の上、了承を得てください。また、帰国後は速やかに教務課にて手続きを行ってください。

(2) Capstone Project の形式

Capstone Project は、各自の関心領域の広がりやグローバル・スタディーズがもつ学際的な射程の広さを反映し、さまざまな形式でおこなうことが可能です。しかしながら、どのプロジェクトにも、アカデミックな議論、証拠に基づく推論、学問的な誠実さが求められます。またプロジェクト全体がグローバル・スタディーズに関わりがあること、研究目的が明確に示されていること、全体の構造が首尾一貫していること、典拠が適切に示されていること、さらに使用言語が英語であることといった要件を満たしてはなりません。

分量、書式・形式などのより具体的な規則については、ガイダンス時に配布される『Capstone Project Manual』を参照してください。

3. Capstone Project の提出

Capstone Project は、プロジェクト内容に合わせ、定められた形式に従いながら必要部数を作成し、その制作物を決められた期日の時間までに定められた提出場所に提出します。提出期限は公平性の確保のため厳格に定められており、原則としてそれ以降は受理できないので厳守してください。

【注意】

診断書や証明書等を提出しうる学校感染症等の急病、不慮の事故、不測の事態などによって締め切り日時までの本人による提出が困難な場合、または提出できなかった場合には、速やかに教務課に申し出て、指示を受けてください。考慮すべき特別の理由があると学部が認めた場合、代理人による提出や締め切り日後の提出を認めることがあります。

4. Capstone Project Symposium と『卒業論文成果報告書』

優秀ないし独創的な Capstone Project は、Capstone Project Symposium 等での発表および当該年度の『卒業論文成果報告書』掲載の対象となります。発表・掲載の決まった論文は『卒業論文成果報告書』としてまとめられ、人文学部 GS ルーム で閲覧に供されるとともに、オープンキャンパスなどにおいて人文学部の教育の成果として配布されます。

7 グローバル・スタディーズコース（英語）コース所属資格

本コースへの所属資格は、1年次においては、定められた入試方式で合格すること、または4月の選考に通ることによって与えられ、その後は、各年次の終わりに、決められた要件を満たしていることを条件に、所属の継続が認められることになります。留学や「Capstone Project」の履修には高度な英語力・研究力が求められるため、要件を満たしていない場合にはコース変更を求められることがあります。ぜひ十分な学修の維持・継続に努めるようにしてください。

なお翌年次の所属資格を満たしたうえで、その翌年次に長期留学（半年または一年の留学）をする場合、本コースへの所属は維持されますが、コース指導料は不要です。

1. グローバル・スタディーズコース（英語プログラム）所属資格の要件

各年次について、要件をすべて満たしていること。

[2年次所属資格]

- ① 1年次全科目（評価P・N・Zの科目はのぞく）GPA 2.0以上。
- ② IELTS アカデミック・モジュール 5.5以上（各項目 5.0以上）相当の英語力。なお、外部検定試験については入学後から当該年度の2月末までに受験した際の成績に限る。
- ③ 英語による総合科目の修得単位が4単位以上であること。

[3年次所属資格]

- ① 2年次全科目（評価P・N・Zの科目はのぞく）GPA 2.0以上。
- ② IELTS アカデミック・モジュール 6.0以上（各項目 5.5以上）相当の英語力。なお、外部検定試験については入学後から当該年度の2月末までに受験した際の成績に限る。

[4年次所属資格]

- ① 外国語科目の必修外国語（英語 12単位）、専攻基礎科目の必修 10単位（「GSC 1st-Year Seminar 1」、「GSC 1st-Year Seminar 2」、「Language Workshop (GSC) 1」、「Language Workshop (GSC) 2」、「Communication Seminar (GSC) 1」、「Communication Seminar (GSC) 2」）合計 22単位を修得していること。
- ② Capstone Projectを完成できる十分な英語力があること（原則として、IELTS アカデミック・モジュールオーバーオール 6.5以上（各項目 6.0以上）相当の英語力があること）。

【注意】

英語力の証明に毎年度1月に実施予定の学内英語試験の結果を利用することができます。

2. 所属資格の要件を満たせなかった場合

次年度所属の要件を満たしていない可能性のあるコース所属学生には、3Sを通じて3月上旬頃にその旨知らされます。連絡を受けた人は、定められた日に指導教授またはGSC教務主任の教員と面談をし、次年度の所属について相談をしてください。

要件を満たしていない場合の選択肢は以下の3つです。

- ① 仮及第 (On Probation)：面談の結果、本コースでの学修継続とその結果としての資格充足が可能と判断された場合には、「仮及第」のステイタスを得て、次年度も本コースでの学修を続けることができます。「仮及第」時も、本コースの科目を履修することが認められるので、コース指導料は支払う必要があります。仮及第が認められる最長期間は原則として1年間です。
- ② GSC（英語）アソシエイトプログラム：面談の結果、コース変更をするものの、今後も本コース向けに提供される科目を可能な限りで引き続き履修したいという希望がある場合は、学修プログラムのひとつである「GSC（英語）アソシエイトプログラム」（165頁）の修了認定を目指し、本コース関連科目の学修を継続することができます（ただし履修できる科目には一部制限があります）。

③ コース変更：次項の「8 コース変更について」参照。

【注意】

* ② GSC（英語）アソシエイトプログラムの場合には、所属する学科の他のコースに移ることになります。その際、それまでに本コースで修得した単位は、所属学科で定められた卒業条件に照らして、卒業に必要な単位として算入することが認められます。

* コース変更をした場合には、卒業要件が変わるため、修得すべき科目も異なるものとなり、結果として卒業が延びることがあります。したがってコース変更の際には、変更内容を十分に理解したうえで新しい年度に臨むようにしてください。

8 グローバル・スタディーズコース（英語）コース変更について

本コースの所属資格を満たしている場合でも、自分の関心や興味の対象・分野が変わったなどの理由により、所属学科の他コースに移ることができます。

* 手続き方法と時期：所属コース決定後に変更を希望する場合は、所定の用紙にて教務課に願い出てください。手続期間は毎年度3月の所定の期日を締め切りとします。

* 変更に伴う注意：

① コース変更届に必ず指導教授印（前年度の指導教授印でも可）が必要となります。

② 本コースで修得した単位は、所属学科で定められた卒業条件に照らして、卒業に必要な単位として算入することが認められます。

③ コース変更をした場合には、卒業要件が変わるため、修得すべき科目も異なるものとなり、結果として卒業が延びることがあります。したがってコース変更の際には、変更内容を十分に理解したうえで新しい年度に臨むようにしてください。

9 グローバル・スタディーズコース（英語）褒賞制度について

本コースには2種類の褒賞制度があります。

① GSC（英語）の所属学生が1年次第2クォーターに実施される海外集中英語研修に参加する際には、参加費用の一部について特別補助を受けることができます。

② コースの卒業要件を満たし、かつ、定められた条件を満たした場合は、所定の手続きに基づく選考を経て、成績優秀者として卒業時に褒賞が与えられます。

コーチングについて

グローバル・スタディーズコース（英語）では、高い目標を定めた英語力教科のためのカリキュラムのもとで英語やグローバル・スタディーズに関する科目を学んでゆくため、その集中的な学習のサポートを目的とした「コーチング」と呼ばれる正課外の個別指導制度が用意されています。授業の補習、検定試験のスコアアップ、留学相談など、個人の必要に合わせてぜひ活用してください。

コーチングは授業の少ない時間帯に設定されており、面談には予約が必要です。予約の方法や場所については年度初めのガイダンスで説明します。

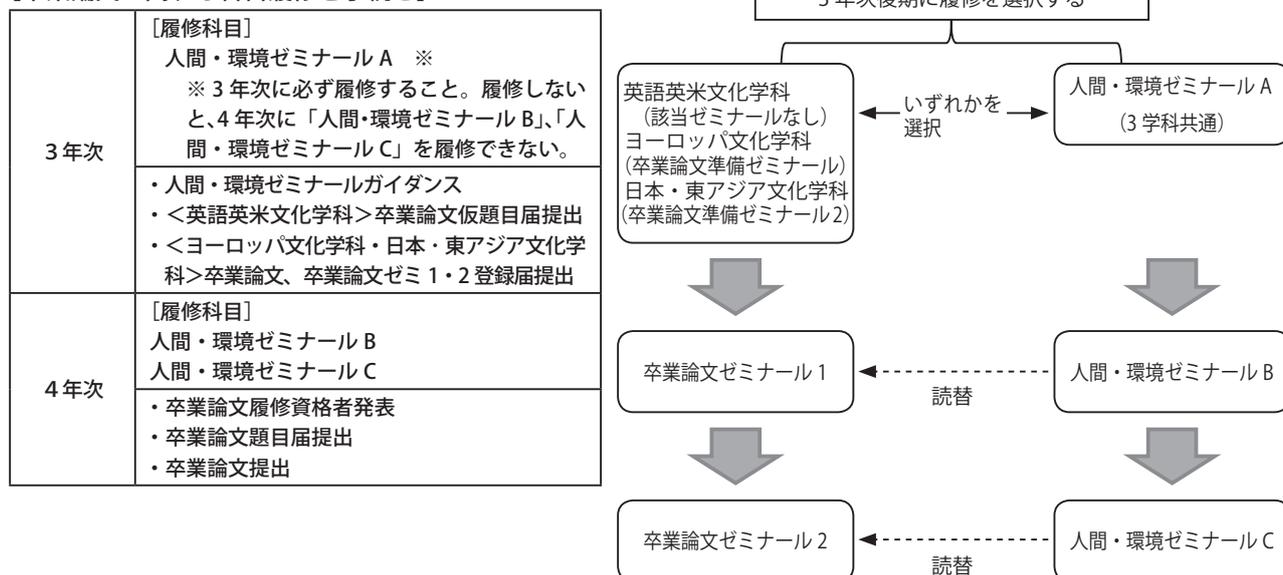
3 学科共通

1 環境・自然／人間科学（スポーツ）／教育学／心理学分野での卒業論文の執筆について

卒業論文の執筆は所属する学科においてだけでなく、環境・自然／人間科学（スポーツ）／教育学／心理学分野の4領域から専攻することも可能です。総合科目や教職課程などで学んだことを卒業論文としてさらに深めること、また、所属する学科で学んだ専門知識とこれらの領域を融合しての卒業論文の執筆も可能です。

上記の領域での卒業論文の執筆を希望する場合は、3年次において「人間・環境ゼミナールガイダンス」（7月上旬開催）に必ず出席し、指示された重要事項を的確に遵守しなければなりません。また、所属学科の卒業論文の履修資格条件を満たし、3年次後期に「人間・環境ゼミナールA」を履修し、単位を修得していることが条件となります。この科目では、卒業論文を執筆するために必要な方法論に加えて、環境・自然／人間科学（スポーツ）／教育学／心理学分野から専攻した領域の基礎学力を身につけます。そして、卒業論文の研究内容と方向性が、卒業論文指導を希望する教員の研究・教育活動と合致し適切な指導のもと論文執筆が可能であると判断されることも必要です。適格の最終判断は、3年次後期履修登録期間終了時までには卒論指導希望教員が希望する学生と面談をおこない、所属学科教務委員の了解を得ておこないますが、それ以前に所属学科の指導教授と十分に相談してください。なお、グローバル・スタディーズコース所属学生は「人間・環境ゼミナールA」を履修することができません。

[卒業論文に関する科目履修と手続き]



卒業論文の作成要領については、各学科のページで詳細に記されています。なお、卒業論文の指導を基礎教育センター、教職課程の専任教員に希望する場合、以下の履修上のルールに従ってください。また、それぞれの分野の特徴については以下を参照してください。

◆ 環境・自然／人間科学（スポーツ）／教育学／心理学分野の特徴

環境・自然系分野は、自然科学によって解明された原理に基づき、地球環境問題の現状を理解し、不確実性を含みながらも未来を予測し選択肢を考えることをテーマとしています。

人間科学（スポーツ）分野は、スポーツそのものを歴史的、哲学的に考察すること、あるいはアスリートを題材とし、スポーツ科学の観点からパフォーマンス向上のための知見を得ることやアスリートの心理を明らかにしていくことをテーマとしています。

教育学分野は、教育学（教育哲学、カリキュラム、教育方法・実践、社会科教育等）ならびに教育心理学に関わるテーマでの卒業論文の執筆が可能です。これまでのテーマには、歴史教科書の国際比較、NIE（新聞学習）、高校キャリア教育、子どもの遊び、大村はま、イエナプラン等があります。

心理学分野は、臨床心理学、スポーツ心理学を主とした関連領域を研究します。現代の家族に関する諸問題や青少年・子育て支援、スポーツ選手の心理的競技力向上やスポーツの心理臨床について考察していくことをテーマとしています。

◆基礎教育センター・教職課程専任教員を卒業論文指導教授とする際の履修上の条件

- ① 環境・自然系分野において研究・教育に携わっている教員を希望する場合には、環境・自然系科目の中から、原則として、2年次生までに少なくとも6単位以上修得済みであり、かつ3年次生において4単位以上の単位（「人間・環境ゼミナール A」を含む）について履修登録をおこなっているか、あるいは、単位修得済であること。
- ② 人間科学系（スポーツ）分野において研究・教育に携わっている教員を希望する場合には、人間科学系科目の中から、原則として、2年次生までに少なくとも6単位以上修得済みであり、かつ3年次生において4単位以上の単位（「人間・環境ゼミナール A」を含む）について履修登録をおこなっているか、あるいは、単位修得済であること。
- ③ 教育学系分野の研究・教育に携わっている教員を希望する場合には、人文学部科目のうち、卒業論文のテーマに関連する授業を、2年次までに少なくとも8単位以上修得済であることが望ましく、かつ3年次において4単位以上の単位（「人間・環境ゼミナール A」を含む）について履修登録をおこなっているか、あるいは単位修得済であること。
- ④ 心理学の研究・教育に携わっている教員を希望する場合には、人文学部科目のうち、卒業論文のテーマに関連する授業を、2年次までに少なくとも6単位以上修得済であることが望ましく、かつ3年次において4単位以上の単位（「人間・環境ゼミナール A」を含む）について履修登録をおこなっているか、あるいは単位修得済であること。

◆基礎教育センター・教職課程の専任教員を卒論指導教授にする場合の、ゼミナール履修上の重要事項

「卒業論文」の執筆と「人間・環境ゼミナール A」「人間・環境ゼミナール B」「人間・環境ゼミナール C」の単位修得は一体です。「人間・環境ゼミナール」は、卒業論文執筆を目的として設けられている科目です。原則として、ゼミナール A は3年次後期に履修し、ゼミナール B と C は4年次に履修しなければなりません。なお、「人間・環境ゼミナール A」は「卒業論文準備ゼミナール」（ヨーロッパ文化学科）、「卒業論文準備ゼミナール 2」（日本・東アジア文化学科）に相当するものです。該当する2学科の学生は、3年次後期にいずれかを選択して履修してください。

- ① 「人間・環境ゼミナール A」と学科の「卒業論文準備ゼミナール」（ヨーロッパ文化学科）、「卒業論文準備ゼミナール 2」（日本・東アジア文化学科）は、いずれか一方しか履修することはできません。ただし、日本・東アジア文化学科の学生は、3年次前期に「卒業論文準備ゼミナール 1」を原則として全員が履修します。
- ② 「人間・環境ゼミナール A」の単位を修得し、引き続き卒業論文指導を希望する場合には、「人間・環境ゼミナール B」「人間・環境ゼミナール C」を履修し、単位を修得しなければなりません。
- ③ 「人間・環境ゼミナール B」「人間・環境ゼミナール C」の修得単位は、それぞれ所属学科の「卒業論文ゼミナール 1」と「卒業論文ゼミナール 2」の単位として読み換えます。
- ④ これらのゼミナール科目履修のため年間履修単位制限を超える場合には、学生の責任において他の科目の削減をおこなわなければなりません。
- ⑤ 3年次の後期に開講される「人間・環境ゼミナール A」の単位を修得できなかった場合には、当該指導教授による卒業論文指導の継続が不可能となったと判断され、当該学生は所属学科教務委員による履修指導に基づき、卒業論文指導教授を変更しなければなりません。
- ⑥ 「人間・環境ゼミナール A」の授業終了後、論文指導教授を変更することができます。その場合には、3年次1月の仮題目・登録届の提出に先立ち、当該学科教務委員による履修指導に従わなければなりません。

◆卒論ガイダンス

3年次において「人間・環境ゼミナールガイダンス」（7月上旬開催）に必ず出席し、指示された重要事項を的確に遵守しなければなりません。当該学生は、ガイダンス後、希望教員と卒業論文の内容と方向性について面談し、その上で指導適格性判断のための課題レポートを提出してください。課題レポートの詳細については、希望教員から指示されます。

協定留学または認定留学により4年次前期に不在となる場合は、特例として4年次後期に「人間・環境ゼミナール

B)「人間・環境ゼミナールC」を同時履修することを認める場合があります(4年次に1年間不在となる場合は、翌年度前期の同時履修を認める場合があります)。

ただし、3年次後期からの協定留学で、「人間・環境ゼミナールA」の単位未修得の場合は適用されません。希望する場合は、必ず、留学前に卒業論文の指導教授に相談の上、了承を得てください。了承が得られなかった場合は、同時履修は認められません。また、帰国後は速やかに教務課にて手続きを行ってください。

2 学修プログラム

人文学部の学生は、所属する各学科で定められた履修条件を充たして単位を修得することによって卒業しますが、それとは別に、定められた単位修得条件を充たすことによって、特定のプログラムを修了したものと認定する制度があります。こうしたプログラムを「学修プログラム」と呼びます。

1. 日本語教員プログラム

人文学部生のうち、以下の条件を充たした者については、申請提出期限に「日本語教員プログラム認定申請書」を出すことにより「日本語教員プログラム修了証」が発行されます。これは日本語教員として活動する能力を認めるものではありませんが、日本語学校等の教員として就職する場合には(財)日本国際教育支援協会の「日本語教育能力検定試験」を受験することを推奨します。

(1) 日本語教員プログラム修了認定条件

- ① 区分「日本語の教授に関する科目」から8単位以上修得すること。
- ② 区分「日本語に関する科目」から、8単位以上修得すること。
- ③ 区分「日本・東アジア文化に関する科目」から10単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目	単位
日本語の教授に関する科目	8 単位	日本語の教授法 1	2
		日本語の教授法 2	2
		日本語の教授法演習 1	2
		日本語の教授法演習 2	2
日本語に関する科目	8 単位	日本の言語文化 1	2
		日本の言語文化 2	2
		日本語の表現 1	2
		日本語の表現 2	2
		日本の地域言語 1	2
		日本の地域言語 2	2
		日本の言語文化演習 1	2
		日本の言語文化演習 2	2
		日本語の表現演習 1	2
		日本語の表現演習 2	2
		日本語の地域言語演習 1	2
		日本語の地域言語演習 2	2
日本・東アジア文化に関する科目	10 単位	上記以外の日本・東アジア文化学科専攻専門科目から選択	
合計	26 単位		

※ 上記科目は、日本・東アジア文化学科の専攻科目におかれているので、詳細については、『履修要項』・『シラバス』の該当ページを参照し、開講状況、履修条件等を確認してください。

(2) 「プログラム修了証」の授与

認定された場合は、卒業式当日に「日本語教員プログラム修了証」が授与されます。さらに、卒業後希望する者には、証明書(有料)が発行されます。

(3) 日本語教員プログラム申請手続きについて

4 年 次	9月卒業予定者 7月	日本語教員プログラム 認定申請書提出	申請期間：卒業論文提出日
	3月卒業予定者 12月		

※ 日本語教員プログラム認定申請は、卒業直前の申請提出期限に提出しなければなりません。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、延期された卒業直前の申請提出期限にあらためて申請書を提出しなければなりません。

※ やむを得ない理由で指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。

2. GSC (英語) アソシエイトプログラム

人文学部生は、GSC (英語) に所属しない人も、このコースのために用意された英語による科目の多くを履修し、修得した単位を卒業単位として数えることができます。「GSC (英語)」以外のコースに属しながら、英語学習に対する高い意識を持って GSC の科目を履修し、下記の定められた条件の単位を修得した人については、手続き期間に「GSC (英語) アソシエイトプログラム修了認定申請書」を出すことにより「GSC (英語) アソシエイトプログラム修了証」が発行されます。

GSC (英語) の所属学生は、このプログラムの認定申請ができませんが、研究対象が変わるなどの理由で他コースにコース変更をした人については、申請可能です。その際、GSC (英語) 所属時の修得単位を利用できます。

(1) GSC (英語) アソシエイトプログラム修了認定条件

以下の条件をすべて満たすこと。

- ① 下表の区分「英語でおこなわれる総合科目」から 6 単位以上修得すること。
- ② 下表の区分「英語でおこなわれる共通専門科目」から 4 単位以上修得すること。
- ③ 下表の区分「GSC (英語) 講義科目・ゼミナール科目」から 8 単位以上修得すること。
- ④ IELTS アカデミック・モジュールオーバーオール 5.5 以上 (各項目 5.5 以上)。

区分	必要単位数	科目	単位
英語でおこなわれる総合科目	6 単位	Information Technology and Global Communication	2
		Introduction to Critical Thinking	2
		Introduction to Global History	2
		Introduction to Global Studies	2
		Understanding the Contemporary Global Economy	2
		Introduction to Human Rights	2
		Global Environmental Issues	2
		Introduction to Human Geography	2
		Introduction to Personal Health and Wellness	2
		Career Design in a Global Age	2
英語でおこなわれる共通専門科目	4 単位	課題解決型国際ゼミナールプロジェクト	2
		Introduction to Applied Linguistics	2
		アメリカの社会と文化 1	2
		アメリカの社会と文化 2	2
		イギリスの社会と文化 1	2
		イギリスの社会と文化 2	2
		日本の社会と文化 1	2
		日本の社会と文化 2	2
		現代世界の諸問題 1	2
		現代世界の諸問題 2	2
		グローバル・コミュニケーション 1	1
		グローバル・コミュニケーション 2	1
		留学のための英語講座 A1	1
		留学のための英語講座 A2	1
		留学のための英語講座 B1	1
		留学のための英語講座 B2	1
		インターカルチュラルスキル養成講座 1	2
		インターカルチュラルスキル養成講座 2	2
		グローバル・リーダーシップ養成講座 1	2
		グローバル・リーダーシップ養成講座 2	2
留学入門ゼミナール	2		
すべての EAS 科目 (「日本語」をのぞく)	-		

区分	必要単位数	科目	単位
GSC (英語) 講義科目・ゼミナール科目(*) (ゼミナール科目の単位の認定は、GSC (英語) に所属歴がある人に限ります。)	8 単位	Introduction to Global Civics 1	2
		Introduction to Global Civics 2	2
		Introduction to Global Futures Studies 1	2
		Introduction to Global Futures Studies 2	2
		Transnational Issues 1	2
		Transnational Issues 2	2
		Political Communication 1	2
		Political Communication 2	2
		Global Literatures in English 1	2
		Global Literatures in English 2	2
		Introduction to Cultural Studies 1	2
		Introduction to Cultural Studies 2	2
		Migration and Literature 1	2
		Migration and Literature 2	2
		World Englishes 1	2
		World Englishes 2	2
		Japanese Cultural History in Global Perspective 1	2
		Japanese Cultural History in Global Perspective 2	2
		Contemporary Japanese Culture 1	2
		Contemporary Japanese Culture 2	2
		Topics in Japanese Culture A 1	2
		Topics in Japanese Culture A 2	2
		Topics in Japanese Culture B 1	2
		Topics in Japanese Culture B 2	2
		Global Fieldwork	2
		GSC Seminar (Global Relations) 1 *	2
		GSC Seminar (Global Relations) 2 *	2
		GSC Seminar (Global Literature) 1 *	2
GSC Seminar (Global Literature) 2 *	2		
GSC Seminar (Global Japanese Studies) 1 *	2		
GSC Seminar (Global Japanese Studies) 2 *	2		
合計	18 単位		

※ 上記科目については、『履修要項』・シラバスの該当ページを参照し、開講期・状況、履修条件等を確認してください。

(2) 「プログラム修了証」の授与

認定された場合は、卒業式当日に「GSC (英語) アソシエイトプログラム修了証」が授与されます。さらに、卒業後希望する者には、証明書 (有料) が発行されます。

(3) GSC (英語) アソシエイトプログラム申請手続きについて

4 年 次	9月卒業予定者 7月	GSC (英語) アソシエイトプログラム 認定申請書提出	申請期間：卒業論文提出日
	3月卒業予定者 12月		

※ GSC (英語) アソシエイトプログラム認定申請は、卒業する年度に提出しなければなりません。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、翌年度新たに申請書を提出しなければなりません。

※ やむを得ない理由で指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。

3. 自然・環境プログラム

武蔵大学のカリキュラム・ポリシーでは、「文理の壁を越えたりベラルアーツに基づく広い教養を身につける」ことを目標のひとつとして定めています。このプログラムは、今日人間生活のあらゆる分野の基礎となっている自然科学の研究・調査技法を学ぶとともに、地球環境問題の現状を理解し、未来を予測し、選択肢を考え、「文理の壁を越えた教養」を身につけることを目標としています。実験 (ラボワーク科目) やフィールドワークを柱とする実践科目を多分野にわたって履修することがこのプログラムの最大の特徴です。

(1) 自然・環境プログラム修了認定条件

- ① 区分「実験・フィールドワーク科目」から4単位以上修得すること。
- ② 区分「自然・環境系講義科目」から8単位以上修得すること。

区分	必要単位数	科目	単位		
実験・フィールドワーク科目	4 単位	自然科学集中プロジェクト A	1		
		自然科学集中プロジェクト B	1		
		化学ラボワーク A	1		
		化学ラボワーク B	1		
		生物ラボワーク A	1		
		生物ラボワーク B	1		
		物理学ラボワーク A	1		
		物理学ラボワーク B	1		
		文化財リサーチプロジェクト	2		
		武蔵・環境フィールドワーク	2		
		自然・環境系講義科目	8 単位	先進の科学技術	2
				人間と科学技術の歩み	2
地球環境	2				
数学の世界	2				
自然と生活のなかの物理	2				
生命の進化	2				
人間と環境	2				
地球の自然史	2				
化学と現代社会	2				
宇宙観の歴史	2				
地球環境シミュレーション	2				
都市環境論	2				
人の進化	2				
文化財科学	2				
保全生物学	2				
動物社会学	2				
合計	12 単位				

※基礎教育センター・自然科学教員が担当する人間・環境ゼミナールA、人間・環境ゼミナールB、人間・環境ゼミナールCの単位を修得した場合、区分：自然系講義科目8単位に算入することができる。

(2) 「プログラム修了証」の授与

認定された場合は、卒業式当日に「自然・環境プログラム修了証」が授与されます。さらに、卒業後希望する者には、証明書（有料）が発行されます。

(3) 自然・環境プログラム申請手続きについて

4 年 次	9月卒業予定者 7月	自然・環境プログラム 認定申請書提出	申請期間：卒業論文提出日
	3月卒業予定者 12月		

※ 自然・環境プログラム認定申請は、卒業する年度に提出しなければなりません。申請書を提出しても、何らかの理由で卒業が延期になった場合は、翌年度新たに申請書を提出しなければなりません。

※ やむを得ない理由で指定の期日に申請書を提出できなかった場合は、教務課に相談してください。

4. GSC（ドイツ語）アソシエイトプログラム

5. GSC（フランス語）アソシエイトプログラム

78 頁を参照のこと。

6. GSC（中国語）アソシエイトプログラム

7. GSC（韓国・朝鮮語）アソシエイトプログラム

116 頁を参照のこと。

3 留学・国際交流関連科目

1.EAS(East Asian Studies、東アジア研究)

(1) EASの開講目的

EAS(East Asian Studies)は、受入れ交換留学生を主な対象とした東アジアの国際関係、経済、文化、社会などを総合的に学修する、少人数制の英語による授業です。英語で専門科目を学習する能力のある武蔵大学生の履修を大いに歓迎します。

◇ EAS科目一覧

科目名	単位	開欠講	授業と単位
Business in East Asia	4	開講	週2回の授業で4単位
Globalization and East Asian Economies	4	開講	週2回の授業で4単位
Japanese History	4	欠講	週2回の授業で4単位
Japanese Culture and Society	4	欠講	週2回の授業で4単位
Japanese Literature	4	開講	週2回の授業で4単位
East Asian Societies	4	開講	週2回の授業で4単位
East Asian Cultures and Histories	4	開講	週2回の授業で4単位
Japan and International Society	4	開講	週2回の授業で4単位
Traditional Arts of Japan	2	開講	週1回の授業で2単位
Modern Arts of Japan	2	開講	週1回の授業で2単位
East Asian Philosophies	4	欠講	週2回の授業で4単位
East Asian Literatures	4	開講	週2回の授業で4単位
Film Studies in East Asia	2	開講	週1回の授業で2単位
Media in East Asia	4	開講	週2回の授業で4単位
Gender and Sexuality in East Asia	4	開講	週2回の授業で4単位
Ethnicity in East Asia	4	欠講	週2回の授業で4単位
Seminar in East Asian Studies	2	欠講	週1回の授業で2単位
East Asian Community in the 21st Century	4	開講	週2回の授業で4単位
Global Issues in Southeast Asia	2	開講	週1回の授業で2単位
Environmental Issues in East Asia	4	開講	週2回の授業で4単位
Global Issues in East Asia	2	欠講	週1回の授業で2単位
Japanese Politics	2	開講	週1回の授業で2単位
Japanese Economy	2	開講	週1回の授業で2単位
Technology and Society in East Asia	2	欠講	週1回の授業で2単位
Entrepreneurship in Japan	2	開講	週1回の授業で2単位
日本語(コンプリートビギナー)	1	開講	週1回の授業で1単位
日本語(入門)	1	開講	週1回の授業で1単位
日本語(初級)	1	開講	週1回の授業で1単位
日本語(初中級)	1	開講	週1回の授業で1単位
日本語(中級)	1	開講	週1回の授業で1単位
日本語(上級)	1	開講	週1回の授業で1単位

注1) 週2回の授業はセットで履修して成績評価がおこなわれ、週1回だけの授業出席では成績評価は与えられません。

注2) 「日本語」は、外国語科目の扱いとなります。履修できる学生は、以下に該当する者のみとなります。

ただし、(2)～(5)に関しては当該授業の履修者数が20人を超える場合は選考があります。

(1) 協定留学生

(2) 「外国高等学校卒業生および帰国生徒対象入学試験」によって入学した学生

(3) 「外国人学生特別入学試験」によって入学した学生

(4) 外国の大学から編入学・転入学・学士入学試験によって入学した学生

(5) 日本以外の学校教育制度による12年以上の課程を修了した者(ただし、12年以上の課程のうち、日本にある外国人学校における在籍期間が3年を超えるか、当該学校における日本の中学校・高等学校に相当する在籍期間が2年を超えるものを除く)。または、これに準ずる者で次の①～②のいずれかに該当する者。

① 外国において、学校教育における12年以上の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む)に合格した者(国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア(フランス共和国)については日本国内で取得した場合を含む)。

② 通常の中高等教育の課程の修了までに12年を要しない国において、中高等教育の課程を修了した者で、文部科学省の指定する日本の大学に入学するための準備教育課程を修了した者。

(6) GSC(英語プログラム)所属学生のうち、人文学部教務委員会が外国語科目として日本語の履修を適当と判断した学生

(2) 授業科目分類

EAS 科目は全学対象専門科目に分類されます。履修登録の際は、『履修要項』とシラバスを必ず確認してください。

(3) 武蔵大学在学生在が EAS 科目を履修する場合の注意

- ① 履修登録前に履修の可否を決める選考は行いませんが、評価基準が高いので以下の②、③を熟読の上、各人の判断と責任で履修登録をしてください。
- ② 授業について行くためには英語圏の大学3年生と同等の英語力と専門知識を必要とします。
- ③ 留学生のペースで授業がおこなわれます。本学在学生在が受講する場合に、本学在學生に合わせてペースやレベルを調整することはありません。
- ④ 練馬区特別履修生は、EAS 科目を履修することができません。

2. 留学準備講座

(1) 留学準備講座の開講目的

留学準備講座は、留学希望の学生を支援するために設置された科目で、開講科目は以下の2種類に分かれます。

- ① 留学に必要な語学力を養成するための授業
- ② 入門的な講義

(2) 開講時期と単位

科目名の末尾に、前期開講科目の場合は1、後期開講科目の場合は2が付されています。前期開講科目と後期開講科目は、名称が同一の場合であっても互いに独立した科目であり、1・2のいずれかのみを履修しても、1・2を連続して履修してもかまいません。1単位科目（上記①）と2単位科目（上記②）があります。

◇ 留学準備講座 科目一覧

科目名	単位	開欠講	※使用言語	授業と単位（履修者上限人数）
アメリカの社会と文化1	2	開講	E	週1回の授業で2単位（20人）
アメリカの社会と文化2	2	開講	E	週1回の授業で2単位（20人）
イギリスの社会と文化1	2	開講	E	週1回の授業で2単位（20人）
イギリスの社会と文化2	2	開講	E	週1回の授業で2単位（20人）
日本の社会と文化1	2	開講	E	週1回の授業で2単位（20人）
日本の社会と文化2	2	開講	E	週1回の授業で2単位（20人）
東アジアの社会と文化1	2	開講	E	週1回の授業で2単位（20人）
東アジアの社会と文化2	2	開講	E	週1回の授業で2単位（20人）
現代世界の諸問題1	2	開講	E	週1回の授業で2単位（20人）
現代世界の諸問題2	2	開講	E	週1回の授業で2単位（20人）
ドイツ語圏の社会と文化1	2	開講	G	週1回の授業で2単位（15人）
ドイツ語圏の社会と文化2	2	開講	G	週1回の授業で2単位（15人）
フランスの歴史と社会1	2	開講	F	週1回の授業で2単位（15人）
フランスの歴史と社会2	2	開講	F	週1回の授業で2単位（15人）
中国の社会と文化1	2	開講	C	週1回の授業で2単位（15人）
中国の社会と文化2	2	開講	C	週1回の授業で2単位（15人）
韓国・朝鮮の社会と文化1	2	欠講	K	週1回の授業で2単位（15人）
韓国・朝鮮の社会と文化2	2	欠講	K	週1回の授業で2単位（15人）
インターカルチュラルスキル養成講座1	2	開講	E	週1回の授業で2単位（20人）
インターカルチュラルスキル養成講座2	2	開講	E	週1回の授業で2単位（20人）
グローバル・リーダーシップ養成講座1	2	開講	E	週1回の授業で2単位（20人）
グローバル・リーダーシップ養成講座2	2	開講	E	週1回の授業で2単位（20人）
留学入門ゼミナール	2	開講	E	週1回の授業で2単位（25人）
多文化社会	2	開講	E	週1回の授業で2単位（20人）
グローバル・コミュニケーション1	1	開講	E	週1回の授業で1単位（15人）
グローバル・コミュニケーション2	1	開講	E	週1回の授業で1単位（15人）
留学のための英語講座 A1 (TOEFL)	1	開講	E	週1回の授業で1単位（20人）
留学のための英語講座 A2 (TOEFL)	1	開講	E	週1回の授業で1単位（20人）
留学のための英語講座 B1 (IELTS)	1	開講	E	週1回の授業で1単位（20人）
留学のための英語講座 B2 (IELTS)	1	開講	E	週1回の授業で1単位（20人）
ドイツ語論述実習1	1	開講	G	週1回の授業で1単位（15人）
ドイツ語論述実習2	1	開講	G	週1回の授業で1単位（15人）
フランス語論述実習1	1	開講	F	週1回の授業で1単位（15人）
フランス語論述実習2	1	開講	F	週1回の授業で1単位（15人）

科目名	単位	開欠講	※使用言語	授業と単位（履修者上限人数）
中国語論述実習 1	1	欠講	C	週1回の授業で1単位（15人）
中国語論述実習 2	1	欠講	C	週1回の授業で1単位（15人）
韓国・朝鮮語論述実習 1	1	開講	K	週1回の授業で1単位（15人）
韓国・朝鮮語論述実習 2	1	開講	K	週1回の授業で1単位（15人）

※ E：英語 G：ドイツ語 F：フランス語 C：中国語 K：韓国・朝鮮語

（3）授業科目の分類

科目分類は学部・学科により異なります。履修登録の際は、『履修要項』とシラバスを必ず確認してください。

（4）留学準備講座を履修する場合の注意

- ① 留学準備講座は、学生の積極的な授業参加を前提とし、明確な効果を上げるために少人数クラスで授業をおこないます。従って参加者が多数の場合は、初回の授業で授業担当者の判断で選抜テストなどを実施し人数制限がおこなわれる場合があります。
- ② 科目等履修生（武蔵高校からの科目等履修生を除く）、練馬区特別履修生は、留学準備講座を履修できません。

4 人権問題への理解を深める授業の履修について

グローバル化の下、ますます多様化、複雑化する現代社会は、年齢や性別、国籍や民族、思想・信条、性的志向や障がいの有無などの立場の違いから、人権にかかわる広範囲で多様な問題が生じており、私たちはこうした問題に積極的に目を向け、考えを深める必要があります。

大学は、異なる立場や考え方もつ人たちが集まって、研究や教育・学習、さらにそれを支える仕事を学生・教職員が協同して進めていく場です。学生や教職員にとってよりよい学習環境・生活環境を実現していくために、個人の尊厳やお互いの人格を尊重しあう「人権」という考えが多くの人に共有されることが重要になります。

武蔵大学では、3学部共通の総合科目におかれる「日本国憲法」「現代社会と人権」「人権ワークショップ」などの講義や各学部学科で開講される演習をはじめとするさまざまな科目を通じ、多種多様な視点から「人権」について、その構成員が考え、理解を深めていくために努力しています。

学生の皆さんには、これらの科目を積極的に履修し、また日頃から、学修の際に人権を意識し、知識の習得に励んでいただければと思います。

第2章 教職課程、学芸員課程

1 教職課程履修方法	< 2019年度以降入学生用 >	176 ~ 195 頁
	< 2018年度入学生用 >	198 ~ 216 頁
	< 2017年度入学生用 >	198 ~ 206 頁、217 ~ 228 頁
2 学芸員課程履修方法		230 頁

教職課程

< 2019 年度以降 入学生用 > 176 ~ 195 頁

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

1. 教職課程とは

教職課程とは、大学卒業後、国公立・私立学校の教育職員（以下、教員）になろうとする者に必要な教育職員免許状（以下、教員免許状）の取得を希望する学生のために設けられている課程です。

教員免許状の取得には、卒業に必要な単位のほかに、教員免許取得に必要な単位や体験・実習などの修得が必要です。なお、本学では**中学校・高等学校の両方の教員免許状を取得することを原則**としています。

（1）単位の修得

①「基本的教職必修科目」

「教育職員免許法施行規則（以下、施行規則）」第66条の6に定める科目です。武蔵大学における授業科目及び単位数は、「7. 本学で履修する授業科目①」を参照してください。これらの授業科目は、「卒業要件」に沿って、「卒業に必要な単位」として算入することができます。

②「教科及び教職に関する科目」

「教育職員免許法（以下、免許法）」及び施行規則で定められている科目です。武蔵大学における授業科目及び単位数は、「7. 本学で履修する授業科目②」を参照してください。これらの授業科目は、「教科に関する専門的事項」を除き、「卒業に必要な単位」として算入することはできません。

（2）体験・実習などの実施

①介護等体験（3年次）

中学校免許状を取得する場合には**合計7日間の介護等体験**が必要です。

②フィールドワーク（3年次）

「教育実習1」（2単位）の授業の一環として、**中学校・高等学校で合計4時間のフィールドワーク**を行います。

③教育実習（4年次）

中学校・高等学校の教員免許状を取得する場合は3週間、高等学校のみの場合は2週間の教育実習を行います。

（3）ガイダンス等への出席・健康診断の受診

①必要なガイダンスへの出席

教職課程のガイダンスのほか、情報セキュリティテスト、図書館ガイダンスなども必ず受講してください。

②健康診断の受診（毎年度4月）

上記のことから、履修すべき単位数が多いうえ、ガイダンスや必要な手続きが多くあり、時間割上、1時限、5時限に開講されている授業科目も少なくないため、計画的に取り組んでいくことが大切です。諸連絡は**3S**で行いますので、定期的に確認する習慣をつけてください。

なお、教職課程履修に関する事務は、**教職課程事務室（8号館4階）**で行います。また、教職課程には、**教職課程ラーニング・コモンズ（教職LC）**があり、履修学生は利用することができます。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

2. 本学で取得できる教員免許状の種類と教科

本学で取得できる教員免許状の種類と教科は以下のとおりです。

学科名	取得できる教員免許状の種類	教員免許状の教科
経済学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、公民
経営学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	公民、情報、商業
金融学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	公民、商業
英語英米文化学科	中学校教諭一種免許状	英語
	高等学校教諭一種免許状	英語
ヨーロッパ文化学科	中学校教諭一種免許状	社会、英語、ドイツ語、フランス語
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、英語、ドイツ語、フランス語
日本・東アジア文化学科	中学校教諭一種免許状	国語、社会
	高等学校教諭一種免許状	国語、地理歴史、公民
社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、公民
メディア社会学科	中学校教諭一種免許状	社会
	高等学校教諭一種免許状	地理歴史、公民

※複数教科の教員免許状取得希望者、他学科の教員免許状取得希望者及び「ドイツ語」もしくは「フランス語」教員免許状のみの取得希望者は、教職課程事務室へ申し出てください。

3. 教職課程履修にかかる諸費用

教職課程履修にかかる主な費用は、以下のとおりです。

内訳	金額	納入時期
教職課程登録費（介護等体験費を含む）	45,000円	2年次後期
教員免許状申請にかかる費用	1免許状につき、3,300円	4年次後期

※このほか体験や実習に要する交通費、各種検査費用及び証明書発行手数料等は、各自の負担となります。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

4. 教職課程の登録

（1）登録および登録費

教員免許状取得に必要な科目の履修は登録に先立って1年次から行われています。入学時の教職課程ガイダンスの指示に従ってください。

また、教職課程の授業を3年次以降も続けて履修し、介護等体験や教育実習を行うためには、**2年次後期に教職課程登録を行い**、教職課程履修生とならなければなりません。課程登録に際しては、授業料等の年間納付金とは別に、所定の**教職課程登録費**を納入する必要があります。いったん納入された教職課程登録費は、理由のいかんによらず返還しません。

（2）登録手続き

- ①「教職課程ガイダンス」に出席する（2年次4月）。
手続きの日程、課題、課題締切日等について指示します。
- ②課題を提出し、教職課程担当教員等の面談を受ける（2年次5月）。
- ③所定の期日までに教職課程登録費を納入するとともに、教職課程登録願と必要書類を提出する（2年次10月）。【仮登録】
登録にあたっては、2019年度以降入学生は、原則として**2年次前期末のGPAが1.8以上**であることが条件となります。（登録後もGPA1.8以上を維持するよう努力しなければなりません。）
- ④「教職課程ガイダンス」に出席する（2年次1月）。【本登録】

2年次で登録できなかった場合は、4年間での教員免許状取得は困難になります。

（3）登録の取り消しと辞退

必要なガイダンスに出席していないなど、手続きをとらない場合は、登録が取り消されることがあります。また、登録後に進路変更等で教職課程の履修を辞退する場合は、速やかに教職課程事務室に申し出て、**辞退届**を提出してください。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

5. 教員免許状を取得するための所要資格一覧

中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状を取得するためには、免許法で定められた基礎資格（卒業要件を満たす）が必要であり、合わせて以下に示す定められた科目の単位を修得しなければなりません。

本学での所要資格一覧

教員免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数										介護等体験	修得すべき単位数の合計	
		教科及び教職に関する科目					基本的必修科目 (免許法施行規則第66条の6に定める科目)							
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	日本国憲法	情報機器の操作	外国語コミュニケーション	体育				
中学一種	学士の学位を有すること	国語	28	14	10	9	4	2	2	2	2	2	必修	73
		社会	28											
		英語	28											
		ドイツ語	28											
		フランス語	28											
高校一種	学士の学位を有すること	国語	24	14	8	7	12	2	2	2	2	2	73	
		地理歴史	24											
		公民	24											
		情報	24											
		商業	24											
		英語	24											
		ドイツ語	24											
		フランス語	24											

—参考—

次の表は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要資格を示したものです。

教員免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数										介護等体験	修得すべき単位数の合計	
		教科及び教職に関する科目					基本的必修科目 (免許法施行規則第66条の6に定める科目)							
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	日本国憲法	情報機器の操作	外国語コミュニケーション	体育				
中学一種	学士の学位を有すること	国語	28	10	10	7	4	2	2	2	2	2	必修	67
		社会	28											
		英語	28											
		ドイツ語	28											
		フランス語	28											
高校一種	学士の学位を有すること	国語	24	10	8	5	12	2	2	2	2	2	67	
		地理歴史	24											
		公民	24											
		情報	24											
		商業	24											
		英語	24											
		ドイツ語	24											
		フランス語	24											

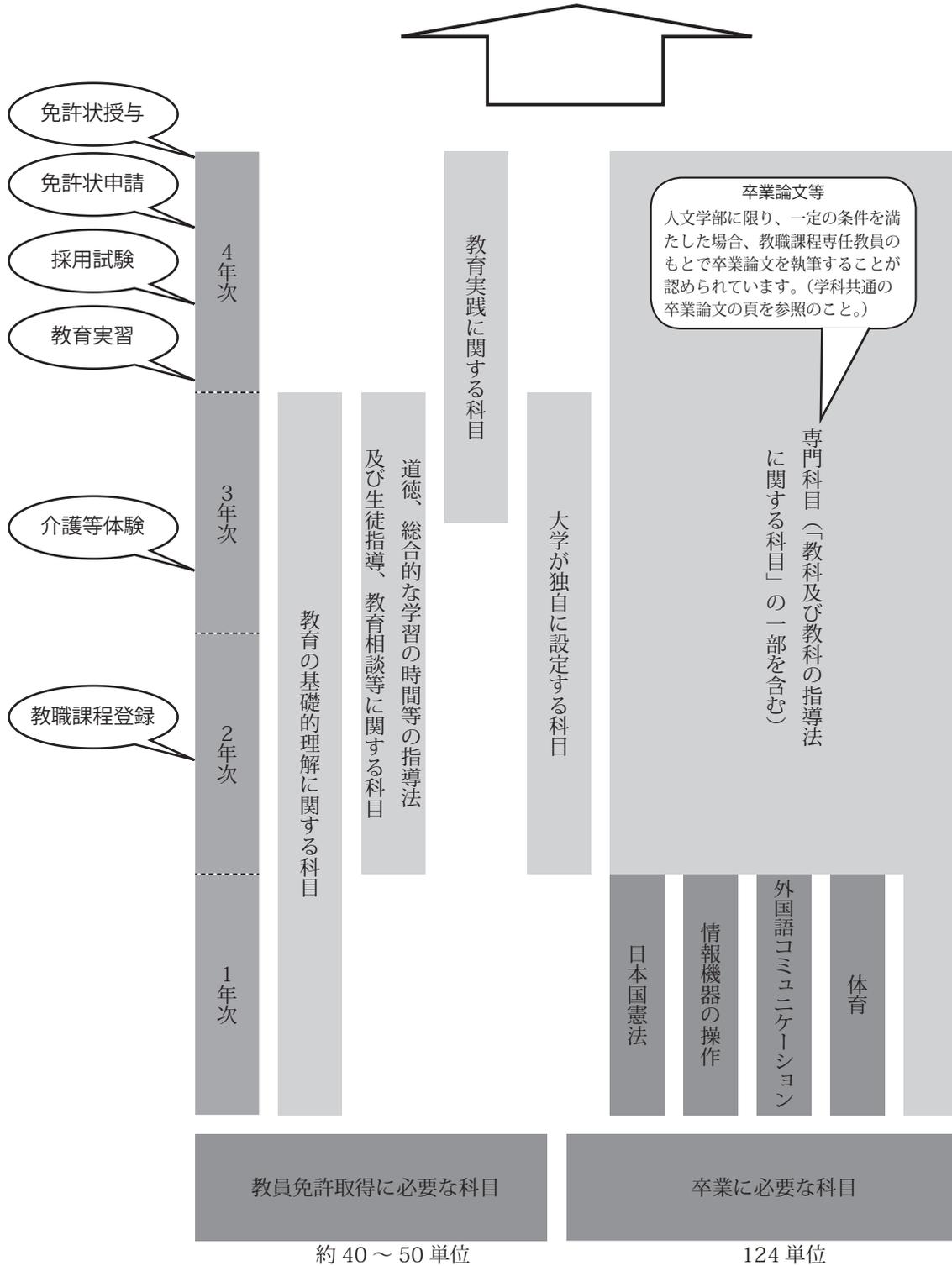
教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

6. 武蔵大学教職課程のカリキュラムイメージ

教員免許取得に必要な科目の履修を通して、「教育理念」、「人間理解」、「教育方法」の学びを深めていきます。

武蔵大学理念：知と実践の融合

- ①自ら調べ、自ら考える（自立）
- ②心を開いて対話する（対話）
- ③世界に思いをめぐらし、身近な場所で実践する（実践）



教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

7. 本学で履修する授業科目

① 基本的教職必修科目（免許法施行規則第66条の6に定める科目）

次の表に沿って必要な授業科目を履修してください。1年次で履修可能な科目は、できるだけ1年次で履修してください。

法令科目 区分	最低修得 単位数	武蔵大学での授業科目及び単位数								
		経済学部			人文学部			社会学部		
		科目名	単位数	科目 区分	科目名	単位数	科目 区分	科目名	単位数	科目 区分
日本国憲法	2	日本国憲法	2	総合	日本国憲法	2	総合	日本国憲法	2	総合
		憲法1	2	専門	憲法1	2	全学対 象専門	憲法1	2	全学対 象専門
		憲法2	2		憲法2	2		憲法2	2	
情報機器の 操作	2	情報処理入門	2	専門	人文情報リテラシー	2	共通 専門	コンピューティング基礎	2	専門
								コンピューティング応用A	2	
								コンピューティング応用B	2	
								コンピューティング応用C	2	
								コンピューティング応用D	2	
外国語コミュ ニケーション	2	英語	1	外国語	英語	1	外国語	英語	1	外国語
		ドイツ語	1		ドイツ語	1				
		フランス語	1		フランス語	1				
		中国語	1		スペイン語	1				
		韓国・朝鮮語	1		イタリア語	1				
					中国語	1				
					韓国・朝鮮語	1				
体育	2	スポーツ実践1	1	総合	スポーツ実践1	1	総合	スポーツ実践1	1	総合
		スポーツ実践2	1		スポーツ実践2	1		スポーツ実践2	1	
		スポーツ実践3	1		スポーツ実践3	1		スポーツ実践3	1	
		スポーツ実践4	1		スポーツ実践4	1		スポーツ実践4	1	
		スポーツ実践5	1		スポーツ実践5	1		スポーツ実践5	1	
		スポーツ実践6	1		スポーツ実践6	1		スポーツ実践6	1	
		スポーツ実践7	1		スポーツ実践7	1		スポーツ実践7	1	
		スポーツ実践8	1		スポーツ実践8	1		スポーツ実践8	1	
		スポーツ実践9	1		スポーツ実践9	1		スポーツ実践9	1	
		スポーツ実践10	1		スポーツ実践10	1		スポーツ実践10	1	
		スポーツ実践11	1		スポーツ実践11	1		スポーツ実践11	1	
		スポーツ実践12	1		スポーツ実践12	1		スポーツ実践12	1	
		スポーツ実践13	1		スポーツ実践13	1		スポーツ実践13	1	
		スポーツ実践14	1		スポーツ実践14	1		スポーツ実践14	1	

※ 以上の授業科目は、「卒業要件」に沿って、「卒業に必要な単位」として算入することができます。

※ 外国語科目は、卒業要件を満たすように履修をすすめ単位を修得すれば、免許状取得要件の2単位も修得することになります。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

②「教科及び教職に関する科目」

次の表に沿って必要な授業科目を履修してください。1年次で履修可能な科目は、できるだけ1年次で履修してください。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目・最低修得単位数				武蔵大学での授業科目・最低修得単位数							
法令科目区分	左項の各科目に含めることが必要な事項	中学 一種	高校 一種	本学での授業科目	単位数	中学 一種	高校 一種	配当 年次	備考		
②教科及び教職に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目 (a)	28	24	教科に関する専門的事項	付表A～X参照	中28 高24	◎	◎	—	配当は2年次以上	
				各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）					2		
	教育の基礎的理解に関する科目 (b)	10	10	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論	2	◎	◎	1		
				教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教育史	2	○	○	3		
				教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教職入門	2	◎	◎	1		
				幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育制度論	2	◎	◎	2		
					特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	教育行政学	2	○	○	2	
					教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育経営学	2	○	○	2	
				道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 (c)	10	8	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践	2	◎	◎
	総合的な学習の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の理論と実践	2	◎			◎	3			
	特別活動の指導法	教育方法論	2	◎			◎	3			
	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	生徒指導の理論と方法	2	◎			◎	2			
	教育実践に関する科目 (d)	5	3	生徒指導の理論及び方法	教育実習1	2	◎	◎	3		
				進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育実習2	5	◎	◎	4	中学もしくは中・高両方の場合	
	大学が独自に設定する科目 (e)	4	12	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育実習3	3	◎	◎	4	高校のみの場合	
				教育実習	教職実践演習（中・高）	2	◎	◎	4		
				「教育史」、「教育行政学」、「教育経営学」のうちから1科目	「教科及び教科の指導法に関する科目」のうち、必要最低修得単位数（中学28単位、高校24単位）を超える授業科目	2	◎	◎	—	高校の場合、「道徳教育の理論と実践」も可	
				教育学特論A		2	○	○	2		
				教育学特論B		2	○	○	2		
				中等社会科研究1		2	○	○	3	中学社会、高校地歴、高校公民のみ	
中等社会科研究2		2	○	○	3	中学社会、高校地歴、高校公民のみ					
合計		59	59	最低修得単位数		65	65				

※各科目区分の注意事項は次頁を参照してください。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

「教科及び教職に関する科目」履修上の諸注意

「教科及び教職に関する科目」全般

- ①「教科及び教職に関する科目」の授業科目は、「教科に関する専門的事項」及び「各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）」の一部を除き、履修登録単位制限の対象外です。
- ②配当年次が指定されているものは、それ以前の年次では履修できません。
- ③各年度の時間割編成上、配当年次で履修できない場合もあります。必修科目がとれない場合は、ガイダンス・3Sでの指示に従うほか、教職課程事務局・所属学科教務委員に相談してください。選択科目の場合は、翌年度以降に履修することになります。
- ④同一授業を前後期複数クラスで開講している場合、同じ年度で履修できるのはそのうち1授業のみです。

(a) 「教科及び教科の指導法に関する科目」

「教科及び教科の指導法に関する科目」は、取得する教員免許状の教科に関する専門的知識及び指導法を深く身につけるために設けられたものです。各学科で取得できる教員免許状の授業科目一覧は、「1.2. 「教科及び教科の指導法に関する科目」の授業科目一覧」の付表を参照してください。入学年度により参照する付表は異なりますので注意してください。

学科	免許教科	種別	参照付表	学科	免許教科	種別	参照付表	学科	免許教科	種別	参照付表
経済	社会	中学	付表A	英語英米文化	英語	中学・高校	付表H	社会	社会	中学	付表V
	地理歴史	高校	付表B		社会	中学	付表I		地理歴史	高校	付表W
	公民	高校	付表C		地理歴史	高校	付表J		公民	高校	付表X
経営	社会	中学	付表A	ヨーロッパ文化	英語	中学・高校	付表K	メディア 社会	社会	中学	付表V
	公民	高校	付表C		ドイツ語	中学・高校	付表L		地理歴史	高校	付表W
	情報	高校	付表D		フランス語	中学・高校	付表M		公民	高校	付表X
	商業	高校	付表E		国語	中学・高校	付表N				
金融	社会	中学	付表A	日本・東アジア文化	社会	中学	付表O				
	公民	高校	付表C		地理歴史	高校	付表P				
	商業	高校	付表E		公民	高校	付表Q				

(b) 「教育の基礎的理解に関する科目」

- ①教員免許状取得に必要な科目の履修は1年次から始まります。希望者は、計画的に履修をすすめてください。
- ②「教職入門」は、1年次前期必修科目です。1年次第2クォーターで海外英語研修を履修する学生は、2年次前期に必ず「教職入門」を履修してください。

(c) 「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」

「道徳教育の理論と実践」は、中学校免許状における必修科目です。高等学校免許状を取得する場合、「大学が独自に設定する科目」として数えることができます。

(d) 「教育実践に関する科目」

- ①「教育実習2」、「教育実習3」の単位計算については、学則第17条第3号を適用します。
- ②中学校免許状を取得する場合は、「教育実習2」(5単位)を履修します。本科目は高等学校免許状にも適用されます。従って、中学校免許状と高等学校免許状を合わせて取得する場合は「教育実習2」(5単位)を履修することになります。高等学校免許状のみを取得する場合は、「教育実習3」(3単位)を履修します。本科目は、中学校免許状には適用されません。

(e) 「大学が独自に設定する科目」

武蔵大学で独自に設定している科目です。指定された授業科目の中から、中学校4単位以上、高等学校12単位以上を修得してください。

- ①選択必修科目「教育史」、「教育行政学」、「教育経営学」のうちから1科目以上を修得してください。
- ②「中等社会科研究1」「中等社会科研究2」は中学校一種免許状（社会）、高等学校一種免許状（地理歴史）及び高等学校一種免許状（公民）にのみ適用される授業科目ですので注意してください。
- ③「大学が独自に設定する科目」に含まれない授業科目
他教科の教育方法論等、特定の教員免許状取得に必要な「授業科目」は、「大学が独自に設定する科目」として数えることはできません。

例1) 英語の教員免許状を取得する場合：他教科の教育方法論（「ドイツ語教育方法論1」など）

例2) 高校国語の教員免許状を取得する場合：「書道（書写を中心とする。）」の科目区分に配置されている授業科目（「書道演習1」、「書道演習2」）

- ④同一の免許課程において、同一の授業科目を複数回カウントすることはできません。
- ⑤中学校免許状と高等学校免許状でカウントする授業科目が異なる場合があるので、それぞれの視点で条件を満たすかどうか確認してください。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

8. 介護等体験について

介護等体験特例法により、中学校免許状の取得を希望するものは、7日間の介護等体験を行うことが義務付けられています。介護等体験ガイダンスに出席し、登録をした上で、3年次に、特別支援学校へ2日間、社会福祉施設へ5日間の体験を行います。体験先や日程は大学を通して決定されます。

介護等体験にあたってはその手続きや条件があります。詳しい手続きについては、介護等体験ガイダンスで説明します。必ず関連する全てのガイダンスに出席してください。なお、中学校教員免許状の申請には体験終了後に体験先から発行される「介護等体験証明書」が必要です。

※「介護等体験特例法」とは、小中学校教員免許状取得希望者に義務付けられており、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」を言います。

介護等体験についての参加条件

- ① 教職課程登録者であること。
- ② 介護等体験の登録者であること。介護等体験の登録は3年次の4月におこなう教職課程ガイダンスにて配付する「介護等体験希望学生個人票」を提出することで完了します。
- ③ 介護等体験のための保険加入を行います（登録後、大学一括で加入します）。
- ④ 「教育心理学2（特別支援教育を含む）」、及び「特別支援教育概論」は原則として修得済みでなければなりません。

9. 教育実習について

教育実習を行うことは、教員免許状取得に必要な要件であり、それまでに学んできた知識や理論をもとに学校教育の現場で、教員としての基本的で実践的な知識・技能を修得することを目指しています。本学では、中学校免許状のみ、もしくは中学校・高等学校両方の教員免許状を取得する場合は3週間、高等学校のみの教員免許状を取得する場合は2週間、教育実習校において行います。

教育実習にあたってはその手続きや条件があります。詳しい手続きや書類の配付については、教職課程登録後のガイダンス、教育実習ガイダンスにて説明します。関連する全てのガイダンスに必ず出席してください。

教育実習を行うにあたっての条件

- ① 卒業見込みの条件と免許状取得見込みの条件を両方満たすこと。
- ② 「教育実習1」を修得済みであること。
- ③ 4年次生以上で、「教育実習2」もしくは「教育実習3」の履修者であること。
- ④ 「各教科の教育方法論1・2」を原則として修得済みであること。
- ⑤ 教育実習をおこなう実習予定校より、あらかじめ教育実習についての内諾を得ていること。
- ⑥ 3年次1月末及び4年次4月当初の教職課程ガイダンスに出席し、さらに「教育実習2」もしくは「教育実習3」への出席をすること。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

10. 教員免許状の申請手続きについて

免許法で定める教員免許状取得のための所要資格を満たした者は、都道府県教育委員会に申請することにより教員免許状を取得することができます。申請の方法には「一括申請」と「個人申請」の2つがありますが、卒業時に教員免許状を取得する場合には大学における「一括申請」にて申請の手続きをします。「一括申請」の手続き方法は、4年次の一括申請ガイダンスで詳しく説明します。希望する学生は必ず出席してください。

11. 編入学生・他大学在籍後入学した者・留学予定者の教職課程の履修について

- ① 編入学生および本学入学前に他大学で教員免許状取得に関連する単位を修得した学生は、教職課程事務室に申し出て今後の手続きなどについての指示を受けてください。単位の読み替えにあたっては一部制限がある場合があります。
- ② 留学を予定している学生は、必ず教職課程事務室に申し出て、今後の手続きなどについての相談をしてください。4年間では必要な単位が取れなくなる可能性があります。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

12. 「教科及び教科の指導法に関する科目」の授業科目一覧

付表H 英語英米文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（英語）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた中学校 28 単位以上、高等学校 24 単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
英語学	4 以上	◎英語学概論 1	2 単位	英語学ゼミナール 1	2	第二言語習得論 1	2
		◎英語学概論 2	2	英語学ゼミナール 2	2	第二言語習得論 2	2
英語文学	4 以上	○英語圏文学入門 1	2	アメリカの文学 1	2	イギリスの文学 1	2
		○英語圏文学入門 2	2	アメリカの文学 2	2	イギリスの文学 2	2
		○Global Literatures in English 1	2	アメリカ文学ゼミナール 1	2	イギリス文学ゼミナール 1	2
		○Global Literatures in English 2	2	アメリカ文学ゼミナール 2	2	イギリス文学ゼミナール 2	2
英語コミュニケーション	4 以上	○英作文中級 1	1	○ Listening and Note-taking	2	通訳翻訳実習（英語） 1	1
		○英作文中級 2	1	○ Discussion and Presentation 1	1	通訳翻訳実習（英語） 2	1
		○英会話中級 1	1	○ Discussion and Presentation 2	1		
		○英会話中級 2	1				
異文化理解	4 以上	◎異文化コミュニケーション論 1	2	○ Introduction to Global Civics 1	2	英米の芸術ゼミナール 1	2
		◎異文化コミュニケーション論 2	2	○ Introduction to Global Civics 2	2	英米の芸術ゼミナール 2	2
		○アメリカ文化論 1	2	アメリカ史ゼミナール 1	2		
		○アメリカ文化論 2	2	アメリカ史ゼミナール 2	2		
		○イギリス文化論 1	2	イギリス史ゼミナール 1	2		
		○イギリス文化論 2	2	イギリス史ゼミナール 2	2		
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	(中学) 8 以上	◎英語教育方法論 1	2	◎英語教育方法論 3	2		
		◎英語教育方法論 2	2	◎英語教育方法論 4	2		
	(高校) 4 以上	◎英語教育方法論 1	2	英語教育方法論 3	2		
		◎英語教育方法論 2	2	英語教育方法論 4	2		
合計		中学 28 以上、高校 24 以上					

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも 3 年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 英語表記の科目は、主として GSC 英語プログラムの所属学生を対象とした科目です。高い英語運用能力が必要となりますので、履修要項やシラバスを熟読したうえで履修してください。

※ 英語教育方法論の配当年次は、「1」と「2」は 2 年次、「3」と「4」は 3 年次となります。

※ 英語英米文化学科の学生が「英語教育方法論 1」及び「英語教育方法論 2」を履修する場合、学科の専攻専門科目に指定されている関係上、これらは「履修登録単位制限」内の単位にカウントされます。

※ 英語教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として英語教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

※ 英語教育方法論の「3」と「4」の履修について：

「1」、「2」の履修方法と同様です。ただし、「1」、「2」の単位を修得していなくても「3」は履修可能です。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

付表1 ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種免許状（社会）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた28単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
日本史・外国史	4以上	◎日本史概説	2単位	ヨーロッパ交流史	2	ドイツ近現代史	2
		◎外国史概説	2	フランス史	2	フランス思想史1	2
		ギリシア・ローマ史	2	ヨーロッパ対外交流史	2	フランス思想史2	2
		ヨーロッパ形成史	2	ドイツ中世史	2	現代ヨーロッパ論	2
地理学（地誌を含む。）	6以上	◎人文地理学概説	2	ヨーロッパ環境論	2	北歐文化論	2
		◎自然地理学概説	2	オーストリア・東欧文化論	2		
		◎地誌概説	2	地中海文明論	2		
「法学、政治学」	2以上	○法学概説（国際法を含む）	2	国際法1	2	憲法1	2
		○政治学概説（国際政治を含む）	2	国際法2	2	憲法2	2
		不平等の社会学	2				
「社会学、経済学」	2以上	○社会学概説	2	世界経済2	2	中国の民族と社会1	2
		○経済学概説（国際経済を含む）	2	福祉社会学	2	中国の民族と社会2	2
		世界経済1	2	教育社会学	2		
「哲学、倫理学、宗教学」	2以上	○哲学概説	2	比較思想（日欧）	2		
		○倫理学概説	2	ヨーロッパの哲学	2		
		○宗教学概説	2	ユダヤ文化論	2		
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8以上	◎社会科・地歴科教育方法論1	2				
		◎社会科・地歴科教育方法論2	2				
		◎社会科・公民科教育方法論1	2				
		◎社会科・公民科教育方法論2	2				
合計		28以上					

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 各教科教育方法論の配当年次は、「1」と「2」とも2年次となります。

※ 各教科教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として各教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

付表J ヨーロッパ文化学科における高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎を含めた24単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
日本史	2以上	◎日本史概説	2単位	日本建築史1	2	日本服飾文化史2	2
		日本経済史1	2	日本建築史2	2	日本民俗史1	2
		日本経済史2	2	日本美術工芸史1	2	日本民俗史2	2
		日本芸能史1	2	日本美術工芸史2	2		
		日本芸能史2	2	日本服飾文化史1	2		
外国史	2以上	◎外国史概説	2	フランス史	2	フランス思想史1	2
		ギリシア・ローマ史	2	ヨーロッパ対外交流史	2	フランス思想史2	2
		ヨーロッパ形成史	2	ドイツ中世史	2	現代ヨーロッパ論	2
		ヨーロッパ交流史	2	ドイツ近現代史	2		
人文地理学・自然地理学	4以上	◎人文地理学概説	2	ヨーロッパ環境論	2	地中海文明論	2
		◎自然地理学概説	2	オーストリア・東欧文化論	2	北欧文化論	2
地誌	2以上	◎地誌概説	2				
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4以上	◎社会科・地歴科教育方法論1	2				
		◎社会科・地歴科教育方法論2	2				
合計			24以上				

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 社会科・地歴科教育方法論の配当年次は、「1」と「2」とも2年次となります。

※ 社会科・地歴科教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として社会科・地歴科教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

付表K ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（英語）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた**中学校 28 単位以上、高等学校 24 単位以上**を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
英語学	2以上	◎英語学概論1 英語学概論2	2単位 2	英語教育学1 英語教育学2	2 2	第二言語習得論1 第二言語習得論2	2 2
英語文学	2以上	○英語圏文学入門1 ○Global Literatures in English 1 ○Global Literatures in English 2	2 2 2	英語圏文学入門2 アメリカの文学1 アメリカの文学2	2 2 2	イギリスの文学1 イギリスの文学2	2 2
英語コミュニケーション	2以上	◎英会話中級1 ◎英作文中級1	1 1	英会話中級2 英作文中級2	1 1		
異文化理解	2以上	◎ヨーロッパ統合論 ヨーロッパの文学1 ヨーロッパの文学2	2 2 2	ヨーロッパの神話と伝説1 ヨーロッパの神話と伝説2 ヨーロッパの芸術	2 2 2	越境文化論 比較芸術論1 比較芸術論2	2 2 2
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	（中学） 8以上	◎英語教育方法論1 ◎英語教育方法論2	2 2	◎英語教育方法論3 ◎英語教育方法論4	2 2		
	（高校） 4以上	◎英語教育方法論1 ◎英語教育方法論2	2 2	英語教育方法論3 英語教育方法論4	2 2		
合計							中学 28 以上、高校 24 以上

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 英語表記の科目は、主として GSC 英語プログラムの所属学生を対象とした科目です。高い英語運用能力が必要となりますので、履修要項やシラバスを熟読したうえで履修してください。

※ 英語教育方法論の配当年次は、「1」と「2」は2年次、「3」と「4」は3年次となります。

※ 英語教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として英語教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

※ 英語教育方法論の「3」と「4」の履修について：

「1」、「2」の履修方法と同様です。ただし、「1」、「2」の単位を修得していなくても「3」は履修可能です。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

付表L ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（ドイツ語）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた**中学校 28 単位以上、高等学校 24 単位以上**を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
ドイツ語学	2以上	◎ドイツ語学1	2単位	ドイツ語学2	2		
ドイツ文学	2以上	◎ドイツ文学史1	2	上級ドイツ語講読1	1	ドイツ語論述実習1	1
		ドイツ文学史2	2	上級ドイツ語講読2	1	ドイツ語論述実習2	1
ドイツ語コミュニケーション	2以上	◎初級ドイツ語会話1	1	中級ドイツ語会話1	1	ドイツ語LL	1
		初級ドイツ語会話2	1	中級ドイツ語会話2	1	ドイツ語メディアリテラシー	1
		◎初級ドイツ語作文1	1				
		初級ドイツ語作文2	1				
異文化理解	2以上	○ドイツ語圏の芸術	2	キリスト教文化史	2	ヨーロッパの舞台芸術	2
		○ドイツ語圏の社会と文化1	2	スイス文化論	2	ヨーロッパの音楽文化	2
		○ドイツ語圏の社会と文化2	2	ヨーロッパの民俗文化	2		
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	(中学)	◎ドイツ語教育方法論1	2	◎ドイツ語教育方法論3	2		
		◎ドイツ語教育方法論2	2	◎ドイツ語教育方法論4	2		
	(高校)	◎ドイツ語教育方法論1	2	ドイツ語教育方法論3	2		
	4以上	◎ドイツ語教育方法論2	2	ドイツ語教育方法論4	2		
合計		中学 28 以上、高校 24 以上					

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 「ドイツ語教育方法論1・2」と「ドイツ語教育方法論3・4」は隔年開講です。履修に当たっては十分注意してください。

※ ドイツ語教育方法論の配当年次は、「1」と「2」は2年次、「3」と「4」は3年次となります。ただしヨーロッパ文化学科の学生に限り、「3」と「4」も2年次から履修可能です。

※ ヨーロッパ文化学科の学生が「ドイツ語教育方法論1」、「ドイツ語教育方法論2」、「ドイツ語教育方法論3」及び「ドイツ語教育方法論4」を履修する場合、学科の専攻専門科目に指定されている関係上、これらは「履修登録単位制限」内の単位にカウントされます。

※ ドイツ語教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則としてドイツ語教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

※ ドイツ語教育方法論の「3」と「4」の履修について：

「1」、「2」の履修方法と同様です。ただし、「1」、「2」の単位を修得していなくても「3」は履修可能です。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

付表M ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（フランス語）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた中学校28単位以上、高等学校24単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
フランス語学	2以上	◎フランス語学1 フランス語学2	2単位 2	中級フランス語作文1 中級フランス語作文2	1 1		
フランス文学	2以上	◎フランス文学史1 フランス文学史2	2 2	上級フランス語講読1 上級フランス語講読2	1 1		
フランス語コミュニケーション	2以上	◎初級フランス語会話1 初級フランス語会話2 ◎初級フランス語作文1 初級フランス語作文2	1 1 1 1	中級フランス語会話1 中級フランス語会話2	1 1	フランス語LL フランス語メディアリテラシー	1 1
異文化理解	2以上	○フランスの芸術1 ○フランスの歴史と社会1 ○フランスの歴史と社会2 ○フランス語圏の文化と社会	2 2 2 2	フランスの芸術2 ヨーロッパ思想史 ヨーロッパの映画	2 2 2	観光文化論（ヨーロッパ）	2
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	（中学） 8以上 （高校） 4以上	◎フランス語教育方法論1 ◎フランス語教育方法論2 ◎フランス語教育方法論1 ◎フランス語教育方法論2	2 2 2 2	◎フランス語教育方法論3 ◎フランス語教育方法論4 フランス語教育方法論3 フランス語教育方法論4	2 2 2 2		
合計							中学28以上、高校24以上

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 「フランス語教育方法論1・2」と「フランス語教育方法論3・4」は隔年開講です。履修に当たっては十分注意してください。

※ フランス語教育方法論の配当年次は、「1」と「2」は2年次、「3」と「4」は3年次となります。ただしヨーロッパ文化学科の学生に限り、「3」と「4」も2年次から履修可能です。

※ ヨーロッパ文化学科の学生が「フランス語教育方法論1」、「フランス語教育方法論2」、「フランス語教育方法論3」及び「フランス語教育方法論4」を履修する場合、学科の専攻専門科目に指定されている関係上、これらは「履修登録単位制限」内の単位にカウントされます。

※ フランス語教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則としてフランス語教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

※ フランス語教育方法論の「3」と「4」の履修について：

「1」、「2」の履修方法と同様です。ただし、「1」、「2」の単位を修得していなくても「3」は履修可能です。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

付表N 日本・東アジア文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（国語）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた中学校28単位以上、高等学校24単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	4以上	◎日本の言語文化1	2単位	日本の地域言語1	2	日本語の表現演習1	2
		◎日本の言語文化2	2	日本の地域言語2	2	日本語の表現演習2	2
		日本語の表現1	2	日本の言語文化演習1	2	日本の地域言語演習1	2
		日本語の表現2	2	日本の言語文化演習2	2	日本の地域言語演習2	2
国文学（国文学史を含む。）	8以上	◎日本古典文学史1	2	日本古典文学演習（中世）1	2	日本幻想文学論1	2
		◎日本古典文学史2	2	日本古典文学演習（中世）2	2	日本幻想文学論2	2
		◎日本近現代文学史1	2	日本古典文学演習（近世）1	2	くずし字入門演習1	2
		◎日本近現代文学史2	2	日本古典文学演習（近世）2	2	くずし字入門演習2	2
		日本近現代文学1	2	日本近代文学演習1	2		
		日本近現代文学2	2	日本近代文学演習2	2		
		日本古典文学演習（古代）1	2	日本現代文学演習1	2		
		日本古典文学演習（古代）2	2	日本現代文学演習2	2		
漢文学	4以上	◎中国文学史1	2	中国文学演習1	2	東アジアの漢字文化演習1	2
		◎中国文学史2	2	中国文学演習2	2	東アジアの漢字文化演習2	2
書道（書写を中心とする。）	(中学) 2以上	○書道演習1	2				
		○書道演習2	2				
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	(中学) 8以上	◎国語教育方法論1	2	◎国語教育方法論3	2		
		◎国語教育方法論2	2	◎国語教育方法論4	2		
	(高校) 4以上	◎国語教育方法論1	2	国語教育方法論3	2		
		◎国語教育方法論2	2	国語教育方法論4	2		
合計		中学28以上、高校24以上					

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 「書道（書写を中心とする）」は中学校免許状取得の場合にのみ必要な科目です（1科目選択必修）。高等学校免許状取得の場合「書道（書写を中心とする）」を「教科及び教科の指導法に関する科目」「大学が独自に設定する科目」の単位としてカウントすることはできません。

※ 国語教育方法論の配当年次は、「1」と「2」は2年次、「3」と「4」は3年次となります。

※ 国語教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として国語教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

※ 国語教育方法論の「3」と「4」の履修について：

「1」、「2」の履修方法と同様です。ただし、「1」、「2」の単位を修得していなくても「3」は履修可能です。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

付表O 日本・東アジア文化学科における中学校教諭一種免許状（社会）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた28単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
日本史・外国史	4以上	◎日本史概説	2単位	日本芸能史1	2	日本服飾文化史1	2
		◎外国史概説	2	日本芸能史2	2	日本服飾文化史2	2
		日本古代史1	2	日本考古学1	2	日本生活文化史1	2
		日本古代史2	2	日本考古学2	2	日本生活文化史2	2
		日本中世史1	2	日本民俗史1	2	日中交流史1	2
		日本中世史2	2	日本民俗史2	2	日中交流史2	2
		日本近世史1	2	日本建築史1	2	中国史1	2
		日本近世史2	2	日本建築史2	2	中国史2	2
		日本近現代史1	2	日本美術工芸史1	2		
		日本近現代史2	2	日本美術工芸史2	2		
		地理学（地誌を含む。）	6以上	◎人文地理学概説	2		
◎自然地理学概説	2						
◎地誌概説	2						
「法学、政治学」	2以上	○法学概説（国際法を含む）	2	国際法1	2	民法2	2
		○政治学概説（国際政治を含む）	2	国際法2	2	行政法1	2
				民法1	2	行政法2	2
「社会学、経済学」	2以上	○社会学概説	2	中国の民族と社会1	2		
		○経済学概説（国際経済を含む）	2	中国の民族と社会2	2		
「哲学、倫理学、宗教学」	2以上	○哲学概説	2	比較思想（東アジア）1	2	中国思想史演習1	2
		○倫理学概説	2	比較思想（東アジア）2	2	中国思想史演習2	2
		○宗教学概説	2	民俗宗教論1	2	日本思想史1	2
		東アジアの宗教1	2	民俗宗教論2	2	日本思想史2	2
		東アジアの宗教2	2	民俗宗教演習1	2	日本思想史演習1	2
		日本の仏教1	2	民俗宗教演習2	2	日本思想史演習2	2
		日本の仏教2	2	中国思想史1	2	日本の思想1	2
		中国思想史2	2	日本の思想2	2		
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	8以上	◎社会科・地歴科教育方法論1	2				
		◎社会科・地歴科教育方法論2	2				
		◎社会科・公民科教育方法論1	2				
		◎社会科・公民科教育方法論2	2				
合計		28以上					

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 各教科教育方法論の配当年次は、「1」と「2」とも2年次となります。

※ 各教科教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として各教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

付表P 日本・東アジア文化学科における高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎を含めた24単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
日本史	2以上	◎日本史概説	2単位	日本芸能史1	2	日本美術工芸史1	2
		日本古代史1	2	日本芸能史2	2	日本美術工芸史2	2
		日本古代史2	2	日本考古学1	2	日本服飾文化史1	2
		日本中世史1	2	日本考古学2	2	日本服飾文化史2	2
		日本中世史2	2	日本民俗史1	2	日本生活文化史1	2
		日本近世史1	2	日本民俗史2	2	日本生活文化史2	2
		日本近世史2	2	日本建築史1	2		
		日本近現代史1	2	日本建築史2	2		
		日本近現代史2	2				
		外国史	2以上	◎外国史概説	2	中国史1	2
日中交流史1	2			中国史2	2	イスラーム文化論2	2
日中交流史2	2			朝鮮史1	2	日朝交流史1	2
	2			朝鮮史2	2	日朝交流史2	2
人文地理学・自然地理学	4以上	◎人文地理学概説	2	東アジアの地理と環境1	2	比較生活文化演習1	2
		◎自然地理学概説	2	東アジアの地理と環境2	2	比較生活文化演習2	2
地誌	2以上	◎地誌概説	2				
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4以上	◎社会科・地歴科教育方法論1	2				
		◎社会科・地歴科教育方法論2	2				
合計			24以上				

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 社会科・地歴科教育方法論の配当年次は、「1」と「2」とも2年次となります。

※ 社会科・地歴科教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として社会科・地歴科教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

教職課程履修方法（2019年度以降入学生用）

付表Q 日本・東アジア文化学科における高等学校教諭一種免許状（公民）

次の授業科目から、「教科及び教科の指導法に関する科目」として必修科目◎・選択必修科目○を含めた24単位以上を修得してください。「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の修得が必要となります

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目					
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	2以上	○法律学概説（国際法を含む）	2単位	国際法1	2	行政法1	2
		○政治学概説（国際政治を含む）	2	国際法2	2	行政法2	2
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	2以上	○社会学概説	2	中国の民族と社会1	2		
		○経済学概説（国際経済を含む）	2	中国の民族と社会2	2		
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	2以上	○哲学概説	2	比較思想（東アジア）1	2	中国思想史演習1	2
		○倫理学概説	2	比較思想（東アジア）2	2	中国思想史演習2	2
		○宗教学概説	2	民俗宗教論1	2	日本思想史1	2
		○心理学概説	2	民俗宗教論2	2	日本思想史2	2
		東アジアの宗教1	2	民俗宗教演習1	2	日本思想史演習1	2
		東アジアの宗教2	2	民俗宗教演習2	2	日本思想史演習2	2
		日本の仏教1	2	中国思想史1	2	日本の思想1	2
日本の仏教2	2	中国思想史2	2	日本の思想2	2		
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	4以上	◎社会科・公民科教育方法論1	2				
		◎社会科・公民科教育方法論2	2				
合計			24以上				

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの「履修登録単位制限」に注意して履修してください。

※ ◎印や○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

※ 社会科・公民科教育方法論の配当年次は、「1」と「2」とも2年次となります。

※ 社会科・公民科教育方法論の「1」と「2」の履修について：

原則として社会科・公民科教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合、原則として「2」を履修することはできません。

教職課程

< 2018年度入学生用 >	198 ~ 216 頁
< 2017年度入学生用 >	198 ~ 206 頁、217 ~ 228 頁

教職課程履修方法（2018・2017年度入学生共通事項）

1. 教職課程

教職課程とは、大学卒業後、国公立・私立学校の教育職員（以下、教員）になろうとする者に必要な教育職員免許状（以下、免許状）の取得を希望する学生のために設けられている課程です。

免許状の取得には、卒業に必要な単位のほかに、教育職員免許法（以下、免許法）及び教育職員免許法施行規則で定められている次の科目の単位や体験・実習などの修得が必要です。

- ①「66条の6に定める科目」（以下、本学では「基本的教職必修科目」と呼ぶ）
- ②「教職に関する科目」
- ③「教科に関する科目」
- ④「教科又は教職に関する科目」

この他、中学校免許状を取得する場合には3年次に7日間の「介護等体験」が必要です。また、4年次には、中学校・高等学校の免許状を取得する場合は3週間、高等学校のみの場合は2週間の教育実習を行わなければなりません。

上記のことから、履修すべき単位数が多い上、ガイダンスや必要な手続きが多くあり、時間割上、1、5限に開講されている授業科目も多くあるので計画的に取り組んでいくことが大切です。必要なガイダンスには必ず出席しなければなりません。また、諸連絡は3Sで行いますので毎日一度は見る習慣をつけてください。健康診断や情報セキュリティテスト、図書館ガイダンスなども必ず受講してください。

なお、本学では中学校・高等学校の両方の免許状を取得することを原則としています。

2. 免許状取得の基礎資格

免許法において「学士（人文学）の学位を有すること」が一種免許状取得の基礎資格とされています。

3. 取得できる免許状の種類

本学、人文学部にて取得できる免許状は、以下のとおりです。

学 科 名	取 得 可 能 な 免 許 状 の 種 類	免 許 状 の 教 科
英 語 英 米 文 化 学 科	中学校教諭一種免許状	英語・社会（※1）
	高等学校教諭一種免許状	英語・地理歴史（※1）
ヨ ー ロ ッ パ 文 化 学 科	中学校教諭一種免許状	英語・ドイツ語（※2）・フランス語（※2）・社会
	高等学校教諭一種免許状	英語・ドイツ語（※2）・フランス語（※2）・地理歴史
日 本 ・ 東 ア ジ ア 文 化 学 科	中学校教諭一種免許状	国語・社会
	高等学校教諭一種免許状	国語・地理歴史・公民

※1 英語英米文化学科における免許教科「社会」及び「地理歴史」は2017年度入学生を対象としたものです。

※2 「ドイツ語」や「フランス語」のみの取得を希望する場合は、必ず教職課程事務室に相談してください。

4. 教職課程の登録

（1）教職課程の登録および教職課程登録費

免許状取得に必要な科目の履修は登録に先立って1年次から行われています。入学時の教職課程ガイダンスの指示に従ってください。

また、教職課程の授業を3年次以降にも続けて履修したり教育実習と介護等体験を行ったりするには、2年次後期に登録し教職課程履修生とならなければなりません。教職課程登録に際しては、授業料等の年間納付金とは別に、所定の教職課程登録費を納入しなければなりません。いったん納入された教職課程登録費は、理由のいかんによらず返還しません。また、教職課程登録費以外に教育実習および介護等体験に要する交通費等も各自の負担となります。

（2）教職課程の登録手続き

教職課程の登録にあたっては、2年次の4月に行われる「教職課程ガイダンス」に出席してください。手続きの日程、課題、課題締切日等について指示します。課題を提出し、教職課程担当教員等の面談を経た上で仮登録となり、所定の期日までに教職課程登録費の納入・教職課程登録願の提出をし、1月のガイダンスに出席すると、教職課程登録が認められたこととなります。なお、2014～2018年度入学生は、原則として1年次末のGPAが1.8以上であること

が2年次の教職課程登録の上で必要となります。また、登録後もGPA1.8以上を維持するよう努力しなければなりません。2年次で登録しなかった場合、4年間での免許状取得は困難になります。

(3) 教職課程登録の辞退と取り直し

登録後に進路変更等で教職課程の履修を辞退する場合は、速やかに教職課程事務室に申し出て、辞退届を提出してください。また、必要なガイダンスに出席していないなど、手続きをとらない場合は、登録が取り消されることがあります。

5. 免許状を取得するための所要資格一覧

中学校教諭一種免許状、高等学校教諭一種免許状を取得するためには、2にあるように免許法で定められた基礎資格が必要であり、あわせて以下に示す定められた科目の単位を修得しなければなりません。

本学部での所要資格一覧

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数							介護等体験	
		教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	基本的必修科目 (免許法施行規則第66条の6に定める科目)					
					日本国憲法	情報機器の操作	外国語コミュニケーション	体育		
中学一種	学士の学位を有すること	国語	20	35	8	2	2	2	2	必修
		社会	20							
		英語	20	35						
		ドイツ語	20							
フランス語		20	31	16						
国語		20								
地理歴史		20								
公民		20								
英語		20								
ドイツ語		20								
フランス語	20									

—参考—

次の表は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要資格を示したものです。

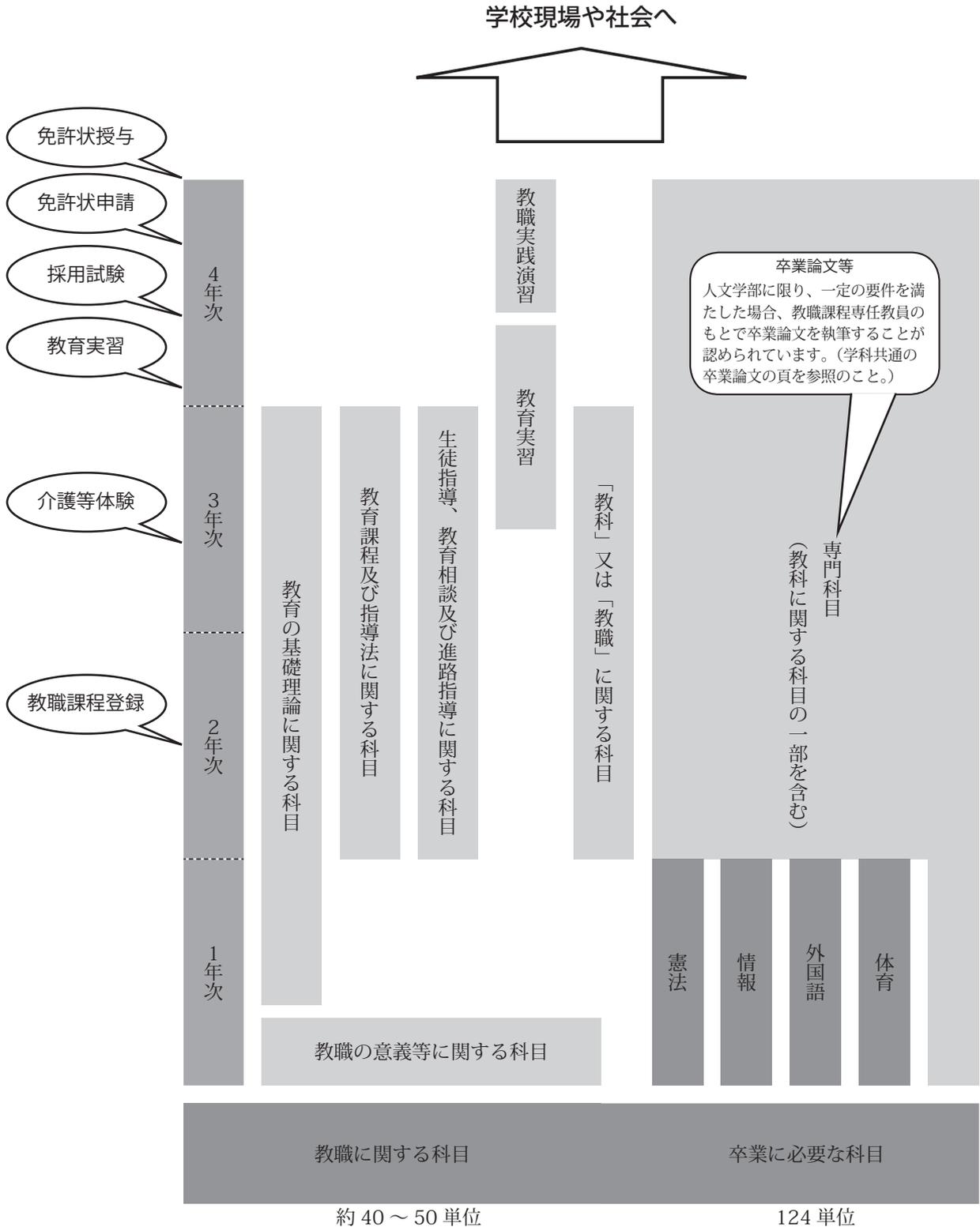
免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数							介護等体験	
		教科に関する科目	教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	基本的必修科目 (免許法施行規則第66条の6に定める科目)					
					日本国憲法	情報機器の操作	外国語コミュニケーション	体育		
中学一種	学士の学位を有すること	国語	20	31	8	2	2	2	2	必修
		社会	20							
		英語	20	31						
		ドイツ語	20							
フランス語		20	23	16						
国語		20								
地理歴史		20								
公民		20								
英語		20								
ドイツ語		20								
フランス語	20									

武蔵大学教職課程のカリキュラムイメージ

教職課程において「教職に関する科目」の履修を通して「教育理念」、「人間理解」、「教育方法」の学びを深めていきます。

武蔵大学理念：知と実践の融合

- ①自ら調べ、自ら考える（自立）
- ②心を開いて対話する（対話）
- ③世界に思いをめぐらし、身近な場所で実践する（実践）



6. 本学部で履修する授業科目

(1) 基本的教職必修科目（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）

本学部では、次の表に沿って必要な授業科目を履修しなければなりません。1年次で履修可能な科目はできるだけ1年次で履修するようにしてください。

その他の必修科目（免許法施行規則第66条の6に定める科目）	最低修得 単位数	本学の授業科目		
		科目名		単位数
日 本 国 憲 法	2	総 合 科 目	日本国憲法	2
		全学対象専門科目	憲法1	2
			憲法2	2
情 報 機 器 の 操 作	2	共 通 専 門 科 目	人文情報リテラシー	2
外 国 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	2	外 国 語 科 目	英語	1
			ドイツ語	1
			フランス語	1
			スペイン語	1
			イタリア語	1
			中国語	1
			韓国・朝鮮語	1
体 育	2	総 合 科 目	スポーツ実践1	1
			スポーツ実践2	1
			スポーツ実践3	1
			スポーツ実践4	1
			スポーツ実践5	1
			スポーツ実践6	1
			スポーツ実践7	1
			スポーツ実践8	1
			スポーツ実践9	1
			スポーツ実践10	1
			スポーツ実践11	1
			スポーツ実践12	1
			スポーツ実践13	1
			スポーツ実践14	1

※ 以上の授業科目は、「卒業要件」に沿って、「卒業に必要な単位」として算入することができます。

※ 外国語科目は、卒業要件を満たすように履修をすすめ単位を修得すれば、免許状取得要件の2単位も修得することになります。

(2)「教職に関する科目」

本学部では「教職に関する科目」について、中学校一種免許状を取得する場合は35単位以上（社会のみ39単位以上）、高等学校一種免許状を取得する場合は31単位以上修得しなければなりません。

A「教職に関する科目」における本学部での授業科目

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目・最低修得単位数				本学での授業科目・最低修得単位数						
教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	中学一種	高校一種	本学での授業科目	単位数	中学一種	高校一種	配当年次	備考	
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種機会の提供等	2	2	教職入門	2	◎	◎	1		
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	6	教育基礎論	2	◎	◎	1	※教育史（日本）、教育史（世界）との組合せは重複履修となります。	
				教育史	2	○	○	3		
	教育史（日本）			2	○	○	3			
	教育史（世界）			2	○	○	3			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）			教育心理学1	2	◎	◎	2		
	特別支援教育概論			2	○	○	2			
	教育心理学2			2	◎	◎	2			
	（特別支援教育を含む）			教育制度論	2	◎	◎	2		
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	12	6	教育課程編成論	2	◎	◎	2	※4単位（社会のみ8単位）対応授業名については次々頁を参照	
	各教科の指導法			各教科の教育方法論	※	◎	◎	2・3		
	道徳の指導法			道徳教育の理論と実践	2	◎	△	2		中学のみ
	特別活動の指導法			特別活動の理論と実践	2	◎	◎	3		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒指導の理論及び方法 進路指導の理論及び方法	4	4	教育方法論	2	◎	◎	3		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的知識を含む。）の理論及び方法			生徒指導の理論と方法	2	◎	◎	2		
教育実習	教育実習	5	3	教育相談の基礎	2	◎	◎	3		
				教育実習1	2	◎	◎	3		
				教育実習2	5	◎	△	4	中学もしくは中・高両方の場合※⑧	
教職実践演習	教職実践演習	2	2	教育実習3	3	△	◎	4	高校のみ※⑧	
				教職実践演習（中・高）	2	◎	◎	4		
合計		31	23	最低修得単位数		35 社会のみ 39	31			

※注意事項は次頁を参照してください。

注意事項

- ① 1年次第2クォーターで海外英語研修を履修する学生は、2年次前期に必ず「教職入門」を履修すること。
- ② 「各教科の教育方法論」のうち、所属学科の専攻専門科目として指定されている場合（英語英米文化学科：「英語教育方法論1・2」、ヨーロッパ文化学科：「ドイツ語教育方法論1・2・3・4」「フランス語教育方法論1・2・3・4」）を除いて「卒業に必要な単位」にはなりません。
- ③ 「教職に関する科目」の授業科目は、履修登録単位制限の対象外です。ただし、英語英米文化学科：「英語教育方法論1・2」、ヨーロッパ文化学科：「ドイツ語教育方法論1・2・3・4」「フランス語教育方法論1・2・3・4」は専攻専門科目としても指定されているので、「履修登録単位制限」内の単位にカウントされます。
- ④ 配当年次が指定されているものは、それ以前の年次では履修できません（専攻専門科目として指定されている科目のうちの、ヨーロッパ文化学科：「ドイツ語教育方法論3・4」「フランス語教育方法論3・4」は除く）。
- ⑤ 各年度の時間割編成上、配当年次で履修できない場合もあります。必修科目がとれない場合は、ガイダンス・3Sでの指示に従うほか、教職課程事務室・所属学科教務委員に相談してください。選択科目の場合は、翌年度以降に履修することになります。
- ⑥ 「教職に関する科目」のうち同一授業を前後期複数クラスで開講している場合、同じ年度で履修することのできるはそのうち1授業だけです。
- ⑦ 「教育実習2」、「教育実習3」の単位計算については、学則第17条第3号を適用します。
- ⑧ 中学校免許状を取得する場合は、「教育実習2」（5単位）を履修します。本科目は高等学校免許状にも適用されます。従って、中学校免許状と高等学校免許状をあわせて取得する場合は「教育実習2」（5単位）を履修することになります。高等学校免許状のみを取得する場合は、「教育実習3」（3単位）を履修します。本科目は、中学校免許状には適用されません。

B「各教科の教育方法論」について

「各教科の教育方法論」については、取得しようとする免許状の種類及び教科ごとに以下の授業科目を履修しなければなりません。

◎は必修科目、*は選択科目

本学での授業科目			免許状の種類及び教科											
科目名	単 位 数	配 当 年 次	中学校免許状					高等学校免許状						
			国 語	社 会	英 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	国 語	地 理 歴 史	公 民	英 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	
国語教育方法論 1	2	2	◎					◎						
国語教育方法論 2	2	2	◎					◎						
国語教育方法論 3	2	3	*											
国語教育方法論 4	2	3	*											
社会科・地歴科教育方法論 1	2	2		◎					◎					
社会科・地歴科教育方法論 2	2	2		◎					◎					
社会科・公民科教育方法論 1	2	2		◎						◎				
社会科・公民科教育方法論 2	2	2		◎						◎				
英語教育方法論 1	2	2			◎						◎			
英語教育方法論 2	2	2			◎						◎			
英語教育方法論 3	2	3			*									
英語教育方法論 4	2	3			*									
ドイツ語教育方法論 1	2	2				◎							◎	
ドイツ語教育方法論 2	2	2				◎							◎	
ドイツ語教育方法論 3	2	3				*								
ドイツ語教育方法論 4	2	3				*								
フランス語教育方法論 1	2	2					◎							◎
フランス語教育方法論 2	2	2					◎							◎
フランス語教育方法論 3	2	3					*							
フランス語教育方法論 4	2	3					*							
			各教科 4 単位 (社会のみ 8 単位)					各教科 4 単位						

注意事項

- ① 各教科教育方法論の「1」と「2」の履修について：原則として各教育方法論の「2」を履修するには「1」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「1」の単位を修得できなかった場合原則として「2」を履修することはできません。
- ② 各教科教育方法論の「3」と「4」の履修について：原則として各教育方法論の「4」を履修するには「3」の単位を修得済みであることが条件となります。従って、「3」の単位を修得できなかった場合原則として「4」を履修することはできません。ただし、「1」、「2」の単位を修得していなくても「3」は履修できます。
- ③ 所属学科の専攻専門科目にも指定されている次の科目については上の配当年次より前に履修できます。
ヨーロッパ文化学科：「ドイツ語教育方法論 3・4」「フランス語教育方法論 3・4」については2年次で履修可となります。
- ④ 所属学科の専攻専門科目に指定されている場合、これらは「履修登録単位制限」内の単位にカウントされます。
英語英米文化学科：「英語教育方法論 1・2」
ヨーロッパ文化学科：「ドイツ語教育方法論 1・2・3・4」「フランス語教育方法論 1・2・3・4」

(3) 「教科に関する科目」

「教科に関する科目」は、取得する免許状の教科に関する専門的知識を深く身につけるために設けられたものです。

各学科で取得できる免許状の授業科目一覧は（11.「教科に関する科目」の授業一覧）の付表を参照してください。入学年度により参照する付表は異なります。

英語英米文化学科	英語 社会（2017年度入学生用） 地理歴史（2017年度入学生用）	中学・高校 中学 高校	付表A 付表B 付表C
ヨーロッパ文化学科	英語 ドイツ語 フランス語 社会 地理歴史	中学・高校 中学・高校 中学・高校 中学 高校	付表D 付表E 付表F 付表G 付表H
日本・東アジア文化学科	国語 社会 地理歴史 公民	中学・高校 中学 高校 高校	付表I 付表J 付表K 付表L

(4) 「教科又は教職に関する科目」

免許法では「教科又は教職に関する科目」について、中学校一種免許状を取得する場合は8単位以上、高等学校一種免許状を取得する場合は16単位以上修得しなければならないと定めています。

「教科又は教職に関する科目」とは、「教科に関する科目」および「教職に関する科目」のうち、(2)Aと(3)で指定された最低修得単位を修得した上で、さらに修得を求められる単位のことをいいます。

「教育学特論A」「教育学特論B」「中等社会科研究1」「中等社会科研究2」は「教科又は教職に関する科目」独自で開講されている科目です。

本学では、「教科又は教職に関する科目」として、「教職に関する科目」の選択必修科目から1科目以上修得することとしています。

なお、「道徳教育の理論と実践」は、高等学校免許状を取得する場合「教科又は教職に関する科目」として数えることができます。中学校免許状では「教職に関する科目」の必修科目です。

教科又は教職に関する科目	単位数	配当年次	最低修得単位数		
			中学校免許状	高等学校免許状	
教育学特論A	2	2	中学校免許状を取得する ためにはこの中から8単 位以上を修得（ただし最低1 科目は「教職に関する科目」 から）	高等学校免許状を取得するた めにはこの1科目は「教職に 関する科目」から	
教育学特論B	2	2			
中等社会科研究1	2	3			
中等社会科研究2	2	3			
「教科に関する科目」のうち必要最低修得単位（20単位）を超える授業科目	左記単位数	—			
「教職に関する科目」	教育史	2			3
	教育史（日本）	2			3
	教育史（世界）	2			3
	教育行政学	2	2		
	教育経営学	2	2		
	特別支援教育概論	2	2		
道徳教育の理論と実践	2	2		最低	

※「教育史」と「教育史（日本）」、「教育史」と「教育史（世界）」は同一科目とみなし、重複履修として扱います。重複履修となったものは、免許要件に算入できません。

※「中等社会科研究1」「中等社会科研究2」は中学校一種免許状（社会）、高等学校一種免許状（地理歴史）及び高等学校一種免許状（公民）にのみ適用される授業科目です。

注意事項

「教科又は教職に関する科目」に含まない授業科目

他教科の教育方法論等、特定の免許状取得に必要な「授業科目」は、「教科又は教職に関する科目」として数えることはできません。

例1) 英語の免許状を取得する場合：他教科の教育方法論（「ドイツ語教育方法論1」など）

※英語の免許状取得にあたり、「ドイツ語教育方法論1」は必要のない授業科目。

例2) 高校国語の免許状を取得する場合：「書道（書写を中心とする。）」の科目区分に配置されている授業科目（「書道演習1」、「書道演習2」）

※「書道（書写を中心とする。）」は中学校の免許状取得に必要な科目（必修）であって、高等学校の免許状には関係のない授業科目。

- ※「教職に関する科目」としてカウントした授業科目は、「教科又は教職に関する科目」としてはカウントできません。
- ※ 中学校免許状と高等学校免許状でカウントする授業科目が異なる場合があるので、それぞれの視点で条件を満たすかどうか確認してください。

7. 介護等体験について

介護等体験特例法により、中学校免許状の取得を希望するものは、7日間の介護等体験を行うことが義務付けられています。本学では、**介護等体験ガイダンス**に出席し、登録をした上で、3年次に、特別支援学校へ2日間、社会福祉施設へ5日間の体験を行う予定です。体験先や日程は大学を通して決定されます。

介護等体験にあたってはその手続きや条件があります。詳しい手続きについては、**介護等体験ガイダンス**で説明します。必ず関連する全てのガイダンスに出席してください。免許状の申請には体験終了後に体験先から発行される「介護等体験証明書」が必要です。

- ※「介護等体験特例法」とは、小中学校教員免許状取得希望者に義務付けられており、「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」を言います。

介護等体験についての参加条件

- ① 教職課程登録者であること。
- ② 介護等体験の登録者であること。介護等体験は3年次の4月におこなう**教職課程ガイダンス**にて配付する「介護等体験希望学生個人票」の提出をもって登録とします。
- ③ 介護等体験のための保険加入をおこないます（登録後大学一括で加入します）。
- ④ 「教育心理学2（特別支援教育を含む）」は原則として修得済みでなければなりません。

8. 教育実習について

教育実習は、免許状取得に必要な要件であり、それまでに学んできた知識や理論をもとに学校教育の現場で校長および指導教諭のもと、教員としての基本的で実践的な知識・技能を修得することを目指しています。

本学では、中学校免許状のみ、もしくは中学校・高等学校両方の免許状を取得する場合は3週間、高等学校のみの免許状を取得する場合は2週間、教育実習校においておこないます。

教育実習にあたってはその手続きや条件があります。詳しい手続きや書類の配付については、**教職課程登録後のガイダンス、教育実習ガイダンス**にて説明します。関連する全てのガイダンスに必ず出席してください。

教育実習をおこなうにあたっての条件

- ① 卒業見込みの条件と免許状取得見込みの条件を両方満たすこと。
- ② 「教育実習1」を修得済みであること。
- ③ 4年次生以上で、「教育実習2」もしくは「教育実習3」の履修者であること。
- ④ 「各教科の教育方法論1・2」を原則として修得済みであること。
- ⑤ 教育実習をおこなう実習予定校より、あらかじめ教育実習についての内諾を得ていること。
- ⑥ 3年次1月末及び4年次4月当初の**教職課程ガイダンス**に参加し、さらに「教育実習2」もしくは「教育実習3」への出席が必要です。

9. 教員免許状の申請手続きについて

免許法で定める教員免許状取得のための所要資格を満たした者は、都道府県教育委員会に申請することにより教員免許状を取得することができます。申請の方法には「一括申請」と「個人申請」の2つがありますが、卒業時に教員免許状を取得する場合には「一括申請」にて申請の手続きをします。「一括申請」の手続き方法は、4年次におこなう**一括申請ガイダンス**で詳しく説明します。希望する者は必ず出席してください。

10. 編入学生・他大学在籍後入学した者・留学予定者の教職課程の履修について

- ① 編入学生および本学入学前に他大学で免許状取得に関連する単位を修得した学生は、教職課程事務室に申し出て今後の手続きなどについての指示を受けてください。単位の読み替えにあたっては一部制限がある場合があります。
- ② 留学を予定している学生は、必ず教職課程事務室に申し出て、今後の手続きなどについての相談をしてください。4年間では必要な単位が取れなくなる可能性があります。

11. 「教科に関する科目」の授業科目一覧（2018年度入学生用）

付表 A 英語英米文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（英語）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては必修科目◎、選択必修科目○を含めた **20 単位以上** を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）			
英 語 学	4 以上	◎英語学概論 1 (2)	英語学ゼミナール 1 (2)	第二言語習得論 1 (2)	
		◎英語学概論 2 (2)	英語学ゼミナール 2 (2)	第二言語習得論 2 (2)	
英 米 文 学	4 以上	※○印から 2 科目を選択必修	アメリカの文学 1 (2)	イギリスの文学 1 (2)	
		○英語圏文学入門 1 (2)	アメリカの文学 2 (2)	イギリスの文学 2 (2)	
		○英語圏文学入門 2 (2)	アメリカ文学ゼミナール 1 (2)	イギリス文学ゼミナール 1 (2)	
		○ Global Literatures in English 1 (2)	アメリカ文学ゼミナール 2 (2)	イギリス文学ゼミナール 2 (2)	
		○ Global Literatures in English 2 (2)			
英語コミュニケーション	4 以上	※○印から 4 単位を選択必修	○ Listening and Note-taking (2)	通訳翻訳実習（英語） 1 (1)	
		○英作文中級 1 (1)	○ Discussion and Presentation 1 (1)	通訳翻訳実習（英語） 2 (1)	
		○英作文中級 2 (1)	○ Discussion and Presentation 2 (1)		
		○英会話中級 1 (1)			
		○英会話中級 2 (1)			
異文化理解	4 以上	◎異文化コミュニケーション論 1 (2)	○ Introduction to Global Civics 1 (2)	アメリカ史ゼミナール 1 (2)	
		※○印から 1 科目を選択必修	○ Introduction to Global Civics 2 (2)	アメリカ史ゼミナール 2 (2)	
		○異文化コミュニケーション論 2 (2)	○ Japanese Cultural History in Global Perspective 1 (2)	イギリス史ゼミナール 1 (2)	
		○アメリカ文化論 1 (2)	○ Japanese Cultural History in Global Perspective 2 (2)	イギリス史ゼミナール 2 (2)	
		○アメリカ文化論 2 (2)		英米の芸術ゼミナール 1 (2)	
		○英米の芸術 1 (2)		英米の芸術ゼミナール 2 (2)	
		○英米の芸術 2 (2)			
		○イギリス文化論 1 (2)			
		○イギリス文化論 2 (2)			
「教科に関する科目」としては合計 20 単位以上					

注意事項

- ※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。
- ※ 学期ごとの履修登録制限単位数に注意して履修してください。
- ※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。
- ※ 英語表記の科目は、主として GSC 英語プログラムの所属学生を対象とした科目です。高い英語運用能力が必要となりますので、履修要項やシラバスを熟読したうえで履修してください。

第2章 教職課程、学芸員課程
教職課程（二〇一八年度入学生用）

付表D ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（英語）

次の授業科目から「教科に関する科目」として必修科目◎、選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）			
英 語 学	2以上	◎英語学概論1 (2) 英語学概論2 (2)	英語教育学1 (2) 英語教育学2 (2)	第二言語習得論1 (2) 第二言語習得論2 (2)	
英 米 文 学	2以上	※○印から1科目を選択必修 ○英語圏文学入門1 (2) ○ Global Literatures in English 1 (2) ○ Global Literatures in English 2 (2)	英語圏文学入門2 (2) アメリカの文学1 (2) アメリカの文学1 (2)	イギリスの文学1 (2) イギリスの文学2 (2)	
英語コミュニケーション	2以上	◎英会話中級1 (1) 英会話中級2 (1) ◎英作文中級1 (1) 英作文中級2 (1)			
異文化理解	2以上	◎ヨーロッパ統合論 (2) ヨーロッパの文学1 (2) ヨーロッパの文学2 (2)	ヨーロッパの神話と伝説1 (2) ヨーロッパの神話と伝説2 (2) ヨーロッパの芸術 (2)	越境文化論 (2) 比較芸術論1 (2) 比較芸術論2 (2)	
「教科に関する科目」としては合計20単位以上					

注意事項

- ※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。
- ※ 学期ごとの履修登録制限単位に注意して履修してください。
- ※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。
- ※ 英語表記の科目は、主としてGSC英語プログラムの所属学生を対象とした科目です。高い英語運用能力が必要となりますので、履修要項やシラバスを熟読したうえで履修してください。

付表 E ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（ドイツ語）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては必修科目◎、選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）			
ドイツ語学	2以上	◎ドイツ語学1 (2)			
		ドイツ語学2 (2)			
ドイツ文学	2以上	◎ドイツ文学史1 (2)	上級ドイツ語講読1 (1)	ドイツ語論述実習1 (1)	
		ドイツ文学史2 (2)	上級ドイツ語講読2 (1)	ドイツ語論述実習2 (1)	
ドイツ語コミュニケーション	2以上	◎初級ドイツ語会話1 (1)	中級ドイツ語会話1 (1)	ドイツ語LL (1)	
		初級ドイツ語会話2 (1)	中級ドイツ語会話2 (1)	ドイツ語メディアリテラシー (1)	
		◎初級ドイツ語作文1 (1)			
		初級ドイツ語作文2 (1)			
異文化理解	2以上	※○印から1科目を選択必修	キリスト教文化史 (2)	ヨーロッパの舞台芸術 (2)	
		○ドイツ語圏の芸術 (2)	スイス文化論 (2)	ヨーロッパの音楽文化 (2)	
		○ドイツ語圏の社会と文化1 (2)	ヨーロッパの民俗文化 (2)		
		○ドイツ語圏の社会と文化2 (2)			
「教科に関する科目」としては合計20単位以上					

注意事項

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの履修登録制限単位数に注意して履修してください。

※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

付表F ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（フランス語）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては必修科目◎、選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）			
フランス語学	2以上	◎フランス語学1 (2)	中級フランス語作文1 (1)		
		フランス語学2 (2)	中級フランス語作文2 (1)		
フランス文学	2以上	◎フランス文学史1 (2)	上級フランス語講読1 (1)		
		フランス文学史2 (2)	上級フランス語講読2 (1)		
フランス語コミュニケーション	2以上	◎初級フランス語会話1 (1)	中級フランス語会話1 (1)	フランス語LL (1)	
		初級フランス語会話2 (1)	中級フランス語会話2 (1)	フランス語メディアリテラシー (1)	
		◎初級フランス語作文1 (1)			
		初級フランス語作文2 (1)			
異文化理解	2以上	※○印から1科目を選択必修	ヨーロッパ思想史 (2)	観光文化論（ヨーロッパ） (2)	
		○フランスの芸術1 (2)	ヨーロッパの映画 (2)		
		フランスの芸術2 (2)			
		○フランスの歴史と社会1 (2)			
		○フランスの歴史と社会2 (2)			
		○フランス語圏の文化と社会 (2)			
「教科に関する科目」としては合計20単位以上					

注意事項

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの履修登録制限単位数に注意して履修してください。

※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

付表 G ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種免許状（社会）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては必修科目◎、選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）		
日本史及び外国史	4以上	◎日本史概説 (2) ◎外国史概説 (2) ギリシア・ローマ史 (2) ヨーロッパ形成史 (2) ヨーロッパ交流史 (2)	フランス史 (2) ヨーロッパ対外交流史 (2) ドイツ中世史 (2) ドイツ近現代史 (2)	フランス思想史1 (2) フランス思想史2 (2) 現代ヨーロッパ論 (2)
地理学（地誌を含む。）	6以上	◎人文地理学概説 (2) ◎自然地理学概説 (2) ◎地誌概説 (2)	ヨーロッパ環境論 (2) オーストリア・東欧文化論 (2) 地中海文明論 (2)	北欧文化論 (2)
「法学、政治学」	2以上	※○印から1科目を選択必修 ○法学概説（国際法を含む） (2) ○政治学概説（国際政治を含む） (2)	不平等の社会学 (2) 国際法1 (2) 国際法2 (2)	憲法1 (2) 憲法2 (2)
「社会学、経済学」	2以上	※○印から1科目を選択必修 ○社会学概説 (2) ○経済学概説（国際経済を含む） (2) 世界経済1 (2) 世界経済2 (2)	福祉社会学 (2) 教育社会学 (2)	中国の民族と社会1 (2) 中国の民族と社会2 (2)
「哲学、倫理学、宗教学」	2以上	※○印から1科目を選択必修 ○哲学概説 (2) ○倫理学概説 (2) ○宗教学概説 (2)	比較思想（日欧） (2) ヨーロッパの哲学 (2) ユダヤ文化論 (2)	
「教科に関する科目」としては合計20単位以上				

注意事項

※どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※学期ごとの履修登録制限単位に注意して履修してください。

※◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに履修しておけるよう、計画的に履修してください。

付表1 日本・東アジア文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（国語）

次の授業科目から「教科に関する科目」として必修科目◎、選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）		
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	4以上	◎日本の言語文化1 (2) ◎日本の言語文化2 (2) 日本語の表現1 (2) 日本語の表現2 (2)	日本の地域言語1 (2) 日本の地域言語2 (2) 日本の言語文化演習1 (2) 日本の言語文化演習2 (2)	日本語の表現演習1 (2) 日本語の表現演習2 (2) 日本の地域言語演習1 (2) 日本の地域言語演習2 (2)
国文学（国文学史を含む。）	8以上	◎日本古典文学史1 (2) ◎日本古典文学史2 (2) ◎日本近現代文学史1 (2) ◎日本近現代文学史2 (2) 日本近現代文学1 (2) 日本近現代文学2 (2)	日本古典文学演習（古代）1 (2) 日本古典文学演習（古代）2 (2) 日本古典文学演習（中世）1 (2) 日本古典文学演習（中世）2 (2) 日本古典文学演習（近世）1 (2) 日本古典文学演習（近世）2 (2) 日本近代文学演習1 (2)	日本近代文学演習2 (2) 日本現代文学演習1 (2) 日本現代文学演習2 (2) 日本幻想文学論1 (2) 日本幻想文学論2 (2) くずし字入門演習1 (2) くずし字入門演習2 (2)
漢文学	4以上	◎中国文学史1 (2) ◎中国文学史2 (2)	中国文学演習1 (2) 中国文学演習2 (2)	東アジアの漢字文化演習1 (2) 東アジアの漢字文化演習2 (2)
書道（書写を中心とする。）	2以上	※○印から1科目を選択必修 ○書道演習1 (2) ○書道演習2 (2)		
「教科に関する科目」としては合計20単位以上				

注意事項

- ※「書道（書写を中心とする。）」は中学校教員免許状取得の場合にのみ必要な科目です（選択必修科目）。高等学校免許状取得の場合「書道（書写を中心とする。）」を「教科に関する科目」「教科又は教職に関する科目」の単位として数えることはできません。
- ※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。
- ※ 学期ごとの履修登録制限単位に注意して履修してください。
- ※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

付表J 日本・東アジア文化学科における中学校教諭一種免許状（社会）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては必修科目◎、選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）																											
日本史及び外国史	4以上	◎日本史概説 (2)	◎外国史概説 (2)	◎日本古代史1 (2)	◎日本古代史2 (2)	◎日本中世史1 (2)	◎日本中世史2 (2)	◎日本近世史1 (2)	◎日本近世史2 (2)	◎日本近現代史1 (2)	◎日本近現代史2 (2)	◎日本芸能史1 (2)	◎日本芸能史2 (2)	◎日本考古学1 (2)	◎日本考古学2 (2)	◎日本民俗史1 (2)	◎日本民俗史2 (2)	◎日本建築史1 (2)	◎日本建築史2 (2)	◎日本美術工芸史1 (2)	◎日本美術工芸史2 (2)	◎日本服飾文化史1 (2)	◎日本服飾文化史2 (2)	◎日本生活文化史1 (2)	◎日本生活文化史2 (2)	◎日中交流史1 (2)	◎日中交流史2 (2)	◎中国史1 (2)	◎中国史2 (2)
地理学（地誌を含む。）	6以上	◎人文地理学概説 (2)	◎自然地理学概説 (2)	◎地誌概説 (2)																									
「法学、政治学」	2以上	※○印から1科目を選択必修	○法学概説（国際法を含む） (2)	○政治学概説（国際政治を含む） (2)	国際法1 (2)	国際法2 (2)	民法1 (2)	民法2 (2)																					
「社会学、経済学」	2以上	※○印から1科目を選択必修	○社会学概説 (2)	○経済学概説（国際経済を含む） (2)	中国の民族と社会1 (2)	中国の民族と社会2 (2)																							
「哲学、倫理学、宗教学」	2以上	※○印から1科目を選択必修	○哲学概説 (2)	○倫理学概説 (2)	○宗教学概説 (2)	東アジアの宗教1 (2)	東アジアの宗教2 (2)	日本の仏教1 (2)	日本の仏教2 (2)	比較思想（東アジア）1 (2)	比較思想（東アジア）2 (2)	民俗宗教論1 (2)	民俗宗教論2 (2)	民俗宗教演習1 (2)	民俗宗教演習2 (2)	中国思想史1 (2)	中国思想史2 (2)												
「教科に関する科目」としては合計20単位以上																													

注意事項

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの履修登録制限単位に注意して履修してください。

※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

付表K 日本・東アジア文化学科における高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

次の授業科目から「教科に関する科目」として必修科目◎を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）		
日本史	2以上	◎日本史概説 (2)	日本芸能史1 (2)	日本美術工芸史1 (2)
		日本古代史1 (2)	日本芸能史2 (2)	日本美術工芸史2 (2)
		日本古代史2 (2)	日本考古学1 (2)	日本服飾文化史1 (2)
		日本中世史1 (2)	日本考古学2 (2)	日本服飾文化史2 (2)
		日本中世史2 (2)	日本民俗史1 (2)	日本生活文化史1 (2)
		日本近世史1 (2)	日本民俗史2 (2)	日本生活文化史2 (2)
		日本近世史2 (2)	日本建築史1 (2)	
		日本近現代史1 (2)	日本建築史2 (2)	
		日本近現代史2 (2)		
外国史	2以上	◎外国史概説 (2)	中国史1 (2)	イスラーム文化論1 (2)
		日中交流史1 (2)	中国史2 (2)	イスラーム文化論2 (2)
		日中交流史2 (2)	朝鮮史1 (2)	日朝交流史1 (2)
			朝鮮史2 (2)	日朝交流史2 (2)
人文地理学及び自然地理学	4以上	◎人文地理学概説 (2)	東アジアの地理と環境1 (2)	比較生活文化演習1 (2)
		◎自然地理学概説 (2)	東アジアの地理と環境2 (2)	比較生活文化演習2 (2)
地誌	2以上	◎地誌概説 (2)		
「教科に関する科目」としては合計20単位以上				

注意事項

- ※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。
- ※ 学期ごとの履修登録制限単位数に注意して履修してください。
- ※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

付表L 日本・東アジア文化学科における高等学校教諭一種免許状（公民）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）			
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	2以上	※○印から1科目を選択必修	国際法1 (2)	行政法1 (2)	
		○法学概説（国際法を含む） (2)	国際法2 (2)	行政法2 (2)	
		○政治学概説（国際政治を含む） (2)	民法1 (2)		
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	2以上	※○印から1科目を選択必修	中国の民族と社会1 (2)		
		○社会学概説 (2)	中国の民族と社会2 (2)		
		○経済学概説（国際経済を含む） (2)			
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	2以上	※○印から1科目を選択必修	比較思想（東アジア）1 (2)	日本思想史1 (2)	
		○哲学概説 (2)	比較思想（東アジア）2 (2)	日本思想史2 (2)	
		○倫理学概説 (2)	民俗宗教論1 (2)	日本思想史演習1 (2)	
		○宗教学概説 (2)	民俗宗教論2 (2)	日本思想史演習2 (2)	
		○心理学概説 (2)	民俗宗教演習1 (2)	日本の思想1 (2)	
		東アジアの宗教1 (2)	民俗宗教演習2 (2)	日本の思想2 (2)	
		東アジアの宗教2 (2)	中国思想史1 (2)		
		日本の仏教1 (2)	中国思想史2 (2)		
		日本の仏教2 (2)	中国思想史演習1 (2)		
			中国思想史演習2 (2)		
「教科に関する科目」としては合計20単位以上					

注意事項

- ※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。
- ※ 学期ごとの履修登録制限単位に注意して履修してください。
- ※ ○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

11. 「教科に関する科目」の授業科目一覧（2017年度入学生用）

付表 A 英語英米文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（英語）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては必修科目◎、選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）			
英 語 学	4以上	◎英語学概論 1 (2)	英語学ゼミナール 1 (2)	英語音声学 1 (2)	
		◎英語学概論 2 (2)	英語学ゼミナール 2 (2)	英語音声学 2 (2)	
		言語（英語）文化特講 1 (2)	第二言語習得論 1 (2)		
		言語（英語）文化特講 2 (2)	第二言語習得論 2 (2)		
英 米 文 学	4以上	※○印から2科目を選択必修	英語圏文学特講 1 (2)	イギリスの文学 1 (2)	
		○英語圏文学入門 1 (2)	英語圏文学特講 2 (2)	イギリスの文学 2 (2)	
		○英語圏文学入門 2 (2)	アメリカの文学 1 (2)	イギリス文学ゼミナール 1 (2)	
		○Global Literatures in English 1 (2)	アメリカの文学 2 (2)	イギリス文学ゼミナール 2 (2)	
		○Global Literatures in English 2 (2)	アメリカ文学ゼミナール 1 (2)	英語圏文学ゼミナール 1 (2)	
英語コミュニケーション	4以上	※○印から4単位を選択必修	○ Listening and Note-taking (2)	英会話初級 1 (1)	
		○英作文中級 1 (1)	○ Discussion and Presentation 1 (1)	英会話初級 2 (1)	
		○英作文中級 2 (1)	○ Discussion and Presentation 2 (1)	通訳翻訳実習（英語） 1 (1)	
		○英会話中級 1 (1)	発音クリニック 1 (1)	通訳翻訳実習（英語） 2 (1)	
		○英会話中級 2 (1)	発音クリニック 2 (1)		
異文化理解	4以上	※○印から2科目を選択必修	○ Introduction to Global Civics 1 (2)	英語圏文化ゼミナール 1 (2)	
		○アメリカ文化論 1 (2)	○ Introduction to Global Civics 2 (2)	英語圏文化ゼミナール 2 (2)	
		○アメリカ文化論 2 (2)	○ Japanese Cultural History in Global Perspective 1 (2)	英米の芸術ゼミナール 1 (2)	
		○英米の芸術 1 (2)	○ Japanese Cultural History in Global Perspective 2 (2)	英米の芸術ゼミナール 2 (2)	
		○英米の芸術 2 (2)	○ Japanese Cultural History in Global Perspective 1 (2)	イギリスの歴史と社会 1 (2)	
		○異文化コミュニケーション論 1 (2)	○ Japanese Cultural History in Global Perspective 2 (2)	イギリスの歴史と社会 2 (2)	
		○異文化コミュニケーション論 2 (2)	アメリカの歴史と社会 1 (2)	イギリス史ゼミナール 1 (2)	
		○イギリス文化論 1 (2)	アメリカの歴史と社会 2 (2)	イギリス史ゼミナール 2 (2)	
		○イギリス文化論 2 (2)	アメリカ史ゼミナール 1 (2)		
			アメリカ史ゼミナール 2 (2)		

「教科に関する科目」としては合計20単位以上

注意事項

- ※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。
- ※ 学期ごとの履修登録制限単位に注意して履修してください。
- ※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。
- ※ 英語表記の科目は、主としてGSC英語プログラムの所属学生を対象とした科目です。高い英語運用能力が必要となりますので、履修要項やシラバスを熟読したうえで履修してください。

付表B 英語英米文化学科における中学校教諭一種免許状（社会）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては必修科目◎、選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）		
日本史及び外国史	4以上	◎日本史概説 (2) ◎外国史概説 (2)	アメリカ史1 (2) アメリカ史2 (2)	イギリス史1 (2) イギリス史2 (2)
地理学 (地誌を含む。)	6以上	◎人文地理学概説 (2) ◎自然地理学概説 (2) ◎地誌概説 (2)	英米の社会1 (2) 英米の社会2 (2)	英米の社会ゼミナール1 (2) 英米の社会ゼミナール2 (2)
「法学、政治学」	2以上	※○印から1科目を選択必修 ○政治学概説（国際政治を含む） (2) ○法学概説（国際法を含む） (2)	政治社会学 (2) 行政法1 (2) 行政法2 (2)	国際法1 (2) 国際法2 (2)
「社会学、経済学」	2以上	※○印から1科目を選択必修 ○社会学概説 (2) ○経済学概説（国際経済を含む） (2) 世界経済1 (2) 世界経済2 (2)	福祉社会学 (2) 人口問題の社会学 (2) マスコミュニケーション論 (2) 不平等の社会学 (2)	都市社会学 (2) 中国の民族と社会1 (2) 中国の民族と社会2 (2)
「哲学、倫理学、宗教学」	2以上	※○印から1科目を選択必修 ○哲学概説 (2) ○倫理学概説 (2) ○宗教学概説 (2)	英語圏の宗教と文化1 (2) 英語圏の宗教と文化2 (2)	英米の思想1 (2) 英米の思想2 (2)
「教科に関する科目」としては合計20単位以上				

注意事項

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの履修登録制限単位に注意して履修してください。

※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

付表C 英語英米文化学科における高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては必修科目◎を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）					
日本史	2以上	◎日本史概説 (2)	日本の社会と文化1 (2)	日本の社会と文化2 (2)			
外国史	2以上	◎外国史概説 (2)	アメリカ史1 (2)	イギリス史1 (2)	アメリカ史2 (2)	イギリス史2 (2)	
人文地理学及び自然地理学	4以上	◎人文地理学概説 (2)	英米の社会1 (2)	英米の社会ゼミナール1 (2)	◎自然地理学概説 (2)	英米の社会2 (2)	英米の社会ゼミナール2 (2)
地誌	2以上	◎地誌概説 (2)					
「教科に関する科目」としては合計20単位以上							

注意事項

- ※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。
- ※ 学期ごとの履修登録制限単位数に注意して履修してください。
- ※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

付表D ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（英語）

次の授業科目から「教科に関する科目」として必修科目◎、選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）					
英 語 学	2以上	◎英語学概論1 (2)	英語教育学1 (2)	第二言語習得論1 (2)	◎英語学概論2 (2)	英語教育学2 (2)	第二言語習得論2 (2)
英 米 文 学	2以上	※○印から1科目を選択必修	英語圏文学入門2 (2)	アメリカの文学1 (2)	○英語圏文学入門1 (2)	イギリスの文学1 (2)	アメリカの文学2 (2)
		○Global Literatures in English 1 (2)	イギリスの文学2 (2)		○Global Literatures in English 2 (2)		
英語コミュニケーション	2以上	◎英会話中級1 (1)	英会話初級1 (1)	発音クリニック1 (1)	英会話中級2 (1)	英会話初級2 (1)	発音クリニック2 (1)
		◎英作文中級1 (1)			英作文中級2 (1)		
異文化理解	2以上	◎ヨーロッパ統合論 (2)	ヨーロッパの神話と伝説1 (2)	越境文化論 (2)	ヨーロッパの文学1 (2)	ヨーロッパの神話と伝説2 (2)	比較芸術論1 (2)
		ヨーロッパの文学2 (2)	ヨーロッパの芸術 (2)	比較芸術論2 (2)			
「教科に関する科目」としては合計20単位以上							

注意事項

- ※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。
- ※ 学期ごとの履修登録制限単位に注意して履修してください。
- ※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。
- ※ 英語表記の科目は、主としてGSC英語プログラムの所属学生を対象とした科目です。高い英語運用能力が必要となりますので、履修要項やシラバスを熟読したうえで履修してください。

付表E ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（ドイツ語）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては必修科目◎、選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）			
ドイツ語学	2以上	◎ドイツ語学1 (2)			
		ドイツ語学2 (2)			
ドイツ文学	2以上	◎ドイツ文学史1 (2)	上級ドイツ語講読1 (1)	ドイツ語論述実習1 (1)	
		ドイツ文学史2 (2)	上級ドイツ語講読2 (1)	ドイツ語論述実習2 (1)	
ドイツ語コミュニケーション	2以上	◎初級ドイツ語会話1 (1)	中級ドイツ語会話1 (1)	ドイツ語LL (1)	
		初級ドイツ語会話2 (1)	中級ドイツ語会話2 (1)	ドイツ語メディアリテラシー (1)	
		◎初級ドイツ語作文1 (1)			
		初級ドイツ語作文2 (1)			
異文化理解	2以上	※○印から1科目を選択必修			
		○ドイツ語圏の芸術 (2)	ヨーロッパ生活文化論 (2)	ヨーロッパの民俗文化 (2)	
		○ドイツ語圏の社会と文化1 (2)	キリスト教文化史 (2)		
		○ドイツ語圏の社会と文化2 (2)	スイス文化論 (2)		
「教科に関する科目」としては合計20単位以上					

注意事項

- ※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。
- ※ 学期ごとの履修登録制限単位数に注意して履修してください。
- ※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

付表F ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（フランス語）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては必修科目◎、選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）			
フランス語学	2以上	◎フランス語学1 (2)	中級フランス語作文1 (1)		
		フランス語学2 (2)	中級フランス語作文2 (1)		
フランス文学	2以上	◎フランス文学史1 (2)	上級フランス語講読1 (1)		
		フランス文学史2 (2)	上級フランス語講読2 (1)		
フランス語コミュニケーション	2以上	◎初級フランス語会話1 (1)	中級フランス語会話1 (1)	フランス語LL (1)	
		初級フランス語会話2 (1)	中級フランス語会話2 (1)	フランス語メディアリテラシー (1)	
		◎初級フランス語作文1 (1)			
		初級フランス語作文2 (1)			
異文化理解	2以上	※○印から1科目を選択必修	ヨーロッパ思想史 (2)	ヨーロッパの舞台芸術 (2)	
		○フランスの芸術1 (2)	ヨーロッパの映画 (2)		
		フランスの芸術2 (2)			
		○フランスの歴史と社会1 (2)			
		○フランスの歴史と社会2 (2)			
		○フランス語圏の文化と社会 (2)			
「教科に関する科目」としては合計20単位以上					

注意事項

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの履修登録制限単位に注意して履修してください。

※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

付表 G ヨーロッパ文化学科における中学校教諭一種免許状（社会）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては必修科目◎、選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）		
日本史及び外国史	4以上	◎日本史概説 (2)	ヨーロッパ交流史 (2)	ドイツ近現代史 (2)
		◎外国史概説 (2)	フランス史 (2)	フランス思想史1 (2)
		ギリシア・ローマ史 (2)	ヨーロッパ対外交流史 (2)	フランス思想史2 (2)
		ヨーロッパ形成史 (2)	ドイツ中世史 (2)	
地理学（地誌を含む。）	6以上	◎人文地理学概説 (2)	ヨーロッパ環境論 (2)	北欧文化論 (2)
		◎自然地理学概説 (2)	オーストリア・東欧文化論 (2)	
		◎地誌概説 (2)	地中海文明論 (2)	
「法学、政治学」	2以上	※○印から1科目を選択必修	政治社会学 (2)	憲法1 (2)
		○法学概説（国際法を含む） (2)	国際法1 (2)	憲法2 (2)
		○政治学概説（国際政治を含む） (2)	国際法2 (2)	
「社会学、経済学」	2以上	※○印から1科目を選択必修	メディア社会学 (2)	マスコミュニケーション論 (2)
		○社会学概説 (2)	福祉社会学 (2)	中国の民族と社会1 (2)
		○経済学概説（国際経済を含む） (2)	教育社会学 (2)	中国の民族と社会2 (2)
		世界経済1 (2)	ジェンダーの社会学 (2)	
		世界経済2 (2)		
「哲学、倫理学、宗教学」	2以上	※○印から1科目を選択必修	比較思想（日欧） (2)	ドイツ語圏の思想と文化1 (2)
		○哲学概説 (2)	ヨーロッパの哲学 (2)	ドイツ語圏の思想と文化2 (2)
		○倫理学概説 (2)	現代ヨーロッパ論 (2)	
		○宗教学概説 (2)	ユダヤ文化論 (2)	
「教科に関する科目」としては合計20単位以上				

注意事項

※どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※学期ごとの履修登録制限単位数に注意して履修してください。

※◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに履修しておけるよう、計画的に履修してください。

付表H ヨーロッパ文化学科における高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

次の授業科目から「教科に関する科目」として必修科目◎を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）					
日本史	2以上	◎日本史概説 (2)	日本建築史1 (2)	日本服飾文化史1 (2)	◎日本経済史1 (2)	日本建築史2 (2)	日本服飾文化史2 (2)
		◎日本経済史2 (2)	◎日本美術工芸史1 (2)	◎日本民俗史1 (2)	◎日本芸能史1 (2)	◎日本美術工芸史2 (2)	◎日本民俗史2 (2)
外国史	2以上	◎外国史概説 (2)	フランス史 (2)	ドイツ近現代史 (2)	ギリシア・ローマ史 (2)	ヨーロッパ対外交流史 (2)	フランス思想史1 (2)
		◎ヨーロッパ形成史 (2)	ドイツ中世史 (2)	フランス思想史2 (2)	◎ヨーロッパ交流史 (2)		
人文地理学及び自然地理学	4以上	◎人文地理学概説 (2)	ヨーロッパ環境論 (2)	地中海文明論 (2)	◎自然地理学概説 (2)	オーストリア・東欧文化論 (2)	北欧文化論 (2)
地誌	2以上	◎地誌概説 (2)					
「教科に関する科目」としては合計20単位以上							

注意事項

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの履修登録制限単位に注意して履修してください。

※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

付表1 日本・東アジア文化学科における中学校教諭一種・高等学校教諭一種免許状（国語）

次の授業科目から「教科に関する科目」として必修科目◎、選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）		
国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	4以上	◎日本の言語文化1 (2) ◎日本の言語文化2 (2) 日本語の表現1 (2) 日本語の表現2 (2)	日本の地域言語1 (2) 日本の地域言語2 (2) 日本の言語文化演習1 (2) 日本の言語文化演習2 (2)	日本語の表現演習1 (2) 日本語の表現演習2 (2) 日本の地域言語演習1 (2) 日本の地域言語演習2 (2)
国文学（国文学史を含む。）	8以上	◎日本古典文学史1 (2) ◎日本古典文学史2 (2) ◎日本近現代文学史1 (2) ◎日本近現代文学史2 (2) 日本近現代文学1 (2) 日本近現代文学2 (2)	日本古典文学演習（古代）1 (2) 日本古典文学演習（古代）2 (2) 日本古典文学演習（中世）1 (2) 日本古典文学演習（中世）2 (2) 日本古典文学演習（近世）1 (2) 日本古典文学演習（近世）2 (2) 日本近代文学演習1 (2)	日本近代文学演習2 (2) 日本現代文学演習1 (2) 日本現代文学演習2 (2) 日本幻想文学論1 (2) 日本幻想文学論2 (2) くずし字入門演習1 (2) くずし字入門演習2 (2)
漢文学	4以上	◎中国文学史1 (2) ◎中国文学史2 (2)	中国文学演習1 (2) 中国文学演習2 (2)	東アジアの漢字文化演習1 (2) 東アジアの漢字文化演習2 (2)
書道（書写を中心とする。）	2以上	※○印から1科目を選択必修 ○書道演習1 (2) ○書道演習2 (2)		
「教科に関する科目」としては合計20単位以上				

注意事項

※「書道（書写を中心とする。）」は中学校教員免許状取得の場合にのみ必要な科目です（選択必修科目）。高等学校免許状取得の場合「書道（書写を中心とする。）」を「教科に関する科目」「教科又は教職に関する科目」の単位として数えることはできません。

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの履修登録制限単位に注意して履修してください。

※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

付表J 日本・東アジア文化学科における中学校教諭一種免許状（社会）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては必修科目◎、選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目、○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）																											
日本史及び外国史	4以上	◎日本史概説 (2)	◎外国史概説 (2)	◎日本古代史1 (2)	◎日本古代史2 (2)	◎日本中世史1 (2)	◎日本中世史2 (2)	◎日本近世史1 (2)	◎日本近世史2 (2)	◎日本近現代史1 (2)	◎日本近現代史2 (2)	◎日本芸能史1 (2)	◎日本芸能史2 (2)	◎日本考古学1 (2)	◎日本考古学2 (2)	◎日本民俗史1 (2)	◎日本民俗史2 (2)	◎日本建築史1 (2)	◎日本建築史2 (2)	◎日本美術工芸史1 (2)	◎日本美術工芸史2 (2)	◎日本服飾文化史1 (2)	◎日本服飾文化史2 (2)	◎日本生活文化史1 (2)	◎日本生活文化史2 (2)	◎日中交流史1 (2)	◎日中交流史2 (2)	◎中国史1 (2)	◎中国史2 (2)
地理学 (地誌を含む。)	6以上	◎人文地理学概説 (2)	◎自然地理学概説 (2)	◎地誌概説 (2)																									
「法学、政治学」	2以上	※○印から1科目を選択必修	○法学概説（国際法を含む） (2)	○政治学概説（国際政治を含む） (2)	国際法1 (2)	国際法2 (2)	民法1 (2)	民法2 (2)	行政法1 (2)	行政法2 (2)	政治社会学 (2)																		
「社会学、経済学」	2以上	※○印から1科目を選択必修	○社会学概説 (2)	○経済学概説（国際経済を含む） (2)	中国の民族と社会1 (2)	中国の民族と社会2 (2)																							
「哲学、倫理学、宗教学」	2以上	※○印から1科目を選択必修	○哲学概説 (2)	○倫理学概説 (2)	○宗教学概説 (2)	東アジアの宗教1 (2)	東アジアの宗教2 (2)	日本の仏教1 (2)	日本の仏教2 (2)	比較思想（東アジア）1 (2)	比較思想（東アジア）2 (2)	民俗宗教論1 (2)	民俗宗教論2 (2)	民俗宗教演習1 (2)	民俗宗教演習2 (2)	中国思想史1 (2)	中国思想史2 (2)	中国思想史演習1 (2)	中国思想史演習2 (2)	日本思想史1 (2)	日本思想史2 (2)	日本思想史演習1 (2)	日本思想史演習2 (2)	日本の思想1 (2)	日本の思想2 (2)				
「教科に関する科目」としては合計20単位以上																													

注意事項

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの履修登録制限単位に注意して履修してください。

※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

付表K 日本・東アジア文化学科における高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

次の授業科目から「教科に関する科目」として必修科目◎を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

◎は必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）		
日本史	2以上	◎日本史概説 (2)	日本芸能史1 (2)	日本美術工芸史1 (2)
		日本古代史1 (2)	日本芸能史2 (2)	日本美術工芸史2 (2)
		日本古代史2 (2)	日本考古学1 (2)	日本服飾文化史1 (2)
		日本中世史1 (2)	日本考古学2 (2)	日本服飾文化史2 (2)
		日本中世史2 (2)	日本民俗史1 (2)	日本生活文化史1 (2)
		日本近世史1 (2)	日本民俗史2 (2)	日本生活文化史2 (2)
		日本近世史2 (2)	日本建築史1 (2)	
		日本近現代史1 (2)	日本建築史2 (2)	
		日本近現代史2 (2)		
外国史	2以上	◎外国史概説 (2)	中国史1 (2)	イスラーム文化論1 (2)
		日中交流史1 (2)	中国史2 (2)	イスラーム文化論2 (2)
		日中交流史2 (2)	朝鮮史1 (2)	日朝交流史1 (2)
			朝鮮史2 (2)	日朝交流史2 (2)
人文地理学及び自然地理学	4以上	◎人文地理学概説 (2)	東アジアの地理と環境1 (2)	比較生活文化演習1 (2)
		◎自然地理学概説 (2)	東アジアの地理と環境2 (2)	比較生活文化演習2 (2)
地誌	2以上	◎地誌概説 (2)		
「教科に関する科目」としては合計20単位以上				

注意事項

- ※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。
- ※ 学期ごとの履修登録制限単位数に注意して履修してください。
- ※ ◎印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

付表L 日本・東アジア文化学科における高等学校教諭一種免許状（公民）

次の授業科目から「教科に関する科目」としては選択必修科目○を含めた20単位以上を修得してください。「教科又は教職に関する科目」の最低修得単位数を満たすためには、さらにそれ以上の履修が必要になります。

○は選択必修科目

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	本学の授業科目（単位）			
「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	2以上	※○印から1科目を選択必修 ○法学概説（国際法を含む） (2) ○政治学概説（国際政治を含む） (2)	国際法1 (2) 国際法2 (2) 民法1 (2) 民法2 (2)	行政法1 (2) 行政法2 (2) 政治社会学 (2)	
「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	2以上	※○印から1科目を選択必修 ○社会学概説 (2) ○経済学概説（国際経済を含む） (2)	中国の民族と社会1 (2) 中国の民族と社会2 (2)		
「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	2以上	※○印から1科目を選択必修 ○哲学概説 (2) ○倫理学概説 (2) ○宗教学概説 (2) ○心理学概説 (2) 東アジアの宗教1 (2) 東アジアの宗教2 (2) 日本の仏教1 (2) 日本の仏教2 (2)	比較思想（東アジア）1 (2) 比較思想（東アジア）2 (2) 民俗宗教論1 (2) 民俗宗教論2 (2) 民俗宗教演習1 (2) 民俗宗教演習2 (2) 中国思想史1 (2) 中国思想史2 (2)	中国思想史演習1 (2) 中国思想史演習2 (2) 日本思想史1 (2) 日本思想史2 (2) 日本思想史演習1 (2) 日本思想史演習2 (2) 日本の思想1 (2) 日本の思想2 (2)	
「教科に関する科目」としては合計20単位以上					

注意事項

※ どれを「卒業に必要な単位」としてカウントするかは、この履修要項の各学科の頁を参照して確認し、計画的に履修してください。

※ 学期ごとの履修登録制限単位数に注意して履修してください。

※ ○印の授業科目は、おそくとも3年次までに修得しておけるよう、計画的に履修してください。

学芸員課程

学芸員課程履修方法

1. 博物館と学芸員

博物館とは、博物館法第2条によって、「歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業をおこない、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関」と定義されています。具体的には、博物館と名乗る施設だけでなく、美術館、資料館、動物園、植物園等をも含めて博物館といい、地方公共団体の設置する公立博物館と法人の設置する私立博物館に大別されます。なお、独立行政法人国立博物館や独立行政法人国立美術館は、厳密には上記の博物館には含まれず、独立行政法人の法令や規程に則って運営されています。

学芸員の職務について「公立博物館の設置及び運営上望ましい基準」文部科学省告示第113号によれば、多様化、高度化する学習ニーズに対応できるよう、「博物館の設置」「博物館資料の収集」「保管、展示及び調査研究」「学習活動」「資料のデジタルアーカイブ化やインターネットその他高度情報通信ネットワークによる情報の提供」「学校、家庭及び地域社会との連携」「ユニバーサル社会への推進を図るため必要な施設及び設備」「事業の自己点検・自己評価」など時代の変化に対応した新たな役割を含め、当該博物館に求められる役割を十分に果たすことのできるよう努めるものとあります。本学の課程は、この主旨に対応したものです。

2. 学芸員の資格と学芸員課程

本学の学芸員課程は、博物館法第5条の「学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得した者」という学芸員資格規定に基づき、学芸員資格を得るために必要な科目を開講するとともに、種々の専門的知識や技能の修得を指導することを目的として設置されたものです。

3. 定員

学芸員課程では教育効果を高めるため定員を設けています。

定員は、原則として学部生（23名）、大学院生（2名）で合計25名とします。

4. 課程登録選考について

(1) 応募条件

学部学生を対象とする選考審査は、本学に在学している2年次生のみを対象とします。

選考審査応募時（2年次）に、学芸員課程必修科目を原則として少なくとも4科目以上単位修得済み、もしくは履修中でなければなりません。

1年次・2年次での科目履修にあたっては、所属する学部・学科の学修要件と学芸員課程科目をうまく組み合わせ履修してください。

なお、大学院生を対象とする選考応募条件については、別途定めます。

(2) 選考方法

2年次生で学芸員課程の履修登録を希望する学生は、2年次の6月（予定）におこなわれる履修登録希望学生を対象とするガイダンスに必ず出席してください。博物館実習科目の授業カリキュラムの詳細な内容、選考と登録手続きのスケジュール、選考課題レポート、履修願書などについての説明をおこないます。10月（予定）に学芸員課程委員会が諸資料に基づき選考します。選考に関する事項は、3Sに掲示します。

(3) 課程登録手続き（学芸員課程登録費）

課程登録を認められた者は、所定の期日までに学芸員課程登録費を納入しなければなりません。

詳細は、3Sに掲示します。

(4) 本学の学芸員課程で選択できる分野

本学の学芸員課程では、各学部開講科目を考慮して、選択できる分野を、**歴史・民俗・美術・考古**としています。選考応募登録時に分野を1つ選択しなければなりません。分野の選択は、履修学生の自由選択であり自己責任とします。

学芸員資格取得には、学芸員課程必修科目の他に、分野に関する科目として、指定する各学部開講科目を修得しなければなりません。博物館の就職採用条件として専門知識が要求されるため、本学学芸員課程では、学芸員資格証明書とともに分野に関する科目の履修状況書を発行しています。4年次に履修する学芸員実習では、受入条件として分野に関する科目の履修状況が採否の要件となる場合や分野を指定されていることがあります。1年次から計画的に、分野に関する講義科目やゼミ・演習科目を履修してください。自らが所属する学部の科目だけでなく、必要に応じて、他学部が開講されている科目も履修するように努めてください。ただし、履修にあたっては、各学部の履修要項上の注意事項に留意してください。

学芸員課程委員会が作成する上記4分野に対応する『学芸員課程 分野科目表』を、履修登録期間までに学芸員課程事務室で受け取り、参考にして履修してください。

5. 学芸員課程登録期間

学部学生は学部3年次と4年次の2年間、大学院生は原則として登録後2年間とします。ただし、3年次に長期留学をする人については、卒業を1年間延長する場合にかぎり、帰国後の2年間の履修を認めます。2年次に学芸員課程の必修科目を少なくとも4科目以上履修しておくようにして下さい。

6. 学芸員課程必修科目と履修方法

(1) 必修科目

以下の表には、博物館法施行規則に規定する科目と本学で開講している学芸員課程必修科目との対照表が示されています。

必修科目

博物館法施行規則に規定する科目			本学授業科目		
科目名	単位		科目名	単位	(単位)
生涯学習概論	2		生涯学習概論	1	(2)
博物館概論	2		博物館概論	1	(2)
博物館経営論	2		博物館経営論	1	(2)
博物館資料論	2		博物館資料論	1	(2)
博物館資料保存論	2		博物館資料保存論	1	(2)
博物館展示論	2		博物館展示論	1	(2)
博物館情報・メディア論	2		博物館情報・メディア論	1	(2)
博物館教育論	2		博物館教育論	1	(2)
博物館実習	3		博物館実習	1	(1)
			博物館実習	2	(1)
			博物館実習	3	(1)
			博物館実習	4	(1)

(2) 必修科目の履修方法

- ① 1年次から2年次の2年間では、2年次での選考応募条件（原則として4科目以上の単位修得あるいは履修中）を満たすよう、計画的に必修科目を履修してください。

課程登録後に必修科目を多数履修する必要がある場合には、3年次での学部・学科の必修科目と時間割が重複し、学芸員課程必修科目が履修できなくなり、資格取得要件を満たせない場合が生じる恐れがあります。

したがって2年間に可能な限り多数の学芸員課程必修科目を履修することが望ましいです。

- ② 課程登録3年次生：博物館実習1と博物館実習2は、必ず前期・後期2科目セットで履修してください。
- ③ 課程登録4年次生：前年度までに博物館実習3と博物館実習4を除くすべての学芸員課程必修科目の単位を修得した者だけが、原則として博物館実習3と博物館実習4を履修できます。これらの2科目は、必ず前期・後期セットで履修してください。

なお、学芸員実習館の選択について、学芸員課程は指導・助言をおこないますが、採否については自己責任となります。そのため、登録時に選択した分野の十分な学修をすすめ、博物館活動について深く研究・体験に努めてください。

7. 選択分野の履修について

自ら選んだ分野の講義科目 8 単位とゼミ・演習科目 4 単位以上を修得するように努めなければなりません。

4 年次に履修する学芸員実習の受入条件として、講義科目やゼミ・演習科目の履修状況が採否の要件となる場合や分野を指定されることがあります。可能な限り、自ら選んだ分野の講義科目やゼミ・演習科目を、上記に示した単位以上に数多く履修するように努めなければなりません。

8. 学芸員資格取得証明書

本学の基準に基づいて所定の科目の単位を修得し、卒業が確定した者に対し卒業式当日に学芸員資格証明書を授与します。

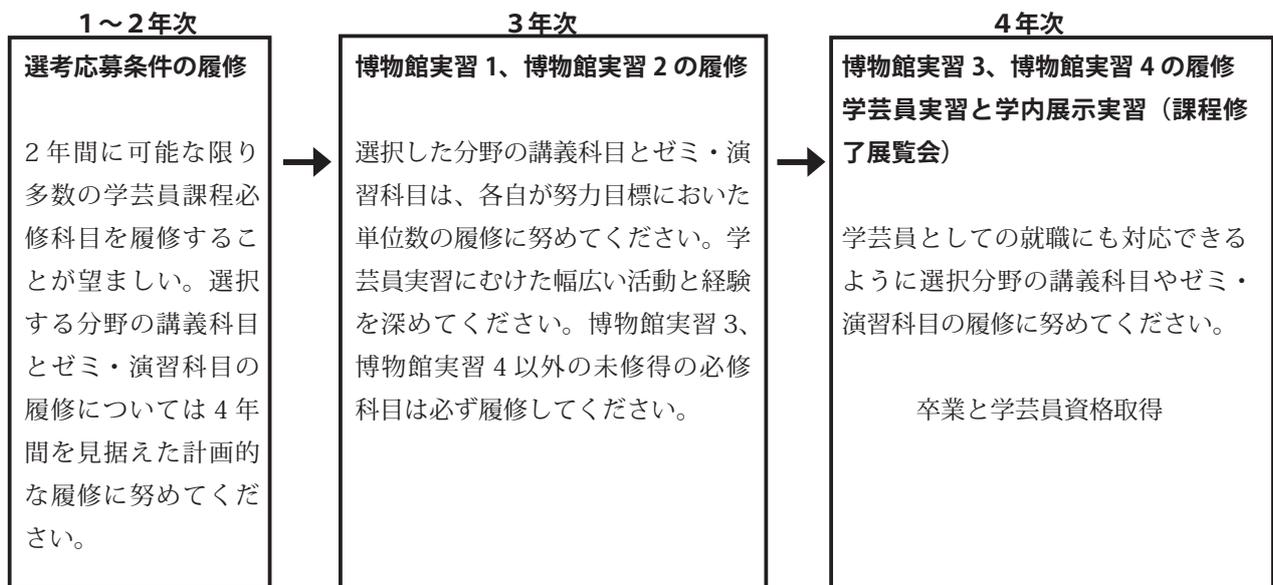
9. 運営組織

学芸員課程の運営は、学芸員課程委員会がおこないます。

10. そのほか

学芸員課程履修については、原則として入学した年度の学芸員課程履修方法が適用されます。

<学芸員課程の4年間の学修概要>



この履修要項は、
学生1名に1冊のみ配布する。
紛失しないよう注意すること。

2020年度

2020年4月1日発行

編集・発行 武蔵大学 人文学部
(教務課)

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1



MUSASHI
UNIVERSITY